

れいわ ねんどだい かいよこはまししょうがいしゃし さくすいしんきょうぎ かい
令和 5 年度 第 1 回 横浜市 障害者 施策 推進 協議会

にちじ れいわ ねん がつ にち すいようび
日時 令和 5 年 6 月 28 日 (水曜日)

ごご じ ごご じ
午後 3 時 ~ 午後 5 時

ばしょ よこはましちようしゃ かい
場所 横浜市 庁舎 18 階 みなと 1・2・3

し
《次 第》

かい かい
1 開会

けんこう ふくしきょくちょう
2 健康福祉局長あいさつ

ぎだい
3 議題

だい き よこはまししょうがいしゃ ちゅうかんみなお
(1) 第 4 期 横浜市 障害者 プランの 中間見直しについて

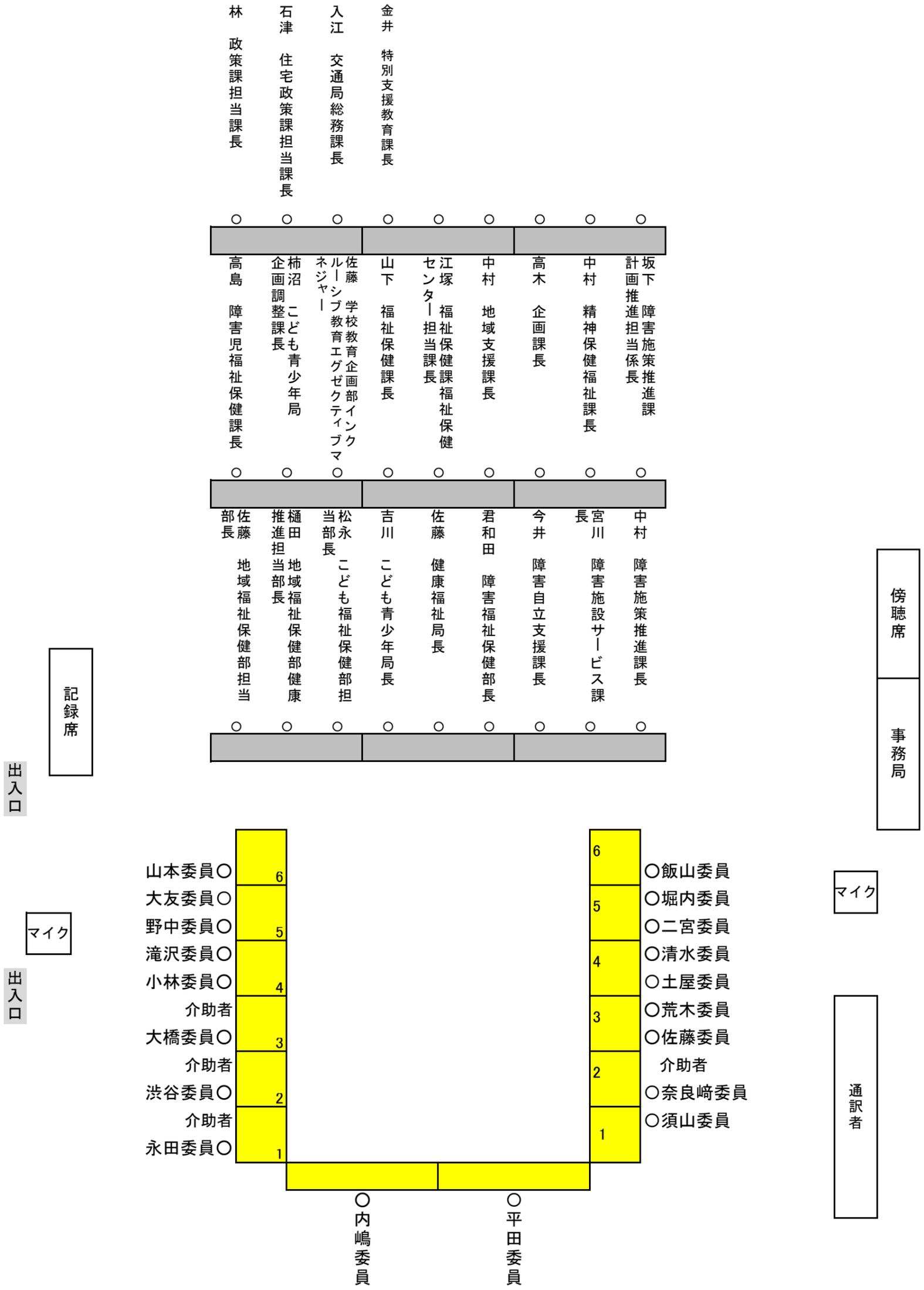
ほうこくじこう
4 報告事項

だい き よこはまししょうがいしゃ とりくみじょうきょう
(1) 第 4 期 横浜市 障害者 プランの 取組 状況 について

た
5 その他

令和5 年度第1 回横浜市障害者施策推進協議会座席表

令和5 年6 月28日(水曜日) 午後3 時～午後5 時
横浜市庁舎みなと1・2・3



横浜市障害者施策推進協議会 委員名簿（令和6年7月13日まで）

	しめい 氏名	しよぞく 所属
1	あかほね しげき 赤羽 重樹	いっばんしゃだんほうじんよこはまししいしかい じょうにんりじ 一般社団法人横浜市医師会 常任理事
2	あらかき まさや 荒木 雅也	Y P S 横浜ピアスタッフ協会 協会員
3	いいやま ふみこ 飯山 文子	よこはまちてきしょうがいかんれんしせつきょうぎかい ぶくかいちよう 横浜知的障害関連施設協議会 副会長
4	いのうえ あきら 井上 彰	こうえきざいだんほうじんよこはましんたいしやうがいしやだんたいれんごうかい ーりじ よこはまししいしやうがいしやぶくしきょうかい かいちよう 公益財団法人横浜市身体障害者団体連合会 理事（横浜市肢体障害者福祉協会 会長）
5	うちじま じゆんいち 内嶋 順一	しやかいふくしほうじんよこはまし しやかいふくしきょうがいしやうがいしやえん ーたんどうりじ 社会福祉法人横浜市社会福祉協議会障害者支援センター 担当理事
6	おおとも まさる 大友 勝	とくていひえいりかつどうほうじんよこはましせいしんしやうがいしやちいきせいかつしえんれんごうかい だいひよう 特定非営利活動法人横浜市精神障害者地域生活支援連合会 代表
7	おおはし よしまさ 大橋 由昌	こうえきざいだんほうじんよこはましんたいしやうがいしやだんたいれんごうかい ーりじ とくていひえいりかつどうほうじんよこはまししかくしやうがいしやぶくしきょうかい ぶくかいちよう 公益財団法人横浜市身体障害者団体連合会 理事（特定非営利活動法人横浜市視覚障害者福祉協会 副会長）
8	かがや まもる 加賀谷 護	にほんろうどうくみあいしうれんごうかいかながわけんれんごうかいよこはまちいきれんごう ーじむきょうちよう 日本労働組合総連合会神奈川県連合会横浜地域連合 事務局長
9	かない みどり 金井 緑	いっばんしゃだんほうじんかながわけんせいしん ほけん ぶくしきょうかい ぶくかいちよう 一般社団法人神奈川県精神保健福祉士協会 副会長
10	こばやし ひでのこ 小林 秀彦	しやかいふくしほうじんあお ーどり よこはましとうぶしゆうろうしえん ーしよちよう 社会福祉法人青い鳥 横浜市東部就労支援センター 所長
11	さとう ひでき 佐藤 秀樹	よこはましんたいしやうがいしやだんたいれんごうかい ーりじちよう よこはましじんゆうかい かいちよう 横浜市身体障害者団体連合会 理事長（横浜市腎友会 会長）
12	しげや はるみ 渋谷 治巳	よこはまししやうがいしやちいきききょうしよれんらくかい ぶくかいちよう 横浜市障害者地域作業所連絡会 副会長
13	しみず たつお 清水 龍男	よこはまししんしんしやうがいじしや ーまも れんめい だいひよかんじ 横浜市心身障害児者を守る会連盟 代表幹事
14	すやま まさえ 須山 優江	こうえきざいだんほうじんよこはまし しんたいしやうがいしやだんたいれんごうかい ぶくりじちよう よこはまし ちゆうとしつちよう なんちようしきょうかい かいちよう 公益財団法人横浜市身体障害者団体連合会 副理事長（横浜市中途失聴・難聴者協会 会長）
15	つちや かつや 土屋 克也	とくていひえいりかつどうほうじんよこはましせいしんしやうがいしやかぞくれんごうかい ぶくりじちよう 特定非営利活動法人横浜市精神障害者家族連合会 副理事長
16	ながた たか 永田 孝	よこはまし れんらくかい にゆうきよしやかいぶかいちよう 横浜市グループホーム連絡会 入居者部会部会長
17	ならぎき まゆみ 奈良崎 真弓	ほんにん かい 本人の会 サンフラワー
18	にのみや たけし 二宮 威重	いっばんしゃだんほうじんよこはまし し かい しかい じょうにんりじ 一般社団法人横浜市歯科医師会 常任理事
19	のなか ひろみ 野中 裕美	かながわけんりつみつきょうようごがっこう ーこうちよう 神奈川県立三ツ境養護学校 校長
20	ひらた ゆきひろ 平田 幸宏	とうようえいわじやがくいんだいがく人間科学研究科 ーじゆんきょうじゆ 東洋英和女学院大学人間科学研究科 准教授
21	ほりうち てつや 堀内 哲也	ほうじんがたちいきかつどう れんらくかい 法人型地域活動ホーム連絡会
22	たきざわ つとむ 滝沢 勉	よこはまこうきょうしよくぎやうあんていじよ ーしよちよう 横浜公共職業安定所 所長
23	やまくち てつあき 山口 哲顕	いっばんしゃだんほうじんかながわけんせいしんかびやういんきょうかい かいちよう 一般社団法人神奈川県精神科病院協会 会長
24	やまもと けいこ 山本 圭子	よこはましせいしんしやうがいしやせいかつしえん れんらくかい 横浜市精神障害者生活支援センター連絡会
25	わだ ちずこ 和田 千珠子	じじよ せいしんしやうがいしやとうじしやふうふ かい ま ほっきにん 自助グループ精神障害者当事者夫婦の会 負けてたまるか！ 発起人

令和5年度 横浜市障害者施策推進協議会事務局名簿

くぶん 区分	きょくめい 局名	ほしよくめい 補職名	しめい 氏名	
じむきょく 事務局	けんこうふくしきょく 健康福祉局	けんこうふくしきょくちやう 健康福祉局長	さとう ひろたか 佐藤 広毅	
		けんこうふくしきょくちやう 健康福祉局地域福祉保健部医務担当部長(医療局総務部医務担当部長)	いがらし ましみつ 五十嵐 吉光	
		しょうがいふくしほけんがちやう 障害福祉保健部長	きみわだ たけし 君和田 健	
		けんこうふくしきょくちやう 健康福祉局担当理事(こころの健康相談センター長)	しらかわ のりひと 白川 教人	
		ちいきふくしほけんがちやう 地域福祉保健部担当部長	さとう まりよ 佐藤 真理代	
		ちいきふくしほけんがちやう 地域福祉保健部健康推進担当部長	といだ みちこ 樋田 美智子	
		しょうがいしきょくちやう 障害施策推進課長	なかむら つよし 中村 剛志	
		せいしんほけんがちやう 精神保健福祉課長	なかむら ひでお 中村 秀夫	
		しょうがいじりつしえんがちやう 障害自立支援課長	いまい ともこ 今井 智子	
		しょうがいしせつ 障害施設サービス課長	みやがわ りきや 宮川 力也	
		きかくちやう 企画課長	たかぎ みぎ 高木 美岐	
		ふくしほけんがちやう 福祉保健課長	やました かずひろ 山下 和宏	
		ふくしほけんがちやう 福祉保健課福祉保健センター担当課長	えづか なおや 江塚 直也	
		ちいきしえんがちやう 地域支援課長	なかむら あきこ 中村 明子	
		こどもせいしょうきょく 子ども青少年局	こどもせいしょうきょくちやう 子ども青少年局長	よしかわ なおと 吉川 直友
			こどもふくしほけんがちやう 子ども福祉保健部担当部長	まつなが ともみ 松永 朋美
	しょうがいふくしほけんがちやう 障害児福祉保健課長		たかしま ともこ 高島 友子	
	きかくちやうせいし 企画調整課長		かきぬま ちひろ 柿沼 十尋	
	きょういくいんかいじむきょく 教育委員会事務局	がっこうきょういくがくが 学校教育企画部インクルーシブ教育エグゼクティブマネジャー	さとう ゆうこ 佐藤 祐子	
		とくべつしえんきょういくがちやう 特別支援教育課長	かない くにあき 金井 国明	
関係局	せいさくきょく 政策局	せいさくかたんとちやう 政策課担当課長	はやしまさたか 林 正隆	
	けんちくきょく 建築局	じゅうたいせいさくかたんとちやう 住宅政策課担当課長	いしず けいすけ 石津 啓介	
	こうつうきょく 交通局	そうむかちやう 総務課長	いりえようじろう 入江洋二郎	

じむたんとく 事務担当	けんこうふくしきま 健康福祉局	しょうがいしやくせいしんか しやくちようせいかりちよう 障害施策推進課施策調整係長	たなべ こうじ 田辺 興司		
		しょうがいしやくせいしんかけいかくせいしんたんとくかりちよう 障害施策推進課計画推進担当係長	さかした しんご 坂下 新悟		
		しょうがいしやくせいしんか してい たんとくかりちよう 障害施策推進課指定・システム担当係長	よねやま のぞみ 米山 のぞみ		
		しょうがいしやくせいしんかたんとくかりちよう 障害施策推進課担当係長	しんき ましゆき 佐々木 善行		
		しょうがいしやくせいしんかきょうせいしやくかいとうせいしんたんとくかりちよう 障害施策推進課共生社会等推進担当係長	しんかい たかお 新海 隆生		
		しょうがいしやくせいしんかそうだんせいしんかかりちよう 障害施策推進課相談支援推進係長	わたなべ ひろみ 渡辺 弥美		
		しょうがいしやくせいしんかたんとくかりちよう 障害施策推進課担当係長	おおの かずよし 大野 和義		
		しょうがいしやくせいしんかくぶんてんでいかりちよう 障害施策推進課区分認定係長	うめつ あやこ 梅津 亜矢子		
		せいしんほけんかくしかせいしんほけんかくしかかりちよう 精神保健福祉課精神保健福祉係長	かつき まさき 香月 正樹		
		せいしんほけんかくしかたんとくかりちよう 精神保健福祉課担当係長	くほ ひろき 久保裕樹		
		せいしんほけんかくしかきゅうきゅういりようかりちよう 精神保健福祉課救急医療係長	やまうち わたる 山内 航		
		しょうがいじりつしえんかかくしきゅうふかりちよう 障害自立支援課福祉給付係長	しょうじゆひろし 正寿 弘		
		しょうがいじりつしえんかきよたく たんとくかりちよう 障害自立支援課居宅サービス担当係長	なかにし ぼやと 中西 勇人		
		しょうがいじりつしえんかいどうしえんかかりちよう 障害自立支援課移動支援係長	ひがしひろこ 東 宏子		
		しょうがいじりつしえんかしゃかいさんかすいしんかかりちよう 障害自立支援課社会参加推進係長	ふじもり ゆじ 藤森 祐次		
		しょうがいじりつしえんかきゅうろうしえんかかりちよう 障害自立支援課就労支援係長	うちやま ひろと 内山 博人		
		しょうがいしせつ かしせつかんりかりちよう 障害施設サービス課施設管理係長	しなだ かずのり 品田 和紀		
		しょうがいしせつ かせいびせいしんたんとくかりちよう 障害施設サービス課整備推進担当係長	はたした ようすけ 畑下 陽介		
		しょうがいしせつ かたんとくかりちよう 障害施設サービス課担当係長	ながと やすひろ 長戸 泰弘		
		しょうがいしせつ かちいきしせつしえんかかりちよう 障害施設サービス課地域施設支援係長	さかい りようすけ 坂井 良輔		
		しょうがいしせつ かしせつどうろんせいしんかかりちよう 障害施設サービス課施設等運営支援係長	のぐち けいたろう 野口 慶太郎		
		しょうがいしせつ かきょうどうせいいかつえんじよたんとくかりちよう 障害施設サービス課共同生活援助担当係長	さとう ひろかず 佐藤 央一		
		けんこうそうだん そうだんえんじよかりちよう こころの健康相談センター相談援助係長	さかた みずえ 坂田 瑞恵		
		けんこうそうだん いぞんじょうどうたいさくたんとくかりちよう こころの健康相談センター依存症等対策担当係長	ささき ゆうこ 佐々木 祐子		
		けんこうそうだん たんとくかりちよう こころの健康相談センター担当係長	わたなべ まさこ 渡邊 雅哉		
		きかく か きかくかりちよう 企画課企画係長	しまだ けいし 津田 善之		
		こども青少年局	しょうがいじふくしほけんかたんとくかりちよう 障害児福祉保健課担当係長	しまだ けいし 嶋田 慶一	
			しょうがいじふくしほけんかたんとくかりちよう 障害児福祉保健課担当係長	すがわら まさのり 菅原 政則	
			しょうがいじふくしほけんかたんとくかりちよう 障害児福祉保健課担当係長	よこみち えみ 横路 恵美	
			しょうがいじふくしほけんかたんとくかりちよう 障害児福祉保健課担当係長	はぎわら まさこ 萩原 昌子	
			しょうがいじふくしほけんかたんとくかりちよう 障害児福祉保健課整備担当係長	ひらう なおこ 枇榔 直子	
			しょうがいじふくしほけんかたんとくかりちよう 障害児福祉保健課担当係長	たんの くみ 丹野 久美	
			きかくちようせいいたんとくかりちよう 企画調整課担当係長	いくの もとやす 生野 元康	
		きょういらいんかいじむきよ 教育委員会事務局	とくべつしえんきょういくかたんとくかりちよう 特別支援教育課担当係長	さくらい かんた 櫻井 寛大	
			とくべつしえんきょういれ たんとくかりちよう 特別支援教育課担当係長	いとう あき 伊藤 亜希	
		かんけいきよ 関係局	せいさくきよ 政策局	せいさくたんとくかりちよう 政策課担当係長	とうかい しろう 東海 志朗
			けんちくきよ 建築局	じゅうたせいさく たんとくかりちよう 住宅政策課担当係長	おおはし あけみ 大橋 朱美
			こうつうきよ 交通局	そうむかしよむかりちよう 総務課庶務係長	いとう たけひろ 筒井 武裕

だい き よこはまししょうがいしゃ とりくみじょうきょう
第4期横浜市障害者プランの取組状況について

ひょうか せつめい
【評価の説明】

○：想定した目標を達成し、想定したとおりの効果が得られた。

△：一定程度の効果が得られた。

×：想定した目標は達成できず、効果も得られなかった。

はんれい
【凡例】

あ：将来にわたるあんしん施策 福：障害福祉計画として定めるサービス等の「見込み」の量

児：障害児福祉計画として定めるサービス等の「見込み」の量

新：第4期障害者プランから初めて障害者プランに記載する事業

2 人材確保・育成

(1) 障害福祉従事者の確保と育成

事業名	事業内容	令和4年度取組予定	令和4年度実績	令和4年度 ねんど ひょうか 評価	令和5年度 とりにくみよてい とりにくみよてい 取組予定	中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいふくし 障害福祉 じんざい 人材の かくほ 確保 ㊦	しょうがいふくし しごと 障害福祉の仕事の みりよく はっしん 魅力を発信し、 きゅうじん こよう しえん 求人や雇用の支援 おこな しゃかい を行うことで社会 ふくしじんざい かくほ 福祉人材の確保につ ながけていきます。	しないだいがく きょうそう 市内大学や共創フロン かつよう せんもんがっこう トを活用した専門学校と れんけい わかも の連携により、若者をタ ーゲットに障害福祉の みりよく はっしん 魅力を発信します。 じんざい かくほ また、人材確保セミナー しごと どう じっし やおしごとフェア等を じっし きゅうじん さいよう 実施し、求人・採用 しえん おこな 支援を行います。	せんもんがっこう れんけい 専門学校との連携により しょうがいふくし しょうかい 障害福祉の紹介アニメー ションを作成し、イベント どう ほうえい 等で放映しました。 じんざい かくほ また人材確保セミナーや しごと どう じっし お仕事フェア等を実施し、 きゅうじん さいよう かくほ しえん 求人・採用に係る支援を おこな 行いました。	△	しないだいがく せんもんがっこう 市内大学や専門学校等と れんけい わかも の連携により、若者をタ ーゲットに障害福祉の みりよく はっしん 魅力を発信します。 ひ つづ じんざい かくほ 引き続き、人材確保セミ ナーやお仕事フェア等を じっし きゅうじん さいよう 実施し、求人・採用に かくほ しえん おこな 係る支援を行います。 かんけいだんたい また、関係団体との けんどうかい じっし げんば 検討会を実施し、現場の いけん き 意見を聞きながらさらな しょうがいふくし みりよくはっしん る障害福祉の魅力発信 おこな じんざい かくほ を行い、人材の確保に つながけていきます。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 4 ねんど 年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいふくし 障害福祉 施設等で 働く看護 師の支援 (あ)	しょうがいふくししせつどう 障害福祉施設等で はたらかんごし ていちゃく 働く看護師の定着 む しえん おこな に向けた支援を行 うとともに、人材 かくほ ほうさく じんざい 確保の方策について けんどう 検討します。	しょうがいふくししせつどう はたら 障害福祉施設等で働く かんごし ぎのうこうじょうおよ 看護師の技能向上及び しゅうろうていちゃく もくてき 就労定着を目的に、 い しどう かくしせつ ほうもんどう 医師等が各施設に訪問等 おこな こべつ じょげん して行う個別の助言や けんしゅう かくしせつ かんごし 研修、各施設の看護師 たいしょう ごうどうけんしゅう を対象とした合同研修 どう じっし 等を実施します。	い し かくしせつ ほうもん 医師が各施設を訪問し、 こべつ じょげん けんしゅう おこな 個別の助言や研修を行 いました。また、 かくしせつ 各施設の かんごし しえんいん たいしょう 看護師・支援員を対象に、 い し かんごし こうし 医師・看護師を講師とした ごうどうけんしゅう じっし 合同研修を実施しました。	○	ひ つづ しょうがいふくし 引き続き、障害福祉 しせつどう はたら かんごし 施設等で働く看護師の ぎのうこうじょうおよ しゅうろう 技能向上及び就労 ていちゃく もくてき い しどう 定着を目的に、医師等 かくしせつ ほうもんどう が各施設に訪問等して おこな こべつ じょげん 行う個別の助言や けんしゅう かくしせつ かんごし 研修、各施設の看護師 たいしょう ごうどうけんしゅう を対象とした合同研修 どう じっし 等を実施します。	すいしん 推進	すいしん 推進

(2) 業務効率化に向けたロボット・AI・ICT等の導入の検討

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	令和4年度取組予定 <small>れいわ ねんどとりくみよてい</small>	令和4年度実績 <small>れいわ ねんどじっせき</small>	令和4年度 評価 <small>れいわ ねんど 4年度 ひょうか</small>	令和5年度 取組予定 <small>れいわ ねんど 5年度 とりくみよてい</small>	中間期 目標 <small>ちゅうかんき もくひょう</small>	目標 <small>もくひょう</small>
業務効率化に向けたロボット・AI・ICT等の導入の検討 <small>ぎょうむ こうりつ かむ とう</small> 新	煩雑な事務作業などの業務効率化や介護業務の負担軽減などを進めるため、ロボット・AI・ICTなどの導入の検討を進めます。 <small>はんざつ じ む さぎょう ぎょうむ こうりつ か いごぎょうむ ふたんけいげん すす るため、ロボット・ AI・ICTなどの とうにゆう けんとう すす</small>	関係団体と意見交換を行い、引き続き今後の施策の方向性を検討します。 <small>かんけいだんたい いけんこうかん おこな ひ つづ こんご しさく ほうこうせい けんとう</small>	関係機関と意見交換を行い、現状の課題について整理や今後の施策の方向性の検討を行いました。また、ロボット・AI・ICTに関する研修の情報を関係団体へ紹介しました。 <small>かんけいきかん いけんこうかん おこな げんじょう かだい つづ せいり こんご しさく ほうこうせい けんとう おこな また、ロボット・AI・ ICTに関する研修の じょうほう かんけいだんたい しょうかい</small>	○	関係団体や企業等との意見交換を行い、現状把握や課題整理等を行ったうえで今後の支援策を検討します。 <small>かんけいだんたい きぎょうとう いけんこうかん おこな げんじょうはあく かだいせいりとう おこな たうえで こんご しえんさく けんとう</small>	検討 ・ 実施 <small>けんとう じっし</small>	推進 <small>すいしん</small>

3 けんりようご
権利擁護

(4) じょうほうほしょう とりくみ
情報保障の取組

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
だいひつ 代筆・ だいどく 代読サー ビス ⑧	しかくとう しょうがい 視覚等に障害のあ る人が日常生活の ひと にちじょうせいかつ 中で代筆または なか だいひつ 代読が必要なとき だいどく ひつよう に支援者によるサ しえんしゃ ービス提供を行 ていきよう おこな います。	うんよう てきせつ おこな サービス運用を適切に行 うとともに、将来的な しょうらいてき 代読・代筆サービスの だいどく だいひつ 提供方法等を引き続き ていきようほうほうとう ひ つづ けんとう 検討していきます。	だいひつ だいどく か じ えんじょ 代筆・代読のみの家事援助 しきゅうけっていじょうきよう はあく の支給決定状況を把握 するなど、サービス運用が うんよう 適切に行われているか てきせつ おこな かくにん 確認しました。	○	うんよう てきせつ サービス運用を適切に おこな しょうらいてき 行うとともに、将来的な だいひつ だいどく 代筆・代読サービスの ていきようほうほうとう けいぞくてき 提供方法等を継続的に けんとう 検討していきます。	けんとう 検討 ・ じっし 実施	すいしん 推進

す
1-1 住まい

こうれいか じゅうどか ふ す こうちく
(2) 高齢化・重度化を踏まえた住まいの構築

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
こうれいか 高齢化・ じゅうどか 重度化 たいおう 対応バリ アフリー かいしゅうじぎょう 改修事業	りよう グループホームを利用す しょうがいしゃ こうれい る障害者が高齢になり、 ともな しんたいきのう それに伴う身体機能の ていかとう じゅうらい 低下等により、従来のホ ームのせつび せいかつ ームの設備で生活するこ とがこんなん ばあい とが困難となる場合で も、きよじゅう も、居住しているホーム であんしん せいかつ つづ で安心して生活し続ける ことがでるよう、バリ アフリー等改修に係る けいひ ほじよ 経費を補助します。	こうれいか じゅうどか 高齢化・重度化にとも なうしんたいきのう ていかとう なう身体機能の低下等 があつても、きよじゅう 居住して いるホームであんしん せいかつ つづ 生活し続けることがで きるよう、バリアフリ どうかいしゅう かかわ ひよう 一等改修に係る費用 (5か所分)を補助し ます。	しんせい 3ホームから申請があ り、よくしつ かいしゅう てすり り、浴室の改修、手摺や スロープをせっち 設置をしました。	△	じぎょうしゃ どうがいじぎょう 事業者が当該事業を りよう 利用しやすくなるよ う、りようあんないすう 利用案内数を ふ 増やすなど周知方法 をくふう 工夫します。	じっし 実施	じっし 実施

1-2 暮らし

(1) 地域での生活を支える仕組みの充実

事業名	事業内容	令和4年度取組予定	令和4年度実績	令和4年度 評価	令和5年度 取組予定	中間期 目標	目標
<p>地域支援 マネジャー による 障害福祉 サービス 事業所等 への支援 ⑧</p>	<p>発達障害者支援センターに「地域支援マネジャー」を配置し、障害福祉サービス事業所等に対し、行動障害・発達障害に係るコンサルテーションを実施します。</p>	<p>引き続き、「地域支援マネジャー」による、障害福祉サービス事業所等に対する、行動障害・発達障害に係るコンサルテーションを実施します。</p>	<p>「地域支援マネジャー」による、障害福祉サービス事業所等に対する、行動障害・発達障害に係るコンサルテーションを実施しました(889件)。</p>	○	<p>引き続き、「地域支援マネジャー」による、障害福祉サービス事業所等に対する、行動障害・発達障害に係るコンサルテーションを実施するとともに、事業所の支援力が向上するよう、働きかけを行います。</p>	すいしん 推進	すいしん 推進
<p>医療的ケア児・者等支援者養成 ⑨</p>	<p>受入体制の充実を図るため、所属する施設・事業所等において、医療的ケア児・者等の受入れを積極的に行えるよう、支援に必要な知識・技術の普及啓発を行う支援者を養成します。</p>	<p>令和4年5月から12月まで医療的ケア児・者等支援者養成研修を実施します。50人程度を養成予定です。</p>	<p>令和4年5月から12月まで医療的ケア児・者等支援者養成研修を実施し、48人の横浜型医療的ケア児・者等支援者を養成しました。</p>	○	<p>令和5年5月から12月まで医療的ケア児・者等支援者養成研修を実施します。60人程度を養成予定です。</p>	すいしん 推進	すいしん 推進

(2) 本人の力を引き出す支援の充実

事業名 じぎょうめい	事業内容 じぎょうないよう	令和4年度取組予定 れいわ ねんどとりにくみよてい	令和4年度実績 れいわ ねんどじっせき	令和4年度 評価 れいわ ねんど ひょうか	令和5年度 取組予定 れいわ ねんど とりにくみよてい	中間期 目標 ちゅうかんき もくひょう	目標 もくひょう
消費者 教育事業 しょうひしゃ きょういくじぎょう ㊦	障害者、家族及び 支援者が、商品・サ ービスの利用及び契約 に関するトラブル等を 学ぶことにより、安心 した日常生活を送れ るよう、意識啓発を図 ります。 しょうがいしゃ かぞくおよび しえんしゃ しょうひん しょうひん しょうひん りようおよび けいやく にかかると にかかると まな 学ぶことにより、 あんしん した日常生活を送れ るよう、 いしきけいはつ はか	啓発物の作成や配布な ども含め、引き続き 持続可能な方法を庁内 で検討します。 けいはつぶつ さくせい はいふ ふく ひ つづ じぞくかのう ほうほう ちょうない けんとう	事業の継続性や学校側の 負担も踏まえ、継続でき る形での意識啓発の 方法を庁内で検討しま した。 じぎょう けいぞくせい がっこうがわ ふたん ふ けいぞく けいぞく いしきけいはつ ほうほう ちょうない けんとう	△	引き続き事業の継続性や 学校側の負担も踏まえ、 継続できる形での意識 啓発の方法を庁内で検討 します。 じぎょう けいぞくせい がっこうがわ ふたん ふ けいぞく けいぞく いしき けいほつ ほうほう ちょうない けんとう	推進 すいしん	推進 すいしん

1-3 移動支援

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定</p>	<p>れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績</p>	<p>れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価</p>	<p>れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>いどうじょうほう 移動情報 センター 運営等 事業の 推進 ㊦</p>	<p>いどうしえん かん じょうほう 移動支援に関する情報 しゅうやく ひどろ を集約し、一人ひとり てきせつ じょうほう にあった適切な情報を ていきょう いどう 提供することや、移動 しえん ささ じんざい 支援を支える人材の はくくつ いくせい おこな いどう 発掘・育成を行う移動 じょうほう ぜんく 情報センターを全区に せっち しない ちいき 設置し、市内のどの地域 いどうしえん しく でも移動支援の仕組み こうかてき りよう を効果的に利用できる ようにします。</p>	<p>いどうじょうほう 移動情報センターの しゅうち すす 周知をさらに進め、 しよくいん そうだんたいおうりよく 職員の相談対応力・コ ーディネート能力の こうじょう ほか 向上を図るために、 しょうがいしやしえん 障害者支援センターを ちゅうしん く かつどうしえん 中心に18区の活動支援 すす を進めます。</p>	<p>いどうじょうほう 移動情報センター しよくいん そうだんたいおうりよく 職員の相談対応力・ のうりよく コーディネート能力の こうじょう ほか 向上を図るために、 ししやきょう こうかてき きかく 市社協と効果的な企画 じゅんぴ たんどうしゃけんしゅう を準備して担当者研修 を實施しました。移動 じょうほう うんえい 情報センター運営ガイ ドラインを改訂し、各区 すいしんかいぎ せつきよくてき 推進会議が積極的な かだいかいけつ む けんどう 課題解決に向けた検討 ば しえん の場となるように支援し ました。加えて、アプリケ ーションの導入により く じょうほうきょうゆう 18区の情報共有の すいしん ほか そうだんじぎょう 推進を図り相談事業の じゅうじつ つと 充実に努めました。 れいわ ねんどそうだんけんすう (令和4年度相談件数： けん 2,172件)</p>	<p>△</p>	<p>かくくいどうじょうほう 各区移動情報センタ ーでの相談者数の増に む しみん ちいき 向けて、市民や地域に む いどう かんれん 向けて移動に関連した そうだん てき 相談が出来ることを さら しゅうち 更に周知することで せんざい 潜在するニーズを ほ お しんきそうだん 掘り起こして新規相談 つな に繋がります。</p>	<p>そうだん 相談 けんすう 件数 3,300 けん 件</p>	<p>そうだん 相談 けんすう 件数 3,600 けん 件</p>

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	令和4年度取組予定 <small>れいわ ねんどとりにくみよてい</small>	令和4年度実績 <small>れいわ ねんどじっせき</small>	令和4年度 評価 <small>れいわ ねんど 4年度 ひょうか</small>	令和5年度 取組予定 <small>れいわ ねんど 5年度 とりにくみよてい</small>	中間期 目標 <small>ちゅうかんき もくひょう</small>	目標 <small>もくひょう</small>
難病患者 外出支援 サービス 事業 <small>なんびょう かんじゃ がいしゅつ しえん じぎょう</small>	一般の交通機関を利用した外出に困難を伴う、車いす等を利用する難病患者に福祉車両による送迎サービスを提供します。 <small>いっばん こうつうきかん りょう がいしゅつ こんなん ともな くるま どう りょう なんびょうかんじゃ ふくししゃりょう じぎょう</small>	一般の交通機関を利用して外出に困難を伴う、車いす等を利用する難病患者に福祉車両による送迎サービスを提供します。 <small>いっばん こうつうきかん りょう がいしゅつ こんなん ともな くるま どう りょう なんびょうかんじゃ ふくししゃりょう じぎょう</small>	一般の交通機関を利用した外出に困難を伴う、車いす等を利用する難病患者に福祉車両等による送迎サービスを提供しました。 (利用登録者数37人) <small>いっばん こうつうきかん りょう がいしゅつ こんなん ともな くるま どう りょう なんびょうかんじゃ ふくししゃりょう どう じぎょう</small>	△	引き続き、外出支援が必要な方にサービスの提供を行っています。 <small>ひ つづ がいしゅつしえん ひつよう かた ていきょう おこな</small>	推進 <small>すいしん</small>	推進 <small>すいしん</small>
重度障害者等への移動支援事業の拡充 ⑧ <small>じゅうど しょうがいしゃどう じぎょう</small>	公共交通機関での外出が困難な重度障害者等に対して、移動支援事業の拡充を図ります。 <small>こうきょうこうつうきかん がいしゅつ こんなん じゅうど しょうがいしゃどう たい いどう しえんじぎょう かくじゅう じぎょう</small>	重度障害者タクシー料金助成事業と障害者自動車燃料費助成事業を引き続き推進していきます。 <small>じゅうどしょうがいしゃ りょうきんじよせいじぎょう しょうがいしゃ じどうしゃねんりょうひじよせいじぎょう ひ つづ すいしん</small>	令和3年10月に対象者を拡大した重度障害者タクシー料金助成事業及び、新設した障害者自動車燃料費助成事業を推進しました。 【燃料券】10,724冊 <small>れいわ ねん がつ たいしょうしゃ かくだい じゅうど しょうがいしゃ りょうきん じよせいじぎょう およ じんせつ しょうがいしゃ じどうしゃねんりょう ひ じよせいじぎょう じぎょう</small>	○	重度障害者タクシー料金助成事業と障害者自動車燃料費助成事業を引き続き推進していきます。 <small>じゅうどしょうがいしゃ りょうきんじよせいじぎょう しょうがいしゃ じどうしゃ ねんりょうひ じよせい じぎょう ひ つづ すいしん</small>	推進 <small>すいしん</small>	推進 <small>すいしん</small>

1-4 まちづくり

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	令和4年度取組予定 <small>れいわ ねんどとりくみよてい</small>	令和4年度実績 <small>れいわ ねんどじっせき</small>	令和 4年度 評価 <small>れいわ ねんど ひょうか</small>	令和5年度 取組予定 <small>れいわ ねんど とりくみよてい</small>	中間期 目標 <small>ちゅうかんき もくひょう</small>	目標 <small>もくひょう</small>
横浜市 公共サイン ガイドラ インの運用 推進 <small>よこはまし こうきょう せいじん</small>	公的機関により設置される 歩行者用案内・誘導サイン の規格や表示内容等の統一 を図るためのガイドライン の運用を推進します。 また、公共サインの掲載 基準等について必要に応じ て見直しを検討し、より歩 行者に分かりやすいサイン 整備を進めていきます。 <small>こうてききかん せっち ほうこうしゃようあんない ゆうどう きかく ひょうじないようとう どういつ せいび</small>	ガイドラインの運用を 推進し、より歩行者にわ かりやすいサイン整備を 進めていきます。 <small>うんよう すいしん ほうこうしゃ</small>	ガイドラインの運用を 適切に行いました。 <small>うんよう てきせつ おこな</small>	△	ガイドラインの運用 を推進し、より歩行者 にわかりやすいサイ ン整備を誘導してい きます。 <small>うんよう すいしん ほうこうしゃ せいび ゆうどう</small>	推進 <small>すいしん</small>	推進 <small>すいしん</small>

2-1 健康・医療

(2) 医療環境の充実

事業名	事業内容	令和4年度取組予定	令和4年度実績	令和4年度 評価	令和5年度 取組予定	中間期 目標	もくひょう 目標
<p>なんびょうかんじゃ 難病患者 ざいたくりょうよう 在宅療養 けいかく 計画 さくてい 策定・ ひょうかじぎょう 評価事業</p>	<p>ざいたくなんびょうかんじゃ たい 在宅難病患者に対し、 ほけん いりょう ふくし かく 保健・医療・福祉の各 てきせつ ていきょう サービスを適切に提供 するため、関係者が かんけいしゃ 合同でサービス内容を ごうどう ないよう 検討します。</p>	<p>ざいたくなんびょうかんじゃ あんてい 在宅難病患者が安定し りょうようせいかつ おく た療養生活を送ること もくてき じぎょう を目的としたこの事業を かつよう ざいたくせいかつ ささ 活用し、在宅生活を支え かんけいしゃ ざいたくりょうよう る関係者と在宅療養 けいかく さくてい ひょうか と 計画の策定・評価に取り 組みます。</p>	<p>ざいたくなんびょうかんじゃ あんてい 在宅難病患者が安定した りょうようせいかつ おく 療養生活を送ることを もくてき ざいたくせいかつ 目的とし、在宅生活を ささ 支えるケアマネジャーの じんざいくせい なんびょう 人材育成のために、難病 かんじゃ ざいたくりょうようけいかく 患者の在宅療養計画 さくてい ひょうか じれいけんどう 策定・評価の事例検討を おこな 行いました。</p>	○	<p>ざいたくなんびょうかんじゃ あんてい 在宅難病患者が安定し りょうようせいかつ おく た療養生活を送ることを もくてき ほんじぎょう を目的とした本事業を かつよう ざいたくせいかつ ささ 活用し、在宅生活を ささ かんけいしゃ ざいたく 支える関係者と在宅 りょうようけいかく さくてい ひょうか 療養計画の策定・評価 と に取り組みます。</p>	すいしん 推進	すいしん 推進
<p>じゅうど 重度 しょうがいしゃどう 障害者等 にゅういん じ 入院時コ ミュニケ ーション しえん 支援 じぎょう 事業 (あ)</p>	<p>にゅういんざきいりょうきかん 入院先医療機関の いし かんごしどう 医師・看護師等との いし そつう じゅうぶん はか 意思疎通が十分に図れ しょうがいじ しゃ たいしやう ない障害児・者を対象 にゅういんざき に、入院先にコミュニ ケーション支援員を はけん 派遣します。</p>	<p>にゅういんざきいりょうきかん 入院先医療機関の いし かんごしどう いし 医師・看護師等との意思 そつう はか ひ 疎通が図れるよう、引き つづ 続きコミュニケーション しえんいん はけん 支援員を派遣します。</p>	<p>にゅういんざきいりょうきかん いし 入院先医療機関の医師・ かんごしどう いし そつう 看護師等との意思疎通が はか 図れるよう、コミュニケー ション支援員を派遣しま した。 はけんけんすう り 派遣件数：2人</p>	△	<p>にゅういんざきいりょうきかん 入院先医療機関の いし かんごしどう いし 医師・看護師等との意思 そつう はか 疎通が図れるよう、 ひ つづ 引き続きコミュニケーション しえんいん はけん ション支援員を派遣し ます。</p>	すいしん 推進	すいしん 推進

2-2 防災・減災

事業名	事業内容	令和4年度取組予定	令和4年度実績	令和4年度 評価	令和5年度 取組予定	中間期 目標	目標
<p>災害時等の自助力の向上に向けたツールの作成及び普及啓発 新</p>	<p>風水害を含めた災害時に備え、自助力の向上のためのツールの検討・作成と、本市ウェブサイト等を活用した普及・啓発を行います。</p>	<p>引き続き、マイ・タイムライン等の自助力向上ツールを、本市ウェブサイト等を活用して、市民に幅広く普及・啓発していきます。</p>	<p>障害の有無にかかわらず市民に幅広く普及・啓発ができるよう、避難行動計画「マイ・タイムライン」を「障害福祉のあんない」に掲載できるように関係課と調整しました。</p>	○	<p>引き続き、市民に幅広く普及・啓発ができるようマイ・タイムライン等の自助力向上ツールを本市ウェブサイト等において活用していきます。</p>	すいしん 推進	すいしん 推進
<p>災害時に おける 自助・ 共助の 情報 共有の 推進 新</p>	<p>横浜市障害者施策推進協議会や各団体の会議体にて、災害時に おける自助・共助について情報共有を行います。</p>	<p>横浜市障害者施策推進協議会にて随時情報共有を行います。</p>	<p>令和4年度障害者施策検討部会及び障害者施策推進協議会において、防災・減災に係る本市の取組状況を報告し、委員と意見交換を行いました。</p>	○	<p>横浜市障害者施策推進協議会にて随時情報共有を行います。</p>	じっし 実施	じっし 実施

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいふくし 障害福祉 サービス 事業所等 における サービス 提供等 継続支援 ⑧	しょうがいふくし 障害福祉サービス 事業所等に対して、 へいじょうじ から、かんせんしやう 平常時から、感染症 の流行に備え、衛生物 びんとう びちく じぎょうけいぞく 品等の備蓄、事業継続 けいかく さくてい ひつよう 計画の策定など必要な じゅんび ぶきゆう 準備について、普及 けいはつ おこな 啓発を行います。ま た、きんきゆうじ た、緊急時にはサービ ス提供等の継続に向け た支援を行います。	しょうがいふくし 障害福祉サービス 事業所等に対して、 かんせんしやう まんえんとう 感染症の蔓延等があっ ても事業継続ができるよ う事業継続計画の策定 しえん おこな 支援を行います。 また、きんきゆうじ サービス提供等の継続 に向けた支援を行い、 じぎょうしやない しんがた 事業所内で新型コロナウイルス の感染が疑われ る場合、じんそく たいおう 迅速に対応でき るよう抗原検査キットを じょうびよう はいふ 常備用に配付します。	しょうがいふくし 障害福祉サービス 事業所等に対して、さいがい 災害 やかんせんしやう まんえんとう 感染症の蔓延等があ っても事業が継続できる よう業務継続計画の策定 およ かつよう けんしゆう 及び活用について、研修 をかいさい を開催しました。 (ぜん かい 全6回) しんがた 新型コロナウイルスへの かんせんとう とき 感染等があった時にサー ビスをけいぞく ていきよう 継続して提供す るためのかかり増しけいひ 経費 のじよせい こうげんけんさ 助成や抗原検査キット のはいふ しない じぎょうしやとう 配付を市内事業所等に おこな 行いました。	○	しんがた 新型コロナウイルス かんせんしやう るいか S感染症の5類化 にともな れいわ ねん に伴い、令和5年 がつ にち 5月7日までに はっせい 発生したものに たい 対するかかり増し けいひ じよせい おこな 経費の助成を行い ます。 ぎようお けいぞく けいかく さくてい 業務継続計画策定 しえん 支援については、 こうせいろうどうしやう しりよう 厚生労働省の資料 とう かつよう こべつ 等を活用し、個別に たいおう 対応します。	けんとう 検討 ・ すいしん 推進	すいしん 推進

3-1 療育

(2) 切れ目のない支援体制の充実

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりにくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ ねんど 4年度 びょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりにくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
ペアレン トトレ ニング じっししゃ 実施者の ようせい 養成 ⑨	こ ほんにん しえん 子ども本人への支援と あ じゅうよう 合わせて重要である ほごしゃ しえん 保護者への支援とし て、おも しょうがいじつうしよ 主に障害児通所 しえん じぎょうしよとう 支援事業所等におい て、しょくいん たい 職員に対しペアレ ントトレーニング じっししゃようせいけんしゅう おこな 実施者養成研修を行 います。	がつ がつ じぎょうじよ 6月～7月に事業所 しょくいん たい けんしゅう かい 職員に対する研修を開 さい がつ がつ 催し、9月～2月に けんしゅう う しょくいん 研修を受けた職員によ り かく じぎょうしよ 各事業所において ほごしゃ 保護者にトレーニングを じっし 実施します。	ペアレントトレーニング を実施するファシリテー タの育成のための研修 を実施し、6か所の事業 所の職員に受講しても らいました。その後、各 事業所で保護者へのペア レントトレーニングを 実施しました。	△	れいわ ねんど と 令和4年度の取り 組み内容を踏まえ、 ペアレントトレ ニング実施者養成 の研修実施方法に ついて、より多くの 事業所に参加して いただける方法を 検討します。	すいしん 推進	すいしん 推進

3-2 教育きょういく

(2) 教育環境・教育活動の充実きょういくかんきょう きょういくかつどう じゅうじつ

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	令和4年度取組予定 <small>れいわ ねんどとりくみよてい</small>	令和4年度実績 <small>れいわ ねんどじっせき</small>	令和 4年度 評価 <small>れいわ ねんど ひょうか</small>	令和5年度 取組予定 <small>れいわ ねんど とりくみよてい</small>	中間期 目標 <small>ちゅうかんき もくひょう</small>	目標 <small>もくひょう</small>
<small>あいしーていー</small> ICTを <small>かつよう</small> 活用した <small>きょういくかんきょう</small> 教育環境の <small>じゅうじつ</small> 充実 新	<small>こ こ じどうせいと しょうがい</small> 個々の児童生徒の障害 <small>じょうきょう じゅうぶん ふ</small> の状況を十分に踏ま <small>がくしゅうじょう せいかつじょう</small> え、学习上、生活上 <small>さまざま こんなん たい</small> の様々な困難に対し、 <small>あいしーていー かつよう しどう</small> ICTを活用した指導 <small>しえん じゅうじつ</small> や支援を充実させると <small>きんきゅう じ</small> ともに、緊急時におけ <small>がくしゅう</small> るオンラインでの学習 <small>ほしょう どうが</small> 保障や動画コンテンツ <small>はいしん</small> 配信などについて、 <small>けんどう じっし</small> 検討、実施します。	<small>ひ つづ あいしーていー かん</small> 引き続き、ICTに関 <small>せんもん しえん</small> する専門スタッフ支援 <small>すす</small> を進めオンラインでの <small>がくしゅうどう すす</small> 学習等を進めます。	<small>かくこう あいしーていー かん</small> 各校へICTに関する <small>せんもん はいち</small> 専門スタッフを配置し、 <small>たんまつかんきょう せいび</small> 端末環境の整備や <small>じゅうぎょうしえんどう おこな</small> 授業支援等を行い <small>きょういん ふたん けいげん はか</small> 教員の負担の軽減を図 りました。そのうえで、 <small>かくとくべつしえんがっこう</small> 各特別支援学校におい <small>かくきょうか</small> て、各教科のオンライン <small>がくしゅう すす</small> 学習を進めました。	○	<small>ひ つづ あいしーていー</small> 引き続き、ICTに <small>かん せんもん</small> 関する専門スタッフ <small>しえん すす</small> 支援を進め、オンライ <small>がくしゅうどう すす</small> ンでの学習等を進め ます。	じっし 実施	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
じゅうどほうもんかいご 重度訪問介護 りようしゃ だいがく 利用者の大学 しゅうがくしえん 修学支援 じぎょう 事業 ⑧	じゅうどほうもんかいご りよう 重度訪問介護を利用す る重度障害者が大学で しゅうがく しえん 修学するための支援を じっし 実施します。	だいがくどう じゅうど 大学等において重度 しょうがいしゃ しゅうがく 障害者が修学するた めに必要な支援体制が こうちく しんがく 構築されるまで、進学 を希望する人が本制度 を利用し安心して修学 ができるよう、引き続 き円滑な事業運営を行 っていきます。	れいわ ねんど じぎょう 令和3年度から事業を かいし りようしゃすう つぎ 開始し、利用者数は次の とおりです。 <利用者数> れいわ ねんど にん 令和2年度：3人 れいわ ねんど にん 令和3年度：3人 れいわ ねんど にん 令和4年度：4人	○	だいがくどう じゅうど 大学等において重度 しょうがいしゃ しゅうがく 障害者が修学する ために必要な支援 体制が構築されるま で、進学を希望する人 が本制度を利用し安 心して修学ができる よう、引き続き円滑な 事業運営を行ってい きます。	すいしん 推進	すいしん 推進

4-1 就労

(1) 一般就労の促進と雇用後の定着支援の充実

事業名	事業内容	令和4年度取組予定	令和4年度実績	令和4年度 評価	令和5年度 取組予定	中間期 目標	目標
雇用施策 と福祉 施策の 連携によ る重度 障害者等 への就労 支援 (重度 障害者等 就労支援 とくべつ 特別 事業) 新	法定サービスでの 対象外となっている 重度障害者の経済 活動時間中の支援を 雇用施策と福祉施策が 連携して行う制度を 検討し、実施します。	引き続き、事業の実施に 向けた具体的な検討を 進めていきます。	「横浜市重度障害者等 就労支援特別事業」を 実施するための具体的な 検討を進め、令和5年度 事業実施に向けて、制度 構築を行いました。	○	引き続き制度構築のため の具体的な検討を進め、 「横浜市重度障害者等 就労支援特別事業」を 新規実施します。	検討 ・ 実施	検討 ・ 実施

(2) 幅広い仕事や工賃の向上による生活の充実

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	令和4年度取組予定 <small>れいわ ねんととりくみよてい</small>	令和4年度実績 <small>れいわ ねんどじっせき</small>	令和4年度 評価 <small>れいわ ねんど ひょうか</small>	令和5年度 取組予定 <small>れいわ ねんど とりくみよてい</small>	中間期 目標 <small>ちゅうかんき もくひょう</small>	目標 <small>もくひょう</small>
事業所の 受注スキルの 向上 <small>新</small> <small>じぎょうしょ じゅちゅう こうじょう</small>	発注者側のニーズに 応えられる商品の 開発や作業の 受注ができるよう、 研修会やモデル ケースとなる事例 の検討などを実施し、 事業所の受注スキルの 向上を図り、 多くの受注につなげ ます。 <small>はっちゅうしゃがわ こた しょうひん かいはつ さぎょう じゅちゅう けんしゅうかい じれい けんとう じっし じぎょうしょ じゅちゅう こうじょう ほか</small>	民間企業との連携に よる販売支援や研修 会の開催等を通じて、 事業所の受注スキルの 向上を図ります。 <small>みんかんきぎょう れんけい はんばいしえん けんしゅうかい かいさいとう つう じぎょうしょ じゅちゅう こうじょう ほか</small>	プール清掃等、モデル ケースとなる受注 事例の見学会を複数回 実施し、受注スキルの 向上及び受注の促進 を行いました。 <small>せいそうどう じゅちゅう じれい けんがくかい ふくすうかい じっし じゅちゅう こうじょう およ じゅちゅう そくしん おこな</small>	○	民間企業との連携に よる販売支援や 研修会の開催等 を通じて、事業所の 受注スキル向上を 図ります。 <small>みんかんきぎょう れんけい はんばいしえん けんしゅうかい かいさいとう つう じぎょうしょ じゅちゅう こうじょう ほか</small>	推進 <small>すいしん</small>	推進 <small>すいしん</small>

(3) 多様な働き方や障害者就労に対する理解促進

事業名 じぎょうめい 事業名	事業内容 じぎょうないよう 事業内容	令和4年度取組予定 れいわねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	令和4年度実績 れいわねんどじっせき 令和4年度実績	令和4年度 れいわねんど 4年度 ひょうか 評価	令和5年度 れいわねんど 5年度 とりくみよてい 取組予定	中間期 ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	目標 もくひょう 目標
障害者 しょうがいしゃ 就労に関する しゅうろうかん 就労に関する しゅうろうかん 市民啓発 しみんけいはつ 市民啓発	シンポジウムの開催等を通 かいさいとうつう シンポジウムの開催等を通 じ、様々な分野で働く さまさまぶんやはたら 様々な分野で働く 障害者や障害者雇用を進め しょうがいしゃしょうがいしゃこようすす 障害者や障害者雇用を進め ている企業の「生の声」を伝 きぎょうなまこえつた えている企業の「生の声」を伝 え、障害者就労に対する しょうがいしゃしゅうろうたい え、障害者就労に対する 理解・関心を高めます。 りかいかんしんたか 理解・関心を高めます。	従来 じゅうらい 従来 のシンポジウム を見直し、対象者ご みなおたいしょうしゃ を見直し、対象者ご とに開催方法やプログ かいさいほうほう とに開催方法やプログ ラムを検討すること けんとう ラムを検討すること で、より効果的に こうかてき で、より効果的に 障害者就労啓発を推 しょうがいしゃしゅうろうけいはつお 障害者就労啓発を推 し進めていきます。 すす し進めていきます。	星槎大学と連携し、初 せいざだいがくれんけいはじ 星槎大学と連携し、初 めて会場とYouTube かいじょうゆうちゅうぶ めて会場とYouTube 配信のハイブリット はいしん 配信のハイブリット 方式で開催しました。 ほうしきかいさい 方式で開催しました。 会場参加：77名 かいじょうさんかめい 会場参加：77名 YouTube再生回数：336 ゆーちゅうぶさいせいかいすう YouTube再生回数：336 回 かい 回 また、昨年度に さくねんど また、昨年度に ひつづしょうがいしゃ 引き続き、障害者 しゅうろうけいはつてん 就労啓発パネル展「と はたらしやくしよ もに働く」を市役所に て開催しました。(2回 かいさい て開催しました。(2回 開催) かいさい 開催)	○	シンポジウムや てんとう シンポジウムや パネル展等のイ べんと開催実績 かいさいじっせき ベント開催実績 を踏まえ、 ふ を踏まえ、 対象者ごとにプ たいしょうしゃ 対象者ごとにプ ログラムを検討 けんとう ログラムを検討 するなど、より こうかてき 効果的なもの になるよう、 しょうがいしゃしゅうろう 障害者就労に かん 関する市民啓発 しみんけいはつ 関する市民啓発 に取り組みます。 とく に取り組みます。	推進 すいしん 推進	推進 すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりにくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりにくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
ふれあいシ ョップ等を 活用した 障害者 就労に關す る理解促進 ⑨	あら かいぎょう かんないえき 新たに開業するJR関内駅 きたぐちこうかした しゅうろうけいはつしせつ 北口高架下の就労啓発施設 およ しちょうしゃない 及び市庁舎内のふれあいショ ップをはじめ、既存のふれあ いショップ等の運営を通じ て、就労に関する理解の そくしん はか 促進を図ります。	ちいき ねざ てんぼ 地域に根差した店舗と なるよう、情報共有 てんぼかん など店舗間のネットワ ーク形成等を目的とし たふれあいショップ てんちようかいとう かいさい 店長会等を開催しま す。開催についてはオ ンラインを含め、検討 をおこな を行います。また、 ひ つづ かくしせつとう 引き続き各施設等への ヒアリングも行いま す。	かくてんぼ うんえいじょうきよう 各店舗の運営状況を はあく 把握するとともにすべ ての店舗に対して、ヒ アリングを実施し、 しょうがいしゃしゅうろう かん 障害者就労に関する りかいそくしんおよ 理解促進及び、ネット ワーク形成等の手法 けんとう を、検討しました。	○	ちいき ねざ 地域に根差した てんぼ 店舗となるよう、 しえんきかん や 支援機関 や じぎょうしょ だいがくとう 事業所、大学等の ちいきしげん との 地域資源との れんけい じえい 連携により、J あーる かんないえき きたぐち R 関内駅 北口 こうかした しゅうろう 高架下の就労 けいはつしせつ 啓発施設やふれ あいショップか ら、しょうがいしゃしゅうろう 障害者就労 けいはつ かが じょうほう 啓発に係る情報 はっしん おこな 発信を行ってい きます。	すいしん 推進	すいしん 推進

4-3 スポーツ・文化芸術

(2) 文化芸術活動の推進

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	令和4年度取組予定 <small>れいわ ねんどとりくみよてい</small>	令和4年度実績 <small>れいわ ねんどじっせき</small>	令和4年度 評価 <small>れいわ ねんど ひょうか</small>	令和5年度 取組予定 <small>れいわ ねんど とりくみよてい</small>	中間期 目標 <small>ちゅうかんき もくひょう</small>	目標 <small>もくひょう</small>
障害者の文化芸術鑑賞の支援 新 <small>しょうがいしゃ ぶん かげいじゆつ かんしょう しえん</small>	様々な団体等と連携し、障害の特性に応じた鑑賞の機会の充実、円滑な施設利用のための環境整備、活動を支援する人材の育成等に取り組みます。 <small>さまざま だんたいとう れんけい しょうがい とくせい おう じゅうじつ えんかつ しせつ りよう かんきよう せいび かつどう ささ じんざい いくせいとう と く</small>	横浜能楽堂において「バリアフリー能」を実施します。 <small>よこはまのうがくどう のう じっし</small>	令和5年3月21日に「バリアフリー能」を実施しました。公演については、動画で字幕・音声ガイドありで配信しました。 <small>れいわ ねん がつ にち のう じっし こうえん どうが じまく おんせい はいしん</small>	○	横浜能楽堂において「バリアフリー能」関連企画である「おうちで楽しむ能楽堂」を実施します。 <small>よこはまのうがくどう かんれんきかく たの のうがくどう じっし</small>	推進 <small>すいしん</small>	推進 <small>すいしん</small>

<p>文化芸術 による 地域共生 社会実現 に向けた 取組の 推進 新</p>	<p>関係機関との連携を深め、文化芸術体験や公演・展示等鑑賞の文化芸術活動を通して、障害のあるなしにかかわらず誰もが互いに対等な立場で関わり合うことを進める活動を促進します。</p>	<p>・市民ギャラリーあざみの野での「フェローアートギャラリー」を推進します。 ・引き続き「ヨコハマ・パラトリエンナーレ」のレガシーを継承するため、学校等でのプログラムの実践や福祉施設を対象としたモニター調査などを行います。 ・横浜音祭り2022において、市内特別支援学校等を対象にワークショップ等を実施します。</p>	<p>・市民ギャラリーあざみの野で、4月～6月、9月～11月、2月～3月の全3回「フェローアートギャラリー」を実施しました。 ・「ヨコハマ・パラトリエンナーレ」のレガシーを継承する学校ワークショップの実践や、福祉施設等を対象としたモニター調査等に協力しました。 ・横浜音祭り2022において、指1本でメロディを弾くと自動で伴奏が追従する「だれでもピアノ®」を活用し、横浜市役所アトリウムでの演奏会・体験会を実施したほか、肢体不自由特別支援学校への出張体験会を実施しました。</p>	<p>○</p>	<p>・市民ギャラリーあざみの野での「フェローアートギャラリー」を推進します。 ・「ヨコハマ・パラトリエンナーレ」のレガシーを継承する学校ワークショップの実践や、福祉施設等を対象としたモニター調査等に協力します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
---	---	--	--	----------	--	--------------------	--------------------

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
かしょう (仮称) どくしょ 読書バリ アフリー ほう もと 法に基づ よこはまし く横浜市 けいかく 計画の さくてい 策定、 すいしん 推進 新	どくしょ ほう 読書バリアフリー法に もと ちほうこうきょう 基づく、地方公共 だんたい けいかく さくてい 団体の計画として策定 し、計画に基づく取組 すいしん を推進します。	しゃかいきょういくいいんかいぎ 「社会教育委員会議」 ひ つづ かいさい きょうぎ を引き続き開催し、協議 けっか と の結果を取りまとめた ていげん ほんし ていしゅつ 提言を本市に提出して いただきます。	れいわ ねん がつ しゃかい 令和5年2月に社会 きょういくいいんかいぎていげん しかく 教育委員会議提言『視覚 しょうがいしゃとう どくしょかんきょう 障害者等の読書環境の せいび すいしん かん ほうりつ 整備の推進に関する法律 どくしょ ほう (読書バリアフリー法)』 もと とりくみ ほうこうせい に基づく取組の方向性に ついて」が取りまとめら れました。	○	しゃかい きょういく いいん かいぎ 社会教育委員会議 ていげん もと とりくみ 提言に基づき、取組を すいしん 推進します。	さくてい 策定 ・ すいしん 推進	すいしん 推進

だい き よこはまししょうがいしゃ とりくみじょうきょう
第4期横浜市障害者プランの取組状況について

ひょうか せつめい
【評価の説明】

○：想定した目標を達成し、想定したとおりの効果が得られた。

△：一定程度の効果は得られた。

×：想定した目標は達成できず、効果も得られなかった。

はんれい
【凡例】

あ：将来にわたるあんしん施策 ㊦：障害福祉計画として定めるサービス等の「見込み」の量

㊧：障害児福祉計画として定めるサービス等の「見込み」の量

㊨：第4期障害者プランから初めて障害者プランに記載する事業

さまざまな せいかつ ばめん ささ
 様々な生活の場面を支えるもの

I 普及啓発

(1) 互いの存在に気づき、身近に感じる仕組みづくり

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
ちいき 「地域 共生 社会」の 実現に向 けた取組 等の推進	ちいき かつ 地域のあらゆる方が、 「支え手」と「受け手」 に分かれるのではなく、 ちいき く い 地域、暮らし、生きがい をともに創り、高め合う ことができる「地域 共生社会」の実現に向 けた「障害者週間」な どの取組を実施・推進し ていきます。	ひ つづ しょうがいしゃしゅうかん 引き続き障害者週間 における市庁舎アトリ ウムでのイベント実施 などを ちいき せい に行い、共生 社会の実現に向けた とりくみ おこな 取組を行います。	しょうがいしゃしゅうかん 障害者週間において、 しちょうしゃ どう 市庁舎アトリウム等で イベントを実施し、さま ざまな機関と連携しな がら、広く市民に対して しょうがいりかい ふきゅう けいはつ 障害理解の普及・啓発 を行いました。	○	ひ つづ しょうがいしゃしゅうかん 引き続き障害者週間 における市庁舎アトリ ウムでのイベント実施 などを ちいき せい に行い、共生社 会の実現に向けた取組 を行います。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりにくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりにくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
かくく 各区の ふきゅう 普及・ けいはつかつどう 啓発活動 そくしん の促進	かくく じゅうみん たい 各区の住民に対して、 しっぺい しょうがいどう たい 疾病や障害等に対する りかい ふか 理解を深めるための けんしゅう けいはつかつどう しえん 研修や啓発活動の支援 おこな を行います。	ひ つづ しょうがいしゃしゅうかん 引き続き障害者週間 ちゅうしん けいはつぷびん を中心に、啓発物品 やパンフレット、動画 さくせい の作成、フォーラムや じっし イベント実施などを おこな ふきゅう けいはつ 行い、普及・啓発 かつどう そくしん 活動を促進します。	しょうがいしゃしゅうかん ちゅうしん 障害者週間を中心 かくく しょうがいりかい に、各区で障害理解を もくてき どうがせいさく 目的とした動画制作や けいはつぷびん チラシ・啓発物品の さくせい はいふ じっし 作成・配布などを実施 しょうがいりかい ふきゅう し、障害理解の普及・ けいはつ おこな 啓発を行いました。	○	ひ つづ しょうがいしゃしゅうかん 引き続き障害者週間 ちゅうしん けいはつぷびん を中心に、啓発物品 やパンフレット、動画 さくせい の作成、フォーラムや じっし イベント実施などを おこな かくく 行い、各区における ふきゅう けいはつかつどう そくしん 普及・啓発活動を促進 します。	すいしん 推進	すいしん 推進

(2) 障害に対する理解促進

事業名	事業内容	令和4年度取組予定	令和4年度実績	令和4年度 評価	令和5年度 取組予定	中間期 目標	目標
<p>当事者や障害福祉関連施設、市民団体等による普及・啓発活動への支援</p>	<p>セイフティーネットプロジェクト横浜（S-net横浜）や障害福祉関連施設、市民団体等による障害理解のための研修や講演、地域活動を支援・協働するなど、様々な普及・啓発を推進します。</p>	<p>引き続き各事業の支援を行い、セイフティーネットプロジェクト横浜（S-net横浜）等の障害理解に係る普及・啓発活動を通じた障害理解の推進に取り組みます。</p>	<p>セイフティーネットプロジェクト横浜（S-net横浜）等の障害理解に係る普及・啓発活動（コミュニケーションボード等の普及啓発、研修会、地域防災拠点での当事者による講演等）を通じ、障害理解の推進に取り組みました。</p>	<p>○</p>	<p>セイフティーネットプロジェクト横浜（S-net横浜）と連携し、災害用コミュニケーションボードを、各地域防災防止拠点に加え、同ボードを活用した研修会や地域防災拠点での当事者による講演等について周知を図ることで、障害理解の必要性を身近な課題として地域に捉えてもらえるようにします（指標：上記研修会等の開催数）</p>	<p>推進</p>	<p>推進</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいしゃほん 障害者本 にんおよ か 人及び家 ぞく 族による ふきゅう 普及・ けいはつかつどう 啓発活動 のすいしん 推進	しゃかいさんかすいしん 社会参加推進センター ちゅうしん が中心となり、 しょうがいしゃほんにん かぞくおよ 障害者本人、家族及 かくだんたい れんけい び各団体と連携・ きょうどう しょうがいりかい 協働し、障害理解の そくしん お ふきゅう 促進に向けた普及・ けいはつかつどう すいしん 啓発活動を推進しま す。	しゃかいさんかすいしん 社会参加推進センター とう きょうどう 等と協働して、リーフ レットのはいふ こうざ 配布や講座の じっし ふきゅう けいはつ 実施など、普及・啓発 とりくみ けいぞく の取組を継続します。	しゃかいさんかすいしん とう 社会参加推進センター等 きょうどう けいはつどうが と協働して、啓発動画の さくせい こうざ じっし 作成や講座の実施など、 ふきゅう けいはつ とりくみ けいぞく 普及・啓発の取組を継続 じっし して実施しました。	○	しゃかいさんかすいしん 社会参加推進センター とう きょうどう 等と協働して、リー フレットのはいふ こうざ 配布や講座 のじっし ふきゅう 実施など、普及・ けいはつ とりくみ けいぞく 啓発の取組を継続しま す。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しっぺい 疾病や しょうがい かん 障害に関 する情報 の発信	ホームページなどの ばいたい かつよう しっぺい 媒体を活用して、疾病 しょうがい かん じょうほう や障害に関する情報 しえん かが かつどう や支援に関する活動を しょうかい しみん 紹介し、市民や とうじしゃ かんけいしゃ りかい 当事者・関係者の理解 そくしん つと 促進に努めます。	ホームページや「障 ふくし 害福祉のあんない」など ばいたい かつよう の媒体を活用して、 しっぺい しょうがい かん 疾病や障害に関する じょうほう しえん かが 情報や支援に関する かつどう しょうかい 活動を紹介します。ま た、新たにアプリによ るじょうほうはっしん おこな る情報発信を行いま す。	ホームページの随時更新 ずいじこうしん や「障害福祉のあんな しょうがいふくし い」の活字版を38,000部 かつじばん ぶ 発行したことに加え、 はっこう かつわ 点字版、デイジー版を てんじばん ばん 作成しました。更に さくせい さら アプリ版を開発し、疾病 しっぺい しょうがい かん や障害に関する情報や しょうがい かん じょうほう 支援に関する活動を しえん かが かつどう 紹介しました。 しょうかい	○	ホームページや「障 しょうがい 害福祉のあんない」など ふくし の媒体を活用して、 ばいたい かつよう 疾病や障害に関する しっぺい しょうがい かん 情報や支援に関する じょうほう しえん かが 活動を紹介します。ま かつどう しょうかい た、点字版、デイジー版 てんじばん ばん は希望者に配布できる きぼうしゃ はいふ ようにします。さらに、 れいわ ねんど うんよう 令和4年度から運用を かいし ひろ 開始したアプリを広く しゅうち さら じょうほう 周知し、更なる情報 はっしん とく 発信に取り組みます。	すいしん 推進	すいしん 推進

(3) 学齢期への重点的な普及・啓発

事業名	事業内容	令和4年度取組予定	令和4年度実績	令和4年度 評価	令和5年度 取組予定	中間期 目標	もくひょう 目標
<p>学齢期 児童及び 保護者へ の障害 理解啓発</p>	<p>学齢期児童と保護者が、障害児・者と交流したり、障害について理解を深めたりする機会の確保に努めます。</p>	<p>引き続き、学齢期児童と保護者が、障害児・者と交流したり、障害について理解を深めたりする機会（講座の実施等）の確保に努めます。</p>	<p>・区自立支援協議会等で、学齢期の児童・生徒や教員に向けた、障害について理解を深めるための講座等を実施しました。また、18区の取組状況を共有する機会を設けることで、各区の取組の促進を図りました。 ・市内の障害当事者団体等と連携し、教育関係者等を対象とした、障害理解を深めるための講座を実施しました。市内の小中学校にて、児童・生徒に向けた福祉教育の取組を実施しました。 ・市立学校において、教員を対象に、学習上・生活上の困難さに応じた</p>	○	<p>引き続き、学齢期児童と保護者が、障害児・者と交流したり、障害について理解を深めたりする機会（講座の実施等）の確保に努めます。</p>	<p>推進</p>	<p>推進</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
			しどう かん こうないけんしゅう 指導に関する校内研修を じっし 実施しました。				
ふくがくせき 副学籍に よる交流 教育及び 共同 学習	とくべつしえんがっこう ざいせき 特別支援学校に在籍 する児童生徒が、 居住地の小・ 中学校の児童生徒 と一緒に学ぶ機会 の拡大を図るなど、 共同学習を進めま す。	とくべつしえんがっこう かよ 特別支援学校に通う 児童生徒と、地域の 学校に通う子どもたち との交流及び共同 学習をより一層推進 します。	とくべつしえんがっこう ざいせき しどう 特別支援学校に在籍する児童 生徒が、居住地の小・中・ 義務教育学校での授業や 校外活動において、一緒に 学ぶ機会を設けました。コロ ナ禍においても交流の場を もてるよう、遠隔コミュニケ ーションロボット「オリヒ メ」等のICT機器を活用 しました。	○	とくべつしえんがっこう かよ 特別支援学校に通う 児童生徒と、地域の 学校に通う子どもたち との交流及び共同 学習をより一層推進 します。	すいしん 推進	すいしん 推進

2 じんざいかくほ いくせい
人材確保・育成

(1) しょうがいふくしじゅうじしゃ かくほ いくせい
障害福祉従事者の確保と育成

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとろくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 4 ねんど 年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とろくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいふくし 障害福祉 じんざい 人材の かくほ 確保 ㊦	しょうがいふくし しごと 障害福祉の仕事の みりよく はっしん 魅力を発信し、 きゅうじん こよう しえん 求人や雇用の支援 をおこなうことで社会 ふくしじんざい かくほ 福祉人材の確保につ なげていきます。	しないだいがく きょうそう 市内大学や共創フロン かつよう せんもんがっこう トを活用した専門学校と れんけい わかもの の連携により、若者をタ ーゲットに障害福祉の みりよく はっしん 魅力を発信します。 また、人材確保セミナー じんざいかくほ やおしごとフェア等を じっし きゅうじん さいよう 実施し、求人・採用 しえん おこな 支援を行います。	せんもんがっこう れんけい 専門学校との連携により しょうがいふくし しょうかい 障害福祉の紹介アニメー ションを作成し、イベント とう ほうえい 等で放映しました。 また人材確保セミナーや しごと とう じっし お仕事フェア等を実施し、 きゅうじん さいよう かくほ しえん 求人・採用に係る支援を おこな 行いました。	△	しないだいがく せんもんがっこうとう 市内大学や専門学校等と れんけい わかもの の連携により、若者をタ ーゲットに障害福祉の みりよく はっしん 魅力を発信します。 ひ つづ じんざいかくほ 引き続き、人材確保セミ ナーやお仕事フェア等を じっし きゅうじん さいよう 実施し、求人・採用に かくほ しえん おこな 係る支援を行います。 また、関係団体との けんとうかい じっし げんば 検討会を実施し、現場の いけん き 意見を聞きながらさらな しょうがいふくし みりよくはっしん る障害福祉の魅力発信 をおこな じんざい かくほ を行い、人材の確保に つなげていきます。	すいしん 推進	すいしん 推進

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	令和4年度取組予定 <small>れいわ ねんどとりくみよてい</small>	令和4年度実績 <small>れいわ ねんどじっせき</small>	令和4年度評価 <small>れいわ ねんど 4 ねんど 年度 ひょうか 評価</small>	令和5年度取組予定 <small>れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定</small>	中間期目標 <small>ちゅうかんき もくひょう 目標</small>	目標 <small>もくひょう 目標</small>
<small>しょうがいとくせい</small> 障害特性 <small>おう</small> に応じた <small>しえん</small> 支援のた <small>けんしゅう</small> めの研修	<small>はったつしょうがい こうどう</small> 発達障害や行動 <small>しょうがい ゆう かた</small> 障害を有する方、 <small>いりようてき ひつよう</small> 医療的ケアが必要な <small>かたどう たい せんもんてき</small> 方等に対し、専門的 <small>しえん おこな</small> な支援を行うこと <small>じんざい いくせい</small> のできる人材を育成 <small>けんしゅう</small> するための研修を <small>じっし</small> 実施します。	<small>ひ つづ しょうがいふくし</small> ・引き続き、障害福祉 <small>じぎょうしょどう しょくいん たいしょう</small> 事業所等の職員を対象 <small>こうどうしょうがい かかわ</small> とした、行動障害に係 <small>しえんりよくこうじょう はか</small> る支援力向上を図るた <small>けんしゅう しなはいほうじん</small> めの研修を、市内法人 <small>きょうどう じっし</small> の協働により実施しま す。 <small>ふくし いりよう きょういく</small> ・福祉・医療・教育な <small>たぶんや しょくいん かた</small> ど多分野の職員の方を <small>たいしょう いりようてき</small> 対象として、医療的ケ <small>じ しゃどう しえん おこな</small> ア児・者等の支援を行 <small>うえ ひつよう ないよう まな</small> う上で必要な内容を学 <small>よこはまがたいりようてき</small> ぶ、「横浜型医療的ケア <small>じ しゃどうしえんしゃようせい</small> 児・者等支援者養成 <small>けんしゅう およ よこはまがた</small> 研修」及び「横浜型 <small>いりようてき じ しゃどう</small> 医療的ケア児・者等 <small>しえんしゃ</small> 支援者フォローアップ <small>けんしゅう じっし</small> 研修」を実施します。	<small>しょうがいふくしじぎょうしょどう</small> ・ 障害福祉事業所等 の <small>しょくいん たいしょう こうどう</small> 職員を対象とした、行動 <small>しょうがい かか しえんりよくこうじょう</small> 障害に係る支援力向上を <small>はか けんしゅう けい かい</small> 図るための研修を計4回 <small>じっし</small> 実施しました。 <small>れいわ ねん がつ がつ</small> ・ 令和4年5月から12月ま <small>よこはまがたいりようてき じ しゃ</small> で「横浜型医療的ケア児・者 <small>どうしえんしゃようせいけんしゅう じっし</small> 等支援者養成研修」を実施 <small>にん しえんしゃ ようせい</small> し、48人の支援者を養成し ました。	○	<small>ひ つづ しょうがいふくし</small> ・引き続き、障害福祉 <small>じぎょうしょどう しょくいん たいしょう</small> 事業所等の職員を対象 <small>こうどうしょうがい</small> とした、行動障害に <small>かか しえんりよくこうじょう はか</small> 係る支援力向上を図る <small>けんしゅう しなはい</small> ための研修を、市内 <small>ほうじん きょうどう じっし</small> 法人の協働により実施 します。 <small>ふくし いりよう きょういく</small> ・福祉・医療・教育な <small>たぶんや しょくいん かた</small> ど多分野の職員の方を <small>たいしょう いりようてき</small> 対象として、医療的 <small>じ しゃどう しえん</small> ケア児・者等の支援を <small>おこな うえ ひつよう ないよう まな</small> 行う上で必要な内容を学 <small>よこはまがたいりようてき</small> ぶ、「横浜型医療的 <small>じ しゃどうしえんしゃようせい</small> ケア児・者等支援者養成 <small>けんしゅう およ よこはまがた</small> 研修」及び「横浜型 <small>いりようてき じ しゃどう</small> 医療的ケア児・者等 <small>しえんしゃ</small> 支援者フォローアップ <small>けんしゅう じっし</small> 研修」を実施し、 <small>しえんしゃ ようせい</small> 支援者を養成します。	<small>すいしん</small> 推進	<small>すいしん</small> 推進

事業名	事業内容	令和4年度取組予定	令和4年度実績	令和4年度評価	令和5年度取組予定	中間期目標	目標
<p>相談支援 従事者の 人材育成</p>	<p>市域と区域での人材育成に関する取組を整理し、相互に連動させた効果的・効率的な人材育成体系を整備します。</p>	<p>地域の自立支援協議会等を活用し、相談支援従事者の人材育成と研修体系における連動性を高めます。</p>	<p>地域の自立支援協議会等を活用する機会を設けることで、相談支援従事者の人材育成と研修体系における連動性の向上に取り組みました。</p>	○	<p>地域の自立支援協議会等を活用し、相談支援従事者の人材育成と研修体系における連動性を定着させます。</p>	すいしん 推進	すいしん 推進
<p>障害福祉施設職員等への支援 ②</p>	<p>障害者のQOLの向上を目指して、障害特性やライフステージに応じた障害の重度化の緩和、生活習慣病の予防等の普及啓発を図るため、障害福祉施設における衛生管理、栄養管理に関する研修、連絡会等を実施します。</p>	<p>障害福祉施設の職員を対象とした衛生管理、栄養管理に関連する研修、連絡会等を実施します。</p>	<p>障害福祉施設の職員を対象とした食品衛生講習会（eラーニング）や摂食嚥下研修（動画配信）を実施しました。</p>	○	<p>障害福祉施設に勤務する栄養士、調理担当者、管理者等を対象とした衛生管理研修を実施します。</p>	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 4 ねんど 年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいふくし 障害福祉 施設等で 働く看護 師の支援 (あ)	しょうがいふくししせつどう 障害福祉施設等で はたら かんごし ていちゃく 働く看護師の定着 む しえん おこな に向けた支援を行 うとともに、人材 かくほ ほうさく じんざい 確保の方策について けんどう 検討します。	しょうがいふくししせつどう はたら 障害福祉施設等で働く かんごし ぎのうこうじょうおよ 看護師の技能向上及び しゅうろうていちゃく もくてき 就労定着を目的に、 い しどう かくしせつ ほうもんどう 医師等が各施設に訪問等 して行う個別の助言や けんしゅう かくしせつ かんごし 研修、各施設の看護師 たいしょう ごうどうけんしゅう を対象とした合同研修 どう じっし 等を実施します。	い し かくしせつ ほうもん 医師が各施設を訪問し、 こべつ じょげん けんしゅう おこな 個別の助言や研修を行 いました。また、 かくしせつ 各施設の かんごし しえんいん たいしょう 看護師・支援員を対象に、 い し かんごし こうし 医師・看護師を講師とした ごうどうけんしゅう じっし 合同研修を実施しました。	○	ひ つづ しょうがいふくし 引き続き、障害福祉 しせつどう はたら かんごし 施設等で働く看護師の ぎのうこうじょうおよ しゅうろう 技能向上及び就労 ていちゃく もくてき い しどう 定着を目的に、医師等 かくしせつ ほうもんどう が各施設に訪問等して おこな こべつ じょげん 行う個別の助言や けんしゅう かくしせつ かんごし 研修、各施設の看護師 たいしょう ごうどうけんしゅう を対象とした合同研修 どう じっし 等を実施します。	すいしん 推進	すいしん 推進

事業名 <small>じぎょうめい</small> 事業名	事業内容 <small>じぎょうないよう</small> 事業内容	令和4年度取組予定 <small>れいわ ねんどとりくみよてい</small> 令和4年度取組予定	令和4年度実績 <small>れいわ ねんどじっせき</small> 令和4年度実績	令和4年度評価 <small>れいわ ねんど</small> 4年度評価	令和5年度取組予定 <small>れいわ ねんど</small> 令和5年度取組予定	中間期目標 <small>ちゅうかんき</small> 中間期目標	目標 <small>もくひょう</small> 目標
<small>しゅうろうしえん</small> 就労支援 <small>せんたー</small> センター <small>しよくいん</small> 職員の <small>じんざいいくせい</small> 人材育成	<small>たよう たいおう</small> 多様なニーズに対応 <small>しゅうろう</small> できるよう、就労 <small>しえん こうじょう</small> 支援スキルを向上 <small>けんしゅう</small> させるため、研修 <small>じっし じんざい</small> の実施など、人材 <small>いくせい すず</small> 育成を進めます。	<small>かく かん しえんいん</small> 各センター間で支援員の <small>じんじこうりゅう おこな しえん</small> 人事交流を行い、支援 <small>しゅほうどう きょうゆう</small> 手法等を共有します。 <small>れいわ ねんど さくせい</small> また、令和3年度に作成 <small>じんざいいくせい</small> した人材育成シートの <small>かつようおよ</small> 活用及び、センター <small>しよくいん たいしやう</small> 職員を対象とした <small>けんしゅう しえん</small> 研修への支援により、 <small>じんざいいくせい すず</small> 人材育成を進めます。	<small>かく しえんいん じんじ</small> 各センターの支援員の人事 <small>こうりゅう しえんしゅほうどう</small> 交流による支援手法等の <small>きょうゆうおよ じんざいいくせい</small> 共有及び人材育成シート <small>かつよう</small> の活用により、サービスの <small>ひょうじゆんか ほか しえんりよく</small> 標準化を図り、支援力 <small>こうじょう すず</small> 向上を進めました。 <small>しよくいん</small> また、センター職員を <small>たいしやう こじんじやうほう</small> 対象として個人情報 <small>ほ ご ろうどうほう けんしゅう</small> 保護、労働法の研修や <small>じれいべんきやうかい かいさい</small> 事例勉強会を開催するこ <small>じんざいいくせい すず</small> とで、人材育成を進めまし た。	○	<small>かく しえんいん</small> 各センターが支援員の <small>じんじこうりゅう おこな しえん</small> 人事交流を行い、支援 <small>しゅほうどう きょうゆう</small> 手法等を共有すること <small>しえん</small> を支援します。 <small>しよくいん</small> また、センター職員を <small>たいしやう けんしゅう かいさい</small> 対象とした研修を開催 <small>じんざい</small> することにより、人材 <small>いくせい すず</small> 育成を進めます。	<small>すいしん</small> 推進	<small>すいしん</small> 推進

事業名	事業内容	令和4年度取組予定	令和4年度実績	令和4年度評価	令和5年度取組予定	中間期目標	目標
<p>就労促進を目的とした事業所職員向け研修</p>	<p>障害者雇用を行っている企業での「就業体験」の研修を通じて、事業所職員の就労支援スキルの向上、就労に向けた意識付けにつなげます。</p>	<p>市内就労支援事業所職員や企業、事業所利用者等を対象に、企業等での実習や見学を通じて、企業で障害のある社員が担当する仕事内容、求められる職業能力及び企業の育成方法等を学ぶ機会をもう設けます。</p>	<p>関係機関へのヒアリング等を実施し、より効果的な事業となるよう、事業実施手法の見直しを行いました。 令和5年度からは見直し後の新たな事業スキームで実施します。</p>	○	<p>企業等での職業体験・けんがくつう見学を通じて、市内就労支援事業所職員・利用者等が、一般就労に向けた働き方を考えるきっかけづくりやモチベーションを想起できる機会を設けます。</p>	すいしん推進	すいしん推進
<p>医療従事者研修 ⑥</p>	<p>病気や障害のある小児及び重症心身障害児・者の支援に必要な知識・技術の向上を図り、障害特性を理解した医療従事者を育成するための研修を実施します。</p>	<p>障害特性等を理解した医療従事者を育成するために、引き続き「小児訪問看護・重症心身障害児者研修」を実施します。</p>	<p>令和4年8月から11月にかけて、医療機関や福祉施設等に勤務する看護師を対象に「小児訪問看護・重症心身障害児者研修」を実施しました。 ＜市内研修修了者数＞ 令和4年度：29人</p>	○	<p>障害特性等を理解した医療従事者を育成するために、引き続き「小児訪問看護・重症心身障害児者研修」を実施します。</p>	すいしん推進	すいしん推進

事業名	事業内容	令和4年度取組予定	令和4年度実績	令和4年度評価	令和5年度取組予定	中間期目標	目標
ガイドヘルパー等研修受講料助成 ㉞	ガイドヘルパー等の資格取得のための研修受講料の一部を助成し、人材確保を図ります。	引き続き受講料助成事業の周知を今後も図ることで、助成人数の増加と人材確保を推進していきます。	助成人数：106人 総助成額：2,095,000円 【内訳：全身性ガイドヘルパー15件、知的ガイドヘルパー27件、同行援護（一般課程）46件、行動援護20件】	○	引き続き受講料助成事業の周知を図ることで、助成人数の増加と人材確保を推進していきます。	すいしん推進	すいしん推進
ガイドヘルパースキルアップ研修 ㉞	より質の高いサービスが提供できるよう、移動支援事業の従業者を対象に研修を実施します。	令和2年度から新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止をしていた集合形式での研修を再開し、従業者のスキルアップを図っていきます。	3年ぶりに集合形式にて、サービス提供責任者及び従業者向けに研修を実施しました。 【研修受講者数：113人】	○	サービス提供責任者及び従業者の質を更に高めるため、研修テーマを選定し、受講者の増加を目指します。	すいしん推進	すいしん推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 4 ねんど 年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しゃかいさんか 社会参加 すいしん 推進セン ターによ る団体 かつどうしえん 活動支援 きのう 機能の じゅうじつ 充実	しょうがいしゃほんにん かつどう 障害者本人の活動 をささ じんざい いくせい を支える人材の育成 すす を進めるとともに、 おな しょうがい ひと 同じ障害がある人 たちのこうりゅう 交流やコミ ュニケーションの きかい かくじゅう 機会を拡充し、 かくだんたいかつどう そくしん 各団体活動を促進す とりくみ すいしん る取組を推進しま す。	ひ つづ しょうがいしゃ 引き続き、障害者の じりつ しゃかいさんかどう そくしん 自立や社会参加等を促進 するたけの当事者による じぎょう じっし 事業を実施していきま す。	しょうがいしゃ じりつ しゃかいさんか 障害者の自立や社会参加 等をそくしん とうじしゃ を促進するたけの当事者 によるじぎょう じっし 事業を実施しまし た。	○	ひ つづ しょうがいしゃ じりつ 引き続き、障害者の自立 しゃかいさんかどう そくしん や社会参加等を促進する たけの当事者によるじぎょう 事業を実施していきま す。	すいしん 推進	すいしん 推進

(2) 業務効率化に向けたロボット・AI・ICT等の導入の検討

事業名 じぎょうめい 事業名	事業内容 じぎょうないよう 事業内容	令和4年度取組予定 れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	令和4年度実績 れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	令和4年度 れいわ ねんど 4年度 ひょうか 評価	令和5年度 れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	中間期 ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	目標 もくひょう 目標
業務効率化に向けたロボット・AI・ICT等の導入の検討 (新)	煩雑な事務作業などの業務効率化や介護業務の負担軽減などを進めるため、ロボット・AI・ICTなどの導入の検討を進めます。	関係団体と意見交換を行い、引き続き今後の施策の方向性を検討します。	関係機関と意見交換を行い、現状の課題について整理や今後の施策の方向性の検討を行いました。 また、ロボット・AI・ICTに関する研修の情報を関係団体へ紹介しました。	○	関係団体や企業等との意見交換を行い、現状把握や課題整理等を行いました。 たうえで今後の支援策を検討します。	検討 ・ 実施	推進

3 けんりようご
権利擁護

(1) ぎゃくたいぼうし とりくみ しんどう
虐待防止の取組の浸透

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいしゃ 障害者 ぎゃくたいぼうし 虐待防止 じぎょう 事業 (普及・ けいはつ 啓発)	しみんむ 市民向けのリーフレッ ト作成等により広報を 行います。また、 虐待や不適切支援をな くしていくため、障害 福祉サービスの事業者 等を対象とした研修 を実施します。	しみんむ 市民向けには、ホームペ ージ等での広報を行 うとともに、施設従事者に も、出前講座などの方法 で啓発を行います。引 き続き、施設の管理者向 けの研修を行います。	しみんむ 市民向けには、ホームペ ージ等での広報を行 いました。区自立支援協 議会の要請を受け、事 業者等向けに出前講座 を実施しました【3区計 4回】。障害福祉施設サ ービスの管理者およびサ ービス管理責任者を 対象とした研修を、年 2回実施しました。 【研修参加者合計149 名、うち事業所での伝達 研修実施者120名、伝達 研修受講者計932名】	○	しみんむ 市民向けには、ホ ームページ等での 広報を行うととも に、区や区自立 支援協議会主催の 障害者虐待防止 研修をとおして、 施設従事者に、 啓発を行います。 施設の管理者やサ ービス管理責任者 向けの研修を行 います。区域単位 で、地域の事業者 向け研修に取り組 みます。	すいしん 推進	すいしん 推進

(2) 成年後見制度の利用促進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 4 ねんど 年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
よこはま し 横浜市 しみん 市民 こうけんじん 後見人 ようせい 養成・ かつどうしえん 活動支援 じぎょう 事業	ちいき けんりようご 地域における権利擁護 しみんざんかく すす を市民参画で進めるた め、よこはま成年後見 せいねんこうけん 推進センターが全区で しみんこうけんじん 市民後見人の養成を じっし くやくしょ し 実施し、区役所、市・ くしゃかいふくしきょうぎかい 区社会福祉協議会、 せんもんしよくだんたいとう れんけい 専門職団体等が連携し かつどうしえん たいせい た活動支援の体制を こうちく 構築します。	だい き しみんこうけんじんようせい 第6期市民後見人養成 こうざ じっし 講座を実施します。ま かつどうしえん た、活動支援として しみんこうけんじん どうろく 市民後見人バンク登録 しゃむ けんしゅう じっし 者向けの研修を実施し ます。	だい き しみんこうけんじんようせい 第6期市民後見人養成 こうざ じっし あら 講座を実施し、新たに めい しみんこうけんじん 24名が市民後見人バン どうろく クに登録しました。ま かつどうしえん た、活動支援として しみんこうけんじん どうろく 市民後見人バンク登録 しゃむ けんしゅう おこな 者向けの研修を 行い ました。	○	しみんこうけんじん かつどう ふく 市民後見人の活動を含む せいねんこうけんせいど ふきゅうけいはつ 成年後見制度の普及啓発の ためのシンポジウムを開催 します。また、活動支援と かつどうしえん して市民後見人バンク しみんこうけんじん どうろくしゃむ けんしゅう じっし 登録者向けの研修を実施 します。	すいしん 推進	すいしん 推進

事業名	事業内容	令和4年度取組予定	令和4年度実績	令和 4 年度 評価	令和5年度 取組予定	中間期 目標	目標
法人後見 支援事業	よこはま成年後見推進センターが、これまでの法人後見受任実績を踏まえて、市内の社会福祉法人等への法人後見実施に向けた支援を行います。	障害者施設等の職員や管理者を対象とした関係者向け研修、家族向けの出前講座等、実施します。また、連携強化や情報共有を目的とした法人後見連絡会の実施や法人後見の立ち上げ時の支援等を行います。	障害者施設等の管理者や職員を対象に、法人後見の活用も含めた成年後見制度利用促進研修の動画配信、依頼に応じた出前講座を実施しました。また、法人後見連絡会を実施し、団体の情報共有等を行いました。	○	障害者施設の職員を対象とした研修や家族向けの出前講座等を開催します。また、連携強化や情報共有を目的とした法人後見連絡会の実施や法人後見の立ち上げ時の支援等を行います。	すすん 推進	すすん 推進

事業名 <small>じぎょうめい</small> 事業名	事業内容 <small>じぎょうないよう</small> 事業内容	令和4年度取組予定 <small>れいわねんどとりくみよてい</small> 令和4年度取組予定	令和4年度実績 <small>れいわねんどじっせき</small> 令和4年度実績	令和4年度評価 <small>れいわねんど</small> 令和4年度 <small>ひょうか</small> 評価	令和5年度取組予定 <small>れいわねんど</small> 令和5年度 <small>とりくみよてい</small> 取組予定	中間期目標 <small>ちゅうかんき</small> 中間期 <small>もくひょう</small> 目標	目標 <small>もくひょう</small> 目標
<small>せいねんこうけんせいど</small> 成年後見 <small>せいど</small> 制度の <small>ふきゅうけいはつ</small> 普及啓発	<small>せいねんこうけんせいど</small> 成年後見制度がより <small>りよう</small> 利用しやすいものとな <small>かんけいきかん</small> るよう、関係機関と <small>ちょうせい</small> <small>どうじしやおよ</small> 調整して当事者及び <small>かぞく</small> <small>しえんだんたいどう</small> 家族、支援団体等への <small>せつめいかい</small> <small>じっし</small> 説明会などを実施しま す。	<small>かくく</small> <small>きかんそうだんしえん</small> 各区の基幹相談支援セ <small>こうけんてきしえんしつ</small> ンターや後見的支援室 <small>どう</small> <small>かんけいきかん</small> <small>とお</small> 等の関係機関を通し、 <small>どうじしゃ</small> <small>かぞくどう</small> <small>む</small> 当事者・家族等に向け <small>せいねんこうけんせいど</small> た成年後見制度の <small>せつめいかいどう</small> <small>じっし</small> 説明会等を実施すると <small>かんけいきかん</small> ともに、関係機関を <small>たいしょう</small> <small>れんらくかいどう</small> 対象とした連絡会等に <small>くいき</small> <small>とりくみ</small> おいて、区域の取組 <small>じょうきょうどう</small> <small>きょうゆう</small> 状況等について共有 <small>じく</small> <small>とりくみ</small> <small>い</small> し、自区の取組に生か <small>いけんこうかんと</small> すための意見交換等の <small>きかい</small> <small>もう</small> 機会を設けます。	<small>かくく</small> <small>きかんそうだんしえん</small> 各区の基幹相談支援セ <small>こうけんてきしえんしつ</small> ンターや後見的支援室 <small>どう</small> <small>かんけいきかん</small> <small>とお</small> 等の関係機関を通し、 <small>せいねんこうけんせいど</small> <small>がくしゅうかい</small> 成年後見制度の学習会 <small>おや</small> <small>じゅんび</small> や親あるうちの準備を <small>かなが</small> <small>れんぞくこうざどう</small> 考える連続講座等を <small>ふくすうく</small> <small>かいさい</small> <small>ちいき</small> 複数区で開催し、地域に <small>けんりようご</small> <small>ふきゅう</small> おける権利擁護の普及 <small>けいはつ</small> <small>つと</small> 啓発に努めました。	○	<small>ひ</small> <small>つづ</small> <small>せいねんこうけんせいど</small> 引き続き、成年後見制度の <small>がくしゅうかい</small> <small>おや</small> 学習会や親あるうちの <small>じゅんび</small> <small>かなが</small> <small>れんぞくこうざどう</small> 準備を考える連続講座等を <small>かいさい</small> <small>ちいき</small> <small>けんり</small> 開催し、地域における権利 <small>ようご</small> <small>ふきゅうけいはつ</small> <small>つと</small> 擁護の普及啓発に努めま す。また、区成年後見サポ <small>く</small> <small>せいねんこうけん</small> ートネットに参画し、区域 <small>さんかく</small> <small>くいき</small> の相談機関のスキルアップ <small>そうだんきかん</small> や権利擁護における地域 <small>けんりようご</small> <small>ちいき</small> や権利擁護における地域 <small>れんけい</small> <small>しく</small> <small>と</small> 連携の仕組みづくりに取り <small>く</small> 組みます。	<small>すいしん</small> 推進	<small>すいしん</small> 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 4 ねんど 年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
けんりようご 権利擁護 じぎょう 事業	けんり まも そうだん 権利を守るための相談 けいやく もと きんせん や契約に基づく金銭 かんり 管理サービスなどの にちじょうせいかつ しえん く 日常生活の支援を、区 あんしんセンターが、 けいやく もと じっし 契約に基づいて実施し ます。	ひ つづ しみん 引き続き、市民や しえんしゃ せいど しゅうち 支援者に制度の周知・ けいはつどう おこな ひつよう 啓発等を行い、必要な ひと そうき けんりようご 人が早期に権利擁護 じぎょう りよう 事業を利用できるよう たいせい きょうか に体制を強化します。 また、必要なひと スムーズに法定後見への いこう きょうか かんけい 移行を強化し、関係 きかん れんけい 機関と連携しながら しえん おこな 支援を行います。	しみん しえんしゃ せいど 市民や支援者に制度の しゅうち けいはつ おこな 周知・啓発を行うため、 こうしゅうかいどう じっし 講習会等を実施しまし た。成年後見制度が必要 ひと てきせつ いこう な人には適切に移行で きるよう かんけいきかん 関係機関と れんけい しえん おこな 連携して支援を行いま した。	○	しみん しえんしゃ せいど 市民や支援者に制度の しゅうち けいはつどう おこな ひつよう 周知・啓発等を行い、必要 ひと そうき けんりようごじぎょう な人が早期に権利擁護事業 りよう と く を利用できるよう取り組み ます。 また、せいねんこうけんせいど ひつよう 成年後見制度が必要 ひと てきせつ いこう な人には適切に移行でき よう、かんけいきかん れんけい よう、関係機関と連携して と く 取り組みます。	すいしん 推進	すいしん 推進

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
せいねんこうけんせいどくちょうもうした けんすう 成年後見制度区長申立て件数(福)	けん 30件 じっせき けん 実績29件	けん 30件 じっせき けん 実績18件	けん 30件
せいねんこうけんにんとうほうしゅうじょせいけんすう 成年後見人等報酬助成件数(福)	けん 210件 じっせき けん 実績237件	けん 240件 じっせき けん 実績284件	けん 270件

(3) 障害者差別解消法に基づく取組

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しみんとう 市民等へ の普及・ 啓発	しょうがい りゆう さべつ 障害を理由とする差別 かいしょう あ の解消に当たっては、 しみんとう かたがた かんしん 市民等の方々に関心と りかい ふか 理解を深めていただく ことが何よりも大切で あることから、しみんとう に向けた広報及び啓発 かつどう こうかてき じっし 活動を効果的に実施し ます。	こうほう じんけん 広報よこはまに人権 とくしゅうごう き じけいさい 特集号への記事掲載に しゅうち けいはつ おこな よる周知・啓発を行う とともに、市のホーム ページや交通広告を りよう けいはつどうが 利用した啓発動画の けいさい おこな 掲載を行います。	へいせい ねん ぼしゅう 平成28年に募集した しょうがいしゃさべつ かん 障害者差別に関する じれい だれ かんたん 事例を誰でも簡単に しら 調べることができる けんさく 検索サイトをホームペ ージで運用していま す。 また、差別解消のため けいはつどうが しえい の啓発動画を市営バ ス・地下鉄車内や駅の デジタルサイネージに けいしゅつ し 掲出し、市のホームペ ージに掲載しました。	○	こうほう じんけん 広報よこはまに人権 とくしゅうごう き じけいさい 特集号への記事掲載に しゅうち けいはつ おこな よる周知・啓発を行うと ともに、市のホームペー ジや交通広告を利用した けいはつどうが けいさい おこな 啓発動画の掲載を行いま す。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
そうだんたいせい 相談体制 とう しゅうち 等の周知	しょうがいしゃさべつ かん 障害者差別に関する そうだん ふんそう ぼうしとう 相談、紛争の防止等の たいせい しゅうち ための体制を周知しま す。また、そうだんおよ び ふんそう ぼうしとう ちいき 紛争の防止等を地域に すいしん おいて推進するための ちいききょうぎかい かいさい 地域協議会を開催しま す。	そうだん なか さべつ ピア相談の中で差別の そうだん ばあい 相談があった場合に とうじしゃ きも よ 当事者の気持ちに寄り そ たいおうまどぐち ちょうせい 添い、対応窓口や調整 いいんかいとうしょうかい しゅうち 委員会等紹介、周知・ けいはつとう おこな とうじしゃ 啓発等を行う当事者サ ポート事業を横浜市 身体障害者団体連合会 いたく じっし に委託して実施してい ます。また、がいしゃ 障害者 さべつかいしょうしえんちいききょう 差別解消支援地域協 ぎかい そうだんじれい 議会にて相談事例の きょうゆう はか 共有を図るとともに、 そうだんたいおう かん けんとう 相談対応に関する検討 とう おこな 等を行います。	とうじしゃ じぎょう 当事者サポート事業を よこはまし しんたいしょうがいしゃだんたい 横浜市身体障害者団体 れんごうかい いたく 連合会に委託して、ピア そうだん じっし しょうがいしゃ 相談を実施し、障害者 さべつかいしょうほう かん 差別解消法に関するパ ンフレットの作成・ はいふ こうつうじぎょうしゃとうむ 配布、交通事業者等向 けにしょうがいとうじしゃ 障害当事者との いけんこうかん ば ふく 意見交換の場を含めた しょうがいしゃ さべつかいしょうほう 障害者差別解消法に かん てまえこうざ じっし 関する出前講座を実施 しました。また、しょうがいしゃ 障害者 さべつかいしょう しえん ちいききょう 差別解消支援地域協 ぎかい そうだんじれい 議会にて相談事例の きょうゆう はか 共有を図るとともに、 そうだんたいおう かん けんとう 相談対応に関する検討 とう おこな 等を行いました。	○	そうだん なか さべつ ピア相談の中で差別の そうだん ばあい 相談があった場合に とうじしゃ きも 当事者の気持ちに よ たいおうまどぐち 寄り添い、対応窓口や ちょうせいいいんかいとうしょうかい 調整委員会等紹介、 しゅうち けいはつとう おこな 周知・啓発等を行う とうじしゃ じぎょう 当事者サポート事業を よこはまし しんたいしょうがいしゃだんたい 横浜市身体障害者団体 れんごうかい いたく じっし 連合会に委託して実施し ます。また、しょうがいしゃさべつ 差別 かいしょうしえんちいききょうぎかい 解消支援地域協議会 の かくぶんや いいん 各分野の委員をととし しょうがいとうじしゃそうだんたいせい て、障害当事者相談体制 とう しゅうち はか 等の周知を図ります。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
し しょくいん 市職員 たいおう 対応 ようりょう 要領の しゅうち 周知	ほんししょくいん てきせつ たいおう 本市職員が適切な対応 をおこな を行って行くための ししん さくてい し 指針として策定した市 しょくいんたいおうようりょう しゅうち 職員対応要領を周知 さべつてきとりあつか し、差別的取扱いとな う じれい ごうりてき り得る事例や、合理的な はいりょ こうじれいとう しんとう 配慮の好事例等の浸透 はか を図ります。	ぜんししょくいん たいしやう 全職員を対象とした いー けんしゅう eラーニング研修や、 かくくきょく じっし けんしゅう 各区局が実施する研修 とう てまえこうざ じっし 等への出前講座を実施 ぜんくきょく するほか、全区局の だいひょう あつ かいぎ 代表が集まる会議にて とりくみじょうきょうとう しゅうち 取組状況等を周知し ます。	ぜんししょくいん たいしやう 全職員を対象とした いー じっし eラーニングを実施し ぜんくきょく だいひょう ました。全区局の代表 あつ かいぎ てまえ とりくみ が集まる会議にて、取組 じょうきょうとう しゅうち 状況等を周知すると かだい けんとう ともに課題を検討しま した。	○	しょうがいしゃさべつかいしょうかいせいほう 障害者差別解消改正法 しこう む いー 施行に向け、eラーニン ないよう みなお じっし グの内容を見直し、実施 します。また、各区局が おこな かいそうべつけんしゅう いどう 行う階層別研修、異動 とう ともな けんしゅう じんけん 等に伴う研修、人権 けんしゅうとう てまえ 研修等において出前 こうざ じっし 講座を実施するほか、 ぜんくきょく だいひょう あつ 全区局の代表が集まる かいぎ ほんし とりくみ 会議にて本市の取組 じょうきょうとう しゅうち 状況等を周知します。	すいしん 推進	すいしん 推進

(4) 情報保障の取組

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定</p>	<p>れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績</p>	<p>れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価</p>	<p>れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>じょうほうはっしん 情報発信 時の ごうりてき 合理的 はいりよ 配慮の ていきょう 提供</p>	<p>ぎょうせい じょうほう はっしん じ 行政情報発信時 の しかくしょうがいしゃ 視覚障害者、 ちやうかくしょうがいしやおよ 聴覚障害者及び ちてきしょうがいしゃどう たい 知的障害者等に対 して、ひとりひとりの しょうがいとくせい おう 障害特性に応じた ごうりてきはいいよ おこな 合理的配慮を 行い ます。</p>	<p>しかくしょうがい ひと きぼう 視覚障害のある人で希望 する方に対して、本市か かた たい ほんし ら発行する通知の通知名 はっこう つうち つうちめい ら発行する通知の通知名 どう てんじか つうち 等を点字化した通知を はっそう しく うんよう 発送する仕組みを運用し ます。また、聴覚障害 ちやうかくしょうがい のある人への情報保障と して、タブレット端末を かつよう しゅわつうやく 活用した手話通訳サービ スの情報提供します。 おんせいつうやく しょう 音声通訳アプリを使用し た情報保障については、 あら とう けんしょう 新たなアプリ等の検証を おこな ぎょうせい はっこう 行います。行政が発行 する広報物について、 ちてきしょうがい ひと 知的障害のある人にもわ かりやすい版を作成する とともに、作成のための きほんてき けんしゅう おこな 基本的な研修を行いま</p>	<p>しかくしょうがい ひと 視覚障害のある人への じょうほうほしやう とりくみ 情報保障の取組として、 きぼう ひと たい ほんし 希望する人に対して本市 から発出する通知を、 はっしゅつ つうち 点字化して発送する 仕組みを運用しました (登録121名)。 また、聴覚障害のある ひと じょうほうほしやう とりくみ 人への情報保障の取組と して、タブレット端末を かつよう しゅわつうやく 活用した手話通訳サービ スの情報提供を運用し ています。 おんせいつうやく 音声通訳アプリについ て、かくしゅかいぎ しょうがいしゃ 各種会議や障害者 しゅうかん じっしやう 週間イベントで実証 じっけん みんかん きやうどう 実験を民間と共同で おこな かいほつぶもん 行い、開発部門にフィー ドバックし機能の改善を</p>	<p>○</p>	<p>しかくしょうがい ひと きぼう 視覚障害のある方で希望 する方に対して、本市か かた たい ほんし ら発行する通知の通知名 はっこう つうち つうちめい ら発行する通知の通知名 どう てんじか つうち 等を点字化した通知を はっそう しく うんよう 発送する仕組みの運用を けいぞく 継続します。 また、聴覚障害のある ひと じょうほうほしやう 人への情報保障として、 タブレット端末を活用し た手話通訳サービスの じょうほうていきやう おこな 情報提供を行います。 ちやうない おんせいつうやく 市内で音声通訳アプリ たんまつ ちやうない かだし 端末の市内への貸出を じっし ぎょうせい はっこう 実施します。行政が発行 する広報物について、 ちてきしょうがい ひと 知的障害のある人にもわ かりやすい版の作成 および、作成のための およ ざくせい 基本的な職員向け研修に</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
		す。	はか 図りました。 ぎょうせい はっこう こうほうぶつ 行政が発行する広報物に ちてきしょうがい ついて、知的障害のある ひと 人にもわかりやすい版を さくせい けん し 作成しました（5件）。市 しょくいんむ ちてきしょうがいしゃ 職員向けの知的障害者 とう わか しりょう 等にも分かりやすい資料 さくせいけんしゅうどうが さくせい 作成研修動画を作成し、 いー じっし eラーニングを実施しま した。		と く 取り組みます。 ちょうないかくぶしょ じょうほうほしょう 庁内各部署の情報保障 とりくみ しえん の取組を支援するため、 じょうほうほしょうじょうほうほしょう 情報保障情報保障ガイ ドラインを作成します。		
だいひつ 代筆・ だいどく 代読サー ビス ⑧	しかくとう しょうがい 視覚等に障害のあ ひと にちじょうせいかつ る人が日常生活の なか だいひつ 中で代筆または だいどく ひつよう 代読が必要なとき しえんしゃ に支援者によるサ ービス提供を行 います。	うんよう てきせつ おこな サービス運用を適切に行 うとともに、将来的な だいどく だいひつ 代読・代筆サービスの ていきょうほうほうとう ひ つづ 提供方法等を引き続き けんとう 検討していきます。	だいひつ だいどく か じ えんじよ 代筆・代読のみの家事援助 しきゅうけっていじょうきょう はあく の支給決定状況を把握 するなど、サービス運用が てきせつ おこな 適切に行われているか かくにん 確認しました。	○	うんよう てきせつ サービス運用を適切に おこな 行うとともに、将来的な だいひつ だいどく 代筆・代読サービスの ていきょうほうほうとう けいぞくてき 提供方法等を継続的に けんとう 検討していきます。	けんとう 検討 ・ じっし 実施	すいしん 推進

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
しゅわつうやくしゃ はけん 手話通訳者の派遣 (派遣人数) 福	11,000人 実績9,630人	11,000人 実績10,376人	11,000人
ようやくひっきしゃ はけん 要約筆記者の派遣 (派遣人数) 福	1,900人 実績934人	1,900人 実績1,024人	1,900人
しゅわほうしんようせいけんしゅうじぎょう 手話奉仕員養成研修事業 (養成人数) 福	172人 実績102人	172人 実績138人	172人
しゅわつうやくしゃ ひっきしゃようせいけんしゅうじぎょう 手話通訳者・筆記者養成研修事業 (養成人数) 福	90人 実績46人	90人 実績60人	90人
もう しゃむ つうやく かいじょいんようせいけんしゅう 盲ろう者向け通訳・介助員養成研修 事業 (養成人数) 福	30人 実績17人	30人 実績20人	30人

4 そうだんしえん
相談支援

事業名	事業内容	令和4年度取組予定	令和4年度実績	令和 4年度 評価	令和5年度 取組予定	中間期 目標	목표
<p>しょうがいしゃ 障害者 そうだんしえん 相談支援 じぎょう 事業の しゅうちおよ 周知及び ふきゅうけいはつ 普及啓発</p>	<p>くふくしほけん 区福祉保健センター、 きかんそうだんしえん 基幹相談支援センター、 せいしんしょうがいしゃせいかつしえん 精神障害者生活支援セ ンターの3機関を中心 に地域生活支援拠点の 機能を充足させなが ら、相談支援事業の 周知、啓発を図ります。</p>	<p>ひつづちいきかんけいきかん 引き続き地域の関係機関 とうれんけいそくしんとりくみ 等の連携を促進する取組 なかほんし の中で、本市の相談支援 たいせいかんしゅうちけいはつ 体制に関する周知・啓発 すす を進めます。</p>	<p>ちいきかんけいきかんとうれんけい 地域の関係機関等の連携 そくしんとりくみなか を促進する取組の中で、 きそんかんけいしゃ 既存の関係者だけではな あらしょうがいふくし く、新たに障害福祉に たざさかたたいしょう 携わる方を対象とした けんしゅうかいとう 研修会等においても、 ほんし 本市の相談支援体制に かんしゅうちおこな 関する周知を行いました。 た。</p>	<p>○</p>	<p>ひつづちいきかんけい 引き続き、地域の関係 きかんとうれんけいそくしん 機関等の連携を促進す とりくみなかほんし る取組の中で、本市の そうだんしえんたいせいかん 相談支援体制に関する しゅうちけいはつすす 周知・啓発を進めます。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>そうだんしえん 相談支援 じゅうじしゃ 従事者の じんざいいくせい 人材育成 さいけい 【再掲】</p>	<p>しいきくいきじんざい 市域と区域での人材 いくせい 育成に関する取組を せいり 整理し、相互に連動させ こうかてきこうりつてきじんざい た効果的・効率的な人材 いくせいたいけいせいび 育成体系を整備します。</p>	<p>くいきじりつしえんきょうぎかいとう 区域の自立支援協議会等 かつよう を活用し、相談支援 じゅうじしゃじんざいいくせい 従事者の人材育成と けんしゅうたいけい 研修体系における れんどうせい 連動性を高めます。</p>	<p>くいきじりつしえんきょうぎかいなど 区域の自立支援協議会等 かつよう を活用する機会を設ける こと、相談支援従事者 そうだんしえんじゅうじしゃ の人材育成と研修体系 じんざいいくせいけんしゅうたいけい における連動性の向上 れんどうせいこうじょう に取り組みました。</p>	<p>○</p>	<p>くいきじりつしえんきょうぎかい 区域の自立支援協議会 とうかつよう 等を活用し、相談支援 じゅうじしゃじんざいいくせい 従事者の人材育成と けんしゅうたいけい 研修体系における れんどうせい 連動性を定着させま す。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

事業名	事業内容	令和4年度取組予定	令和4年度実績	令和4年度評価	令和5年度取組予定	中間期目標	もくひょう目標
<p>市自立支援協議会と区自立支援協議会の連携・連動</p>	<p>市自立支援協議会、ブロック連絡会、区自立支援協議会を連携・連動させ、地域づくりに効果的に取り組める体制を整備します。</p>	<p>引き続き地域づくりの推進に向け、市自立支援協議会、ブロック連絡会、区自立支援協議会を効果的に連動させ、運用します。</p>	<p>令和3年度に見直しを行った情報共有の仕組みを活用し、区域の取組を市域全体で共有したほか、市協議会にて研修動画を作成し、各区協議会への配信を実施するなど、市域と区域が連動した取組を実施しました。</p>	○	<p>市自立支援協議会、ブロック連絡会、区自立支援協議会の連動制を高め、効果的に地域づくりに取り組める体制を整備します。</p>	<p>推進</p>	<p>推進</p>
<p>当事者による相談の充実</p>	<p>社会参加推進センターに設置するピア相談センターでの当事者相談の周知を図り、当事者による相談支援を推進します。</p>	<p>引き続き、ピア相談センターの取組の周知を強化し、当事者相談の活用につなげていきます。また、ピア相談員研修を実施し、ピア相談員のスキルアップを図ります。</p>	<p>ピア相談センターの取組の周知を強化し、当事者相談の活用につなげました。また、ピア相談員研修を実施し、ピア相談員のスキルアップを図りました。</p>	○	<p>引き続き、ピア相談センターの取組の周知を強化し、当事者相談の活用につなげていきます。また、ピア相談員研修を実施し、ピア相談員のスキルアップを図ります。</p>	<p>推進</p>	<p>推進</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
<p>きそん 既存の そうだんまどぐち 相談窓口 (ちいき 地域ケア プラザ等) による れんけい 連携</p>	<p>ひごろ かか なか 日頃の関わりの中で、 なにげ かいわ ふく 何気ない会話に含まれ ている相談を身近な そうだんしゃ 相談者としてとらえ、 ひつよう おう いちじおよ 必要に応じて、一次及び にじそうだんしえんきかん 二次相談支援機関につ なげます。</p>	<p>みぢか そうだんしゃ 身近な相談者として、 ひごろ かか なか 日頃の関わりの中で、 なにげ かいわ ふく 何気ない会話に含まれて いる相談に気づき、必要 そうだん き ひつよう に応じて適した相談支援 おう てき そうだんしえん 機関につなげます。</p>	<p>ちいき どう 地域ケアプラザ等におい て、日頃の関わりの中 ひごろ かか なか で、日頃の関わりの中 はあく そうだん みぢか 把握した相談を身近な そうだんしゃ うと 相談者として受け止め、 ひつよう おう てき そうだん 必要に応じて適した相談 しえんきかん 支援機関につなげまし た。</p>	<p>○</p>	<p>ひ つづ みぢか そうだんしゃ 引き続き、身近な相談者 として、日頃の関わりの中 ひごろ かか で、何気ない会話に なか なにげ かいわ 含まれている相談に気 ふく そうだん き づき、必要に応じて適し ひつよう おう てき た相談支援機関につな そうだんしえんきかん げます。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>なんびょうかんじゃ 難病患者 とう ひつ 等への必 よう じょうほう 要な情報 ていきょう 提供</p>	<p>なんびょうかんじゃとう たい 難病患者等に対して ひつよう じょうほうていきょう おこな 必要な情報提供を行 うこと等により、難病 かんじゃなど しょうがいふくし 患者等の障害福祉サー ビス等の活用が促され けんとう るよう検討します。</p>	<p>く こうえんかい こうりゅうかい 各区での講演会・交流会 かいさい つき かい の開催や、月2回のメー ルマガジンの配信、ホー ムページへの掲載等を通 じょうほうていきょう おこな じて情報提供を行 います。</p>	<p>かくく こうえんかい こうりゅうかい 各区での講演会・交流会 かいさい つき かい の開催や、月2回のメー ルマガジンの配信、 よこはまし 横浜市ホームページへの けいさいとう つう なんびょう 掲載等を通じて難病 かんじゃとう じょうほうていきょう 患者等への情報提供を おこな 行いました。</p>	<p>○</p>	<p>く こうえんかい こうりゅうかい 各区での講演会・交流会 かいさい つき かい の開催や、月2回のメー ルマガジンの配信、ホー ムページへの掲載等を つう じょうほうていきょう ひ 通じた情報提供を引 つづ おこな き続き行います。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
はったつしょうがい 発達障害 しゃしえん 者支援セ ンター運 営事業	はったつしょうがいしゃしえん 発達障害者支援センタ ーと、地域の支援機関と の連携の仕組みを整理 し、相談支援体制の強化 を図ります。	ひ つづ はったつしょうがい 引き続き、「発達障害 地域連携プログラム」を 実施し、発達障害者 支援センターと地域の 支援機関との連携を促進 します。また、「発達 障害者相談研修」を 実施し、相談援助技術の 向上を図ります。	はったつしょうがいちいきれんけい 「発達障害地域連携プ ログラム」を18区で実施 し、発達障害者支援セン ターと地域の支援機関と の連携を促進しました。 また、3機関及び指定特定 相談事業所等を対象と した「発達障害者相談 研修」を実施し、相談 援助技術の向上を図り ました。	○	ひ つづ はったつしょうがい 引き続き、「発達障害 地域連携プログラム」を 実施し、発達障害者 支援センターと地域の 支援機関との連携を 促進します。また、「発達 障害者相談研修」を 実施し、相談援助技術の 向上を図ります（2回 予定）。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
こうじのう 高次脳 機能障害 にかかわ る関係機関 の連携促 進	こうじのうきのうしょうがいしえん 高次脳機能障害支援セ ンターと地域の関係 機関との連携を促進し、 みぢか ちいき 身近な地域における こうじのうきのうしょうがい たい 高次脳機能障害に対す るしえんたいせい きょうか 支援体制を強化しま す。	ひ つづ こうじのうきのう 引き続き、高次脳機能 しょうがいしえん 障害支援センターと れんけい とりくみ 連携した取組により、 こうじのうきのうしょうがい かか 高次脳機能障害に関わ るちいき かんけいきかん しえん 地域の関係機関を支援 し、とうじしゃ かぞく しえん 当事者や家族の支援 ニーズにたいおう そうだん ニーズに対応する相談の しつ こうじょう そうだんしえん 質の向上と相談支援 たいせい きょうか はか 体制の強化を図ります。	こうじのうきのうしょうがいしえん 高次脳機能障害支援セ ンターと18区中途 しょうがいしゃちいきかつどう 障害者地域活動センタ ーでのせんもんそうだん じっし 専門相談を実施す るとともに、しえんしゃむ 支援者向け オンラインけんしゅう いけん 研修や意見 こうかんかい かぞくしえん 交換会、家族支援として かぞくこうりゅうかい しいきなんぼく 家族交流会を市域南北 のかいじょう じっし 会場で実施しました。	○	ひ つづ こうじのうきのう 引き続き、高次脳機能 しょうがいしえん 障害支援センターと れんけい とりくみ 連携した取組により、 こうじのうきのうしょうがい かか 高次脳機能障害に関わ るちいき かんけいきかん 地域の関係機関を しえん とうじしゃ かぞく 支援し、当事者や家族の しえん たいおう 支援ニーズに対応する そうだん しつ こうじょう そうだん 相談の質の向上と相談 しえんたいせい きょうか はか 支援体制の強化を図り ます。	すいしん 推進	すいしん 推進

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
ちいき そろだんしえんたいせい きょうか 地域の相談支援体制の強化 ・専門的な指導・助言(福)(新)	けん 400件 じっせき けん 実績401件	けん 440件 じっせき けん 実績373件	けん 480件
ちいき そろだんしえんじぎょうしゃ じんざいいくせい ・地域の相談支援事業者の人材育成の 実施(福)(新)	かい 72回 じっせき かい 実績73回	かい 72回 じっせき かい 実績75回	かい 72回
ちいき そろだんきかん れんけいきょうか とりくみ ・地域の相談機関との連携強化の取組 (福)(新)	かい 36回 じっせき けん 実績103件	かい 36回 じっせき けん 実績158件	かい 36回
しょうがい しゅべつ かくしゅ たいおう 障害の種別や各種のニーズに対応で きる総合的・専門的な相談支援(福)(新)	けん 48,000件 じっせき けん 実績59,109件	けん 49,000件 じっせき けん 実績55,022件	けん 50,000件
けいかくそろだんしえんりようしゃすう ねんかん 計画相談支援利用者数(年間)(福)	にん 16,322人 じっせき にん 実績14,235人	にん 18,805人 じっせき にん 実績15,086人	にん 21,453人
はったつしょうがいしゃしえん ちいききょうぎかい 発達障害者支援地域協議会の 開催件数(福)	けん 3件 じっせき けん 実績1件	けん 3件 じっせき けん 実績2件	けん 3件
はったつしょうがいしゃしえん そろだん 発達障害者支援センターによる相談 件数(学齢後期障害児支援事業分を除 く)(福)	けん 3,500件 じっせき けん 実績1,528件	けん 3,500件 じっせき けん 実績1,688件	けん 3,500件
はったつしょうがいしゃしえん およ 是ったつ 発達障害者支援センター及び発達 障害者地域支援マネジャーの外部 機関や地域住民への研修、啓発(学齢 後期障害児支援事業分を除く)(福)	けん 55件 じっせき けん 実績41件	けん 55件 じっせき けん 実績43件	けん 55件
いりょうてき じ しゃどう たい かんれんぶんや 医療的ケア児・者等に対する関連分野 の支援を調整するコーディネーター の配置(児)	にん 6人 じっせき にん 実績6人	にん 6人 じっせき にん 実績6人	にん 6人

1-1 住まい

(1) 障害状況に合わせた住まいの選択肢の充実

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	令和4年度取組予定 <small>れいわ ねんどとりくみよてい</small>	令和4年度実績 <small>れいわ ねんどじっせき</small>	令和 4年度 評価 <small>れいわ ねんど 4ねんど ひょうか</small>	令和5年度 取組予定 <small>れいわ ねんど 5ねんど とりくみよてい</small>	中間期 目標 <small>ちゅうかんき もくひょう</small>	目標 <small>もくひょう</small>
民間住宅 入居の 促進 <small>みんかんじゅうたく にゆうきよ そくしん</small>	障害者が民間賃貸住宅 への入居をしやすくす る仕組みとして「住宅 セーフティネット制度」 を活用していきます。 また、障害者等の住宅 確保要配慮者の居住 支援を充実させるた め、横浜市居住支援協 議会と不動産事業者や 福祉支援団体、区局の 連携を強化する制度の 検討を進めます。 <small>しょうがいしゃ みんかんちんたいじゅうたく にゆうきよ せいで せいで かつよう しょうがいしゃとう じゅうたく かくほようはいりよしや きょじゅう しえん じゅうじつ しえん じゅうじつ よこはましきょじゅうしえんきょう ぎかい ふどうさん じぎょうしゃ ふくししえんだんたい くきよく れんけい きょうか せいで けんとう すず</small>	居住支援協会を通 じて、不動産事業者 への障害理解の推進 と福祉支援者との関係 づくりに努めます。 <small>きょじゅうしえんきょうぎかい つう ふどうさん じぎょうしゃ しょうがいらいかい すいしん ふくししえんしゃ かんけい つと</small>	横浜市居住支援協会 に参画し、障害に対する 理解を深める勉強会等 を協力して実施しまし た。障害福祉に関する 支援機関に向けては、 「住宅セーフティネッ ト制度」や横浜市居住 支援協議会の周知等を 行いました。 <small>よこはましきょじゅうしえんきょうぎかい さんかく しょうがい たい りかい ふか べんきょうかいとう きょうりょく じっし しょうがいふくし かん しえんきかん む じゅうたく せいで よこはましきょじゅう しえんきょうぎかい しゅうちとう おこな</small>	○	引き続き居住支援協議 会を通じて、不動産事 業者への障害理解の 推進と福祉支援者との 関係づくりを進めます。 <small>ひ つづ きょじゅうしえんきょうぎ かい つう ふどうさん じぎょうしゃ しょうがいらいかい すいしん ふくししえんしゃ かんけい すず</small>	推進 <small>すいしん</small>	推進 <small>すいしん</small>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりにくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりにくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
サポート ホーム ㊦	はったつしょうがい にゆうきよしや 発達障害のある入居者 たい ちいきせいかつ む に対し、地域生活に向け じゅんび せいかつめん た準備のため、生活面の せいかつ しえん アセスメントと支援を じっし 実施する「サポートホー こうか けんしょう ム」の効果を検証する しえんほうほう とともに、支援方法を ちいき じぎょうしょとう かくだい 地域の事業所等へ拡大さ せていきます。	ひ つづ 引き続き、サポートホ ーム事業の推進によ り、発達障害のある ひと せいかつ しえん 人の生活を支援すると ともに、その効果を検 証します。また、 しえんほうほう ちいき 支援方法を地域の じぎょうしょとう かくだい 事業所等へ拡大させる ための研修等の機会 そうしゅつ けんとう 創出を検討します。	サポートホーム事業の すいしん はったつしょうがい 推進により、発達障害の ある人の生活を支援する とともに、その効果を けんしょう 検証しました。また、 しえんほうほう ちいき じぎょうしょ 支援方法を地域の事業所 とう かくだい 等へ拡大させるための ほうほう けんとう 方法を検討しました。 これまでの検証と支援 ほうほう しいき じぎょうしょとう 方法を、市域の事業所等 きょうゆう かくだい とりにくみ に共有・拡大させる取組 の一環として、令和 ねんど じぎょうしょむ 4年度に事業所向けの けんしゅう じっし 研修を実施しました。 (受講者57人)	○	ひ つづ 引き続き、サポートホー ーム事業の推進により、 はったつしょうがい ひと 発達障害のある人の せいかつ しえん 生活を支援するととも に、その効果を検証しま す。また、支援方法を地域 じぎょうしょとう かくだい の事業所等へ拡大させる ための研修等の機会を そうしゅつ 創出します。	すいしん 推進	すいしん 推進
しょうがい じ 障害児 しせつ 施設の さいせいび 再整備 ㊦	ろうきゆうか すず 老朽化が進んでいる しょうがいじにゆうしよしせつ 障害児入所施設の さいせいび すず 再整備を進めます。	しせつ うんえいほうじん 施設の運営法人と ちようせい すず 調整を進めます。	さいせいび けんとう 再整備について検討 ちようせいとう おこな 調整等を行いました。	○	しせつ うんえいほうじん ちようせい 施設の運営法人と調整 すず を進めます。	けんとう 検討	けんとう 検討

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりにくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりにくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうふうがくえん 松風学園 さいせいび 再整備 じぎょう 事業	にゅうきよしゃ きよじゅうかんきよう 入居者の居住環境 かいぜん こしつ かとう 改善のため、個室化等を すす すすめます。また、どうえん 進めます。また、同園 しきち いちぶ かつよう 敷地の一部を活用して みんせつしんにゆうしよしせつ せいび 民設新入所施設を整備 します。 ちゅうかんき こしつ かとう ・中間期：個室化等の きよじゅうかんきよう せつび 居住環境や設備の かいぜんおよ みんせつしんにゆうしよ 改善及び民設新入所 しせつ こうじじっし 施設の工事实施 けいかく き かんちゅう こしつ か ・計画期間中：個室化 とう きよじゅうかんきよう せつび 等の居住環境や設備 かいぜんおよ みんせつ の改善及び民設 しんにゆうしよしせつ こうじ 新入所施設の工事 じっしかんりよう 実施完了	しんきよじゅうとう ぜんしつ 新居住棟（全室 こしつ こうじ かんりよう 個室）の工事を完了 します。 びどうかいたいこうじ ちやくしゆ B棟解体工事に着手 します。 みんせつしんにゆうしよしせつ 民設新入所施設につ いては、うんえい かいし 運営を開始し ます。	しんきよじゅうとう ぜんしつこしつ 新居住棟（全室個室）の こうじ かんりよう びどうかいたい 工事を完了、B棟解体 こうじ ちやくしゆ 工事に着手しました。 みんせつしんにゆうしよしせつ うんえい 民設新入所施設の運営 かいし を開始しました。	○	びどうかいたいこうじ かんりよう B棟解体工事を完了し ます。 にちちゅうかつどうとうしんせつこうじ 日中活動棟新設工事に ちやくしゆ 着手します。	こうじ 工事 じっし 実施	こうじ 工事 じっし 実施 かんりよう 完了

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりにくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりにくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
<p> さいけい 【再掲】 しょうがいふくし 障害福祉 しせつとう 施設等で はたら かんご 働く看護 し しえん 師の支援 あ </p>	<p> しょうがいふくししせつとう はたら 障害福祉施設等で働く かんごし ていちゃく む 看護師の定着に向けた しえん おこな 支援を行うとともに、 じんざいかくほ ほうさく 人材確保の方策について けんとう 検討します。 </p>	<p> しょうがいふくししせつとう はたら 障害福祉施設等で働く かんごし ぎのうこうじょう 看護師の技能向上 およ しゅうろうていちゃく もくてき 及び就労定着を目的 に、医師等が各施設に ほうもんどう おこな こべつ 訪問等して行う個別 の助言や研修、 かくしせつ かんごし 各施設の看護師を たいしょう ごうどうけんしゅう 対象とした合同研修 とう じっし 等を実施します。 </p>	<p> いし かくしせつ ほうもん 医師が各施設を訪問し、 こべつ じょげん けんしゅう おこな 個別の助言や研修を行 いました。また、各施設 かんごし しえんいん たいしょう の看護師・支援員を対象 いし かんごし こうし に、医師・看護師を講師 ごうどうけんしゅう じっし とした合同研修を実施 しました。 </p>	<p>○</p>	<p> ひ つづ しょうがいふくししせつ 引き続き、障害福祉施設 とう はたら かんごし ぎのう 等で働く看護師の技能 こうじょうおよ しゅうろうていちゃく 向上及び就労定着を もくてき いしどう かくしせつ 目的に、医師等が各施設 ほうもんどう おこな こべつ に訪問等して行う個別の じょげん けんしゅう かくしせつ 助言や研修、各施設の かんごし たいしょう 看護師を対象とした ごうどうけんしゅうとう じっし 合同研修等を実施しま す。 </p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
きょうどうせいかつえんじよ 共同生活援助（グループホーム） りようしゃすう しんせつていんすう ねん 利用者数（新設定員数/年） 福	にん 200人 じっせき にん 実績221人	にん 200人 じっせき にん 実績263人	にん 200人
きょうどうせいかつえんじよ 共同生活援助（グループホーム） りようしゃすう りようにんずう ねん 利用者数（利用人数/年） 福	にん 5,000人 じっせき にん 実績5,164人	にん 5,200人 じっせき にん 実績5,452人	にん 5,400人
しせつにゆうしよしえん 施設入所支援 りようにんずう つき （利用人数/月） 福	にん 1,426人 じっせき にん 実績1,385人	にん 1,420人 じっせき にん 実績1,364人	にん 1,414人
ふくしがたしやうがい じにゆうしよしえん 福祉型障害児入所支援 りよう じどうすう つき （利用児童数/月） 児	にん 190人 じっせき にん 実績160人	にん 190人 じっせき にん 実績158人	にん 190人
いりやうがたしやうがい じにゆうしよしえん 医療型障害児入所支援 りよう じどうすう つき （利用児童数/月） 児	にん 90人 じっせき にん 実績77人	にん 90人 じっせき にん 実績83人	にん 90人
しやうがい じにゆうしよしせつ 障害児入所施設における18歳以上 にゆうしよしやすう の入所者数 児	にん 0人 じっせき にん 実績13人	にん 0人 じっせき にん 実績7人	にん 0人
しゆくはくがたじりつくんれん りようにんずう つき 宿泊型自立訓練（利用人数/月） 福	にんぶん 87人分 じっせき にん 実績65人	にんぶん 87人分 じっせき にん 実績62人	にんぶん 87人分
	にんにち 2,364人日 じっせき にん 実績1,709人	にんにち 2,364人日 じっせき にん 実績1,647人	にんにち 2,364人日
りようようかいご りようにんずう つき 療養介護（利用人数/月） 福	にん 279人 じっせき にん 実績283人	にん 279人 じっせき にん 実績308人	にん 284人

(2) 高齢化・重度化を踏まえた住まいの構築

事業名	事業内容	令和4年度取組予定	令和4年度実績	令和4年度 評価	令和5年度 取組予定	中間期 目標	目標
<p>身体障害者・高齢者の住宅改造及び模様替え</p>	<p>市営住宅に入居している障害者等の要望に対し、トイレや浴室への手すりの取付けなどの住宅改造を実施します。</p>	<p>現行の仕組みでの対応を維持していきます。</p>	<p>【令和4年度実績】 ・住宅改造19件 (障害者対応6件・高齢者対応13件) ・模様替承認84件</p>	<p>○</p>	<p>現行の仕組みでの対応を維持していきます。</p>	<p>推進</p>	<p>推進</p>
<p>高齢化・重度化対応のグループホームの検討・拡充</p>	<p>現在、実施している高齢化・重度化対応グループホーム事業を踏まえ、持続的に実現可能な制度の検討を行っていきます。今後も進んでいくことが見込まれる障害者的高齢化・重度化に対応していくため、高齢化・重度化対応グループホームを拡充していきます。</p>	<p>引き続き、日中サービス支援型の活用を踏まえた制度、施策の検討を行っていきます。</p>	<p>日中サービス支援型の活用に加えて、障害特性に応じた高齢化・重度化の対応策を関係団体等とのヒアリングを重ね、協議しました。</p>	<p>○</p>	<p>日中サービス支援型の活用に加え、障害特性に応じた高齢化・重度化の対応策を関係団体等と検討していきます。</p>	<p>推進</p>	<p>推進</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
こうれいか 高齢化・ じゅうどか 重度化 たいおう 対応バリ アフリー かいしゅうじぎょう 改修事業	りよう グループホームを利用す しょうがいしゃ こうれい る障害者が高齢になり、 ともな しんたいきのう それに伴う身体機能の ていかとう じゅうらい 低下等により、従来のホ ームの設備で生活するこ とが困難となる場合で も、居住しているホーム で安心して生活し続ける ことができるよう、バリ アフリー等改修に係る けいひ ほじよ 経費を補助します。	こうれいか じゅうどか 高齢化・重度化にとも なう身体機能の低下等 があっても、居住して いるホームで安心して 生活し続けることがで きるよう、バリアフリ ー等改修に係る費用 (5か所分)を補助し ます。	しんせい 3ホームから申請があ り、浴室の改修、手摺や スロープを設置をしま した。	△	じぎょうしゃ どうがいじぎょう 事業者が当該事業を りよう 利用しやすくなるよ う、利用案内数を ふ しょうちほうほう 増やすなど周知方法 を工夫します。	じっし 実施	じっし 実施

1-2 暮らし

(1) 地域での生活を支える仕組みの充実

事業名	事業内容	令和4年度取組予定	令和4年度実績	令和4年度 評価	令和5年度 取組予定	中間期 目標	目標
<p>しょうがいしゃ 障害者 ちいきかつどう 地域活動 ホーム じぎょう 事業</p>	<p>ざいたく しょうがいじ しゃ 在宅の障害児・者とその かぞく ちいきせいかつ しえん 家族の地域生活を支援 する拠点施設として、 よこはまし づくじ せっち 横浜市が独自に設置し ているものです。主なサ ービスとして、せいかつかいご 生活介護 やちいきかつどうしえん 地域活動支援センタ ー事業デイサービス型 どう にっちゅうかつどう 等の日中活動のほか、 しよーとステイやいちじ ショートステイや一時 ケア等の生活支援事業 を実施しています。施設 きぼどう しゃかいふくし 規模等により、社会福祉 ほうじんがたちかつ 法人型地活ホームと きのうきょうかがたちかつ 機能強化型地活ホーム の2種類に分類されて います。</p>	<p>しゃかいふくしほうじんがたちかつ 社会福祉法人型地活ホー ムおよび機能強化型地活ホ ームの両方について、 ちいき きよてんてきしせつ 地域における拠点施設 として、より使いやすい しゃかいしげん 社会資源となるよう、 うんえいほうじん かんけいぶしょどう 運営法人や関係部署等と かだい きょうゆう やくわり 課題を共有し、役割や いちづ めいかくか きのう 位置付けの明確化・機能 の充実化に向けて、引き つづ けんどう おこな 続き検討を行います。</p>	<p>かつどう れんらくかいどう ば 活動ホーム連絡会等の場 において、現場の課題を きょうゆう やくわり いちづ 共有し、役割や位置付け の明確化・機能の充実化 に向けて、施設としての うんえい かた 運営のあり方について いけんこうかん おこな 意見交換を行いました。 あわ か 併せて、コロナ禍におけ る緊急対応等について じょうほうきょうゆう けんどう も、情報共有・検討を おこな 行いました。</p>	<p>○</p>	<p>しゃかいふくしほうじんがたちかつ 社会福祉法人型地活ホー ムおよび機能強化型地活ホ ームの両方について、 ちいき きよてんてきしせつ 地域における拠点施設 として、より地域ニーズ にたいおう に対応できるよう、やくわり 役割 や位置付けの明確化を図 ります。 また、きんきゅうたいおうじ 緊急対応時における しせつかんれんけいどう 施設間連携等について きょうぎ も協議していきます。 あわ げんばかだい ちゅう 併せて、現場課題の抽 しゅつ かいけつ はか 出・解決を図るため、 しゅにんきゅう いけんこうかんかい 主任級の意見交換会を かいさい 開催します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

<p>せいしんしょうがい 精神障害 者生活 支援セン ター事業</p>	<p>とうごうしつちようしやう 統合失調症をはじめ とした精神障害者の しゃかいふっき じりつおよ しゃかい 社会復帰、自立及び社会 さんか しえん 参加を支援するため かくく しよせっち 各区に1か所設置して いる精神障害者の地域 せいかつしえん ほんし 生活支援における本市 きよてんしせつ の拠点施設です。 せいしんほけんふくしし はいち 精神保健福祉士を配置 にちじようせいかつ かん し、日常生活に関する そうだん じよげん じようほうていききやう 相談や助言、情報提供 のほか、専門医による そうだん せいかつしえん 相談や生活維持のため のサービス（食事、 にゅうよく せんたくとう どう てい 入浴、洗濯等）等を提 きやう く 供しています。区や きかん そうだんしえん 基幹相談支援センター とともに、本市の「地域 せいかつしえんきよてん せいしん 生活支援拠点」や「精神 しょうがい たいおう ちいき 障害にも対応した地域 ほうかつ 包括ケアシステム」の ちゅうかく いちづ 中核に位置付けられて います。</p>	<p>せいしんしょうがいしや 精神障害者のための きよてんてきしせつ せいしん 拠点施設として、精神 しょうがいしや ちいき じりつ 障害者が地域で自立し た生活を送ることができ るよう、相談支援や にちじようせいかつ しえん ちいき 日常生活の支援、地域 こうりゆう そくしんとう おこな 交流の促進等を行って いきます。 せっちとうしよ いばしよきのう 設置当初の居場所機能や せいかつしえん 生活維持のためのサービ ス（食事、入浴、洗濯 とう せいかつ 等）だけではなく、生活 しえん こ 支援センターに来られな ひと い人へのアプローチや かんけいきかん れんけい そうき 関係機関と連携した早期 たいおう せいしんしょうがいしや 対応など、精神障害者 そうだんきのう じゆうてん お の相談機能に重点を置 しえん じゆうじつ はか いた支援の充実を図り ます。</p>	<p>せいしんしょうがいしや 精神障害者のための きよてんてきしせつ うんえい 拠点施設としての運営 のあり方について、施設 かた しせつ のあり方について、施設 ちようかい ば 長会の場において、現場 かか かだい きやうゆう で抱える課題を共有し、 いけんこうかん おこな 意見交換を行いました。 かくせいかつしえん 各生活支援センター しょういん かか げんば 職員が抱える現場の かだい きやうゆう かいけつ 課題を共有し、解決に む とく 向けて取り組むグルー ワークを4回実施しまし た。</p>	<p>○</p>	<p>せいしんしょうがいしや 精神障害者のための きよてんてきしせつ せいしん 拠点施設として、精神 しょうがいしや ちいき じりつ 障害者が地域で自立し た生活を送ることができ るよう、相談支援や日常 そうだんしえん にちじよう 生活の支援、地域交流の せいかつ しえん ちいきこうりゆう 生活の支援、地域交流の そくしんとう おこな 促進等を行っていきま す。 せっちとうしよ いばしよきのう 設置当初の居場所機能や せいかつしえん 生活維持のためのサービ ス（食事、入浴、洗濯等） しよくじ にゅうよく せんたくなど だけではなく、生活支援 せいかつしえん センターに来られない人 こ ひと へのアプローチや関係 かんけい 機関と連携した早期対応 きかん れんけい そうきたいおう など、精神障害者の相談 せいしんしょうがいしや そうだん 機能に重点を置いた きのう じゆうてん お 支援の充実を図ります。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
---	---	---	--	----------	--	--------------------	--------------------

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
たきのうがた 多機能型 きよてん 拠点の せいび 整備・ うんえい 運営 (あ)	つね いりようてき ひつよう 常に医療的ケアを必要 とする重症心身 しょうがいじ しゃなど 障害児・者等とその かぞく ちいきせいかつ しえん 家族の地域生活を支援 するため、相談支援、 たんきにゆうしょ せいかつかいご 短期入所、生活介護、 しんりょう ほうもんかんご きよたく 診療、訪問看護や居宅 かいご いったいてき てい 介護などを一体的に提 きょう たきのうがたきよてん 供する多機能型拠点の せいび しない ほうめん すず 整備を市内6方面に進 めます。	しない かんめ ほくどうぶ 市内4館目である北東部 ほうめんたきのうがたきよてん 方面多機能型拠点 (仮称) について、実施 せつけい かんりよう こうじ 設計を完了させ、工事 に着手します。	しない かんめ ほくどうぶ 市内4館目である北東部 ほうめんたきのうがたきよてん かしよう 方面多機能型拠点(仮称) について、実施設計を かんりよう こうじ ちやっこう 完了し、工事を着工し ました。	○	しない かんめ ほくどうぶ 市内4館目である北東部 ほうめんたきのうがたきよてん かしよう 方面多機能型拠点(仮称) の令和6年度の運営開始 れいわ ねんど うんえいかいし の令和6年度の運営開始 む れいわ ねんどちゅう に向けて、令和5年度中 こうじ かんりよう に工事を完了します。 5、6館目は、候補地の かんめ こうほち 5、6館目は、候補地の けんどう ひ つづ おこな 検討を引き続き行いま す。	しない 市内4 ほうめん 方面 せいび 整備 かんりよう 完了	しない 市内 6 ほうめん 方面 せいび 整備 かんりよう 完了
こうどうしょうがい 行動障害 のある方の ちいきこう 地域移行 や地域 せいかつ ささ 生活を支 える仕組 みづくり	こうどうしょうがい かつ 行動障害のある方に 必要とされる支援体制 について、特に地域 いこう ちいきせいかつ ささ 移行や地域生活を支え る機能の検討を進めま す。	こうどうしょうがい ひと 行動障害のある人に 必要とされる支援体制に ついて、特に地域移行や ちいきせいかつ ささ きのう 地域生活を支える機能に かん ちょうない 関し、庁内プロジェク けんどう すず トでの検討を進めます。	こうどうしょうがい ひと 行動障害のある人に 必要とされる支援体制に ついて、特に地域移行や ちいきせいかつ ささ きのう 地域生活を支える機能に かん ちょうない 関し、庁内プロジェクト けんどう すず での検討を進めました。	○	こうどうしょうがい ひと 行動障害のある人に 必要とされる支援体制に ついて、特に地域移行や ちいきせいかつ ささ きのう 地域生活を支える機能に かん ちょうない 関し、庁内プロジェクト けんどう ひ つづ すず での検討を引き続き進め ます。	けんどう 検討	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
ちいきしえん 地域支援 マネジャ ーによる しょうがいふくし 障害福祉 サービス じぎょうしょう 事業所等 への支援 ⑧	はったつしょうがいしやしえん 発達障害者支援センタ ーに「地域支援マネジ ャー」を配置し、障害 ふくし じぎょうしょう 福祉サービス事業所等 に対し、行動障害・ はったつしょうがい かかわ 発達障害に係るコン サルテーションを じっし 実施します。	ひ つづ ちいきしえん 引き続き、「地域支援マ ネジャー」による、 しょうがいふくし 障害福祉サービス じぎょうしょう たい こうどう 事業所等に対する、行動 しょうがい はったつしょうがい かかわ 障害・発達障害に係 るコンサルテーションを じっし 実施します。	ちいきしえん 「地域支援マネジャー」 による、しょうがいふくし 障害福祉サービ ス事業所等 たい に対する、行動障害・発達 しょうがい はったつしょうがい 障害に係るコンサルテ ーションを じっし 実施しました(889件)。	○	ひ つづ ちいきしえん 引き続き、「地域支援マ ネジャー」による、しょうがい 障害 ふくし じぎょうしょう 福祉サービス事業所等 たい こうどうしょうがい はったつ に対する、行動障害・発達 しょうがい かか 障害に係るコンサルテ ーションを じっし 実施すると もに、じぎょうしょ しえんりよく 事業所の支援力が こうじょう はたら 向上するよう、働きかけ をおこな を行います。	すいしん 推進	すいしん 推進

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	令和4年度取組予定 <small>れいわ ねんどとりくみよてい</small>	令和4年度実績 <small>れいわ ねんどじっせき</small>	令和4年度 評価 <small>れいわ ねんど 4年度 ひょうか</small>	令和5年度 取組予定 <small>れいわ ねんど 5年度 とりくみよてい</small>	中間期 目標 <small>ちゅうかんき もくひょう</small>	目標 <small>もくひょう</small>
地域生活 支援拠点 機能の充 実 <small>ちいせいかつ しえんきよてん きのう じゅう じつ</small>	障害のある方の 高齢化・重度化、親な き後に備えるととも に、地域移行を進める ため、基幹相談支援セ ンター・生活支援セン ター・区役所の3機関 一体の運営により、 地域のあらゆる社会 資源を有機的につなぐ ネットワーク型の拠点 機能を整備し、地域で の居住支援機能の 充実を図ります。 <small>しょうがい ぼう こうれいか じゅうどか おや あと そな ちいきこう すず きかんそうだんしえん せいかつしえん せん たくやくしよ きかん いったい うんえい ちいき しゃかい しげん ゆうきてき がた きよてん ネットワーク型 の拠点 きのう せいび ちいき きょじゅうしえん きのう じゅうじつ はか</small>	引き続き基幹相談支援セ ンター・生活支援センタ ー・区役所の3機関を 中心に自立支援協議会 等を活用し、地域生活 支援拠点に関する周知を 行い、地域住民を含め た関係機関とともに拠点 機能の充実を図りま す。 <small>ひ つづ きかんそうだんしえん せん たくやくしよ きかん ちゅうしん じりつしえんきよぎかい どう かつよう ちいせいかつ しえんきよてん かん しゅうち おこな ちいきじゅうみん ふく かんけいきかん きよてん きのう じゅうじつ はか</small>	区域では、継続して 「相談」「緊急時の 受入れ・対応」「体験の 機会・場の提供」「専門的 人材の育成・確保」「地域 の体制づくり」の各機能 の充実に向けた取組を 進めました。また市域で は、「地域生活支援拠点 検討部会」を2回開催し、 将来像を達成するため の具体的な活動内容の 共有を行いました。 <small>くいき けいぞく そうだん きんきゅうじ うけい たいおう たいけん きかい ば ていきょう せんもんてき じんざい いくせい かくほ ちいき たいせい かくきのう じゅうじつ む とりくみ すす しいき ちいきせいかつしえんきよてん けんとうぶかい かいさい しょうらいぞう たっせい ぐたいてき かつどうないよう きょうゆう おこな</small>	○	基幹相談支援センター・ 生活支援センター・区 役所の3機関を中心に、 地域生活支援拠点に関す る周知を行います。ま た、地域ケアプラザとの 連携を強化し、相談しや すい地域のネットワーク を整え、拠点機能の更な る充実を図ります。 <small>きかんそうだんしえん せいかつしえん たくやくしよ きかん ちゅうしん ちいきせいかつしえんきよてん かん しゅうち おこな ちいき れんけい きょうか そうだん ちいき ととの きよてんきのう さら じゅうじつ はか</small>	推進 <small>すいしん</small>	推進 <small>すいしん</small>

<p>せいしんしょうがい 精神障害</p> <p>たいおう にも対応</p> <p>ちいき した地域</p> <p>ほうかつ 包括ケア</p> <p>システム の構築</p>	<p>せいしんしょうがい ほう 精神障害のある方の</p> <p>せいかつ ちいき 生活のしづらさを地域</p> <p>ささ で支えていくため、</p> <p>いりょう ほけん ふくし れんけい 医療・保健・福祉の連携</p> <p>もと かくくふくしほけん の下、各区福祉保健セン</p> <p>ター、生活支援センタ</p> <p>ー、基幹相談支援センタ</p> <p>ーを核とした「協議の</p> <p>場」において関係者・</p> <p>かんけいきかん きょうつう にんしき 関係機関が共通の認識</p> <p>なか くだいかいけつ む の中で課題解決に向け</p> <p>とりくみ けんどう じっし た取組の検討と実施を</p> <p>していきます。また、</p> <p>ちいき くだい たい 地域ごとの課題に対し</p> <p>とくせい ふ、 たいおう て特性を踏まえた対応</p> <p>ができるよう、これまで</p> <p>しゃかいしげん じゅうぶん の社会資源を十分に</p> <p>かつよう 活用しながら、ネットワ</p> <p>ーク機能の見直しやあら</p> <p>たなつながりを構築し</p> <p>ていきます。</p> <p>とりくみ せいしん ※この取組のため、精神</p> <p>しょうがいしゃ しょうがいふくし 障害者の障害福祉サ</p>	<p>く ふくしほけん 区福祉保健センター、</p> <p>せいかつしえん きかん 生活支援センター、基幹</p> <p>そうだんしえん かく 相談支援センターを核と</p> <p>した「協議の場」におい</p> <p>て、地域の関係機関と</p> <p>きょうつう にんしき も 共通の認識を持ち、</p> <p>くだいかいけつ む とりくみ 課題解決に向けた取組を</p> <p>けんどう すいしん 検討、推進します。ま</p> <p>た、取組の推進のための</p> <p>けんしゅうかい かいさい 研修会を開催します。</p> <p>さらには、おなじけいけん たちば に、同じ経験や立場</p> <p>ひとどうし たが ささ の人同士がお互いに支え</p> <p>あ ば きかい 合える場や機会について</p> <p>けんどう 検討します。</p>	<p>ちいき かんけいきかん きょうつう 地域の関係機関と共通</p> <p>にんしき も くだいかいけつ の認識を持ち、課題解決</p> <p>む とりくみ けんどう に向けた取組を検討、</p> <p>すいしん もくてき く 推進を目的として、区</p> <p>ふくしほけん せいかつ 福祉保健センター、生活</p> <p>しえん きかんそうだん 支援センター、基幹相談</p> <p>しえん かく 支援センターを核とした</p> <p>「協議の場」を開催しま</p> <p>した。また、取組の推進</p> <p>もくてき けんしゅうかい を目的とした研修会を</p> <p>かいさい 開催しました。</p> <p>しいき ちいきいこう 市域において、地域移行・</p> <p>ちいきていちゃくぶかい かい 地域定着部会を3回</p> <p>かいさい たが ささ あ 開催し、お互いに支え合</p> <p>える仕組みについて検討</p> <p>しました。</p>	<p>○</p>	<p>く ふくしほけん 区福祉保健センター、</p> <p>せいかつしえん きかん 生活支援センター、基幹</p> <p>そうだんしえん かく 相談支援センターを核と</p> <p>した「協議の場」におい</p> <p>て、地域の関係機関と</p> <p>きょうつう にんしき も くだい 共通の認識を持ち、課題</p> <p>かいけつ む かく とりくみ 解決に向けた取組を</p> <p>けんどう すいしん 検討、推進します。また、</p> <p>とりくみ すいしん 取組の推進のための</p> <p>けんしゅうかい かいさい 研修会を開催します。</p> <p>さらには、おなじけいけん たちば に、同じ経験や立場</p> <p>ひとどうし たが ささ の人同士がお互いに支え</p> <p>あ ば きかい 合える場や機会について</p> <p>けんどう 検討します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
---	--	---	---	----------	---	--------------------	--------------------

<small>じぎょうめい</small> 事業名	<small>じぎょうないよう</small> 事業内容	<small>れいわ ねんどとrikumiyotei</small> 令和4年度取組予定	<small>れいわ ねんどじっせき</small> 令和4年度実績	<small>れいわ ねんど</small> 令和4年度 評価	<small>れいわ ねんど</small> 令和5年度 とrikumiyotei 取組予定	<small>ちゅうかんき</small> 中間期 もくひょう 目標	<small>もくひょう</small> 目標
	<small>りょうじょうきょう</small> サービスの利用状況を <small>はあく きばんせいび か</small> 把握し、基盤整備の過 <small>ぶそくとう はあく</small> 不足等について把握す <small>い か じこう</small> るため、以下の事項につ <small>かつどうしひょう</small> いて、活動指標として <small>せってい</small> 設定します。						

かつどうしひょう 活動指標	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
きょうどうせいかつえんじょ りょう 共同生活援助の利用 しゃすう せいしんしょうがい 者数(精神障害) 福	にん 959人 じっせき にん 実績1,018人	にん 997人 じっせき にん 実績1,068人	にん 1,035人
ちいきいこうしえん りょう 地域移行支援の利用 しゃすう せいしんしょうがい 福 者数(精神障害)	にん ねん 108人/年 じっせき にん ねん 実績63人/年	にん ねん 120人/年 じっせき にん ねん 実績89人/年	にん ねん 132人/年
ちいきていちゃくしえんりょう 地域定着支援利用 しゃすう せいしんしょうがい 福 者数(精神障害)	にん ねん 480人/年 じっせき にん ねん 実績405人/年	にん ねん 576人/年 じっせき にん ねん 実績394人/年	にん ねん 672人/年
じりつせいかつえんじりょう 自立生活援助利用 しゃすう せいしんしょうがい 福 者数(精神障害)	にん ねん 60人/年 じっせき にん ねん 実績51人/年	にん ねん 75人/年 じっせき にん ねん 実績46人/年	にん ねん 90人/年
じりつせいかつ ・自立生活アシスタ りょうしゃすう せいしん ント利用者数(精神 しょうがい 障害)	にん ねん 323人/年 じっせき にん ねん 実績376人/年	にん ねん 323人/年 じっせき にん ねん 実績355人/年	にん ねん 323人/年
せいしんしょうがいしゃたいいん 精神障害者退院サポ じぎょうりょうしゃ ート事業利用者	にん ねん 180人/年 じっせき にん ねん 実績180人/年	にん ねん 180人/年 じっせき にん ねん 実績189人/年	にん ねん 180人/年

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
せいしんしょうがい 精神障害 者の家族 しえんじぎょう 支援事業 (あ)	せいしんしょうがいしゃ かぞく 精神障害者とその家族 が適切な関係を保つた め、緊急滞在場所を 準備するとともに、家族 が精神疾患について 理解を深める機会を提 供します。	ひ つづ せいしんしょうがいしゃ 引き続き、精神障害者 とその家族が適切な関係 を保てるよう緊急滞在 場所を準備しています。 また、学習会を実施 し、家族が精神疾患につ いて理解を深める機会を 提供しています。	せいしんしょうがいしゃ かぞく 精神障害者とその家族が 適切な関係を保てるよう 緊急滞在場所を準備しま した。また学習会を実施 し、家族が精神疾患につ いて理解を深める機会を 提供しました。	○	ひ つづ せいしんしょうがいしゃ 引き続き、精神障害者 とその家族が適切な 関係を保てるよう緊急 滞在場所を準備してい ます。また、学習会を 実施し、家族が精神疾患 について理解を深める 機会を提供していま す。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
いりょうてき 医療的ケ ア児・者 等の支援 のための 関係機関 の協議の 場の開催 ㊦	いりょうてき じ しゃとう 医療的ケア児・者等へ ちいき さら の地域における更なる しえん じゅうじつ む 支援の充実に向けて、 ほけん いりょう しょうがい 保健・医療・障害 ふくし ほいく きょういくとう 福祉・保育・教育等の かんけいきかん れんけい はか 関係機関が連携を図る ため、よこはましりょうてき ため、横浜市医療的ケ ア児・者等支援検討 いいんかい かだい 委員会において、課題 きょうゆう いけん こうかん たいおう 共有、意見交換、対応 さくとう けんとう おこな 策等の検討を行いま す。	よこはましりょうてき じ しゃ 横浜市医療的ケア児・者 とうしえんけんとういいんかい 等支援検討委員会につ いて、だい かい がつごろ だい て、第1回を8月頃、第 かい れいわ ねん がつごろ 2回を令和5年2月頃に かいさいよてい 開催予定です。	よこはましりょうてき じ しゃとう 横浜市医療的ケア児・者等 しえんけんとういいんかい れいわ 支援検討委員会を 令和 ねん がつ およ れいわ ねん 4年8月及び令和5年 が つ かい かい さい じょうほう 2月の2回開催し、情報 きょうゆう いけん こうかん おこな 共有や意見交換を行 いました。	○	よこはましりょうてき じ しゃ 横浜市医療的ケア児・者 とうしえんけんとういいんかい 等支援検討委員会につ いて、だい かい れいわ ねん いて、第1回令和5年 が つ ころ だい かい れいわ 7月頃、第2回を令和 ねん が つ ころ かい さい よ て い 6年2月頃に開催予定 です。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
いりょうてき 医療的ケ ア児・者 どうしえんしゃ 等支援者 ようせい 養成 ②③	うけいれたいせい じゅうじつ はか 受入体制の充実を図る ため、所属する施設・ 事業所等において、 医療的ケア児・者等の 受入れを積極的に 行えるよう、支援に必要な 知識・技術の普及啓発を 行う支援者を養成しま す。	れいわ ねん がつ がつ 令和4年5月から12月ま で医療的ケア児・者等 支援者養成研修を実施 します。50人程度を養成 予定です。	れいわ ねん がつ がつ 令和4年5月から12月ま で医療的ケア児・者等 支援者養成研修を実施 し、48人の横浜型医療的ケ ア児・者等支援者を養成し ました。	○	れいわ ねん がつ がつ 令和5年5月から12月 まで医療的ケア児・者等 支援者養成研修を実施 します。60人程度を養成 予定です。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
メディカ ルショー トステイ じぎょう 事業 ㊤	いりょうてき ひつよう 医療的ケアが必要な じゅうしょうしんしんしょうがいじ しやとう 重症心身障害児・者等 を、ざいたく かいご かぞく 在宅で介護する家族 のふたんけいげん ざいたくせいかつ 負担軽減と在宅生活 のあんてい もくてき 安定を目的として、 いちじてき ざいたくせいかつ 一時的に在宅生活が こんなん ばあい 困難となった場合など に、びょういん う 病院での受け入れ をじっし 実施します。	ひ つづ じぎょう じっし 引き続き事業を実施して いくとともに、きょうりよく 協力 いりょうきかん えんかつ じぎょう 医療機関との円滑な事業 うんえい はか 運営を図ります。	きょうりよくいりょうきかん いりょう 協力医療機関の医療ス タッフ向けのけんしゅう しんがた 研修は新型 コロナウイルスかんせんしょう 感染症の えいきょう ちゅうし 影響で中止しましたが、 いし かんごしおよ いりょう 医師、看護師及び医療ソー シャルワーカーとのごうどう 合同 かいぎ れいわ ねん がつ 会議を令和4年9月に じっし りようしゃ うけいれ 実施し、利用者の受入に かん じょうほうきょうゆう いけん 関する情報共有や意見 こうかん おこな 交換を行いました。その た きょうりよくいりょうきかん ずいじ 他、協力医療機関と随時 れんらくちようせい おこな しんがた 連絡調整を行い、新型コ ロナウイルスかんせんしょう 感染症の のうこうせつしよくしゃ うけいれ 濃厚接触者の受入にも じんそく たいおう 迅速に対応しました。 りようにっすう けんすう 利用日数(件数) 502日(86件)	○	ひ つづ じぎょう じっし 引き続き事業を実施し ていくとともに、きょうりよく 協力 いりょうきかん えんかつ 医療機関との円滑な じぎょううんえい はか 事業運営を図ります。	すいしん 推進	すいしん 推進

<p>しひょうめい 指標名</p>	<p>れいわ ねんど 令和3年度</p>	<p>れいわ ねんど 令和4年度</p>	<p>れいわ ねんど 令和5年度</p>
<p>ちいきせいかつしえんきよてん せいび 地域生活支援拠点の整備 (福)</p>	<p>ぜんくじっし 全区実施 じっせき ぜんくじっし 実績 全区実施</p>	<p>ぜんくじっし 全区実施 じっせき ぜんくじっし 実績 全区実施</p>	<p>ぜんくじっし 全区実施</p>
<p>ちいきせいかつしえんきよてん ゆう きのう じゆう ・地域生活支援拠点が有する機能の充 じつ ぶ けんしやうおよ けんとう じっし 実に向けた検証及び検討の実施 かいすう 回数 (福)(新)</p>	<p>かい 1回 じっせき かい 実績 2回</p>	<p>かい 1回 じっせき かい 実績 2回</p>	<p>かい 1回</p>
<p>せいしんしょうがい たいおう ちいきほうかつ 精神障害にも対応した地域包括ケア システム ほけん いりやうおよ ふくしかんけいしゃ きやうぎ ・保健、医療及び福祉関係者による協議 ば かいさいかいすう の場の開催回数 (福)(新)</p>	<p>かい しいき 3回(市域) ていき くいき 定期(区域) じっせき 実績 かい しいき 2回(市域) ていき くいき 定期(区域)</p>	<p>かい しいき 3回(市域) ていき くいき 定期(区域) じっせき 実績 かい しいき 2回(市域) ていき くいき 定期(区域)</p>	<p>かい しいき 3回(市域) ていき くいき 定期(区域)</p>
<p>ほけん いりやうおよ ふくしかんけいしゃ ・保健、医療及び福祉関係者による もくひやうせつていおよ ひやうか じっしかいすう 目標設定及び評価の実施回数 (福)(新)</p>	<p>かい 1回 じっせき かい 実績 1回</p>	<p>かい 1回 じっせき かい 実績 1回</p>	<p>かい 1回</p>
<p>はったつしょうがいしゃしえん およ はったつ 発達障害者支援センター及び発達 しょうがいしゃちいきしえん かんけい 障害者地域支援マネジャーの関係 きかん じよげんけんすう がくれいこうきしょうがいじ 機関への助言件数(学齢後期障害児 しえんじぎょうぶん のぞ 支援事業分を除く) (福)</p>	<p>けん 1,000件 じっせき けん 実績945件</p>	<p>けん 1,000件 じっせき けん 実績1,149件</p>	<p>けん 1,000件</p>

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
きょたくかいご ねん 居宅介護 (／年) 福	じかんぶん 127,601時間分 じっせき じかんぶん 実績135,648時間分	じかんぶん 129,642時間分 じっせき じかんぶん 実績136,113時間分	じかんぶん 131,716時間分
	にん 8,070人 じっせき にん 実績7,781人	にん 8,417人 じっせき にん 実績8,048人	にん 8,778人
じゅうどほうもんかいご ねん 重度訪問介護 (／年) 福	じかんぶん 89,044時間分 じっせき じかんぶん 実績110,593時間分	じかんぶん 99,640時間分 じっせき じかんぶん 実績121,680時間分	じかんぶん 111,497時間分
	にん 544人 じっせき にん 実績578人	にん 613人 じっせき にん 実績665人	にん 691人
どうこうえんご ねん 同行援護 (／年) 福	じかんぶん 16,360時間分 じっせき じかんぶん 実績14,030時間分	じかんぶん 17,112時間分 じっせき じかんぶん 実績15,020時間分	じかんぶん 17,899時間分
	にん 856人 じっせき にん 実績745人	にん 894人 じっせき にん 実績793人	にん 934人
こうどうえんご ねん 行動援護 (／年) 福	じかんぶん 13,544時間分 じっせき じかんぶん 実績10,932時間分	じかんぶん 15,792時間分 じっせき じかんぶん 実績13,249時間分	じかんぶん 18,413時間分
	にん 855人 じっせき にん 実績586人	にん 1,072人 じっせき にん 実績681人	にん 1,344人
たんきにゅうしょ ふくしがた つき 短期入所 (福祉型) (／月) 福	にんぶん 1,100人分 じっせき にんぶん 実績705人分	にんぶん 1,120人分 じっせき にんぶん 実績764人分	にんぶん 1,140人分
	にんにち 5,500人日 じっせき にんにち 実績4,404人日	にんにち 5,600人日 じっせき にんにち 実績4,788人日	にんにち 5,700人日

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
たんきにゆうしよ いりようがた 短期入所（医療型）（／月）福	にんぶん 400人分 じっせき にんぶん 実績341人分	にんぶん 410人分 じっせき にんぶん 実績358人分	にんぶん 420人分
	にんにち 2,000人日 じっせき にんにち 実績1,658人日	にんにち 2,050人日 じっせき にんにち 実績1,570人日	にんにち 2,100人日
にっちゅういちじしえん 日中一時支援（／月）福	にんぶん 240人分 じっせき にんぶん 実績292人分	にんぶん 240人分 じっせき にんぶん 実績316人分	にんぶん 240人分
	かい 800回 じっせき かい 実績600回	かい 800回 じっせき かい 実績567回	かい 800回
にちじょうせいかつようぐきゆうふ たいよ 日常生活用具給付・貸与（／年）福	けん 86,000件 じっせき けん 実績93,905件	けん 86,000件 じっせき けん 実績90,520件	けん 86,000件
ちいきいこうしえん 地域移行支援（／年）福	にんぶん 120人分 じっせき にんぶん 実績69人分	にんぶん 132人分 じっせき にんぶん 実績89人分	にんぶん 144人分
ちいきていちゃくしえん 地域定着支援（／年）福	にんぶん 600人分 じっせき にんぶん 実績459人分	にんぶん 720人分 じっせき にんぶん 実績461人分	にんぶん 840人分
せいしんしょうがいしゃたいいん 精神障害者退院サポート事業 （／年）	にん 180人 じっせき にん 実績180人	にん 180人 じっせき にん 実績189人	にん 180人

(2) 本人の力を引き出す支援の充実

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	令和4年度取組予定 <small>れいわ ねんどとりくみよてい</small>	令和4年度実績 <small>れいわ ねんどじっせき</small>	令和4年度 評価 <small>れいわ ねんど 4年度 ひょうか</small>	令和5年度 取組予定 <small>れいわ ねんど 5年度 とりくみよてい</small>	中間期 目標 <small>ちゅうかんき もくひょう</small>	目標 <small>もくひょう</small>
障害者 自立生活 アシスタ ント ②	地域で単身等で生活する障害者に対して、自立生活アシスタントが、その障害特性を踏まえて、具体的な生活場面での社会適応力を高める助言を中心とした支援を行います。国の実施事業との関係を整理しながら推進していきます。	自立生活アシスタント事業の普及啓発に取り組み、アシスタントの支援力の向上を図るため、スキルアップ等の研修やプロジェクトを実施します。	自立生活アシスタント事業の普及啓発に加え、アシスタントの支援力の向上を図るため、スキルアップ等の研修やプロジェクト（個別支援計画について）の検討を実施しました。	○	自立生活アシスタント事業の普及啓発及び、アシスタントの支援力の向上を図るため、スキルアップのための研修や関係機関との交流会等を実施します。	推進	推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとどりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
こうけんてき 後見的 しえんせいと 支援制度 (あ)	しょうがいしゃほんにん かぞく 障害者本人や家族に よ そ ぼくぜん 寄り添い、漠然とした しょうらい ふあん なや 将来の不安や悩みを いっしょ かんが おや 一緒に考え、親なきあ とも安心して暮らすこ とができる地域での みまも たいせい こうちく 見守り体制を構築しま す。	れいわ ねんど さくてい 令和3年度に策定した ぎょうむうんえいししん もと 「業務運営指針」に基 づく制度運営を推進し ます。特に、あんしん キーパーの開拓と地域 づくりに関する取組を かくくしえんしつ じっし 各区支援室で実施しま す。また地域ケアプ ラ等に対し、「業務連携 ししんもち せいと 指針」を用いて、制度 しゅしちいき 趣旨や地域ケアプラザ とう れんけい とりくみじれい 等と連携した取組事例 について、周知・共有 はか を図ります。	れいわ ねんど さくてい 令和3年度に策定した ぎょうむうんえいししん 「業務運営指針」に もと せいどうんえい とく 基づく制度運営に取り組 みました。地域ケアプ ラ等に対しては制度趣旨 とう たい せいどしゅし やケアプラザと連携した とりくみじれいとう しゅうち きょうゆう 取組事例等を周知・共有 し、せいとどりかい そくしん 制度理解の促進をし ました。	○	ひ つづ 引き続き、あんしんキーパ ーの開拓と地域づくりに かいたく ちいき 関する取組を各区支援室 かん とりくみ かくくしえんしつ で実施します。特に、地域 ケアプラザ等に対して、 じっし ちいき 「業務連携指針」を用い た、せいどしゅし れんけい しゅうち 制度趣旨や連携を周知 し、さら れんけいきょうか と し更なる連携強化に取り く 組みます。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりにくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりにくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうひしゃ 消費者 きょういくじぎょう 教育事業 ㊦	しょうがいしゃ かぞくおよ 障害者、家族及び しえんしゃ しょうひん 支援者が、商品・サ ービスの利用及び契約 にかか らざるトラブル等を まな あんしん 学ぶことにより、安心 した日常生活を送れ るよう、意識啓発を 図ります。	けいはつぶつ さくせい はいふ 啓発物の作成や配布な ども含め、引き続き 持続可能な方法を庁内 で検討します。	じぎょう けいぞくせい がっこうがわ 事業の継続性や学校側の 負担も踏まえ、継続でき る形での意識啓発の 方法を庁内で検討しま した。	△	引き続き事業の継続性や 学校側の負担も踏まえ、 継続できる形での意識 啓発の方法を庁内で検討 します。	すいしん 推進	すいしん 推進

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
じりつせいかつえんじょ 自立生活援助 ㊦	にんぶん 80人分 じっせき にんぶん 実績70人分	にんぶん 100人分 じっせき にんぶん 実績82人分	にんぶん 120人分
じりつせいかつ 自立生活アシスタント ㊦	にんぶん 690人分 じっせき にんぶん 実績766人分	にんぶん 690人分 じっせき にんぶん 実績774人分	にんぶん 690人分

1-3 移動支援

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	令和4年度取組予定 <small>れいわ ねんどとりくみよてい</small>	令和4年度実績 <small>れいわ ねんどじっせき</small>	令和4年度 評価 <small>れいわ ねんど 4年度 ひょうか</small>	令和5年度 取組予定 <small>れいわ ねんど 5年度 とりくみよてい</small>	中間期 目標 <small>ちゅうかんき もくひょう</small>	目標 <small>もくひょう</small>
移動情報センター運営等事業の推進 <small>いどうじょうほう センター うんえいとう 運営等 じぎょう 事業の すすいん</small> (あ)	移動支援に関する情報を集約し、一人ひとりにあった適切な情報を提供することや、移動支援を支える人材の発掘・育成を行う移動情報センターを全区に設置し、市内のどの地域でも移動支援の仕組みを効果的に利用できるようにします。	移動情報センターの周知をさらに進め、職員の相談対応力・コーディネート能力の向上を図るために、障害者支援センターを中心に18区の活動支援を進めます。	移動情報センター職員の相談対応力・コーディネート能力の向上を図るために、市社協と効果的な企画を準備して担当者研修を実施しました。移動情報センター運営ガイドラインを改訂し、各区推進会議が積極的な課題解決に向けた検討の場となるように支援しました。加えて、アプリケーションの導入により18区の情報共有の推進を図り相談事業の充実に努めました。 (令和4年度相談件数：2,172件)	△	各区移動情報センターでの相談者数の増に向けて、市民や地域に向けて移動に関連した相談ができることをさらに周知することで潜在するニーズを掘り起こして新規相談に繋がります。	相談件数 3,300件	相談件数 3,600件

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	令和 4 年度取組予定 <small>れいわ ねんどとりくみよてい</small>	令和 4 年度実績 <small>れいわ ねんどじっせき</small>	令和 4 年度 評価 <small>れいわ ねんど ひょうか</small>	令和 5 年度 取組予定 <small>れいわ ねんど とりくみよてい</small>	中間期 目標 <small>ちゅうかんき もくひょう</small>	目標 <small>もくひょう</small>
【再掲】 ガイドヘルパー等 <small>さいけい どう けんしゅう</small> 研修 <small>けんしゅう</small> 受講料助成 <small>じゅこうりょう じゅせい</small> 成 ㊤	ガイドヘルパー等の <small>どう</small> 資格取得のための研修 <small>しかくしゅどく けんしゅう</small> 受講料の一部を助成 <small>じゅこうりょう いちぶ じゅせい</small> し、人材確保を図ります。 <small>じんざいかくほ ほか</small>	引き続き受講料助成 <small>ひ つづ じゅこうりょうじゅせい</small> 事業の周知を今後も図る <small>じぎょう しゅうち こんご ほか</small> ことで、助成人数の増加 <small>じゅせいにんずう ぞうか</small> と人材確保を推進して <small>じんざいかくほ すいしん</small> いきます。 <small>はか</small>	助成人数：106人 <small>じゅせいにんずう にん</small> 総助成額：2,095,000円 <small>そうじゅせいがく えん</small> 【内訳：全身性ガイド <small>うちわけ ぜんしんせい</small> ヘルパー15件、知的ガ <small>けん ちてき</small> イドヘルパー27件、 <small>けん</small> 同行援護（一般課程）46 <small>どうこうえんご いっぱんかてい</small> 件、行動援護20件】 <small>けん こうどうえんご けん</small>	○	引き続き受講料助成 <small>ひ つづ じゅこうりょう じゅせい</small> 事業の周知を今後も <small>じぎょう しゅうち こんご</small> 図ることで、助成人数 <small>ほか じゅせいにんずう</small> の増加と人材確保を <small>ぞうか じんざいかくほ</small> 推進していきます。 <small>すいしん</small>	推進 <small>すいしん</small>	推進 <small>すいしん</small>
【再掲】 ガ <small>さいけい</small> イドヘル <small>どう ヘル</small> パースキ <small>パー スキ</small> ルアップ <small>ル アップ</small> 研修 <small>けんしゅう</small> 成 ㊤	より質の高いサービス <small>しつ たか</small> が提供できるよう、 <small>ていきょう</small> 移動支援事業の従 <small>いどうしえんじぎょう じゅう</small> 業者を対象に研修を <small>ぎょうしゃ たいしょう けんしゅう</small> 実施します。 <small>じっし</small>	令和 2 年度から新型コロナ <small>れいわ ねんど しんがた</small> ナウイルス感染症拡大 <small>かんせんしょうかくだい</small> 防止の観点から中止をし <small>ぼうし かんてん ちゅうし</small> ていた集合形式での <small>しゅうごうけいしき</small> 研修を再開し、サービ <small>けんしゅう さいかい</small> ス提供責任者及び従 <small>ていきょうせきんしやおよ じゅう</small> 業者のスキルアップを <small>ぎょうしゃ</small> 図っていきます。 <small>ほか</small>	3年ぶりに集合形式 <small>ねん しゅうごうけいしき</small> にて、サービス提供 <small>ていきょう</small> 責任者及び従業者向 <small>せきんしやおよ じゅうぎょうしゃむ</small> けに研修を実施しま <small>けんしゅう じっし</small> した。 <small>けんしゅうじゅこうしゃすう</small> 【研修受講者数：113 <small>にん</small> 人】 <small>にん</small>	○	サービス提供責任者 <small>ていきょうせきんしやし</small> 及び従業者の質を更 <small>およ じゅうぎょうしゃ しつ さら</small> に高めるため、研修テ <small>たか</small> ーマを選定し、受講者 <small>せんてい じゅこうしゃ</small> の増加を目指します。 <small>ぞうか めざ</small>	推進 <small>すいしん</small>	推進 <small>すいしん</small>

事業名	事業内容	令和4年度取組予定	令和4年度実績	令和4年度 ひょうか 評価	令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
<p>なんびょう かんじゃ 難病患者 がいしゅつ しえん 外出支援 サービス じぎょう 事業</p>	<p>いっばん こうつうきかん りょう 一般の交通機関を利用 した外出に困難を伴 う、車いす等を利用す る難病患者に福祉 車両による送迎サービ スを提供します。</p>	<p>いっばん こうつうきかん りょう 一般の交通機関を利用 して外出に困難を伴 う、車いす等を利用する 難病患者に福祉車両に よる送迎サービスを行 って提供します。</p>	<p>いっばん こうつうきかん りょう 一般の交通機関を利用 した外出に困難を 伴う、車いす等を利用 する難病患者に福祉 車両等による送迎サ ービスを提供しまし た。 (利用登録者数37人)</p>	<p>△</p>	<p>ひ つづ がいしゅつしえん 引き続き、外出支援が 必要な方にサービスの 提供を行っていきま す。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>ざいたく 在宅 じゅうしやう 重症 かんじゃ がいしゅつ 患者外出 しえん じぎょう 支援事業</p>	<p>くるま いどう 車いすによる移動が 困難でストレッチャー 対応車を使用せざるを 得ない難病患者が、 つういんどう さい しよてい 通院等の際、所定の 患者等搬送用自動車を 利用した場合に、その いそうひ いちぶ じよせい 移送費の一部を助成し ます。</p>	<p>つういんどう びんかんききゅうきゅうじ 通院等に民間救急事 業者を利用する在宅 じゅうしやうかんじゃ たい 重症患者に対し、 いそうひ いちぶ じよせい 移送費の一部を助成し ます。また、実態とニーズ の把握を行い、必要な ひと じょうほうていきょう 人に情報提供できるよ う引き続き18区と連携し ていきます。</p>	<p>つういんどう びんかんききゅうきゅうじ 通院等に民間救急事 業者を利用する在宅 じゅうしやうかんじゃ たい 重症患者に対し、 いそうひ いちぶ じよせい 移送費の一部を助成し ました。また、必要な人 に情報提供できるよ う、相談窓口である区 やくしよ じょうほうききょうゆう ほか 役所と情報共有を図 りました。 の りょうかいすう かい 延べ利用回数：491回 りょうしやの にんずう じん 利用者延べ人数：206人</p>	<p>○</p>	<p>つういんどう びんかんききゅうきゅうじ 通院等に民間救急事 業者を利用する在宅 じゅうしやうかんじゃ たい 重症患者に対し、 いそうひ いちぶ じよせい 移送費の一部を助成し ます。また、実態とニー ズの把握を行い、必要 な人に情報提供でき るよう引き続き区役所 と連携していきます。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	令和4年度取組予定 <small>れいわねんどとりくみよてい</small>	令和4年度実績 <small>れいわねんどじっせき</small>	令和4年度 評価 <small>れいわねんどひょうか</small>	令和5年度 取組予定 <small>れいわねんどとりくみよてい</small>	中間期 目標 <small>ちゅうかんきもくひょう</small>	目標 <small>もくひょう</small>
福祉有償 移動サー ビス事業 <small>ふくしゅうしょういどう</small>	移動に介助が必要な 身体障害者等を対象 に、登録されたNPO 法人等による、自家用 自動車を利用した移動 サービスを促進します。 <small>いどうかいじょひつよう</small> <small>しんたいしょうがいしゃどうたいしょう</small> <small>とうろくえぬびーおー</small> <small>ほうじんどうじかよう</small> <small>じどうしゃりよういどう</small> <small>そくしん</small>	福祉有償運送を行う NPO法人等の登録等 や、福祉有償運送の 適正な実施等について 協議する福祉有償移動 サービス運営協議会を 開催します。また、福祉 有償運送を実施してい る団体へ訪問し、活動が 適正に実施されているか 調査を行います。 <small>ふくしゅうしょうんそうおこな</small> <small>えぬびーおーほうじんどうとうろくどう</small> <small>ふくしゅうしょうんそう</small> <small>てきせいじっしどう</small> <small>きょうぎふくしゅうしょういどう</small> <small>うんえいきょうぎかい</small> <small>かいさい</small> <small>ふくし</small> <small>ゆうしょうんそうじっし</small> <small>だんたいほうもんかつどう</small> <small>てきせいじっし</small> <small>ちょうさおこな</small>	福祉有償移動サービ ス運営協議会を開催 しました(3回)登録 団体への訪問を実施し ました。福祉有償運送 のホームページにおい て情報提供を行いました。 <small>ふくしゅうしょういどう</small> <small>うんえいきょうぎかいかいさい</small> <small>かい</small> <small>だんたいほうもんじっし</small> <small>ふくしゅうしょうんそう</small> <small>ホームページ</small> <small>じょうほうていきょうおこな</small>	○	福祉有償運送を行う NPO法人等の登録等 や、福祉有償運送の 適正な実施等について 協議する福祉有償 移動サービス運営協 議会を開催します。ま た、福祉有償運送を 実施している団体へ 訪問し、活動が適正に 実施されているか調査 を行い、事業の安定的 な執行を図ります。 <small>ふくしゅうしょうんそうおこな</small> <small>えぬびーおーほうじんどうとうろくどう</small> <small>ふくしゅうしょうんそう</small> <small>てきせいじっしどう</small> <small>きょうぎふくしゅうしょう</small> <small>いどう</small> <small>うんえいきょう</small> <small>ぎかいかいさい</small> <small>かいさい</small> <small>ふくしゅうしょうんそう</small> <small>じっし</small> <small>だんたい</small> <small>ほうもん</small> <small>かつどう</small> <small>てきせい</small> <small>じっし</small> <small>ちょうさ</small> <small>おこな</small> <small>じぎょう</small> <small>あんていてき</small> <small>しっこう</small> <small>はか</small>	推進 <small>すいしん</small>	推進 <small>すいしん</small>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりにくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりにくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
じゅうど 重度 しょうがいしゃとう 障害者等 への移動 しえんじぎょう 支援事業 の拡充 ⑧	こうきょうこうつうきかん 公共交通機関での がいしゅつ こんなん じゅうど 外出が困難な重度 しょうがいしゃとう たい 障害者等に対して、 いどうしえんじぎょう かくじゅう 移動支援事業の拡充を はか 図ります。	じゅうどしょうがいしゃ 重度障害者タクシー りょうきんじよせいじぎょう しょうがいしゃ 料金助成事業と障害者 じどうしゃねんりょうひじよせいじぎょう 自動車燃料費助成事業を ひ つづ すいしん 引き続き推進していきま す。	れいわ ねん がつ たいしょうしゃ 令和3年10月に対象者 を かくだい じゅうど を拡大した重度 しょうがいしゃ りょうきん 障害者タクシー料金 じよせいじぎょうおよ じんせつ 助成事業及び、新設し た しょうがいしゃじどうしゃねんりょう 障害者自動車燃料 ひじよせいじぎょう すいしん 費助成事業を推進しま した。 ねんりょうけん さつ 【燃料券】10,724冊	○	じゅうどしょうがいしゃ 重度障害者タクシー りょうきんじよせいじぎょう しょうがい 料金助成事業と障害 しゃ じどうしゃ ねんりょうひ じよせい 者自動車燃料費助成 じぎょう ひ つづ すいしん 事業を引き続き推進し ていきます。	すいしん 推進	すいしん 推進

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
いどうしえんじぎょう 移動支援事業 (いどうかいご ふうがくつうしよしえん) (移動介護・通学通所支援) ⑨	じかんぶん 781,554時間分 じっせき じかんぶん 実績580,689時間分	じかんぶん 797,185時間分 じっせき じかんぶん 実績620,937時間分	じかんぶん 813,128時間分
	にんぶん 6,479人分 じっせき にんぶん 実績5,187人分	にんぶん 6,673人分 じっせき にんぶん 実績5,583人分	にんぶん 6,873人分

1-4 まちづくり

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	令和4年度取組予定 <small>れいわ ねんどとりくみよてい</small>	令和4年度実績 <small>れいわ ねんどじっせき</small>	令和 4年度 評価 <small>れいわ ねんど ひょうか</small>	令和5年度 取組予定 <small>れいわ ねんど とりくみよてい</small>	中間期 目標 <small>ちゅうかんき もくひょう</small>	目標 <small>もくひょう</small>
福祉のまち づくり推進 事業 <small>ふくし すいしん じぎょう</small>	「横浜 <small>よこはま</small> に関わる全て <small>かか すべ</small> の人が お互い <small>たが</small> を尊重 <small>そんちょう</small> し、助け合 <small>たす あ</small> う、人の優しさ <small>ひと やさ</small> にあふれた まちづくり」を実現 <small>じつげん</small> するた め、ハードとソフト (環境整備 <small>かんきょうせいび</small> や福祉教育 <small>ふくしきょういく</small> な ど)を一体的 <small>いったいてき</small> に取り組み <small>と く</small> 福祉のまちづくり <small>ふくし</small> を推進 <small>すいしん</small> し ます。	子ども向けリーフレット の改訂 <small>かいてい</small> や、職員等 <small>しよくいんとう</small> を 対象 <small>たいしょう</small> とした研修 <small>けんしゅう</small> の開催 <small>かいさい</small> などにより、福祉 <small>ふくし</small> のまち づくりを推進 <small>すいしん</small> します。 福祉のまちづくり条例 <small>ふくし じょうれい</small> に基づく事前協議 <small>もと じぜん きょうぎ</small> や設計 <small>せつけい</small> 相談等 <small>そうだんとう</small> に適切 <small>てきせつ</small> に対応 <small>たいおう</small> しま す。	子ども向けリーフレッ ト改訂版 <small>かいていばん</small> の検討 <small>けんとう</small> を 進め <small>すす</small> ました。 職員等 <small>しよくいんとう</small> を対象 <small>たいしょう</small> とした 研修 <small>けんしゅう</small> の開催 <small>かいさい</small> などによ り、福祉のまちづくり を推進 <small>すいしん</small> しました。 福祉のまちづくり 条例 <small>ふくし じょうれい</small> に基づく事前 協議 <small>もと じぜん きょうぎ</small> や設計相談等 <small>せつけいそうだんとう</small> に適切 <small>てきせつ</small> に対応 <small>たいおう</small> しました。	○	子ども向けリーフレ ットを改訂 <small>かいてい</small> します。 職員等 <small>しよくいんとう</small> を対象 <small>たいしょう</small> とし た研修 <small>けんしゅう</small> の開催 <small>かいさい</small> などに より、福祉のまちづく りを推進 <small>すいしん</small> します。 福祉のまちづくり 条例 <small>ふくし じょうれい</small> に基づく事前 協議 <small>きょうぎ</small> や設計相談等 <small>せつけいそうだんとう</small> に適切 <small>てきせつ</small> に対応 <small>たいおう</small> します。	推進 <small>すいしん</small>	推進 <small>すいしん</small>

<p>公共交通 機関のバリアフリー化</p>	<p>誰もが移動しやすい環境整備の一環として、鉄道駅舎へのエレベーター等の設置及びノンステップバスの導入促進を図ります。</p>	<p>市内の駅には、バリアフリーが未整備の駅があるため、鉄道駅舎へのエレベーターなどの設置について、引き続き補助を行っていきます。</p> <p>ノンステップバスの導入については、事業者間で導入率に差があることから、導入率の低い事業者に対し重点的に補助を行うなど効率的な取組を図るとともに、市民の要望等を事業者に共有するなどして、導入の検討について働きかけていきます。</p>	<p>市内の駅には、バリアフリーが未整備の駅があるため、鉄道駅舎へのエレベーターなどの設置について、引き続き事業者と具体的な補助申請時期の調整等を行いました。</p> <p>ノンステップバスの導入については、事業者間で導入率に差があることから、導入率の低い事業者に対し重点的に補助を行うなどの効果的な取組を行うとともに、市民の要望等を事業者に共有するなど、ノンステップバス導入に向けた検討を働きかけました。</p>	<p>○</p> <p>具体的な設置の計画をしている事業者からは、検討の進捗について情報提供をいただくなど、連絡を密にしました。</p> <p>ノンステップバスの導入については、事業者間で導入率に差があることから、導入率の低い事業者に対し重点的に補助を行うなど効率的な取組を図るとともに、市民の要望等を事業者に共有するなどして、導入の検討について働きかけました。また各事業者における今後のノンステップバス導入計画について把握に努めました。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
----------------------------	--	--	---	---	--------------------	--------------------

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
バリアフリーの推進 ・バリアフリー基本構想の検討・作成	バリアフリー法に基づき、駅周辺の重点的かつ一体的なバリアフリー整備を推進するため、区ごとにバリアフリー基本構想を作成します。 ・策定済み地区の見直しや、未策定地区の新規作成等	磯子区、中区、羽沢横浜国大駅周辺地区、踊場駅周辺地区でバリアフリー基本構想を策定しました。 また港北区、緑区のバリアフリー基本構想の作成に向けた検討を引き続き進めます。	磯子区、中区、羽沢横浜国大駅周辺地区、踊場駅周辺地区でバリアフリー基本構想の策定しました。 また港北区、緑区のバリアフリー基本構想の作成を進めています。	○	港北区、緑区でバリアフリー基本構想を策定します。 また新規地区のバリアフリー基本構想の作成に向けた検討を進めます。	すいしん 推進	すいしん 推進
・バリアフリー歩行空間の整備	駅周辺のバリアフリー化を推進するため、バリアフリー基本構想に基づき、道路のバリアフリー化を引き続き、進めます。	バリアフリー基本構想に基づき十日市場駅周辺地区等のバリアフリー整備を進めていきます。 また、磯子区、中区、羽沢横浜国大駅周辺地区、踊場駅周辺地区の道路特定事業計画の作成を進めていきます。	十日市場駅周辺地区等にて、EV設置等を実施しました。 また、磯子区における道路特定事業計画を策定し、その他地区については道路特定事業計画の検討を行いました。	○	バリアフリー基本構想が策定された各地区において、道路特定事業計画の策定を進めバリアフリー整備を推進していきます。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
よこはまし 横浜市 こうきょう 公共サイ ンガイドラ インの運用 すいしん 推進	こうてききかん せっち 公的機関により設置される ほこうしゃようあんない ゆうどう 歩行者用案内・誘導サイン きかく ひょうじないようとう どういつ の規格や表示内容等の統一 はか を図るためのガイドライン うんよう すいしん の運用を推進します。 また、こうきょう けいさい 公共サインの掲載 きじゅんとう ひつよう おう 基準等について必要に応じ みなお けんとう ほ て見直しを検討し、より歩 こうしゃ わ 行者に分かりやすいサイン せいび すす 整備を進めていきます。	うんよう ガイドラインの運用を すいしん ほこうしゃ 推進し、より歩行者にわ かりやすいサインせいび 整備を すす 進めていきます。	うんよう ガイドラインの運用を てきせつ おこな 適切に行いました。	△	うんよう ガイドラインの運用 すいしん ほこうしゃ を推進し、より歩行者 にわかりやすいサイ ンせいび ゆうどう 整備を誘導してい きます。	すいしん 推進	すいしん 推進
エレベータ せっちじぎょう 一設置事業	せいび エレベーターの整備など、 がっこうしせつ 学校施設のバリアフリー化 すす しょうがいじ まな を進め、障害児が学びやす かんきょう せいび い環境を整備します。	くるま りようとう じどう 車いす利用等の児童 せいと ざいせき また 生徒が在籍している又は にゆうがくよてい がっこう 入学予定の学校へのエ レベーターのせいび だんさ 整備や段差 かいしょう がっこうしせつ 解消など、学校施設の バリアフリー化すす を進め、 しょうがい じどうせいと 障害のある児童生徒が まな かんきょう せいび 学びやすい環境を整備 します。	くるまいすりようとう じどう 車椅子利用等の児童・ せいと ざいせきまた にゆうがく 生徒が在籍又は入学 よてい がっこう 予定の学校に、エレベ ーターやスロープを せっち 設置しました。 (れいわ ねんど 令和4年度エレベ ーター設置校数：9校)	○	くるまいすりようとう じどう 車椅子利用等の児童・ せいと にゆうがくよていまた 生徒が入学予定又は ざいせき がっこう 在籍する学校へのエ レベーターのせいび だんさかいしょう がっこう 段差解消など、学校 しせつ 施設バリアフリーの かそくか ほか じどう 加速化を図り、児童・ せいと まな 生徒が学びやすい かんきょう せいび 環境を整備します。	すいしん 推進	すいしん 推進

2-1 健康・医療

(1) 障害者の健康づくりの推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいしゃ 障害者へ のスポー ツを通じ た健康・ 体力作り 支援	しょうがいとくせい りかい 障害特性を理解した しょうがいしゃ ぶんか 障害者スポーツ文化セ ンターのスタッフ等 が、障害者が体力づ くりや余暇活動を身近 な場所で行えるよう、 ちいき じんざいいくせい ふく 地域の人材育成も含め た環境整備を進めま す。	ちいき さまざま だんたいどう 地域の様々な団体等へ しょうがいりかい しょうがいしゃ 障害理解や障害者スポ ーツの普及啓発のための けんしゅうとう じっし しょうがい 研修等を実施し、障害 のある人が身近な場所で スポーツに取り組める かんきょうづく すず 環境作りを進めます。	ちいき さまざま だんたいどう 地域の様々な団体等へ しょうがいりかい しょうがいしゃ 障害理解や障害者スポ ーツの普及啓発のため、 よこはまし きょうかい 横浜市スポーツ協会と れんけい ふか しょうがい の連携を深め、障害のあ る人が身近な場所でスポ ーツに取り組める環境 づくりをおこな 作りを行いました。	○	ちいき さまざま だんたい 地域の様々な団体 等へ 障害理解や しょうがいしゃ 障害者スポーツの 普及啓発のための けんしゅうとう じっし 研修等を実施し、 しょうがい ひと 障害のある人が みちか ばしょ 身近な場所でスポ ーツに取り組める かんきょうづく ひ つづ 環境作りに引き続 き取り組みます。	すいしん 推進	すいしん 推進

<p>さいけい 【再掲】 しょうがいふくし 障害福祉 しせつしょくいん 施設職員 どう 等への しえん 支援 新</p>	<p>しょうがいしゃ きゅーおーえる 障害者のQOLの こうじょう めざ 向上を目指して、 しょうがいどくせい 障害特性やライフステ ージに<small>おう</small>じた<small>しょうがい</small>障害の じゅうどか かんわ せいかつ 重度化の緩和、生活 しゅうかんびょう よぼうどう 習慣病の予防等の ふきゅうけいはつ ほか 普及啓発を図るため、 しょうがいふくしせつ 障害福祉施設における えいせいかんり えいようかんり 衛生管理、栄養管理に かん けんしゅう れんらくかいどう 関する研修、連絡会等 じっし を実施します。</p>	<p>しょうがいふくしせつ しょくいん 障害福祉施設の職員を たいしょう えいせいかんり 対象とした衛生管理、 えいようかんり かんれん 栄養管理に関連する けんしゅう れんらくかいどう じっし 研修、連絡会等を実施 します。</p>	<p>しょうがいふくしせつ しょくいん 障害福祉施設の職員を たいしょう しょくひんえいせい 対象とした食品衛生 こうしゅうかい いー 講習会（eラーニング） や摂食嚥下研修（動画 はいしん じっし 配信）を実施しました。</p>	<p>○</p>	<p>しょうがいふくしせつ 障害福祉施設に きんむ えいようし 勤務する栄養士、 ちょうりたんどうしゃ かんりしゃ 調理担当者、管理者 どう たいしょう 等を対象とした えいせいかんりけんしゅう 衛生管理研修を じっし 実施します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
---	--	---	---	----------	--	--------------------	--------------------

(2) 医療環境の充実

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定</p>	<p>れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績</p>	<p>れいわ 令和 4 ねんど 年度 びょうか 評価</p>	<p>れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>なんびょうかんじゃ 難病患者 いちじにゆういん 一時入院 じぎょう 事業</p>	<p>いりよういぞんど たか なんびょう 医療依存度の高い難病 かんじゃ かいじょしゃ じじょう 患者が介助者の事情に より、在宅で介助を受 けることが困難になっ た場合、一時的に入院 できるようにします。</p>	<p>びょういん いたくけいやく 8病院と委託契約を し、病床確保を継続し ます。また、実態とニー ズの把握を行い、必要 な人に情報提供でき よう引き続き18区と連携 していきます。</p>	<p>じったい 実態とニーズに合わせて、 あら きょうりょくびょういん かくほ 新たな協力病院の確保 に取り組みました。また、 そうだんまどぐち 相談窓口である18区と じょうほう きょうゆう 情報を共有しています。 れいわ ねんど せい 令和4年度から聖マリア い かだいがくよこはましせいぶ ンナ医科大学横浜市西部 びょういん あら いたくけいやく 病院と新たに委託契約を しました。 のぶりようにつすう にち ●延利用日数：460日 のぶりようになずう にん ●延利用人数：61人</p>	<p>○</p>	<p>びょういん いたくけいやく 9病院と委託契約を し、病床確保を継続し ます。また、実態とニー ズの把握を行い、必要 な人に情報提供でき よう引き続き18区と れんけい 連携していきます。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 4 ねんど 年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
し か ほけん 歯科保健 いりょうすいしん 医療推進 じぎょう 事業 しんしん (心身 しょうがいじ 障害児・ しゃしか 者歯科 しんりょう 診療)	つうじょう し か しんりょう 通常の歯科診療では たいおう こんなん しんしん 対応が困難な心身 しょうがいじ しゃ たい 障害児・者に対する し か ちりょう かくほ ひ 歯科治療の確保を引き つづ はか 続き図ります。	し か ほけんいりょう 歯科保健医療センターへ ほじょおよ しょうがいじ しゃ の補助及び障害児・者 し か しんりょうきょうりよくいりょう の診療協力医療 きかん けんしゅう ほじょ 機関への研修の補助を おこな しょうがいじ しゃしか 行い、障害児・者歯科 しんりょう しえん おこな 診療の支援を行いま す。	し か ほけんいりょう 歯科保健医療センターへ ほじょ しょうがいじ しゃしか の補助、障害児・者歯科 しんりょうきょうりよくいりょうきかんむ 診療協力医療機関向け けんしゅう ほじょ おこな の研修の補助を行い、 しょうがいじ しゃ 障害児・者に対する歯科 ちりょう かくほ 治療を確保しました。 しんしん しょうがいじしゃ しか しんりょう 心身障害児者 歯科 診療 きょうりよくいりょうきかんにていけんしゅう 協力医療機関認定研修 じゅこうしゃすう にん 受講者数：23人	○	し か ほけんいりょう 歯科保健医療センター ほじょ しょうがいじ しゃ への補助、障害児・者 し か しんりょう きょうりよく いりょう 歯科診療協力医療 きかんむ けんしゅう ほじょ 機関向けの研修の補助 おこな しょうがいじ しゃしか を行い、障害児・者歯科 しんりょう しえん 診療を支援します。	すいしん 推進	すいしん 推進

事業名 <small>じぎょうめい</small> 事業名	事業内容 <small>じぎょうないよう</small> 事業内容	令和4年度取組予定 <small>れいわ ねんどとりくみよてい</small> 令和4年度取組予定	令和4年度実績 <small>れいわ ねんどじっせき</small> 令和4年度実績	令和 4 年度 評価 <small>れいわ ねんど じぎょう ねんど じぎょう ねんど じぎょう</small>	令和5年度 取組予定 <small>れいわ ねんど ねんど ねんど ねんど</small> 令和5年度 取組予定	中間期 目標 <small>ちゅうかんき</small> 中間期 目標	目標 <small>もくひょう</small> 目標
【再掲】 メディカ ルショー トステイ 事業 ㊟	医療的ケアが必要な <small>いりょうてき ひつよう</small> 医療的ケアが必要な <small>じゅうしょうしんしんしょうがいじ しゃ</small> 重症心身障害児・者 <small>どう ざいたく かいご</small> 等を在宅で介護する <small>かぞく ふたんけいげん ざいたく</small> 家族の負担軽減と在宅 <small>せいかつ あんてい もくてき</small> 生活の安定を目的とし <small>いちじてき ざいたくせいかつ</small> て、一時的に在宅生活 <small>こんなん ばあい</small> が困難となった場合な <small>びょういん う い</small> どに、病院での受け入 <small>じっし</small> れを実施します。	引き続き事業を実施して <small>ひ つづ じぎょう じっし</small> 引き続き事業を実施して <small>きょうりよく</small> いくとともに、協力 <small>いりょうきかん えんかつ じぎょう</small> 医療機関との円滑な事業 <small>うんえい はか</small> 運営を図ります。	協力医療機関の医療 <small>きょうりよくいりょうきかん いりょう</small> 協力医療機関の医療 <small>む けんしゅう</small> スタッフ向けの研修は <small>しんがた</small> 新型コロナウイルス <small>かんせんしょう えいきょう ちゅうし</small> 感染症の影響で中止し <small>いし かんごし</small> ましたが、医師、看護師 <small>およ いりょう</small> 及び医療ソーシャルワ <small>ごうどうかいぎ れいわ</small> ーカーとの合同会議を令和 <small>ねん がつ じっし りようしゃ</small> 4年9月に実施し、利用者 <small>うけいれ かん じょうほう</small> の受入に関する情報 <small>きょうゆう いけんこうかん おこな</small> 共有や意見交換を行い <small>た きょうりよく</small> ました。その他、協力 <small>いりょうきかん ずいじれんらくちょうせい</small> 医療機関と随時連絡調整 <small>おこな しんがた</small> を行い、新型コロナウイルス <small>かんせんしょう のうこう</small> 感染症の濃厚 <small>せつしよくしゃ うけいれ じんそく</small> 接触者の受入にも迅速に <small>たいおう</small> 対応しました。 <small>りようにつすう けんすう</small> 利用日数（件数） <small>にち けん</small> 502日（86件）	○	引き続き事業を実施し <small>ひ つづ じぎょう じっし</small> 引き続き事業を実施し <small>きょうりよく</small> ていくとともに、協力 <small>いりょうきかん えんかつ</small> 医療機関との円滑な <small>じぎょううんえい はか</small> 事業運営を図ります。	推進 <small>すいしん</small> 推進	推進 <small>すいしん</small> 推進

事業名	事業内容	令和4年度取組予定	令和4年度実績	令和4年度評価	令和5年度取組予定	中間期目標	目標
<p>難病患者在宅療養計画策定・評価事業</p>	<p>在宅難病患者に対し、保健・医療・福祉の各サービスを適切に提供するために、関係者が合同でサービス内容を検討します。</p>	<p>在宅難病患者が安定した療養生活を送ることを目的としたこの事業を活用し、在宅生活を支える関係者と在宅療養計画の策定・評価に取り組みます。</p>	<p>在宅難病患者が安定した療養生活を送ることを目的とし、在宅生活を支えるケアマネジャーの人材育成のために、難病患者の在宅療養計画策定・評価の事例検討を行いました。</p>	○	<p>在宅難病患者が安定した療養生活を送ることを目的とした本事業を活用し、在宅生活を支える関係者と在宅療養計画の策定・評価に取り組みます。</p>	すいしん推進	すいしん推進
<p>医療機関連携事業 ②</p>	<p>障害児・者が身近な地域で適切な医療が受けられる環境づくりを推進するため、障害特性等を理解し適切な医療を提供できる医療機関を増やします。</p>	<p>引き続き、知的障害者専門外来設置医療機関を5病院で実施するとともに、6病院目の設置をめざ目指します。 また、市内医療機関に知的障害者の受診対応状況のアンケートを実施し、今後の方向性等を検討します。</p>	<p>知的障害者専門外来設置医療機関を5病院で実施しました。 < 病院数/受診患者数 > 令和4年度：5病院/214人</p>	○	<p>引き続き、知的障害者専門外来設置医療機関を5病院で実施します。 また、6病院目専門外来設置を目指し、市内精神科病院に働きかけを行います。</p>	すいしん推進	すいしん推進

事業名	事業内容	令和4年度取組予定	令和4年度実績	令和4年度評価	令和5年度取組予定	中間期目標	目標
<p>じゅうどしんけい なんびょうかんじゃ ざいたくしえん 在宅支援システム の構築</p>	<p>はつびょう すうねん きゅうそく 発病から数年で急速 しんこう しんけいなんびょう に進行する神経難病 かんじゃ たい ざいたくしえん 患者に対する在宅支援 せんもんいりょう システムを、専門医療 きかん ざいたく 機関・在宅リハビリテ ーション等の保健・ いりょうかんけいしゃ しやうがいふくし 医療関係者と障害福祉 じぎょうとう サービス事業等との れんけい こうちく 連携により、構築しま す。 えーえるえすかんじゃ くわ ・ALS患者に加え、 きん しやう 筋ジストロフィー症 かんじゃ 患者のライフステージ あ せいかつしやうがい に合わせた生活障害 しえん もくてき ざいたく 支援を目的に、在宅リ ハビリテーションを かつよう なが こうちく 活用する流れを構築し ます。</p>	<p>ひ つづ ざいたく 引き続き、在宅リハビリ テーション事業の活用 すいしん しない しよ 推進のため、市内11か所 いりょうきかん しんだんきかん の医療機関（診断機関） くふくしほけん や区福祉保健センターへ ざいたく 在宅リハビリテーション じぎょう しゅうち おこな 事業の周知を行いま す。筋ジストロフィー しやうかんじゃ たい 症患者に対しては、 ざいたく 在宅リハビリテーション じぎょう 事業のフォローアップ きのう かつよう そくしん 機能の活用を促進しま す。</p>	<p>しんない しよ いりょうきかん 市内11か所の医療機関 しんだんきかん く ふくし （診断機関）や18区の福祉 ほけん ざいたく 保健センターへ在宅リハ ビリテーション事業の しゅうち おこな じりつ 周知を行うとともに、自立 しえんきやうぎかいどうしえんしや 支援協議会等支援者 の れんらくかいぎ さんか 連絡会議に参加するなど ざいたく 在宅リハビリテーション じぎょう かつよう すいしん 事業の活用を推進しまし た。筋ジストロフィー症 かんじゃ たい 患者に対しては、フォロー アップ機能により適時 てきせつ ていきやう 適切なサービスを提供し ました。</p>	○	<p>ひ つづ ざいたく 引き続き、在宅リハビリ テーション事業を活用 すいしん じゅうどしんけいなん 推進し、重度神経難 びやうしや ざいたくしえん 病者の在宅支援システ ムを拡充するため、 しんない いりょうきかん しんだん 市内の医療機関（診断 きかん 機関、かかりつけ医）や くふくしほけん 区福祉保健センター、 じりつしえんきやうぎかいどう たい 自立支援協議会等 対 して在宅リハビリテー ーション事業を周知しま す。</p>	こうちく 構築	こうちく 構築

事業名	事業内容	令和4年度取組予定	令和4年度実績	令和4年度 評価	令和5年度 取組予定	中間期 目標	目標
<p>在宅療養児の地域生活を支えるネットワーク連絡会</p>	<p>障害児・者の医療（入院・在宅）に関わる医療関係者を中心に、福祉・教育関係者を対象として、在宅支援に必要な情報交換や人的交流を通じて、障害理解を促進します。</p>	<p>引き続き事業を実施し、障害児・者の在宅支援に必要な情報交換等を通じて、障害理解を促進していきます。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、Webで1回連絡会を開催しました。</p>	○	<p>引き続き事業を実施し、障害児・者の在宅支援に必要な情報交換等を通じて、障害理解を促進していきます。</p>	すいしん 推進	すいしん 推進
<p>重症心身障害児・者の在宅生活を支えるための支援体制の充実</p>	<p>重症心身障害児・者の在宅生活を支えるための医療体制をはじめとする検討を行い、支援体制の充実を図ります。</p>	<p>引き続き重症心身障害児・者の在宅生活を支えるため、研修等を通じて、支援体制の充実を図ります。</p>	<p>神奈川県・川崎市との委託で「小児訪問看護・重症心身障がい児者看護研修会」を実施しました。</p>	○	<p>訪問看護等を通じた障害児・者の在宅生活に必要な支援体制の充実についての検討を引き続き行っていきます。</p>	けんとう 検討	すいしん 推進

事業名	事業内容	令和4年度取組予定	令和4年度実績	令和4年度評価	令和5年度取組予定	中間期目標	目標
重度障害者等入院時コミュニケーション支援事業 (あ)	入院先医療機関の医師・看護師等との意思疎通が十分に図れない障害児・者を対象に、入院先にコミュニケーション支援員を派遣します。	入院先医療機関の医師・看護師等との意思疎通が図れるよう、引き続きコミュニケーション支援員を派遣します。	入院先医療機関の医師・看護師等との意思疎通が図れるよう、コミュニケーション支援員を派遣しました。 派遣件数：2人	△	入院先医療機関の医師・看護師等との意思疎通が図れるよう、引き続きコミュニケーション支援員を派遣します。	推進	推進
健康ノート	障害児・者が自分の住む地域の医療機関で受診する際に活用できる「健康ノート」について、入手しやすくなるよう検討し、より活用できるようにします。	活用状況を確認しながら、普及につながる方法を引き続き検討します。	まどぐち窓口での配架や本市ウェブサイトへの掲載をおこなう、誰でも活用出来るようにしました。	○	まどぐち窓口での配架や本市ウェブサイトへの掲載をし、周知します。また、活用状況を確認しながら、普及につながる方法を引き続き検討します。	推進	推進

事業名	事業内容	令和4年度取組予定	令和4年度実績	令和4年度評価	令和5年度取組予定	中間期目標	目標
<p>さいけい 【再掲】 いりょう 医療 じゅうじしゃ 従事者 けんしゅう 研修事業 あ</p>	<p>しっぺい しょうがい しょうに 疾病や障害のある小児 および重症心身 しょうがいじ しゃ しえん 障害児・者の支援に ひつよう ちしき ぎじゆつ 必要な知識・技術の こうじょう はか しょうがい 向上を図り、障害 とくせい りかい いりょう 特性を理解した医療 じゅうじしゃ いくせい 従事者を育成するため けんしゅう じっし の研修を実施します。</p>	<p>しょうがいとくせいとう りかい 障害特性等を理解した いりょうじゅうじしゃ いくせい 医療従事者を育成するた めに、引き続き「小児 ほうもんかんご じゅうしょうしんしん 訪問看護・重症心身 しょうがいじしゃけんしゅう じっし 障害児者研修」を実施 します。</p>	<p>れいわ ねん がつ がつ 令和4年8月から11月に かけて、いりょうきかん ふくし 施設等に勤務する看護師 しせつとう きんむ かんごし を対象に「小児訪問看護・ たいしょう しょうにほうもんかんご 重症心身障害児者 けんしゅう じっし 研修」を実施しました。 ＜市内研修修了者数＞ れいわ ねん じん 令和4年度：29人</p>	○	<p>しょうがいとくせいとう りかい 障害特性等を理解した いりょうじゅうじしゃ いくせい 医療従事者を育成する ために、引き続き「小児 ほうもんかんご じゅうしょうしんしん 訪問看護・重症心身 しょうがいじしゃけんしゅう じっし 障害児者研修」を実施 します。</p>	すいしん 推進	すいしん 推進
<p>さいけい 【再掲】 しょうがいふくし 障害福祉 しせつとう 施設等で はたら 働く かんごし 看護師の しえん 支援 あ</p>	<p>しょうがいふくししせつとう はたら 障害福祉施設等で働 かんごし ていちゃく お く看護師の定着に向け しえん おこな た支援を行うとともに かくほ ほうさく に、確保の方策につい て検討します。</p>	<p>しょうがいふくししせつとう はたら 障害福祉施設等で働く かんごし ぎのうこうじょうおよ 看護師の技能向上及び しゅうろうていちゃく もくてき 就労定着を目的に、 いしとう かくしせつ ほうもんとう 医師等が各施設に訪問等 して行う個別の助言や けんしゅう かくしせつ かんごし 研修、各施設の看護師 たいしょう ごうどうけんしゅう を対象とした合同研修 とう じっし 等を実施します。</p>	<p>いし かくしせつ ほうもん 医師が各施設を訪問し、 こべつ じよげん けんしゅう 個別の助言や研修を おこな 行いました。また、各施設 かんごし しえんいん たいしょう の看護師・支援員を対象 いし かんごし こうし に、医師・看護師を講師と ごうどうけんしゅう じっし した合同研修を実施しま した。</p>	○	<p>しょうがいふくししせつとう はたら 障害福祉施設等で働く かんごし ぎのうこうじょうおよ 看護師の技能向上及び しゅうろうていちゃく もくてき 就労定着を目的に、 いしとう かくしせつ ほうもん 医師等が各施設に訪問 とう おこな こべつ じよげん 等して行う個別の助言 けんしゅう かくしせつ かんご や研修、各施設の看護 し たいしょう ごうどう 師を対象とした合同 けんしゅうとう じっし 研修等を実施します。</p>	すいしん 推進	すいしん 推進

<p>せいしんか 精神科 きゅうきゅう 救急 いりょうたいさく 医療対策 じぎょう 事業</p>	<p>せいしんしかん きゅうげきはっしょう 精神疾患の急激発症 せいしんしょうじょう あつか や精神症状の悪化な どで、早急に適切な せいしんかいらょう ひつよう 精神科医療を必要とす ばあい せいしんほけん る場合に、精神保健 ふくしほう もと しんさつ 福祉法に基づく診察や びょういん しょうかい おこな 病院の紹介を行うと ひつよう いりょう ともに、必要な医療 しせつ かくほ どう 施設を確保すること等 により、引き続き救 きゅうかんじや えんかつ いりょうおよ 急患者の円滑な医療及 び保護を図ります。</p>	<p>きんきゅう いりょう ひつよう 緊急な医療を必要とす かんじや じんそく てきせつ る患者が迅速かつ適切な いりょう う 医療を受けられるように するため、地域において びょういんおよ せいしんほけん 病院及び精神保健 していい きょうりやく そくしん 指定医の協力を促進 うけい たいせい じゅうじつ し、受入れ態勢の充実 はか きゅうきゅう を図ることで、救急 かんじや たい じんそく いりょう 患者に対して迅速に医療 ていきょう を提供します。</p>	<p>しんがた 新型コロナウイルスの かんせん かくだい せいしんか 感染が拡大し精神科 きゅうきゅう 救急のベッドがひっ迫 なか びょういん いりょう する中、病院から医療 げんば げんじょう ひつよう しえん 現場の現状、必要な支援 ふあんどう き と つと や不安等の聞き取りに努 めました。前年度から ひ つづ しんがた 引き続き、新型コロナウイルスの かんせん うたが 感染が疑われる きゅうきゅうかんじや うけい 救急患者の受入れをし せいしんかびょういん たい た精神科病院に対しての ほじょ けいぞく たいせい い じ 補助を継続し、体制の維持 つと に努めました。 じきゅうきゅうつうほうとうけんすう 【3次救急通報等件数】 れいわ ねんど けん 令和4年度：759件 じきゅうきゅういそうさきびょういん 【3次救急移送先病院 の市内病院の割合】 しなびょういん わりあい れいわ ねんど ばーせんと 令和4年度：87.1 %</p>	<p>きんきゅう いりょう ひつよう 緊急な医療を必要とす かんじや じんそく てきせつ る患者が、迅速かつ適切 いりょう う な医療を受けられるよ うにするため、地域にお びょういんおよ せいしんほけん いて病院及び精神保健 していい きょうりやく そくしん 指定医の協力を促進 うけい たいせい じゅうじつ し、受入れ体制の充実 はか きゅうきゅう を図ることで、救急 かんじや たい じんそく 患者に対して迅速に いりょう ていきょう 医療を提供します。 じんそく いりょう ていきょう 迅速な医療の提供に む じきゅうきゅう 向け、3次救急と あわ じきゅうきゅう 併せて2次救急での スムーズな受入れ体制 こうちく はか よこはま の構築を図ります。横浜 しみんせんようびょうしょう も 市民専用病床を持つ いりょうきかん どうびょうしょう 医療機関と同病床の かつよう ふく へいじつ 活用も含めた平日の うけい たいせい ちょうせい 受入れ体制の調整を はか 図ります。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
--	--	---	--	--	--------------------	--------------------

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 4 ねんど 年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
せいしんしっかん 精神疾患 を合併す る身体 救急 患者の救 急医療 体制整備 事業	せいしんしっかん がっぺい 精神疾患を合併する しんたいきゅうきゅうかんじゃ てきせつ 身体救急患者を適切 な医療機関へ円滑に はんそう 搬送できるよう、 きゅうきゅういりょうたいせい こうちく 救急医療体制を構築 します。	かだい せいり これまでの課題を整理 し、より良い救急医 療体制の構築に向け りょうたいせい こうちく む 療体制の構築に向け けんとう けいぞく た検討を継続します。 また、必要に応じて特定 しょうじょうたいおうびょういん さんかく 症状対応病院の参画 かんしょう を勧奨していきます。	せいしんしっかん とくてい 精神疾患のうち、特定 しょうじょう ゆう しんたい 症状を有する身体 きゅうきゅうかんじゃ うけいれおよ 救急患者の受入及び しよちそうだん いりょう 処置相談ができる医療 きかん しない びょういん 機関（市内に3病院）に りんばんたいせい へいじつひるま よる輪番体制を平日昼間 だけでなく、夜間休日も う い せいしん 受け入れることで、精神 しっかん がっぺい しんたい 疾患を合併する身体 きゅうきゅうかんじゃ うけいれたいせい 救急患者の受入体制を かくほ 確保しました。	○	ひ つづ とくていしょうじょう 引き続き、特定症状 たいおうびょういん りんばん 対応病院による輪番 たいせい かくほ 体制の確保により、 せいしんしっかん がっぺい 精神疾患を合併する しんたいきゅうきゅうかんじゃ うけいれ 身体救急患者の受入 およ 及びバックアップ体制 かくほ を確保します。 また、必要に応じて とくていしょうじょうたいおうびょういん 特定症状対応病院の たいせい みなお 体制について見直しを おこな 行います。	すいしん 推進	すいしん 推進

2-2 ぼうさい げんさい
防災・減災

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
さいがいじ 災害時 ようえんごしゃ 要援護者 しえんじぎょう 支援事業	さいがいじ じりきひなん 災害時に自力避難が こんなん ようえんごしゃ あんび 困難な要援護者の安否 かくにん ひなんしえんどう 確認や避難支援等の かつどう えんかつ おこな 活動が円滑に行われる よう、さいがいじ ようえんごしゃ よう、災害時要援護者 めいぼ ひなんしえん ひつよう 名簿や避難支援に必要 じょうほう ちいき ていきよう な情報を地域に提供 ひごる ちいき し、日頃からの地域に じしゅてき ささ あ おける自主的な支え合 とりくみ しえん いの取組を支援しま す。	ちいき じつじょう おう 地域の実状に応じた さまざま さいがいじ ようえんごしゃ 様々な災害時要援護者 しえん とりくみ しえん 支援の取組を支援しま す。	かくく ちいき 各区において、地域の じつじょう おう さまざま 実状に応じた様々な さいがいじ ようえんごしゃしえん 災害時要援護者支援の とりくみ おこな さいがいじ 取組が行われ、災害時 ようえんごしゃしえん とりくみ 要援護者支援の取組を じっし じちかい 実施している自治会・ ちょうないかい わりあい れいわ ねん 町内会の割合が令和4年 がつまつげんざい ばんせんと 3月末現在で95.6 % となりました。	○	ちいき じつじょう 地域の実状に おう さまざま さいがい 応じた様々な災害 じようえんごしゃしえん 時要援護者支援の とりくみ しえん 取組を支援します。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいしゃ 障害者・ しえんしゃ 支援者に よる災害 じどう 時等の しょうがいりかい 障害理解 そくしん 促進	セイフティーネットプロ ジェクト横浜 (S-net よこはま えすねっと よこはま かんけいき かんとう 横浜) や関係機関等と れんけい かくく じっし 連携し、各区で実施さ れる地域防災拠点訓練 ちいきぼうさいきよてんくんれん 等て障害者理解を促進 とう しょうがいしゃりかい そくしん します。	セイフティーネットプロ ジェクト横浜 (S-net よこはま えすねっと よこはま かんけいき かんとう 横浜) や関係機関等との れんけい かくく じっし 連携により、各区で実施 される地域防災拠点訓練 ちいきぼうさいきよてんくんれん 等て障害者理解を促進 とう しょうがいしゃりかい そくしん します。	セイフティーネットプロ ジェクト横浜 (S-net よこはま えす ねっと よこはま とう しょうがいりかい 横浜) 等の障害理解に かか ふきゅう けいはつかつどう 係る普及・啓発活動(コ ミュニケーションボード とう ふきゅうけいはつ けんしゅうかい 等の普及啓発、研修会、 ちいきぼうさいきよてん とうじしゃ 地域防災拠点での当事者 による講演等)を通じ、 しょうがいりかい けいはつ すすん 障害理解の推進に とり 取り組みました。	○	セーフティネット プロジェクト横浜 よこはま えす ねっとよこはま (S-net横浜)と れんけい 連携し、コミュニ ケーションボード について、当初の はいふ ねんいじょう 配布から10年以上 が経過したため、 けいか 各地域防止際拠点 かくちいきぼうしさいきよてん に再配布し、それ さいはいふ を機会に障害理解 きかい しょうがいりかい の普及啓発を図り ふきゅうけいはつ はか ます。	すいしん 推進	すいしん 推進

事業名	事業内容	令和 4 年度取組予定	令和 4 年度実績	令和 4 年度 ひょうか 評価	令和 5 年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
さいがい じ どう 災害時等 の自助力 の自助力 向上に向 けたツ ールの作成 及び 普及・ 啓発 (新)	ふうすいかい ふく さいがい じ 風水害を含めた災害時 に備え、自助力の向上 のためのツールの けんとう さくせい ほんし 検討・作成と、本市ウ ェブサイト等を活用し た普及・啓発を行っ ていきます。	ひ つづ 引き続き、マイ・タイム ライン等の自助力向上 ツールを、本市ウェブサ イト等を活用して、市民 に幅広く普及・啓発して いきます。	しょうがい う お 障害の有無にかかわら ず市民に幅広く普及・ 啓発ができるよう、避難 行動計画「マイ・タイム ライン」を「障害福祉の あんない」に掲載できる ように関係課と調整し ました。	○	ひ つづ しみん 引き続き、市民に 幅広く普及・啓発が できるようマイ・タ イムライン等の 自助力向上ツール を本市ウェブサイ ト等において活用 していきます。	すいしん 推進	すいしん 推進
さいがい じ 災害時に おける 自助・ 共助の 情報 共有の 推進 (新)	よこはまししょうがいしゃしきく 横浜市障害者施策 すいしんきょうぎかい かくだんたい 推進協議会や各団体の かいぎたい さいがい じ 会議体にて、災害時に おける自助・共助につ いて情報共有を行 います。	よこはまししょうがいしゃしきく 横浜市障害者施策 すいしんきょうぎかい ずいじ 推進協議会にて随時 じょうほうきょうゆう おこな 情報共有を行いま す。	れいわ ねん ど しょうがいしゃしきく 令和 4 年度 障害者 施策 けんとう ぶかい およ しょうがいしゃ 検討 部会 及び 障害者 しきくすいしんきょうぎかい 施策推進協議会にお いて、防災・減災に係る本市 の取組状況を報告し、 委員と意見交換を行 いました。	○	よこはまししょうがいしゃしきく 横浜市障害者施策 すいしんきょうぎかい 推進協議会 に て すいじじょうほうきょうゆう 随時情報共有 を おこな 行います。	じっし 実施	じっし 実施

<small>じぎょうめい</small> 事業名	<small>じぎょうないよう</small> 事業内容	<small>れいわ ねんどとりくみよてい</small> 令和4年度取組予定	<small>れいわ ねんどじっせき</small> 令和4年度実績	<small>れいわ ねんど</small> 令和4年度 ひょうか 評価	<small>れいわ ねんど</small> 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	<small>ちゅうかんき</small> 中間期 もくひょう 目標	<small>もくひょう</small> 目標
<small>しょうがいしゅべつ</small> 障害種別 <small>おうきゅうびちく</small> 応急備蓄 <small>ぶっしれんけい</small> 物資連携 <small>じぎょう</small> 事業	<small>しょうがいとくせい おう おう</small> 障害特性に応じた応 <small>きゅうびちくぶっし</small> 急備蓄物資について、 <small>ひ つづ ほかん</small> 引き続き保管できるよ <small>ふきゅう けいはつ</small> う、普及・啓発を <small>おこな</small> 実施 します。	<small>ひ つづ よう</small> 引き続き、ストーマ用 <small>そうぐ ほかん</small> 装具の保管ができるよ <small>せいび ふきゅう けいはつ</small> う、整備や普及・啓発を <small>おこな</small> 行います。	<small>れいわ ねんど ひ つづ</small> 令和3年度に引き続き、 <small>ようそうぐ ほかん</small> ストーマ用装具の保管が <small>しんきぼしゅう</small> できるよう、新規募集 <small>およ こうしんて つづ おこな</small> 及び更新手続きを <small>りようしゃすう</small> 行いました。(利用者数：163 <small>にん</small> 人)	○	<small>ひ つづ</small> 引き続き、ストーマ <small>ようそうぐ ほかん</small> 用装具の保管が <small>せいび</small> できるよう、整備や <small>ふきゅう けいはつ おこな</small> 普及・啓発を <small>おこな</small> 行います。	<small>じっし</small> 実施	<small>じっし</small> 実施

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいふくし 障害福祉 サービス 事業所等 における サービス 提供等 継続支援 ⑧	しょうがいふくし 障害福祉サービス 事業所等に対して、 へいじょうじ かんせんしやう 平常時から、感染症 の流行に備え、衛生物 びんとう びちく じぎょうけいぞく 品等の備蓄、事業継続 けいかく さくてい ひつやう 計画の策定など必要な じゅんび ふきやう 準備について、普及 けいはつ おこな 啓発を行います。ま た、緊急時にはサービ ス提供等の継続に向け た支援を行います。	しょうがいふくし 障害福祉サービス 事業所等に対して、 かんせんしやう まんえんとう 感染症の蔓延等があっ ても事業継続ができるよ う事業継続計画の策定 しえん おこな 支援を行います。 また、緊急時における サービス提供等の継続 に向けた支援を行い、 じぎょうしやない しんがた 事業所内で新型コロナウイルス の感染が疑われ る場合、迅速に対応でき るよう抗原検査キットを じやうびやう はいふ 常備用に配付します。	しょうがいふくし 障害福祉サービス 事業所等に対して、災害 や感染症の蔓延等があ っても事業が継続できる よう業務継続計画の策定 およ かつやう けんしやう 及び活用について、研修 を かいさい 開催しました。 (全6回) しんがた 新型コロナウイルスへの かんせんとう とき 感染等があった時にサー ビスを継続して提供す るためのかかり増し経費 の助成や抗原検査キット の配付を市内事業所等に おこな 行いました。	○	しんがた 新型コロナウイルス 感染症の5類化 に伴い、令和5年 5月7日までに 発生したものに 対するかかり増し 経費の助成を行 います。 ぎやうお けいぞく けいかく さくてい 業務継続計画策定 支援については、 こうせいろうどうしやう しりやう 厚生労働省の資料 等を活かし、個別に たいお 対応します。	けんとう 検討 ・ すいしん 推進	すいしん 推進

3-1 療育

(1) 地域療育センターを中心とした支援の充実

事業名	事業内容	令和4年度取組予定	令和4年度実績	令和4年度評価	令和5年度取組予定	中間期目標	目標
地域療育センター運営事業	障害がある、またはその疑いのある児童に、専門性の高い評価や支援計画に基づき、集団療育や保育所、幼稚園及び学校への巡回訪問、保護者支援等を行います。 また、区福祉保健センターの療育相談へのスタッフ派遣等を行います。	障害がある、またはその疑いのある児童に、専門性の高い評価や支援計画に基づき、集団療育や保育所、幼稚園及び学校への巡回訪問、保護者支援等を行います。	障害がある、またその疑いのある児童に、集団療育や保育所、保育園及び学校への巡回訪問、保護者支援等を年間を通じて実施しました。 また、区福祉保健センターの療育相談へスタッフ派遣を行いました。	○	障害がある、またはその疑いのある児童に、専門性の高い評価や支援計画に基づき、集団療育や保育所、幼稚園及び学校への巡回訪問、保護者支援等を行います。 また、区福祉保健センターの療育相談へのスタッフ派遣等を行います。	推進	推進

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
ほいくしょうほうもんしえん 保育所等訪問支援 (受給者数/月、延べ利用日数/年) ㊦	にん 600人 じっせき にん 実績988人	にん 650人 じっせき にん 実績1,132人	にん 700人
	にんにち 4,800人日 じっせき にんにち 実績6,887人日	にんにち 5,200人日 じっせき にんにち 実績9,869人日	にんにち 5,600人日
じどうはったつしえん 児童発達支援 (地域療育センター実施分を含む) (事業所数/年、受給者数/月、 延べ利用日数/年) ㊦	しよ 190か所 じっせき しよ 実績209か所	しよ 200か所 じっせき しよ 実績232か所	しよ 210か所
	にん 3,800人 じっせき にん 実績4,270人	にん 4,000人 じっせき にん 実績4,639人	にん 4,000人
	にんひ 297,000人日 じっせき にんにち 実績350,856人日	にんにち 314,900人日 じっせき にんにち 実績319,684人日	にんにち 327,500人日
じどうはったつしえん おも じゆうしょうしんしん 児童発達支援のうち、主に重症心身 障害児を支援する事業所 (地域療育センター実施分を含む) (事業所数/年、受給者数/月、 延べ利用日数/年) ㊦	しよ 5か所 じっせき しよ 実績7か所	しよ 6か所 じっせき しよ 実績9か所	しよ 7か所
	にん 25人 じっせき にん 実績30人	にん 30人 じっせき にん 実績33人	にん 35人
	にんにち 1,500人日 じっせき にんにち 実績3,079人日	にんにち 1,800人日 じっせき にんにち 実績4,507人日	にんにち 2,100人日
いりょうがたじどうはったつしえん 医療型児童発達支援 (地域療育センター実施分を含む) (事業所数/年、受給者数/月、 延べ利用日数/年) ㊦	しよ 9か所 じっせき しよ 実績9か所	しよ 9か所 じっせき しよ 実績9か所	しよ 9か所
	にん 185人 じっせき にん 実績168人	にん 185人 じっせき にん 実績162人	にん 185人
	にんにち 18,000人日 じっせき にんにち 実績13,749人日	にんにち 18,000人日 じっせき にんにち 実績11,489人日	にんにち 18,000人日

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
きょたくほうもんがたじどうはったつしえん 居宅訪問型児童発達支援 (じぎょうしよすう ねん じゅきゆうしやすう つぎ の りよう 事業所数/年、受給者数/月、延べ利用 日数/年) ⑧	1か所 <small>しよ</small> 実績1か所	1か所 <small>しよ</small> 実績2か所	1か所 <small>しよ</small>
	30人 <small>にん</small> 実績16人 <small>じっせき にん</small>	30人 <small>にん</small> 実績21人 <small>じっせき にん</small>	30人 <small>にん</small>
	60人日 <small>にんにち</small> 実績737人日 <small>じっせき にんにち</small>	60人日 <small>にんにち</small> 実績1,149人日 <small>じっせき にんにち</small>	60人日 <small>にんにち</small>

(2) 切れ目のない支援体制の充実

事業名	事業内容	令和4年度取組予定	令和4年度実績	令和4年度 評価	令和5年度 取組予定	中間期 目標	目標
<p>ちいき 地域 くんれんかい 訓練会 うんえいひ 運営費 じよせいじぎょう 助成事業</p>	<p>しょうがいじ ほごしゃどう 障害児の保護者等が じしゅてき そしき ちいき 自主的に組織し、地域 きのうかいふくくんれん ほいく で機能回復訓練や保育 おこな ちいきくんれんかい を行う、地域訓練会の うんえいひ じよせい 運営費を助成します。</p>	<p>よこはまししゃかいふくしきょうぎかい 横浜市社会福祉協議会を つう かつどうひ じよせい 通じて活動費の助成を おこな しょうがいじ 行うとともに、障害児 ちいきくんれんかい さんか い ぎ 地域訓練会への参加意義 わ しょうち を分かりやすく周知する ことなどにより、参加 そくしん はか 促進を図れるよう、 よこはまししゃかいふくしきょうぎかい 横浜市社会福祉協議会や くやくしよとう けんとう と く 区役所等と検討し取り組 んでいきます。</p>	<p>よこはまししゃかいふくしきょうぎかい 横浜市社会福祉協議会を つう かつどうひ じよせい 通じて活動費の助成を おこな しょうがいじ 行うとともに、障害児 ちいきくんれんかい さんか い ぎ 地域訓練会への参加意義 わ しょうち を分かりやすく周知する こと等により、参加が そくしん はか 促進されるよう、横浜市 しゃかいふくしきょうぎかいとう けんとう 社会福祉協議会等と検討 すす を進めました。</p> <p>じよせいたいしよだんたいすう だんたい 助成対象団体数:45団体</p>	<p>○</p>	<p>よこはまし しゃかい ふくしきょう 横浜市 社会 福祉協 ぎかい つう かつどう 議会 を 通じて活動 ひ じよせい おこな 費の助成を行うと ともに、障害児地域 しょうがいじちいき 訓練会 への 参加意 くんれんかい さんか い 義を分かりやすく ぎ わ 周知することなど しょうち により、参加が促進 さんか そくしん されるよう引き続 ひ つづ き、横浜市社会福祉 よこはまししゃかいふくし きょうぎかい くやくしよとう 協議会や区役所等 きょうりよく と協力しながら とくみ すず 取組を進めてます。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

<p>ペアレン トトレ ニング 実施者の 養成 ⑧</p>	<p>子ども本人への支援と 合わせて重要である 保護者への支援とし て、主に障害児通所 支援事業所等におい て、職員に対しペアレ ントトレーニング 実施者養成研修を行 います。</p>	<p>6月～7月に事業所 職員に対する研修を開 催し、9月～2月に 研修を受けた職員によ り各事業所において 保護者にトレーニングを 実施します。</p>	<p>ペアレントトレーニング を実施するファシリテ ータの育成のための研修 を実施し、6か所の事業 所の職員に受講しても らいました。その後、各 事業所で保護者へのペア レントトレーニングを 実施しました。</p>	<p>△</p>	<p>令和4年度の取り 組み内容を踏まえ、 ペアレントトレ ニング実施者養成 の研修実施方法に ついて、より多くの 事業所に参加して いただける方法を 検討します。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
---	--	---	---	----------	--	--------------------	--------------------

指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
<p>障害児相談 (事業所数/年、受給者数(学齢)/月、 受給者数(未就学)/年) ⑧</p>	<p>135か所 実績108か所 学齢 6,600人 実績2,690人 未就学 2,850人 実績836人</p>	<p>147か所 実績115か所 学齢 7,275人 実績980人 未就学3,000人 実績2,599人</p>	<p>160か所 学齢 8,025人 未就学3,150人</p>
<p>ペアレントトレーニング実施者養成 研修 ⑧⑨ (事業所数/年)</p>	<p>15か所 実績4か所</p>	<p>30か所 実績6か所</p>	<p>30か所</p>

(3) 学齢障害児に対する支援の充実

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	令和4年度取組予定 <small>れいわ ねんどとりくみよてい</small>	令和4年度実績 <small>れいわ ねんどじっせき</small>	令和4年度 評価 <small>れいわ ねんど 4年度 ひょうか</small>	令和5年度 取組予定 <small>れいわ ねんど とりくみよてい</small>	中間期 目標 <small>ちゅうかんき もくひょう</small>	目標 <small>もくひょう</small>
学齢後期 障害児 支援事業 <small>がくれいこうき しょうがいじ しょうがいじ しえんじぎょう</small>	学齢後期（中学生・高校生年代）の発達障害児等が安定した成人期を迎えられるよう、児童や家族等からの相談に専門的な指導、助言を行います。 また、関係機関と連携し、発達障害に起因する問題の解決に向けた支援を行います。 <small>がくれいこうき ちゅうがくせい しょうがいじ せいじんき せいじんき せいかい せいじんき せいかい せいじんき せいかい せいじんき せいかい</small>	体制強化に向けて、学識経験者等を交えた検討会議を開催します。 <small>たいせいきょうか たいせいきょうか たいせいきょうか たいせいきょうか</small>	事業の役割・機能等に係る課題解決や体制強化に係るアイデアを共有するとともに、「市民ニーズ等を踏まえた事業拡大の方向性」について意見交換を行うことを目的として、学齢後期障害児支援事業所との意見交換会を令和4年5月より計5回実施しました。あわせて、外部委員を交えた事業検討会を年3回開催しました。 <small>じぎょう やくわり きのうとう 事業の役割・機能等 係る課題解決や体制強化 係るアイデアを共有 するとともに、「市民ニーズ等を踏まえた事業拡大の方向性」について意見交換を行うことを目的として、学齢後期障害児支援事業所との意見交換会を令和4年5月より計5回実施しました。あわせて、外部委員を交えた事業検討会を年3回開催しました。</small>	○	4か所目の事業所開設に向けた準備を進めます。 <small>しよめ じぎょうしよ 4か所目の事業所 開設に向けた準備を進めます。</small>	4か所 <small>しよ 4か所</small>	4か所 <small>しよ 4か所</small>

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
こ こそだ しえんとう ほいくしょ ほうかごじどうけんぜん 子ども・子育て支援等（保育所、放課後児童健全 いくせいじぎょうしょどう しょうがいじ うけい たいせい 育成事業所等）における障害児の受入れ体制の せいび ①	すいしん 推進	すいしん 推進	すいしん 推進
ほうかごとう 放課後等デイサービス事業 じぎょうしやすう ねん じゆきゆうしやすう つき （事業所数/年、受給者数/月、 の りようにつすう ねん 延べ利用日数/年） ①	410か所 じっせき 実績418か所	460か所 じっせき 実績470か所	510か所
	8,800人 じっせき 実績8,833人	9,700人 じっせき 実績8,961人	10,700人
	1,128,000人日 じっせき 実績1,128,471人日	1,274,700人日 じっせき 実績1,258,671人日	1,440,500人日
ほうかごとう 放課後等デイサービス事業のうち、主に重症 しんしんしょうがいじ しえん じぎょうしよ 心身障害児を支援する事業所 じぎょうしやすう ねん じゆきゆうしやすう つき （事業所数/年、受給者数/月、 の りようにつすう ねん 延べ利用日数/年） ①	22か所 じっせき 実績20か所	23か所 じっせき 実績24か所	24か所
	396人 じっせき 実績341人	414人 じっせき 実績371人	432人
	31,680人日 じっせき 実績25,049人日	33,120人日 じっせき 実績27,756人日	34,560人日
ほうかごとう 放課後等デイサービス事業のうち、主に重症 しんしんしょうがいじ しえん じぎょうしよ 心身障害児を支援する事業所の く わりあい ① ②（/年） ある区の割合 ① ②（/年）	100% じっせき 実績72%	100% じっせき 実績78%	100%
はったつしょうがいしやしえん 発達障害者支援センターによる相談 けんすう がくれいこうきしょうがいじしえんじぎょうぶん 件数（学齢後期障害児支援事業分） の そうだんけんすう ねん （延べ相談件数/年） ③	6,000件 じっせき 実績7,190件	6,000件 じっせき 実績6,102件	7,200件

<p> <small>はったつしょうがいしゃしえん</small> 発達障害者支援センター 及び <small>およ</small> <small>はったつしょうがいしゃ</small> <small>ちいきしえん</small> 地域支援マネジャー の <small>がいぶきかん</small> <small>ちいきじゅうみん</small> <small>けんしゅう</small> <small>けいはつ</small> <small>かくれいこう</small> <small>きしょうがいじしえん</small> <small>じぎょうぶん</small> の研修、啓発 (学齢後期障害児支援事業分) <small>けんすう</small> <small>ねん</small> (件数/年)  </p>	<p> <small>けん</small> 25件 <small>じっせき</small> <small>けん</small> 実績13件 </p>	<p> <small>けん</small> 25件 <small>じっせき</small> <small>けん</small> 実績9件 </p>	<p> <small>けん</small> 30件 </p>
---	---	--	--

3-2 教育

(1) 療育と教育の連携による切れ目のない支援

事業名	事業内容	令和4年度取組予定	令和4年度実績	令和4年度 評価	令和5年度 取組予定	中間期 目標	目標
よこはまがた 横浜型セ ンターの 機能の 充実	ちいきりょういく 地域療育センターや とくべつしえんがっこう つうきゅう 特別支援学校、通級 しどうきょうしつどう たんどうしや 指導教室等の担当 が、しょう ちゅうがっこう 小・中学校や じどうせいと ほごしや 児童生徒、保護者から のそうだん たいおう 相談に対応するな ど、とくべつ しえん ひつよう と、特別な支援が必要 なじどうせいと しえん な児童生徒を支援しま す。	とくべつしえんきょういく 特別支援教育コーデ イナーのスキルアップ とそしきか すず と組織化を進めるため、 ちゆうしん チーフコーディネーター を中心としたきょうぎかい 協議会を じゅうじつ 充実します。	とくべつしえんきょういく 特別支援教育コーデ イナー協議会等を通じ てれんけい ふか 連携を深め、センター てききのうたんどうしや がっこう 的機能担当者が学校を ほうもん じどうせいと ひつよう 訪問し、児童生徒が必要 とするしえん じよげん 支援について助言 等を行いました。	○	とくべつしえんきょういく 特別支援教育コーデ イナーのスキルア ップとそしきか すず と組織化を進める ため、ちゆうしん チーフコーディネーター を中心とし たきょうぎかい じゅうじつ た協議会を充実しま す。	すいしん 推進	すいしん 推進
しゅうがく 就学 せつめいかい 説明会	とくべつしえんきょういく きぼう 特別支援教育を希望す るようじ しゅうがく かん 幼児の就学に関する せつめいかい かいさい 説明会を開催します。	とくべつしえんきょういく きぼう 特別支援教育を希望す るかた む しゅうがく かん 方へ向け、就学に関 するじょうほうていきょう かくじゅう 情報提供を拡充 し、これまでのしゅうごうがた 集合型 によるせつめいかい ぐわ 説明会に加え、 しゅうがくせつめい どうが 就学説明の動画をホー ムページにけいさい 掲載します。	しんがた 新型コロナウイルス かんせんしょう かんせんかくだいぼうし 感染症の感染拡大防止 のかんてん しゅうごうがた 観点から、集合型の せつめいかい かい かいさい 説明会(2回)を開催し ました。また、とくべつしえん きょういく かか どうがおよ 教育に係る動画及び しりょう 資料をホームページに けいさい 掲載しました。	○	とくべつしえんきょういく きぼう 特別支援教育を希望 するかた む しゅうがく 方へ向け、就学に かん じょうほうていきょう き 関する情報提供の機 かい かくじゅう しゅうごうがた 会を拡充し、集合型 によるせつめいかいなら 説明会並びに しゅうがくせつめい どうが 就学説明の動画及び しりょう 資料をホームページに けいさい 掲載します。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しゅうがく 就学・ きょういくそうだん 教育相談 たいせい の体制 きょうか 強化	ひとりひとりの教育ニーズを的確に把握し、迅速で適正な就学・教育相談を行うために関係機関が相互に連携しながら、就学前から卒業後までを見通した相談体制の強化を図ります。	しんがた かんせん 新型コロナウイルス感染 ぼうしたいさく ほか あんぜん 防止対策を図り、安全かつ、効率的に相談を行うとともに、待機期間の短縮及び円滑な事業の推進を図ります。	ねんかん けん しゅうがく 年間5,004件の就学・ きょういくそうだん おこな 教育相談を行いました。 ひ つづ ていねいか た。引き続き、丁寧且つ こうりつてき そうだん おこな 効率的に相談を行うとともに、待機期間の短縮及び円滑な事業の推進を図ります。	○	ていねい こうりつてき そうだん 丁寧かつ効率的に相談 おこな たいき を行うとともに、待期 きかん たんしゆくおよ えんかつ 期間の短縮及び円滑 じぎょう すいしん ほか な事業の推進を図ります。	すいしん 推進	すいしん 推進
ほごしゃ 保護者 きょうしつかいさい 教室開催 じぎょう 事業	よこはましりつしょう 横浜市立小・ ちゅうがっこう とくべつしえんがっこう 中学校、特別支援学校の保護者を対象とした障害に対する正しい知識の啓発を進めます。	れいわ ねんど じゅこうけいたい 令和4年度は、受講形態 すべ じっし を全てオンラインで実施 します。 ぜん かい かく にん (全6回/各400人)	へつたつしょうがい きつおんどう 発達障害や吃音等をテーマとした全6回の保護者教室をオンラインで開催しました。 かいさい (延べ約1,200人参加)	○	ぜん かい オンラインで全7回 じっし かくかい 実施します。(各回200 にんさんか 人参加)	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しりつ 私立 ようちえんどう 幼稚園等 とくべつしえん 特別支援 きょういくひ 教育費 ほじょじぎょう 補助事業	しりつようちえんどう ざいえん 私立幼稚園等に在園し ている障害児に対する きょういく しょうがい 教育が、障害の しゅるい ていど おう 種類・程度などに応じ て適切に行われるよ う、その経費の一部を せっちしゃ ほじょ 設置者に補助し、 しょうがいじ きょういく やくだ 障害児の教育に役立 てます。	とくべつしえんきょういくひほじょ 特別支援教育費補助の たいしょうえんじすう 対象園児数として、 れいわ ねんど 令和4年度は、322人を みこ 見込んでいます。	とくべつしえんきょういくひほじょ 特別支援教育費補助とし て、574人、114,800千円 こうふ 交付しました。	○	とくべつしえんきょういくひほじょ 特別支援教育費補助の たいしょうえんじすう 対象園児数として、 れいわ ねんど 令和5年度は、432人を みこ 見込んでいます。	すいしん 推進	すいしん 推進

(2) 教育環境・教育活動の充実

事業名 じぎょうめい	事業内容 じぎょうないよう	令和4年度取組予定 れいわ ねんどとりくみよてい	令和4年度実績 れいわ ねんどじっせき	令和4年度 評価 れいわ ねんど ひょうか	令和5年度 取組予定 れいわ ねんど とりくみよてい	中間期 目標 ちゅうかんき もくひょう	目標 もくひょう
ICTを 活用した 教育環境の 充実 (新)	個々の児童生徒の障害の状況を十分に踏まえ、学習上、生活上の様々な困難に対し、ICTを活用した指導や支援を充実させるとともに、緊急時におけるオンラインでの学習保障や動画コンテンツ配信などについて、検討、実施します。	引き続き、ICTに関する専門スタッフ支援を進めオンラインでの学習等を進めます。	各校へICTに関する専門スタッフを配置し、端末環境の整備や授業支援等を行い教員の負担の軽減を図りました。そのうえで、各特別支援学校において、各教科のオンライン学習を進めました。	○	引き続き、ICTに関する専門スタッフ支援を進め、オンラインでの学習等を進めます。	実施	推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいとくせい 障害特性に おう きょういく 応じた教育 のじゅうじつ 充実	こべつしえんがつきゅう くわ 個別支援学級に加え て、いっばんがつきゅう 一般学級において も、とくべつ しえん よう 特別な支援を要する じどうせいと ぞうか しえん 児童生徒が増加し、支援 のニーズが多様化して いる状況を踏まえ、ケ ーススタディを重視し たけんしゅう じゅうじつ 研修を充実させま す。すべての教員が障害 のじょうたい とくせい おう 状態や特性に応じた しどう しえん おこな 指導・支援が行えるよ うせんもんせい こうじょう はか う専門性の向上を図り ます。 また、しょう ちゅうがっこう 小・中学校の きょういん とくべつしえんがっこう 教員が特別支援学校 きょうゆめんきょじょう しゅとく 教諭免許状を取得する ためのじゅこうりょうじよせいじぎょう 受講料助成事業 をあら じっし 新たに実施します。	すべ きょういん しょうがい 全ての教員が障害の じょうたい とくせい おう 状態や特性に応じた しどう しえん おこな 指導・支援が行えるよ う、けんしゅう じゅうじつ 研修を充実させ ます。また、しょう 小・ ちゅうがっこう きょういん とくべつ 中学校の教員が特別 しえんがっこうきょうゆめんきょじょう 支援学校教諭免許状を しゅとく じゅこうりょう 取得するための受講料 をじよせい 助成します。	すべ きょういん しょうがい 全ての教員が障害の じょうたい とくせい おう 状態や特性に応じた しどう しえん おこな 指導・支援が行えるよ う、しゅうごうけんしゅうこうない 集合研修校内 けんしゅう おこな 研修を行いました。ま た、しょう ちゅうがっこう きょういん 小・中学校の教員 (にん とくべつしえんがっこう 24人)が特別支援学校 きょうゆめんきょじょう しゅとく 教諭免許状を取得す るためのじゅこうりょう じよせい 受講料を助成 しました。	○	すべ きょういん しょうがい 全ての教員が障害 のじょうたい とくせい 状態や特性に おう しどう しえん 応じた指導・支援が おこな けんしゅう 行えるよう、研修を じゅうじつ 充実させます。また、 しょう ちゅうがっこう きょういん 小・中学校の教員 がとくべつしえんがっこうきょうゆ 特別支援学校教諭 めんきょじょう しゅとく 免許状を取得するた めのじゅこうりょう じよせい 受講料を助成し ます。	じっし 実施	じっし 実施

<p>とくべつしえんきょういく 特別支援教育 コーディネーターの機能強化とスキルアップ</p>	<p>とくべつしえんきょういく 特別支援教育コーディネーター養成研修を受講して活動している特別支援教育コーディネーター（教員）を対象に、更なるスキルアップを目指して、事例研究などを中心とした研修を進めるとともに、関係機関との連携を強化し、専門的な資質を高めます。</p>	<p>とくべつしえんきょういく 特別支援教育コーディネーター養成研修に加え、実務経験者の研修内容を見直し、3年以上を対象としたスキルアップ研修、1年以上を対象としたブラッシュアップ研修、学び直しの機会としてリラーニング研修を実施は、集合型とオンラインやオンデマンドにより実施します。また、チーフコーディネーター会議等において研修・情報共有・事例検討を行います。</p> <p>【実施予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター養成研修（全10回/約300人受講） 	<p>とくべつしえんきょういく 特別支援教育コーディネーター養成研修に加え、養成研修修了者を対象としたスキルアップ研修、ブラッシュアップ研修、また、学び直しの機会としてリラーニング研修を実施しました。研修は、集合型に加えオンラインにより行いました。</p> <p>また、各区の代表であるチーフコーディネーター会議等において、研修・情報共有・事例検討を行いました。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター養成研修（10回の連続講座に各回約300人受講） ・スキルアップ研修 	<p>○</p> <p>とくべつしえんきょういく 特別支援教育コーディネーター養成研修に加え、養成研修修了者を対象としたスキルアップ研修、ブラッシュアップ研修、また、学び直しの機会としてリラーニング研修を実施し、専門性と質の向上を図ります。研修は集合型とオンラインにより実施します。</p> <p>また、各区の代表であるチーフコーディネーター会議等において研修・情報共有・事例検討を行い、更なる専門的な資質の向上を目指します。</p> <p>【実施予定】</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
---	---	--	--	---	--------------------	--------------------

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
		<ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップ研修 (全12回/延べ約1,200人受講) ・ブラッシュアップ研修 (全4回/延べ約300人受講) ・リラーニング研修 (全6回/延べ約100人受講) 	<ul style="list-style-type: none"> ・(全12回/延べ約200人受講) ・ブラッシュアップ研修 (全5回/延べ約500人受講) ・リラーニング研修 (全8回/延べ約100人受講) 		<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター養成研修(10回の連続講座に各回約300人受講) ・スキルアップ研修 (全12回/延べ約200人受講) ・ブラッシュアップ研修 (全8回/延べ約700人受講) ・リラーニング研修 (全7回/延べ約100人受講) 		

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
とくべつしえん 特別支援 きょういくしえんいん 教育支援員 じぎょう 事業	しょう ちゅう ぎ む きょういく 小・中・義務教育 がっこう しょうがい 学校で障害により がくしゅうめん せいかつめん 学習面、生活面や あんぜんめん はいりょとう 安全面への配慮等が ひつよう じどうせいと とくべつ 必要な児童生徒に特別 しえんきょういくしえんいん はいち 支援教育支援員を配置 し、校内支援体制の じゅうじつ はか 充実を図ります。	しょうちゅうがっこうとう 小中学校等におい て、しょうがい て、障害などにより がくしゅうめん せいかつめんとう 学習面、生活面等への しえん ひつよう じどうせいと 支援が必要な児童生徒 たい とくべつしえんきょういく に対し、特別支援教育 しえんいん はいち 支援員を配置します。	しょうちゅうがっこうとう 小中学校等において、 しょうがい 障害などにより がくしゅうめん せいかつめんとう 学習面、生活面等への しえん ひつよう じどうせいと 支援が必要な児童生徒 やく にん たい (約5,800人)に対し、 とくべつしえんきょういくしえんいん 特別支援教育支援員を はいち 配置しました。	○	しょうちゅうがっこうとう 小中学校等におい て、しょうがい て、障害などにより がくしゅうめん せいかつめんとう 学習面、生活面等へ の支援が必要な児童 しえん ひつよう じどう 生徒に対し、特別支援 きょういくしえんいん はいち 教育支援員を配置し ます。	はいち 配置	はいち 配置
ちょうかくしょうがいじ 聴覚障害児 しえんじぎょう 支援事業	しょう ちゅう ぎ む きょういく 小・中・義務教育 がっこう ざいせき ちょうかく 学校に在籍する聴覚 しょうがい じどうせいと 障害のある児童生徒に ノートテイクによる じょうほう ほしょう じっし 情報の保障を実施しま す。	たいしょう じどうせいと 対象の児童生徒にノー トテイクボランティア はけん を派遣します。	たいしょう じどうせいと にん 対象の児童生徒(19人) にノートテイクボラン ティアを派遣しました。	○	ひ つづ たいしょう 引き続き、対象の じどうせいと 児童生徒にノートテ イクボランティアを はけん 派遣します。	じっし 実施	じっし 実施

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
じゅんかいがたしどう 巡回型指導 じっし の実施による つうきゅうしどう 通級指導の じゅうじつ 充実	じどうせいと ざいせきこう じゅん 児童生徒の在籍校を巡 かい しどう おこな 回して指導を行う きょうどうがたじゅんかいがた 「協働型巡回型 しどう じっし 指導」を実施します。 つうきゅうしどう たんどうきょういん 通級指導の担当教員 ざいせきこう ほうもん が在籍校を訪問し、 じどうせいと しどう じゅぎょう 児童生徒の指導や授業 さんかん おこな 参観を行うとともに、 がっきゅうたんになんどう にちじょうてき 学級担任等と日常的 じょうほう きょうゆう に情報を共有するな ど、きょうどう がっこうせいかつ 協働して学校生活 しえん を支援します。	あら こう つうきゅうしどう 新たに4校の通級指導 きょうしつせっちこう るいけい 教室設置校(累計12 こう きょうどうがた 校)において、協働型 じゅんかいしどう じっし 巡回指導を実施しま す。	あら こう つうきゅうしどう 新たに4校の通級指導 きょうしつせっちこう るいけい こう 教室設置校(累計12校) において、きょうどうがたじゅんかい 巡回指導を実施しまし た。	○	じょうしよしょうがい 情緒障害 えーでいーえいちでいー つうきゅう し A D H D 通級指 導教室を設置する しょうがっこうぜんこう こう 小学校全校(12校) で、きょうどうがたじゅんかいしどう 協働型巡回指導 じっし を実施します。	じっし 実施	じっし 実施

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
いりょうてき 医療的ケア たいせい じゅうじつ 体制の充実	しょう ちゅう ぎ む きょういく 小・中・義務教育 がっこう とくべつし えんがっこう 学校や特別支援学校に いりょうてき おける医療的ケアの じっしたいせい じゅうじつ 実施体制を充実させま す。 とくべつし えんがっこう 特別支援学校において じんこうこきゅうきとうこうど は、人工呼吸器等高度 いりょうてき たいおう な医療的ケアにも対応 できるよう、体制の きょうか はか 強化を図ります。	しょうちゅうがっこうとう 小中学校等において にちじょうてき かくたんきゅういん 日常的に喀痰吸引な いりょうてき ひつよう どの医療的ケアが必要 じどうせいと たい な児童生徒に対し、 かんごし はげん 看護師を派遣します。 とくべつし えんがっこう 特別支援学校において かんごし はいち は、看護師を配置する ひ つづ とともに、引き続き、 じんこうこきゅうきとう こうど 人工呼吸器等の高度な いりょうてき てき 医療的ケアにモデル的 と く に取り組みます。	しょうちゅうがっこうとう 小中学校等において にちじょうてき かくたんきゅういん 日常的に喀痰吸引な いりょうてき ひつよう どの医療的ケアが必要 じどうせいと じん な児童生徒（18人）に たい かんごし はげん 対し、看護師を派遣しま した。 とくべつし えんがっこう 特別支援学校において かんごし はいち は、看護師を配置すると ひ つづ じんこう ともに、引き続き、人工 こきゅうきとう こうど 呼吸器等の高度な いりょうてき てき 医療的ケアにモデル的 と く に取り組みました。	○	しょうちゅうがっこうとう 小中学校等におい にちじょうてき かくたん て 日常的に 喀痰 きゅういん いりょうてき 吸引などの医療的ケ あ ひつよう じどうせいと アが必要な児童生徒 たい かんごし はげん に対し、看護師を派遣 します。 とくべつし えんがっこう 特別支援学校におい かんごし はいち ては、看護師を配置す ひ つづ るとともに、引き続 き、人工呼吸器等の じんこうこきゅうきとう 高度な医療的ケアに こうど いりょうてき モデル的に取り組み ます。	せいび 整備	せいび 整備

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
とくべつしえんがっこう 特別支援学校 の充実	ざいせきじどうせいと しょうがい 在籍児童生徒の障害の たようか じゅうどか 多様化・重度化・ ちようふくか ふう 重複化を踏まえ、教育 かてい じゅうじつ しせつせつび 課程の充実、施設設備 かいしゅう ふうくししゃりよう の改修や、福祉車両 かつよう つうがくしえん の活用など通学支援の あら ほうさく けんとう 新たな方策の検討・ しこう きょういくかんきよう 試行など教育環境の じゅうじつ とく 充実に取り組みます。	たよう じどうせいとひとり 多様な児童生徒一人ひ とりのニーズを踏まえ きょういくかんきよう じゅうじつ ひ 教育環境の充実に引 つづ とく き続き取り組みます。 また、いりようてき 医療的ケアが ひつよう じどうせいと つうがく 必要な児童生徒の通学 しえん ふうくししゃりよう 支援として、福祉車両 ぞうしゃ とく の増車に取り組みま す。	したい ふじゆう とくべつ しえん 肢体不自由 特別 支援 がっこう こう はいち 学校6校に配置する かんごし めいたいせい 看護師を35名体制に かくじゅう 拡充しました。また、 いりようてき ひつよう 医療的ケアが必要な じどうせいと つうがくしえん 児童生徒の通学支援と いりようてき ひつよう して、医療的ケアの必要 じどうせいと つうがくしえん な児童生徒の通学支援 じどうせいと つうがくしえん として、肢体不自由校で したいふじゆうこう 20コース分の福祉 ふん ふくし 車両を運行しました。	○	たよう じどうせいとひとり 多様な児童生徒一人 とりのニーズを ふ ふうくししゃりよう 踏まえ、教育環境の じゅうじつ ひ つづ と 充実に引き続き取り く 組みます。また、 いりようてき ひつよう 医療的ケアが必要な じどうせいと つうがくしえん 児童生徒の通学支援 として、ふうくししゃりよう 増車に取り組みます。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
じゅうどほうもんかいご 重度訪問介護 りようしゃ だいがく 利用者の大学 しゅうがくしえん 修学支援 じぎょう 事業 ⑧	じゅうどほうもんかいご りよう 重度訪問介護を利用す る重度障害者が大学で しゅうがく しえん 修学するための支援を じっし 実施します。	だいがくどう じゅうど 大学等において重度 しょうがいしゃ しゅうがく 障害者が修学するた めに必要な支援体制が こうちく しんがく 構築されるまで、進学 を希望する人が本制度 を利用し安心して修学 ができるよう、引き続 き円滑な事業運営を行 っていきます。	れいわ ねんど じぎょう 令和3年度から事業を かいし りようしやすう つぎ 開始し、利用者数は次の とおりです。 <利用者数> れいわ ねんど にん 令和2年度：3人 れいわ ねんど にん 令和3年度：3人 れいわ ねんど にん 令和4年度：4人	○	だいがくどう じゅうど 大学等において重度 しょうがいしゃ しゅうがく 障害者が修学する ために必要な支援 体制が構築されるま で、進学を希望する人 が本制度を利用し安 心して修学ができる よう、引き続き円滑な 事業運営を行ってい きます。	すいしん 推進	すいしん 推進

(3) 教育から就労への支援

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定</p>	<p>れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績</p>	<p>れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価</p>	<p>れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定</p>	<p>ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標</p>	<p>もくひょう 目標</p>
<p>とくべつしえん 特別支援 がっこうしゅうろう 学校就労 しえんじぎょう 支援事業</p>	<p>しょうがいしゃしゅうろうしえん 障害者就労支援セン ター等関係機関と連携 しながら、生徒の就労 を支援します。 また、実習先開拓や 職場定着支援のため、 高等特別支援学校 (若葉台特別支援学校 知的障害教育部門を 含む)に就労支援 指導員を配置します。</p>	<p>ひ つづ こうとうとくべつしえん 引き続き、高等特別支援 がっこう ひ の ちゅうおう ふた 学校(日野中央、二つ 橋、若葉台知的障害 教育部門)の3校に ひとり しゅうろうしえん 一人ずつ就労支援 しどういん はいち せいと 指導員を配置し、生徒の しゅうろう しえん 就労を支援します。</p>	<p>こうとうとくべつしえんがっこう ひ の 高等特別支援学校(日野 ちゅうおう ふた はし わかばだい 中央、二つ橋、若葉台 ちてきしょうがいきょういくぶもん 知的障害教育部門)の こう にん しゅうろう 3校に1人ずつ就労 しえんしどういん はいち かく 支援指導員を配置し、各 こう じっしゅうさきかいたく 校における実習先開拓 しよくばていちゃくしえん と や職場定着支援に取り く 組みました。</p>	<p>○</p>	<p>ひ つづ こうとうとくべつ 引き続き、高等特別 しえんがっこう ひ の 支援学校(日野 ちゅうおう ふた はし わかば 中央、二つ橋、若葉 だい ちてきしょうがい きょういく 台知的障害教育 ぶもん こう にん 部門)の3校に1人 ずつ しゅうろうしえんしどう いん はいち せいと 員を配置し、生徒の しゅうろう しえん 就労を支援しま す。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>
<p>とくべつしえん 特別支援 がっこうしんろ 学校進路 たんどうかん 担当間の れんけいきょうか 連携強化</p>	<p>しりつとくべつしえんがっこう 市立特別支援学校の しんろたんどうしゃ しょうがいしゅべつ 進路担当者が障害種別 をこ いてきてき じょうほう を超えて定期的に情報 こうかん じれいけんきゅう おこな 交換や事例研究を行 いはばひろ しんろせんたく い、幅広い進路選択に たいおう れんけい 対応できるよう連携を きょうか 強化します。</p>	<p>しんろたんどうしゃれんらくかいどう 進路担当者連絡会等を じっし がっこうかん れんけい 実施し、学校間の連携 きょうか 強化につなげます。</p>	<p>しりつとくべつしえんがっこう しんろ 市立特別支援学校の進路 たんどうしゃ しょうがいしゅべつ 担当者が、障害種別を こ ねん かいていどじょうほう 超えて年3回程度情報 こうかん じれいけんきゅう 交換や事例研究を おこな はばひろ しんろせんたく 行い、幅広い進路選択に たいおう と く 対応できるよう組み ました。</p>	<p>○</p>	<p>しんろ たんどうしゃ れんらくかい 進路担当者連絡会 どう じっし がっこうかん 等を実施し、学校間 のじょうほうこうかん じれい の情報交換や事例 けんどう つう れんけい 検討を通じた連携 きょうか と く 強化に取り組みま す。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

4-1 就労

(1) 一般就労の促進と雇用後の定着支援の充実

事業名	事業内容	令和4年度取組予定	令和4年度実績	令和4年度評価	令和5年度取組予定	中間期目標	目標
<p>就労支援センターを中心とした、地域における就労支援ネットワークの構築</p>	<p>障害者の就労を支える関係機関（特別支援学校、就労移行支援事業所、ハローワーク等）との連携・協力体制を構築します。就労の継続に欠かさない生活面でのサポートを充実させるため、地域の関係機関と連携し、本人への支援を円滑に進めます。</p>	<p>就労支援センターを中心として、特別支援学校やハローワーク、就労移行支援事業所との研修会や連絡会を実施します。</p>	<p>センターと就労移行支援事業所・就労定着支援事業所との連携を深めるために、連絡会の開催を支援しました。また、各センターにおける関係機関との連携状況を集約し、意見交換の場を設定しました。</p>	<p>○</p>	<p>各センターが各地域において、ネットワークの構築ができるよう市域の就労移行支援事業所や特別支援学校、ハローワーク等との研修会や連絡会を実施します。</p>	<p>すいしん推進</p>	<p>すいしん推進</p>

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	令和 4 年度取組予定 <small>れいわ ねんととりくみよてい</small>	令和 4 年度実績 <small>れいわ ねんどじっせき</small>	令和 4 年度 評価 <small>れいわ ねんど 4 ねんどう ひょうか</small>	令和 5 年度 取組予定 <small>れいわ ねんど 5 ねんどう とりくみよてい</small>	中間期 目標 <small>ちゅうかんき もくひょう</small>	目標 <small>もくひょう</small>
【再掲】 <small>さいけい</small> 就労支援 <small>しゅうろうしえん</small> センター <small>せんたー</small> 職員の <small>しょくいん</small> 人材育成 <small>じんざいいくせい</small>	多様な就労ニーズに <small>たよう しゅうろう</small> 対応できるよう、 <small>たいおう</small> 就労支援スキルを <small>しゅうろうしえん</small> 向上させるため、 <small>こうじょう</small> 研修の実施など、 <small>けんしゅう じっし</small> 人材育成を進めます。 <small>じんざいいくせい すす</small>	各センター間で支援員 <small>かく かん しえんいん</small> の人事交流を行い、 <small>じんじこうりゅう おこな</small> 支援手法等の共有を <small>しえんしゅほうどう きょうゆう</small> 行います。また、令和 <small>おこな れいわ</small> 3 年度に作成した人材 <small>ねんど さくせい じんざい</small> 育成シートを活用する <small>いくせい かつよう</small> とともに、センター <small>しよくいん たいしょう</small> 職員を対象とした <small>けんしゅう しえん じんざい</small> 研修を支援し、人材 <small>いくせい すす</small> 育成を進めます。	各センターの支援員の <small>かく しえんいん</small> 人事交流による支援手法 <small>じんじこうりゅう しえんしゅほう</small> 等の共有、及び人材育成 <small>どう きょうゆう およ じんざいいくせい</small> シートの活用により、サー <small>かつよう</small> ビスの標準化を図り、 <small>ひょうじゆんか ほか</small> 支援力向上を進めました。 <small>しえんりょくこうじょう すす</small> また、センター職員を <small>しよくいん</small> 対象として個人情報 <small>たいしょう こじんじょうほう</small> 保護、労働法の研修や <small>ほご ろうどうほう けんしゅう</small> 事例勉強会を開催するこ <small>じれいべんきょうかい かいさい</small> とで、人材育成を進めました。 <small>じんざいいくせい すす</small>	○	各センターが支援員の <small>かく しえんいん</small> 人事交流を行い、支援 <small>じんじこうりゅう おこな しえん</small> 手法等を共有することを <small>しゅほうどう きょうゆう</small> 支援します。 <small>しえん</small> また、センター職員を <small>しよくいん</small> 対象とした研修を開催 <small>たいしょう けんしゅう かいさい</small> することにより、人材育成 <small>じんざいいくせい</small> を進めます。 <small>すす</small>	推進 <small>すいしん</small>	推進 <small>すいしん</small>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
<p>さいけい 【再掲】 しゅうろうそくしん 就労促進 もくてき を目的と した じぎょうしよ 事業所 しよくいんむ 職員向け けんしゅう 研修</p>	<p>しょうがいしゃこよう おこな 障害者雇用を行って きぎょう しゅうぎょう いる企業での「就業 たいけん けんしゅう つう 体験」の研修を通じ て、事業所職員 の じぎょうしよしよくいん 就労支援スキルの しゅうろうしえん 向上、就労に向けた こうじょう しゅうろう お 意識付けにつなげま いしきづ す。</p>	<p>しな いしゅうろうしえん じぎょうしよ 市内就労支援事業所 しよくいん きぎょう じぎょうしよ 職員や企業、事業所 りようしゃとう たいしゅう 利用者等を対象に、 きぎょうとう じっしゅう けんがく 企業等での実習や見学 をつう きぎょう しょうがい を通じて、企業で障害 のある社員が担当する しごとないよう もと 仕事内容、求められる しよくぎょうのうりよくおよ きぎょう 職業能力及び企業の いくせいほうほうとう まな きかい 育成方法等を学ぶ機会 もう を設けます。</p>	<p>かんけいきかん 関係機関へのヒアリング とう じっし こうかてき 等を実施し、より効果的な じぎょう じぎょうじっし 事業となるよう、事業実施 しゅほう みなお おこな 手法の見直しを行いました。 た。 れいわ ねんど みなお 令和5年度からは見直し ご あら じぎょう 後の新たな事業スキーム じっし で実施します。</p>	<p>○</p>	<p>きぎょうとう しよくぎょうたいけん 企業等での職業体験・ けんがく つう しな いしゅうろう 見学を通じて、市内就労 しえん じぎょうじよしよくいん りようしゃ 支援事業所職員・利用者 とう みなお いっぱんしゅうろう む 等が、一般就労に向けた はたら かた かんが 働き方を考えるきっかけ づくりやモチベーション を想起できるような機会 を設けます。</p>	<p>すいしん 推進</p>	<p>すいしん 推進</p>

事業名 <small>じぎょうめい</small> 事業名	事業内容 <small>じぎょうないよう</small> 事業内容	令和 4 年度取組予定 <small>れいわ ねんととりくみよてい</small> 令和 4 年度取組予定	令和 4 年度実績 <small>れいわ ねんどじっせき</small> 令和 4 年度実績	令和 4 年度 評価 <small>れいわ ねんど 4 年度 ひょうか</small> 令和 4 年度 評価	令和 5 年度 取組予定 <small>れいわ ねんど 5 年度 とりくみよてい</small> 令和 5 年度 取組予定	中間期 目標 <small>ちゅうかんき もくひょう</small> 中間期 目標	目標 <small>もくひょう</small> 目標
雇用施策 <small>こようしざく</small> と福祉 <small>ふくし</small> 施策の <small>しざく</small> 連携によ <small>れんけい</small> る重度 <small>じゅうど</small> 障害者等 <small>しょうがいしゃとう</small> への就労 <small>しゅうろう</small> 支援 <small>しえん</small> (重度 <small>じゅうど</small> 障害者等 <small>しょうがいしゃとう</small> 就労支援 <small>しゅうろうしえん</small> とくべつ 特別 <small>とくべつ</small> 事業) <small>新</small> <small>じぎょう</small> 事業) <small>新</small>	法定サービスでの <small>ほうてい</small> 対象外となっている <small>たいしょうがい</small> 重度障害者の経済 <small>じゅうどしょうがいしゃ けいざい</small> 活動時間中の支援を <small>かつどうじかんちゅう しえん</small> 雇用施策と福祉施策が <small>こようしざく ふくししざく</small> 連携して行う制度を <small>れんけい おこな せいど</small> 検討し、実施します。 <small>けんとう じっし</small> 検討し、実施します。	引き続き、事業の実施に <small>ひ つづ じぎょう じっし</small> 向けた具体的な検討を <small>む ぐたいてき けんとう</small> 進めていきます。 <small>すす</small> 進めていきます。	「横浜市重度障害者等 <small>よこはましじゅうどしょうがいしゃとう</small> 就労支援特別事業」を <small>しゅうろうしえんとくべつじぎょう</small> 実施するための具体的な <small>じっし ぐたいてき</small> 検討を進め、令和 5 年度 <small>けんとう すす れいわ ねんど</small> 事業実施に向けて、制度 <small>じぎょうじっし む せいど</small> 構築を行いました。 <small>こうちく おこな</small> 構築を行いました。	○	引き続き制度構築のため <small>ひ つづ せいどこうちく</small> の具体的な検討を進め、 <small>ぐたいてき けんとう すす</small> 「横浜市重度障害者等 <small>よこはましじゅうどしょうがいしゃとう</small> 就労支援特別事業」を <small>しゅうろうしえんとくべつじぎょう</small> 新規実施します。 <small>しんきじっし</small> 新規実施します。	検討 <small>けんとう</small> ・ 実施 <small>じっし</small> 実施	検討 <small>けんとう</small> ・ 実施 <small>じっし</small> 実施

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
ふくししせつ いっぱんしゅうろう いこうしゃすう (福) 福祉施設から一般就労への移行者数 (他都市と合わせて県が集計中です)	460人 実績675人	498人 実績-人	536人
しゅうろういこうしえんじぎょう りようしゃすう (福) 就労移行支援事業の利用者数	1,476人分 実績1508人分	1,547人分 実績1561人分	1,617人分
しゅうろういこうしえん りようしゃのうちしゅうろう いこうりつ わりいじょう じぎょうしょ わりあい (福) 就労移行支援の利用者のうち就労 移行率が3割以上の事業所の割合 (他都市と合わせて県が集計中です)	34.2 % 実績39 %	42.1 % 実績- %	50.0 %
しゅうろうていちゃくしえんりようしゃすう (福) 就労定着支援利用者数	1,070人 実績672人	1,190人 実績939人	1,397人

(2) 幅広い仕事や工賃の向上による生活の充実

事業名 じぎょうめい じぎょうめい	事業内容 じぎょうないよう じぎょうないよう	令和4年度取組予定 れいわ ねんどとりくみよてい れいわ ねんどとりくみよてい	令和4年度実績 れいわ ねんどじっせき れいわ ねんどじっせき	令和4年度評価 れいわ ねんど れいわ ねんど ひょうか ひょうか	令和5年度取組予定 れいわ ねんど れいわ ねんど とりくみよてい とりくみよてい	中間期目標 ちゅうかんき ちゅうかんき もくひょう もくひょう	目標 もくひょう もくひょう
共同受注センター等による受注促進 きょうどうじゅちゅう きょうどうじゅちゅう 共同受注 共同受注 センター等 センター等 による受注 による受注 促進 促進	企業・行政機関から、事業所の特性を生かした幅広い仕事の受注ができるよう、コーディネートを行います。 市内イベント等への出店や自主製品の紹介等を通じ、販路を拡大するとともに、障害者就労への理解促進を図ります。 きぎょう ぎょうせいきかん きぎょう ぎょうせいきかん 企業・行政機関から、 企業・行政機関から、 事業所の特性を生かした幅広い 事業所の特性を生かした幅広い 仕事の受注ができるよ 仕事の受注ができるよ う、コーディネートを行 う、コーディネートを行 います。 います。 市内イベント等への出店や 市内イベント等への出店や 自主製品の紹介等を通じ、 自主製品の紹介等を通じ、 販路を拡大するとともに、 販路を拡大するとともに、 障害者就労への理解促進を 障害者就労への理解促進を 図ります。 図ります。	共同受注センターでは市内障害者施設等の登録を進め、作業内容等の情報を集約し、ウェブサイトで周知していきます。 受注促進のための企業開拓や販路開拓を行い、登録事業所の特性を生かした受注調整を進めます。 その他の取組として市内イベント等において事業所が参加する機会を増やし、障害者就労への理解促進を図ります。 きょうどうじゅちゅう きょうどうじゅちゅう 共同受注センターで 共同受注センターで は市内障害者施設等 は市内障害者施設等 の登録を進め、作業 の登録を進め、作業 内容等の情報を集約 内容等の情報を集約 し、ウェブサイト し、ウェブサイト で周知していきま で周知していきま す。 す。 受注促進のため 受注促進のため の企業開拓や販路 の企業開拓や販路 開拓を行い、登録 開拓を行い、登録 事業所の特性を生 事業所の特性を生 かした受注調整を かした受注調整を 進めます。 進めます。 その他の取組とし その他の取組とし て市内イベント等 て市内イベント等 において事業所が において事業所が 参加する機会を増 参加する機会を増 やし、障害者就 やし、障害者就 労への理解促進 労への理解促進 を図ります。 を図ります。	共同受注センターにおいて、プール清掃見学会を開催したほか、企業・行政機関から市内障害者施設等への幅広い受注の調整に取組みました。 また、本市職員が企業等に訪問し、自主製品・作業の受注例の紹介を行い、企業開拓や販路開拓を行いました。 その他、駅前での事業所自主製品の販売会等の開催支援等に取り組み、事業所が参加する機会を増やし、イベント等を きょうどうじゅちゅう きょうどうじゅちゅう 共同受注センターに 共同受注センターに おいて、プール清 おいて、プール清 掃見学会を開催し 掃見学会を開催し たほか、 たほか、 企業・行政機関 企業・行政機関 から市内障害者 から市内障害者 施設等へ 施設等へ の幅広い受注の の幅広い受注の 調整に取組み 調整に取組み ました。 ました。 また、本市職員 また、本市職員 が企業等に訪 が企業等に訪 問し、自主製 問し、自主製 品・作業の受 品・作業の受 注例の紹介 注例の紹介 を行い、企業 を行い、企業 開拓や販路 開拓や販路 開拓を 開拓を 行いまし 行いまし た。 た。 その他、駅前 その他、駅前 での事業所 での事業所 自主製品の 自主製品の 販売会等の 販売会等の 開催支援 開催支援 等 等 に取り組み、 に取り組み、 事業所が 事業所が 参加する 参加する 機会を増 機会を増 やし、イ やし、イ ンベ ンベ ント等 ント等 を	○	共同受注センターでは市内障害者施設等の登録を進め、作業内容等の情報を集約し、ウェブサイトで周知していきま 共同受注センター 共同受注センター では市内障害者 では市内障害者 施設等の登録を 施設等の登録を すす すす ぎょうないよう ぎょうないよう とう とう 進め、作業内容 進め、作業内容 等の 等の 情報を集約し、 情報を集約し、 ウ ウ ェブサイ ェブサイ トで周知し トで周知し ていきま ていきま す。 す。 受注促進のため 受注促進のため の企業開拓 の企業開拓 や販路開拓 や販路開拓 を行い、 を行い、 登録事業所の 登録事業所の 特性を 特性を 活かした受注 活かした受注 調整を 調整を 進めま 進めま す。 す。 その他の取組 その他の取組 として市内 として市内 イベント等 イベント等 にお にお いて事業所 いて事業所 が参加す が参加す る機会を増 る機会を増 やし、障 やし、障 害者就 害者就 労への理 労への理 解促進 解促進 を図 を図 りま りま す。 す。 すいしん すいしん 推進 推進	すいしん すいしん 推進 推進	すいしん すいしん 推進 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりにくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりにくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
			つう しょうがいしゃしゅうろう 通じて障害者就労へ りかいそくしん はか の理解促進を図りました。 じゅちゅうせいりつけんすう きんがく 受注成立件数、金額 353件、47,906,203 けん えん 円				
じぎょうしょ 事業所の じゅちゅう 受注スキル こうじょう の向上 	はつちゅうしゃがわ こた 発注者側のニーズに 応えられる商品の開発 や作業の受注ができるよう、 研修会やモデルケースとなる 事例を検討などを実施し、 事業所の受注スキルの向上 を図ります。	みんかんきぎょう れんけい 民間企業との連携による 販売支援や研修会の開催等 を通じて、事業所の受注スキル の向上を図ります。	せいそうどう プール清掃等、モデル ケースとなる受注事例の見 学会を複数回実施し、受注 スキルの向上及び受注の促進 を行いました。	○	みんかんきぎょう れんけい 民間企業との連携による 販売支援や研修会の開催等 を通じて、事業所の受注 スキル向上を図ります。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりにくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりにくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
<p>ゆうせんちやうたつ 優先調達の すいしん 推進</p>	<p>よこはましやくしよ じぎょうしよ 横浜市役所からの事業所への ゆうせんてき はっちゆう さら すいしん 優先的な発注を更に推進し ます。 また、ちやうないらん かつよう また、庁内LANなどを活用 し、くきよくとう はっちゆうじれい ひろ 区局等の発注事例を広 くしゅうち あら はっちゆう く周知し、新たな発注につ なげます。</p>	<p>ゆうせんちやうたつほうしん もと 優先調達方針に基づ く調達目標等の達成 に向け、はっちゆうじれい 発注事例を ちやうないかいぎとう ば つう 庁内会議等の場を通 じて、しゅうち 周知するとともに、 ふくすうぶしよ はっちゆう 複数部署で発注 かろう りいじじれい しょう 可能な類似事例を紹 介するなどの発注の そくしん おこな 促進を行います。</p>	<p>ゆうせんちやうたつほうしん 優先調達方針 に もと ちやうたつもくひょうとう 基づく調達目標等の たっせい む はっちゆうじれい 達成に向け、発注事例 を ちやうないかいぎとう ば 庁内会議等の場を通 じて、しゅうち 周知するとともに、 ふくすうぶしよ はっちゆう 複数部署で発注 かろう りいじじれい 可能な類似事例を ちやうないらん かつよう 庁内LAN を活用し しょうかい はっちゆう 紹介するなどの発注 のそくしん おこな 促進を行いました。 また、ほんししよくいんむけ 本市職員向けに いー けんしゅう Eラーニング研修 「ゆうせんちやうたつ かん 優先調達に関する けんしゅう はいしん ゆうせん 研修」を配信し、優先 ちやうたつ かん けいはつ 調達に関する啓発を おこな 促進を行いました。</p>	○	<p>ゆうせんちやうたつほうしん 優先調達方針 に もと ちやうたつもくひょうとう 基づく調達目標等 のたっせい む はっちゆう 達成に向け、発注 じれい ちやうないかいぎとう 事例を ちやうないかいぎとう 場を通じて、しゅうち 周知するとともに、 ふくすう 複数部署で発注可能な りいじじれい しょうかい 類似事例を紹介す るなどの発注の そくしん おこな 促進を行います。</p>	すいしん 推進	すいしん 推進

(3) 多様な働き方や障害者就労に対する理解促進

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	令和4年度取組予定 <small>れいわ ねんどとりくみよてい</small>	令和4年度実績 <small>れいわ ねんどじっせき</small>	令和 4年度 評価 <small>れいわ ねんど 4年度 ひょうか</small>	令和5年度 取組予定 <small>れいわ ねんど 5年度 とりくみよてい</small>	中間期 目標 <small>ちゅうかんき もくひょう</small>	目標 <small>もくひょう</small>
障害者 就労に関する 市民啓発 <small>しょうがいしゃ しゅうろう かん しみんけいはつ</small>	シンポジウムの開催等を通 じ、様々な分野で働く 障害者や障害者雇用を進め ている企業の「生の声」を伝 え、障害者就労に対する 理解・関心を高めます。 <small>かいさいとう つう さまざまな ぶんや はたら しょうがいしゃ しょうがいしゃこよう すす きぎょう なま こえ つた しょうがいしゃしゅうろう たい りかい かんしん たか</small>	従来 のシンポジウム を見直し、対象者ご とに開催方法やプログ ラムを検討すること で、より効果的に 障害者就労啓発を推 し進めていきます。 <small>じゅうらい しょうがいしゃしゅうろうけいはつ お すす</small>	星槎大学と連携し、初 めて会場とYouTube 配信のハイブリット 方式で開催しました。 会場参加：77名 YouTube再生回数：336 回 また、昨年度に 引き続き、障害者 就労啓発パネル展「と もに働く」を市役所に て開催しました。(2回 開催) <small>せいざだいがく れんけい はじ かいじょう ゆーちゅーぶ はいしん ほうしき かいさい かいじょうさんか めい ゆーちゅーぶさいせいはいすう かい さくねんど ひ つづ しょうがいしゃ しゅうろうけいはつ てん へたら しやくしよ かいさい かい</small>	○	シンポジウムや パネル展等のイ ベント開催実績 を踏まえ、 対象者ごとにプ ログラムを検討 するなど、より 効果的なもの になるよう、 障害者就労に 関する市民啓発 に取り組めます。 <small>てんとう かいさいじっせき ふ たいしょうしゃ けんとう しょうがいしゃしゅうろう かん しみんけいはつ とく</small>	推進 <small>すいしん</small>	推進 <small>すいしん</small>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりにくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりにくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいしゃこよう 障害者雇用 に関する きぎょうけいはつ 企業啓発	しょうがいしゃこよう けんどう 障害者雇用を検討している きぎょう む こよう かん 企業に向けて、雇用に関する とう じっし ごうりてき セミナー等を実施し、合理的 はいりよ ひつようせい きぎょうない 配慮の必要性など企業内での しょうがいりかい そくしん はか 障害理解の促進を図りま す。	しえんきかん かながわけん 支援機関や神奈川県と れんけい きぎょうむ 連携した企業向けセミ ナーを開催し、 しょうがいしゃこよう かん 障害者雇用に関する じょうほうていきょう こようじれい 情報提供や雇用事例 しょうかい おこな の紹介を行います。 また、きぼう きぎょうとう に対して、しょうがいしゃ こよう けいはつ かん 雇用の啓発に関する でまえこうざとう じっし 出前講座等を実施しま す。	しえんきかん かながわけん 支援機関や神奈川県と れんけい きぎょうむ 連携した企業向けセミ ナーを、対面とオンラ インのハイブリッドで かいさい しょうがいしゃこよう 開催し、障害者雇用に かん じょうほうていきょう 関する情報提供 や こようじれい しょうかい おこな 雇用事例の紹介を行 いました。 また、かくちいき こうぎょうかい 各地域の工業会 ちゅうしん しょうがいしゃ を中心に、障害者 しゅうろう けいはつ じっし 就労の啓発を実施し たほか、きぼう きぎょう に対して、障害者雇用 たい しょうがいしゃこよう の啓発に関する出前 こうざとう じっし 講座等を実施しまし た。 でまえこうざじっしかいすう かい 出前講座実施回数9回 (30社)	○	ひ つづ しえん 引き続き、支援 きかん かながわけん 機関や神奈川県 れんけい と連携した きぎょうむ 企業向けセミナ かいさい ーを開催し、 しょうがいしゃこよう かん 障害者雇用に関 する じょうほうていきょう 情報提供 こようじれい や雇用事例の しょうかい おこな 紹介を行いま す。 また、きぼう 希望する きぎょうとう たい 企業等に対して、 しょうがいしゃこよう 障害者雇用 の けいはつ かん 啓発に関する でまえこうざとう じっ 出前講座等を実 施します。	すいしん 推進	すいしん 推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりにくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりにくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
ふれあいシ ョップ等を 活用した 障害者 就労に關す る理解促進 ⑨	あら かいぎょう かんないえき 新たに開業するJR関内駅 きたぐちこうかした しゅうろうけいはつしせつ 北口高架下の就労啓発施設 およ しちょうしゃない 及び市庁舎内のふれあいショ ップをはじめ、既存のふれあ いショップ等の運営を通じ て、就労に關する理解の そくしん はか 促進を図ります。	ちいき ねざ てんぼ 地域に根差した店舗と なるよう、情報共有 てんぼかん など店舗間のネットワ ーク形成等を目的とし たふれあいショップ てんちようかいとう かいさい 店長会等を開催しま す。開催についてはオ ンラインを含め、検討 をおこな を行います。また、 ひ つづ かくしせつとう 引き続き各施設等への ヒアリングも 行いま す。	かくてんぼ うんえいじょうきよう 各店舗の運営状況を はあく 把握するとともにすべ ての店舗に対して、ヒ アリングを実施し、 しょうがいしゃしゅうろう かん 障害者就労に關する りかいそくしんおよ 理解促進及び、ネット ワーク形成等の手法 を、検討しました。	○	ちいき ねざ 地域に根差した てんぼ 店舗となるよう、 しえんきかん や 支援機関 や じぎょうしょ だいがくとう 事業所、大学等の ちいきしげん との 地域資源 との れんけい により、 あーる かんないえき きたぐち JR 関内駅 北口 こうかした の しゅうろう 高架下の 就労 けいはつしせつ 啓発施設 や ふれ あいショップか ら、しょうがいしゃしゅうろう 障害者就労 けいはつ にかか じょうほう 啓発に係る情報 はっしん おこな 発信を行って きます。	すいしん 推進	すいしん 推進

4-2 日中活動

(1) 日中活動場所の選択肢の充実

指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
生活介護（／月） 	7,732人分 実績8,362人分	7,982人分 実績8,526人分	8,232人分
	128,853人日 実績139,854人日	133,022人日 実績140,753人日	137,192人日
自立訓練（機能訓練）（／月） 	42人分 実績30人分	42人分 実績30人分	42人分
	826人日 実績428人日	826人日 実績456人日	826人日
自立訓練（生活訓練）（／月） 	359人分 実績405人分	376人分 実績488人分	393人分
	5,812人日 実績6,666人日	6,088人日 実績8,011人日	6,363人日
就労移行支援事業【再掲】（／月） 	1,476人分 実績1,508人分	1,547人分 実績1,561人分	1,617人分
	25,099人日 実績26,726人日	26,303人日 実績27,339人日	27,507人日
就労継続支援事業（A型）（／月） 	880人分 実績719人分	919人分 実績654人分	958人分
	17,203人日 実績13,674人日	17,962人日 実績12,156人日	18,721人日

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
しゅうろうけいぞくしえんじぎょう 就労継続支援事業（B型）（／月） ^{がた} ^{つき} 福	にんぶん 4,605人分 じっせき 実績4,691人分	にんぶん 4,857人分 じっせき 実績5,145人分	にんぶん 5,109人分
	にんにち 79,012人日 じっせき 実績77,897人日	にんにち 83,339人日 じっせき 実績83,354人日	にんにち 87,666人日
ちいきかつどうしえん 地域活動支援センター作業所型 ^{さがた} 福	しよ 130か所 じっせき 実績138か所	しよ 130か所 じっせき 実績137か所	しよ 130か所
	にん ねん 2,600人（／年） じっせき 実績 2,894人（／年）	にん ねん 2,600人（／年） じっせき 実績 2,868人（／年）	にん ねん 2,600人（／年）
ちゅうとしょうがいしゃちいきかつどう 中途障害者地域活動センター 福	しよ 18か所 じっせき 実績18か所	しよ 18か所 じっせき 実績18か所	しよ 18か所
	にん ねん 517人（／年） じっせき 実績479人（／年）	にん ねん 517人（／年） じっせき 実績455人（／年）	にん ねん 517人（／年）

4-3 スポーツ・文化芸術

(1) スポーツ活動の推進

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	令和4年度取組予定 <small>れいわ ねんどとりくみよてい</small>	令和4年度実績 <small>れいわ ねんどじっせき</small>	令和4年度 評価 <small>れいわ ねんど 4年度 ひょうか</small>	令和5年度 取組予定 <small>れいわ ねんど 5年度 とりくみよてい</small>	中間期 目標 <small>ちゅうかんき むくひょう</small>	目標 <small>むくひょう</small>
障害者スポーツの啓発と理解の促進 <small>しょうがいしゃ スポーツの けいはつ 理解の すすん</small>	東京2020パラリンピックにより高まる関心を障害者スポーツの普及啓発につなげるため、障害者スポーツ文化センターや横浜市スポーツ協会、地域の様々な団体等と連携し、障害者スポーツの裾野を広げる取組を行うとともに、障害者スポーツを通じた障害への理解促進を図ります。 <small>とうきょう 2020パラリンピックにより高まる関心を しょうがいしゃ スポーツの 普及 啓発につなげるため、 しょうがいしゃ スポーツ文化センターや横浜市スポーツ協会、地域の様々な 団体等と連携し、 しょうがいしゃ スポーツの 裾野を 広げる 取組を 行うと ともに、 しょうがいしゃ スポーツを 通じた 障害への 理解 促進を 図ります。</small>	障害者スポーツ文化センター（横浜ラポール・ラポール上大岡）で、様々な機会を捉え、障害者スポーツの体験会や教室等を実施していきます。 <small>しょうがいしゃ スポーツ文化センター（横浜ラポール・ラポール上大岡）で、 さまざまな 機会を 捉え、 しょうがいしゃ スポーツの 体験会や 教室等を 実施 していきます。</small>	障害者スポーツ文化センター（横浜ラポール・ラポール上大岡）で、障害者スポーツの体験会や教室等を実施し、障害者スポーツへの理解を図りました。 <small>しょうがいしゃ スポーツ文化センター（横浜ラポール・ラポール上大岡）で、 しょうがいしゃ スポーツの 体験会や 教室等を 実施 し、 しょうがいしゃ スポーツへの 理解を 図りました。</small>	○	障害者スポーツ文化センター（横浜ラポール・ラポール上大岡）等と連携し、引き続き障害者スポーツの体験会や教室等を通じた障害理解の促進に取り組めます。 <small>しょうがいしゃ スポーツ文化センター（横浜ラポール・ラポール上大岡）等と 連携 し、 引き続き 障害者スポーツの 体験会や 教室等を 通じた 障害理解の 促進 に取り組めます。</small>	推進 <small>すすん</small>	推進 <small>すすん</small>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
みぢか 身近な ちいき 地域にお ける しょうがいしゃ 障害者ス ポーツの すいしん 推進	ひ つづ しょうがいしゃ 引き続き、障害者が みぢか ちいき 身近な地域でスポーツ と く に取り組めるよう、 かくく 各区のスポーツセンタ ちゅうとしょうがいしゃちいき ーや中途障害者地域 かつどう どう れんけい 活動センター等と連携 ちいき じんざいいくせい し、地域の人材育成を すす 進めながら、障害者ス ポーツの推進を図りま す。	ちゅうとしょうがいしゃちいきかつどう 中途障害者地域活動セ ンター、横浜市スポーツ よこはまし センター、横浜市スポーツ きょうかいどう れんけい しょうがい 協会等と連携し、障害 ひと みぢか ちいき のある人の身近な地域で しょうがいしゃ の障害者スポーツの とりくみ すいしん 取組を推進していきま す。また、障害者スポ ーツの周知活動、スポ ーツボランティア養成講座 や初級障害者スポーツ しどういんけんしゅうかいどう じっし 指導員研修会等の実施 とお しえんしゃ を通して、支援者・ しどうしゃ じんざいいくせい すす 指導者の人材育成を進め ていきます。	ちゅうとしょうがいしゃちいきかつどう 中途障害者地域活動 セ ンター、横浜市スポーツ よこはまし センター、横浜市スポーツ きょうかいどう れんけい しょうがい 協会等と連携し、障害 ひと みぢか ちいき のある人の身近な地域で しょうがいしゃ の障害者スポーツの とりくみ おこな 取組を行いました。ま た、障害者スポーツの しゅうちかつどう 周知活動、スポーツボラ ンティア養成講座や しよきゅうしょうがいしゃ 初級障害者スポーツ しどういんけんしゅうかいどう じっし 指導員研修会等の実施 とお しえんしゃ しどうしゃ を通して、支援者・指導者 じんざいいくせい と く の人材育成に取り組み、 しょうがいしゃ すいしん 障害者スポーツの推進 はか を図りました。	○	ひ つづ ちゅうとしょうがい 引き続き中途障害 しゃちいきかつどう 者地域活動センタ ー、横浜市スポーツ よこはまし 協会等と連携し、 きょうかいどう れんけい 障害のある人の しょうがい ひと 身近な地域での しょうがいしゃ 障害者スポーツの とりくみ すいしん 取組を推進してい きます。また、 しょうがいしゃ 障害者スポーツの しゅうちかつどう 周知活動、スポーツ ボランティア養成 こうざ しよきゅう 講座 や 初級 しょうがいしゃ 障害者スポーツ しどういんけんしゅうかい 指導員研修会等の じっし とお 実施を通して、 しえんしゃ しどうしゃ 支援者・指導者の じんざいいくせい すす 人材育成を進めま す。	すいしん 推進	すいしん 推進

ぶん かげいじゅつかつどう すいしん
 (2) 文化芸術活動の推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんととりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
しょうがいしゃ 障害者の ぶん かげいじゅつ 文化芸術 かつどう 活動の しえん 支援	かいさい アートイベントの開催 かつどう ささ じんざい や、活動を支える人材 いくせい さまざま だんたいどう の育成、様々な団体等 れんけい ぶん かげいじゅつ と連携した文化芸術 かつどう ば そうしゅつ 活動の場の創出に取 り組みます。	げいじゅつさい てんらんかいどう 芸術祭や展覧会等の かいさい つう かつどう ささ 開催を通じて、活動を支 じんざい いくせい ぶんか える人材の育成や文化 げいじゅつかつどう ば そうしゅつ 芸術活動の場の創出を すす 進めていきます。	げいじゅつさい てんらんかいどう 芸術祭や展覧会等の かいさい つう かつどう 開催を通じて、活動を支 ささ じんざい いくせい ぶんか える人材の育成や文化 げいじゅつかつどう ば そうしゅつ 芸術活動の場の創出に とく 取り組みました。	○	ひ つづ げいじゅつさい 引き続き芸術祭や てんらんかいどう かいさい 展覧会等の開催を つう かつどう ささ 通じて、活動を支える じんざい いくせい ぶんか 人材の育成や文化 げいじゅつかつどう ば そうしゅつ 芸術活動の場の創出 と に取り組みます。	すいしん 推進	すいしん 推進
しょうがいしゃ 障害者の ぶん かげいじゅつ 文化芸術 かんしょう 鑑賞の しえん 支援 (新)	さまざま だんたいどう れんけい 様々な団体等と連携 しょうがい とくせい おう し、障害の特性に応 かんしょう きかい じた鑑賞の機会の じゅうじつ えんかつ しせつ 充実、円滑な施設 りよう かんきょう 利用のための環境 せいび かつどう ささ 整備、活動を支える じんざい いくせいどう とく 人材の育成等に取り組 みます。	よこはまのうがくどう 横浜能楽堂において「バ リアフリー能」を実施し ます。	れいわ ねん がつ にち ・令和5年3月21日に 「バリアフリー能」を じっし のう 実施しました。公演つ いては、動画で字幕・音声 どうが じまく おんせい ガイドありで配信しまし た。	○	よこはまのうがくどう ・横浜能楽堂において 「バリアフリー能」 かんれんきかく のう 関連企画である「おう ちで楽しむ能楽堂」を たの のうがくどう 実施します。	すいしん 推進	すいしん 推進

<p>文化芸術 による 地域共生 社会実現 に向けた 取組の 推進 新</p>	<p>関係機関との連携を深め、文化芸術体験や公演・展示等鑑賞の文化芸術活動を通して、障害のあるなしにかかわらず誰もが互いに対等な立場で関わり合うことを進める活動を促進します。</p>	<p>・市民ギャラリーあざみの野での「フェローアートギャラリー」を推進します。 ・引き続き「ヨコハマ・パラトリエンナーレ」のレガシーを継承するため、学校等でのプログラムの実践や福祉施設を対象としたモニター調査などを行います。 ・横浜音祭り2022において、市内特別支援学校等を対象にワークショップ等を実施します。</p>	<p>・市民ギャラリーあざみの野で、4月～6月、9月～11月、2月～3月の全3回「フェローアートギャラリー」を実施しました。 ・「ヨコハマ・パラトリエンナーレ」のレガシーを継承する学校ワークショップの実践や、福祉施設等を対象としたモニター調査等に協力しました。 ・横浜音祭り2022において、指1本でメロディを弾くと自動で伴奏が追従する「だれでもピアノ®」を活用し、横浜市役所アトリウムでの演奏会・体験会を実施したほか、肢体不自由特別支援学校への出張体験会を実施しました。</p>	<p>○</p>	<p>・市民ギャラリーあざみの野での「フェローアートギャラリー」を推進します。 ・「ヨコハマ・パラトリエンナーレ」のレガシーを継承する学校ワークショップの実践や、福祉施設等を対象としたモニター調査等に協力します。</p>	<p>推進</p>	<p>推進</p>
---	---	--	--	----------	--	-----------	-----------

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	れいわ ねんどとりくみよてい 令和4年度取組予定	れいわ ねんどじっせき 令和4年度実績	れいわ 令和 ねんど 4年度 ひょうか 評価	れいわ ねんど 令和5年度 とりくみよてい 取組予定	ちゅうかんき 中間期 もくひょう 目標	もくひょう 目標
かしょう (仮称) どくしょ 読書バリ アフリー ほう もと 法に基づ よこはまし く横浜市 けいかく 計画の さくてい 策定、 すいしん 推進 (新)	どくしょ ほう 読書バリアフリー法に もと ちほうこうきょう 基づく、地方公共 だんたい けいかく さくてい 団体の計画として策定 し、けいかく もと とりくみ 計画に基づく取組 すいしん を推進します。	しゃかいきょういくいいんかいぎ 「社会教育委員会議」 ひ つづ かいさい きょうぎ を引き続き開催し、協議 けっか と の結果を取りまとめた ていげん ほんし ていしゅつ 提言を本市に提出して いただきます。	れいわ ねん がつ しゃかい 令和5年2月に社会 きょういくいいんかいぎていげん しかく 教育委員会提言『視覚 しょうがいしゃとう どくしょかんきょう 障害者等の読書環境の せいび すいしん かん ほうりつ 整備の推進に関する法律 どくしょ ほう (読書バリアフリー法)』 もと とりくみ ほうこうせい に基づく取組の方向性に ついて」が取りまとめら れました。	○	しゃかい きょういく いいん かいぎ 社会教育委員会議 ていげん もと とりくみ 提言に基づき、取組を すいしん 推進します。	さくてい 策定 ・ すいしん 推進	すいしん 推進

第4期横浜市障害者プラン中間見直しについて

1 プラン見直しの趣旨

「第4期横浜市障害者プラン」は、令和3年度から8年度までの6年を計画期間としていきます。このプランは、障害者基本法に基づき本市における障害者に関する基本的な施策の方向性及びその実現のために必要な個別の事業等を定める計画である「障害者計画」と、円滑にサービス提供が進むよう、障害福祉におけるサービスごとに必要な利用の見込み量等を定める計画として、障害者総合支援法に基づく「障害福祉計画」と、児童福祉法に基づく「障害児福祉計画」の三つの性質を持つ計画です。このうち、「障害福祉計画」及び「障害児福祉計画」については、計画期間が3年と定められているため、第4期障害者プランの中間期での見直しを行います。障害者計画（基本法／6か年）の内容は継承し、障害（児）福祉計画（総合支援法・児福法／3か年）の見直しという位置づけとなります。（参考1）

【参考1】第4期障害者プランの概要

- 計画期間：令和3年度（2021年度）から令和8年度（2026年度）まで。
- 位置付け：第3期障害者プランと同様、「障害者計画」「障害福祉計画」「障害児福祉計画」の3つの法定計画を一体的に策定。

第4期横浜市障害者プラン					
令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
障害者計画（＝施策の方向性及び個別の事業等を定める計画）					
障害福祉計画 （＝サービス利用の見込み量等を定める計画）			障害福祉計画 （＝サービス利用の見込み量等を定める計画）		
障害児福祉計画 （＝サービス利用の見込み量等を定める計画）			障害児福祉計画 （＝サービス利用の見込み量等を定める計画）		



2 障害者プラン見直し部分

第1章 計画の概要

国の動向・年表 等時点修正

第2章 横浜市における障害福祉の現状

統計数字等更新

第3章 第4期障害者プランの基本目標と取組の方向性

取組内容の項目ごとに見直しを実施(参考2)

第4章 障害のある人を地域で支える基盤の整備

見直し部分なし

資料編

統計数字等更新

【参考2】第3章の構成

本プランでは、「障害のある人もない人も、誰もが人格と個性を尊重し合いながら、地域共生社会の一員として、自らの意思により自分らしく生きることができるとまちヨコハマを目標とする」を基本目標として掲げ、障害福祉に関する施策事業を5つの分野に分類し、施策を進めています。

分類	取組内容
様々な生活の場面を支えるもの	普及啓発、人材確保・育成、権利擁護、相談支援
生活の場面1 住む・暮らす	住まい、暮らし、移動支援、まちづくり
生活の場面2 安全・安心	健康・医療、防災・減災
生活の場面3 育む・学ぶ	療育、教育
生活の場面4 働く・楽しむ	就労、日中活動、スポーツ・文化芸術

3 見直しの進め方

第4期障害者プランの見直しにあたっては、当事者の立場や専門的な見地から幅広い視点での協議を行うため、横浜市障害者施策推進協議会の専門委員会である障害者施策検討部会を中心に協議・検討を進めています。加えて、現状把握やニーズ調査のため、令和4年12月から令和5年2月にかけて行った障害当事者や家族、支援者等へのグループインタビュー(参考3)や、令和5年9月から10月にかけて実施予定の市民意見募集、市民説明会などの意見も参考にします。また、国から示された基本指針等(資料5)の内容を踏まえ、必要に応じた内容の見直しも行います。

【参考3】グループインタビューの実施状況

令和4年12月から令和5年2月にかけて、障害当事者や家族、支援者等の現状やニーズを把握するためのグループインタビューを実施しました。

※ 実施団体：12団体 延べ参加者数：約250名

グループインタビューでの主な意見：抜粋版（詳細は資料6を参照）

様々な生活の場面を支えるもの

- ・地域の方に、障害のある方の暮らしの様子についての啓発は必要と思われる。（普及啓発）
- ・赤い障害者マークをカバンにつけている人をたまに見かけるようになったと思う。（普及啓発）
- ・周囲どこかかそもそも家族の障害特性の理解が正しく出来ていない。（普及啓発）
- ・地域の小学校に福祉教育が必要。（人材確保・育成）
- ・制度が複雑なので支援者が制度理解不足だし、相談する時間も少ない。（普及啓発）
- ・福祉関係者と教育関係者が連携して地域の福祉意識の向上を自ずすべき。（権利擁護）
- ・誰が、どこが詳しいか、誰に聞いたら教えてもらえるのか？それがわからない。（相談支援）
- ・相談したものの専門用語が多くて分からない。（相談支援）

生活の場面1 住む・暮らす

- ・一人暮らしをしたい。（1-1 住まい）
- ・ごみの分別は難しい。（1-2 暮らし）
- ・移動情報センターのことを知らない。（1-3 移動支援）
- ・通学にもっと個別の移動支援サービスを増やしてほしい。（1-3 移動支援）
- ・移動の際に必要なガイドヘルパー等の資源がまだまだ足りないと感じる。（1-3 移動支援）
- ・未だにバリアフリー化していない所や、街中に段差がありすぎて1人で外出することは大変です。（1-4 まちづくり）
- ・文字での案内が多いので、知的・発達障害の方々ではわかりにくい場面が多いと感じます。（1-4 まちづくり）

生活の場面2 安全・安心

- ・病院（診断）の連携がうまくいっていないと思います。（2-1 健康・医療）
- ・障害者が高齢になった時に、高齢化による障害の変化を理解できる病院や、相談できる窓口がどこか分からない。（2-1 健康・医療）
- ・交通機関、道路などのインフラが混乱した時にどうするか考えて欲しい。（2-2 防災・減災）
- ・災害発生時、障害のある人と家族・支援者が安心して過ごせる避難場所が必須。（2-2 防災・減災）

生活の場面3 育む・学ぶ

- ・小学校の授業に親がずっと介助のために付いている必要があった。（3-1 療育）
- ・幼年期、小中学校時代の一般児童・生徒への共生の意識の高まりが必要。（3-2 教育）

生活の場面4 働く・楽しむ

- ・職場に障害が後から判明（年末調整などで）した時に不利益にならないか不安です。（4-1 就労）
- ・日中活動の事業所が足りない。2か所に通っているが、人によっては3か所通っている人もいます。（4-2 日中活動）
- ・知的障害のある方は特にコロナ禍で余暇が思うように過ごせずストレスが高い方も多いと感じます。（4-3 スポーツ・文化・芸術）

4 みなお 見直しスケジュール

にっけい 日程	ないよう 内容	
がつにち 6月28日	ぜんきねん 前期3年の振り返り こうきねん 後期3年の方向性検討	だいいかい 第1回障害者施策推進協議会
がつげじゅん 7月下旬		だいいかい 第1回障害者施策検討部会
がつちゅうじゅん 8月中旬	しやうがい 「障害(児)福祉計画」に係るサー ビス見込み量等の見直し素案報告	だいいかい 第2回横浜市自立支援協議会
がつちゅうじゅん 9月中旬 ~10月中旬		しみんいけんほしゅう 市民意見募集 しみんせつめいかい 市民説明会(9月中旬に2回)・関係者団体説明
がつげじゅん 10月下旬		だいいかい 第3回横浜市自立支援協議会
がつげじゅん 11月下旬	しみんいけんとうほうこく 市民意見等報告	だいいかい 第2回障害者施策検討部会
がつ 12月		だいいかい 第2回障害者施策推進協議会
れいわねん 令和6年3月	だいきよこはまし 「第4期横浜市障害者プラン見直し げんあん 原案」報告	だいいかい 第3回障害者施策推進協議会

だい き よこはまししょうがいしゃ ちゅうかん ふ かえ
第4期横浜市障害者プランの中間振り返りについて

はんれい
【凡例】

- ㊦： しょうらい にわたるあんしん しさく 施策
㊦： しょうがいふくしけいかく として さだ める サービス とう の 「みこ み」 の りょう 量
㊦： しょうがいふくしけいかく として さだ める サービス とう の 「みこ み」 の りょう 量
㊦： だい き しょうがいしゃ から はじ めて しょうがいしゃ に きさい する じぎょう 事業

さまざまな せいかつ ばめん ささ
 様々な生活の場面を支えるもの

2 人材確保・育成

(1) 障害福祉従事者の確保と育成

事業名 じぎょうめい じぎょうめい	事業内容 じぎょうないよう じぎょうないよう	これまでの実績 じっせき (令和5年3月末) れいわ ねん がつまつ	課題 かだい かだい	新たな3年間 あら ねんかん の方向性 ほうこうせい のほうこうせい
障害福祉 人材の 確保 (あ)	障害福祉の仕事の 魅力を発信し、 求人や雇用の支援 を行うことで社会 福祉人材の確保につ なげていきます。	障害福祉の仕事紹介動画を 公共交通機関や障害者週間の イベントで放映しました。また 専門学校との連携により障害 福祉の紹介アニメーションを 作成し、イベント等で放映しまし た。さらに人材確保セミナーやお 仕事フェアを実施し、求人・ 採用に係る支援を行いました。	より多くの若者等に対して障害 福祉の魅力を発信するため、 紹介動画の視聴数の増加や、お 仕事フェアでの相談会参加者数を 増やす必要があります。	市内大学や専門学校との連携や、 人材確保セミナー、お仕事フェア 等のイベントを実施し、求人・ 採用に係る支援を継続的に行い ます。また、関係団体との検討会を 引き続き開催し、現場の意見を聞 きながら障害福祉の魅力発信に 取り組めます。
障害福祉 施設等で 働く看護 師の支援 (新)	障害福祉施設等で 働く看護師の定着 に向けた支援を行 うとともに、人材 確保の方策について 検討します。	障害福祉施設で働く看護師向け に、医師による口腔機能管理につ いての講義の動画配信や、各施設 への訪問による技術的な指導を 行いました。	障害者施設での医療的ケアのニ ーズが高まる一方、看護師が医師 からの指示等を十分受けられな い状況に加え、少人数体制で 業務に従事している環境は変わ っておらず、人材の確保と定着 が課題です。	引き続き医師等の専門職による 巡回相談を継続しながら、アンケ ートやヒアリングを通じて看護師 等が安心して働き続けるために 必要とされる支援を把握します。 また、合同研修を通じて施設間の 連携を強化し、就労定着と人材 育成に取り組めます。

(2) 業務効率化に向けたロボット・AI・ICT等の導入の検討

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	これまでの実績 <small>じっせき</small> (令和5年3月末) <small>れいわ ねん がつまつ</small>	課題 <small>かだい</small>	新たな3年間の方向性 <small>あら ねんかん</small> <small>ほうこうせい</small>
業務効率化に向けたロボット・AI・ICT等の導入の検討 新 <small>ぎょうむ こうりつ か む げんどう</small>	煩雑な事務作業などの業務効率化や介護業務の負担軽減などを進めるため、ロボット・AI・ICTなどの導入の検討を進めます。 <small>はんざつ じ む さぎょう ぎょうむ こうりつ か かいごぎょうむ ふたん けいげん すす るため、ロボット・えーあい あいしーていー AI・ICTなどの どうにゆう けんどう すす</small>	関係機関と意見交換を行い、現状の課題について整理や今後の施策の方向性の検討を行いました。 また、ロボット・AI・ICTに関する研修の情報を関係団体へ紹介しました。 <small>かんけいきかん いけんこうかん おこな げんじょう かだい せいり こんご しさく ほうこうせい けんどう おこな また、ロボット・AI・ICT に関する研修の情報を関係 だんたい しょうかい</small>	現状の煩雑な事務作業や介護業務の負担に関する課題把握が必要です。 <small>げんじょう はんざつ じ む さぎょう かいご ぎょうむ ふたん かん かだいはあく ひつよう</small>	関係団体や企業等との意見交換を行い、現状把握や課題整理等を行ったうえで今後の支援策を検討します。 <small>かんけいだんたい きぎょうどう いけんこうかん おこな げんじょうはあく かだいせいりとう おこな こんご しえんさく けんどう</small>

3 けんりようご
権利擁護

(4) じょうほうほしやう とりくみ
情報保障の取組

じぎやうめい 事業名	じぎやうないやう 事業内容	これまでの実績 じっせき れいわ ねん がつまつ (令和5年3月末)	かだい 課題	あら 新たな3年間 ねんかん ほうこうせい の方向性
だいはつ 代筆・ だいどく 代読サー ビス ⑧	しかくとう しょうがい 視覚等に障害のあ ひと にちじやうせいかつ る人が日常生活の なか だいはつ 中で代筆または だいどく ひつやう 代読が必要なとき しえんしゃ に支援者によるサ ービス提供を行 います。	きょたくない だいどく だいはつ しえん 居宅内での代読・代筆支援につい て、れいわ ねん がつ か じえんじよ 令和3年10月から家事援助に おいて だいはつ だいどく 代筆・代読のみでのサービ ス提供を可能としました。	しょうらいてき だいはつ だいどく 将来的な代筆・代読サービスの ていきやうほうほう けんとう ひつやう 提供方法を検討する必要がある あります。	うんやう てきせつ おこな サービス運用を適切に行うとと もに、しょうらいてき だいはつ だいどく 将来的な代筆・代読サービ スの ていきやうほうほうとう ひ つづ けんとう 提供方法等を引き続き検討 していきます。

1-1 住まい

(2) 高齢化・重度化を踏まえた住まいの構築

事業名	事業内容	これまでの実績 (令和5年3月末)	課題	新たな3年間の方向性
高齢化・ 重度化 対応バリ アフリー 改修事業	グループホームを利用する障害者が高齢になり、それに伴う身体機能の低下等により、従来のホームの設備で生活するところが困難となる場合でも、居住しているホームで安心して生活し続けることができるよう、バリアフリー等改修に係る経費を補助します。	令和3年度、4年度で3ホームから申請があり、浴室の改修、手摺やスロープの設置を行いました。	申請数が少なく、制度の利用周知を進める必要があります。	引き続き、バリアフリー等改修に係る費用を補助します。

1-2 暮らし

(1) 地域での生活を支える仕組みの充実

事業名	事業内容	これまでの実績 (令和5年3月末)	課題	新たな3年間の方向性
<p>地域支援 マネジャー による 障害福祉 サービス 事業所等 への支援</p> <p>⑨</p>	<p>発達障害者支援センター に「地域支援マネジャー」を配置し、障害福祉サービス事業所等に対し、行動障害・発達障害に係るコンサルテーションを実施します。</p>	<p>「地域支援マネジャー」による、障害福祉サービス事業所等に対する、行動障害・発達障害に係るコンサルテーションを実施しました。</p>	<p>事業所等からの相談ニーズは非常に多く、コンサルテーションを通じて獲得した支援手法が事業所内で般化できていない状況があります。</p>	<p>引き続き、「地域支援マネジャー」による、障害福祉サービス事業所等に対する、行動障害・発達障害に係るコンサルテーションを実施するとともに、事業所の支援力が向上するよう、働きかけを行います。</p>
<p>医療的ケア 児・者 等支援者 養成</p> <p>⑩⑨</p>	<p>受入体制の充実を図るため、所属する施設・事業所等において、医療的ケア児・者等の受入れを積極的に進めるよう、支援に必要な知識・技術の普及啓発を行う支援者を養成します。</p>	<p>横浜市医療的ケア児・者等支援検討委員会 令和3年度 42人 令和4年度 48人 令和5年度 約50人養成予定</p>	<p>支援者養成研修修了事業者の医療的ケア児・者等の受入れ状況の把握、及び受入促進を図っていく必要があります。</p>	<p>引き続き支援者を養成し、医療的ケア児・者の受入体制を強化します。</p>

(2) 本人の力を引き出す支援の充実

事業名 じぎょうめい	事業内容 じぎょうないよう	これまでの実績 じっせき (令和5年3月末) れいわ ねん がつまつ	課題 かだい	新たな3年間 ねんかん の方向性 ほうこうせい
消費者 しょうひしゃ 教育事業 きょういくじぎょう (あ)	障害者、家族及び しょうがいしゃ かぞくおよ 支援者が、商品・サ しえんしゃ しょうひん ービスの利用及び契約 りようおよ けいやく に関わるトラブル等を かか どう 学ぶことにより、安心 まな あんしん した日常生活を送れ にちじょうせいかつ おく るよう、意識啓発を いしきけいはつ はか 図ります。	事業の継続性や学校側の負担も踏 じぎょう けいぞくせい がっこうがわ ふたん ふ まえ、継続できる形での意識啓発 けいぞく かたち いしきけいはつ の方法を庁内で検討しました。 ほうほう ちょうない けんとう	障害のある幼児児童生徒の意識 しょうがい ようじじどうせいと いしき 啓発のため、分かりやすい啓発物 けいはつ わ けいはつぶつ の作成や配布なども含めた方法の さくせい はいふ ふく ほうほう 検討が必要です。 けんとう ひつよう	障害者、家族及び支援者への意識 しょうがいしゃ かぞくおよ しえんしゃ いしき 啓発が着実に図れるよう、事業の けいはつ ちやくじつ はか じぎょう 実施手法を含めた見直し・検討を じっししゅほう ふく みなお けんとう 行い、継続的かつ安定的な事業 おこな けいぞくてき あんていてき じぎょう 展開を目指します。 てんかい めざ

1-3 いどうしえん 移動支援

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>これまでの実績 （令和5年3月末）</p>	<p>かだい 課題</p>	<p>あらねんかん 新たな3年間 の方向性</p>
<p>いどうじょうほう 移動情報 センター 運営等 事業の 推進 ㊦</p>	<p>いどうしえん かん じょうほう 移動支援に関する情報 を 集約し、一人ひとり にあった適切な情報を 提供することや、移動 支援を支える人材の 発掘・育成を行う移動 情報センターを全区に 設置し、市内のどの地域 でも移動支援の仕組み を効果的に利用できる ようにします。</p>	<p>へいせい ねんどそうだんけんすう けん H 29年度相談件数：2,686件 へいせい ねんどそうだんけんすう けん H 30年度相談件数：2,966件 れいわがんねんどそうだんけんすう けん R 元年度相談件数：3,058件 れいわ ねんどそうだんけんすう けん R 2年度相談件数：2,168件 れいわ ねんどそうだんけんすう けん R 3年度相談件数：2,223件 れいわ ねんどそうだんけんすう けん R 4年度相談件数：2,172件</p>	<p>そうだん きぼう しみん 相談を希望する市民がもれなく いどう かん そうだん て き 移動に関する相談が出来るよう さら いどうじょうほう しゅうち 更なる移動情報センターの周知 を 図っていく必要があります。</p>	<p>そうだん きぼう しみん 相談を希望する市民が、もれなく いどう かんれん そうだん て き 移動に関連する相談が出来るよ う周知し、事業を推進します。</p>
<p>なんびょう かんじゃ 難病患者 が いしゅつ しえん 外出支援 サービス 事業</p>	<p>いっばん こうつうきかん りよう 一般の交通機関を利用 した外出に困難を伴 う、車いす等を利用す る 難病患者に福祉 車両による送迎サービ スを提供します。</p>	<p>しんがた かんせんしやう えいきやう 新型コロナウイルスの影響によ る 外出自粛や、高齢者施策や しょうがいしやしきくとう がいしゅつしえん 障害者施策等の外出支援サー ビスの活用により、本事業の利用 登録者数は減少しています。 ●利用登録者数：令和3年度（50 人） 令和4年度（37人）</p>	<p>うんでん こうれいか 運転ボランティアの高齢化や じんざいぶそくとう 人材不足等によりボランティア による事業実施継続が困難にな っています。</p>	<p>なんびょうかんじゃ じょうきやう おう 難病患者の状況に応じた が いしゅつ しえん ていきやう すいしん 外出支援の提供を推進します。</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	かだい 課題	あら ねんかん 新たな3年間 <small>ほうこうせい</small> の方向性
じゅうど 重度 しょうがいしゃとう 障害者等 いどう への移動 しえんじぎょう 支援事業 かくじゅう の拡充 (新)	こうきょうこうつうきかん 公共交通機関での がいしゆつ こんなん じゅうど 外出が困難な重度 しょうがいしゃとう たい 障害者等に対して、 いどうしえんじぎょう かくじゅう 移動支援事業の拡充を はか 図ります。	れいわ ねん がつ じゅうどしょうがいしゃ 令和3年10月から重度障害者 ふくし りようけん たいしょうしゃ 福祉タクシー利用券の対象者を かくだい しょうがいしゃ 拡大するとともに、障害者 じどうしゃねんりょうけんせいど しんせつ 自動車燃料券制度を新設しまし た。 ねんりょうけん 【燃料券】 れいわ ねんど さつ 令和3年度：10,236冊 れいわ ねん さつ 令和4年：10,724冊	しみん りべんせい たか 市民の利便性を高めるために、 きゅうゆじょ ひょうじ 給油所を表示したデジタルマッ プを作成するなどの取組を進め ます。	ひ つづ りよう いどうしえん 引き続き、利用しやすい移動支援 しさく じぎょう すいしん 施策となるよう事業を推進しま す。

1-4 まちづくり

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	これまでの実績 (令和5年3月末)	かだい 課題	あらねんかん 新たな3年間 の方向性
よこはまし 横浜市 こうきょう 公共サイ ンガイドラ インの運用 すいしん 推進	こうてききかんせっち 公的機関により設置される ほうこうしゃやうあんないゆうどう 歩行者用案内・誘導サイン きかくひょうじないようとうとういつ の規格や表示内容等の統一 はか を図るためのガイドライン うんようすいしん の運用を推進します。 また、こうきょう また、公共サインの掲載 きじゅんとうひつようおう 基準等について必要に応じて みなおけんとう て見直しを検討し、より歩 こうしゃわ 行者に分かりやすいサイン せいびすす 整備を進めていきます。	うんようてきせつ ガイドラインの運用を適切に おこな 行いました。	こうきょうけいさいきじゅんとう 公共サインの掲載基準等につ ひつようおうみなおけんとう いて必要に応じて見直しを検討 ひつよう する必要があります。	うんようすいしん ガイドラインの運用を推進する とともに、こうきょう とともに、公共サインの掲載 きじゅんとうひつようおう 基準等について必要に応じて みなおけんとう 見直しを検討し、より歩行者に わかりやすいサインせいびゆうどう わかりやすいサイン整備を誘導 していきます。

2-1 健康・医療

(2) 医療環境の充実

事業名	事業内容	これまでの実績 (令和5年3月末)	課題	新たな3年間の方向性
なんびょう かんじゃ 難病患者 ざいたくりょうよう 在宅療養 けいかくさくてい 計画策定・ ひょうかじぎょう 評価事業	ざいたくなんびょうかんじゃ たい 在宅難病患者に対し、 ほけん いりょう ふくし かく 保健・医療・福祉の各 てきせつ ていきょう サービスを適切に提供 するのために、関係者が ざいたくりょうよう かんけいしや 在宅療養 在宅療養生活を支 けいこうさくてい ぎょうどう 計画策定・ 合同でサービス内容を ひょうかじぎょう けんとう 評価事業 検討します。	れいわ ねんど しんがた かんせんしょう 令和3年度は新型コロナウイルス感染症 えいきょう たいめん けいかく の影響により、対面による計画 さくてい ひょうかじぎょう じっし こんなん の策定・評価事業の実施が困難な じょうきょう れいわ ねんど 状況でしたが、令和4年度は なんびょうかんじゃ ざいたくりょうようせいかつ ささ 難病患者の在宅療養生活を支 えるケアマネジャーの人材育成 もくてき ざいたくりょうようけいかく さくてい を目的に、在宅療養計画の策定・ ひょうか じれいけんとう じっし 評価の事例検討を実施しました。	たいいん じ たしよくしゅれんけい ざいたくりょうよう 退院時の多職種連携や在宅療養 いこうしえん おこな への移行支援が行われてきてい ますが、なか 中でも、支援者側への なんびょう かん ちしき もと 難病に関する知識がより求めら れています。	ざいたくなんびょうかんじゃ あんてい りょうよう 在宅難病患者が安定した療養 せいかつ おく ひ つづ ざいたく 生活を送れるよう、引き続き在宅 せいかつ ささ せんもんしよく いくせい と 生活を支える専門職の育成に取 り組んでいきます。
じゅうど 重度 しょうがいしゃとう 障害者等 にゅういん じ 入院時コ ミュニケ ーション しえん 支援 じぎょう 事業 (あ)	にゅういんさきりょうきかん 入院先医療機関の いし かん ごしとう 医師・看護師等との いし そつう じゅうぶん はか 意思疎通が十分に図れ ない障害児・者を対象 しょうがいじ しゃ たいしやう に、入院先にコミュニ ケーション支援員を はけん 派遣します。	はけんけんすう 派遣件数 れいわ ねんど けん R3年度：2件 れいわ ねんど けん R4年度：2件	かんせんしょうたいさく がいぶしえんしゃ 感染症対策により、外部支援者 うけいれこんなん いりょう の受入困難となっている医療 きかん おお けんすう げんしょう 機関が多く、件数が減少してい ます。	にゅういんさきりょうきかん いし かんごし 入院先医療機関の医師・看護師 とう いし そつう はか ひ 等との意思疎通が図れるよう、引 きつづ 続きコミュニケーション しえんいん はけん 支援員を派遣します。

2-2 ぼうさい げんさい
防災・減災

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	じっせき これまでの実績 れいわ ねん がつまつ (令和5年3月末)	かだい 課題	あら ねんかん 新たな3年間 ほうこうせい の方向性
さいがい じ どう 災害時等 の自助力 の自助力 向上に向 けたツ ールの作成 及び 普及・ 啓発 (新)	ふうすいかい ふく さいがい じ 風水害を含めた災害時 に備え、自助力の向上 のためのツールの けんとう さくせい ほんし 検討・作成と、本市ウ ェブサイト等を活用し た普及・啓発を行っ ていきます。	れいわ ねん ど ひなんこうどうけいかく 令和4年度:避難行動計画「マイ・ タイムライン」を「障害福祉のあ んない」に掲載できるように かんけいか ちょうせい 関係課と調整しました。 ●5年度版に掲載予定です。	いがい じじりよく マイ・タイムライン以外の自助力 向上ツールの検討が必要です。	ひ つづ しみん はばひろ ふきゅう 引き続き、市民に幅広く普及・ けいはつ じじりよくこうじょう 啓発ができるよう自助力向上ツ ールを本市ウェブサイト等にお いて活用していきます。
さいがい じ 災害時に おける 自助・ 共助の 情報 共有の 推進 (新)	よこはまししょうがいしゃしきく 横浜市障害者施策 すいしんきょうぎかい かくだんたい 推進協議会や各団体の かいぎたい さいがい じ 会議体にて、災害時に おける自助・共助につ いて情報共有を行 います。	れいわ ねん ど ほんし 令和4年度から、本市における げんさい ぼうさい とりくみじょうきょう ほうこく 減災・防災の取組状況を報告 し、いただいたご意見を集約し かくしよかんか きょうゆう 各所管課と共有しました。	すいしんきょうぎかい いがい かくだんたい 推進協議会以外の各団体の かいぎたい じょうほうきょうゆう けんとう 会議体での情報共有を検討す る必要があります。	よこはまししょうがいしゃしきく すいしんきょうぎかい 横浜市障害者施策推進協議会 とう すいじじょうほうきょうゆう おこな 等にて随時情報共有を行いま す。

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	課題 <small>かだい</small>	新たな3年間 <small>あら ねんかん</small> <small>ほうこうせい</small> の方向性
障害福祉サービス事業所等におけるサービス提供等継続支援 <small>しょうがいふくし</small> <small>しょうがいふくし</small> <small>じぎょうしょうどう</small> <small>じぎょうしょうどう</small> <small>ていきょうどう</small> <small>けいぞくしえん</small> <small>けいぞくしえん</small> ⑧	障害福祉サービス事業所等に対して、平常時から、感染症の流行に備え、衛生物品等の備蓄、事業継続計画の策定など必要な準備について、普及啓発を行います。また、緊急時にはサービス提供等の継続に向けた支援を行います。 <small>しょうがいふくし</small> <small>しょうがいふくし</small> <small>じぎょうしょうどう</small> <small>たい</small> <small>へいじょうじ</small> <small>かんせんしょう</small> <small>りゅうこう</small> <small>そな</small> <small>えいせいぶつ</small> <small>びんどう</small> <small>びちく</small> <small>じぎょうけいぞく</small> <small>けいかく</small> <small>さくてい</small> <small>ひつよう</small> <small>じゅんび</small> <small>ふきゅう</small> <small>けいはつ</small> <small>おこな</small> <small>きんきゅうじ</small> <small>ていきょうどう</small> <small>けいぞく</small> <small>む</small> <small>しえん</small> <small>おこな</small>	・業務継続計画策定に向けた研修を開催しました。 <small>ぎょうむけいぞくけいかくさくてい</small> <small>む</small> <small>けんしゅう</small> <small>かいさい</small> <small>れいわ</small> <small>ねんどう</small> <small>いけいじっせき</small> 【令和3・4年度累計実績】 ・サービス継続のためのかかり増し経費の助成：480か所 <small>けいぞく</small> <small>けいひ</small> <small>じよせい</small> <small>しよ</small> ・抗原検査キットの配付：市内全事業所 <small>こうげんけんさ</small> <small>はいふ</small> <small>しない</small> <small>ぜんじぎょうしょ</small>	各事業担当において、事業内容に応じたきめ細やかな啓発及び支援に取り組んでいく必要があります。 <small>かくじぎょうたんどう</small> <small>じぎょうないよう</small> <small>かくじぎょうたんどう</small> <small>じぎょうないよう</small> <small>おう</small> <small>こま</small> <small>けいはつ</small> <small>およ</small> <small>しえん</small> <small>と</small> <small>く</small> <small>ひつよう</small>	各事業担当による啓発や指導を進めます。 <small>かくじぎょうたんどう</small> <small>けいはつ</small> <small>しどう</small> <small>すす</small>

3-1 療育

(2) 切れ目のない支援体制の充実

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	これまでの実績 <small>じっせき</small> (令和5年3月末) <small>れいわ ねん がつまつ</small>	課題 <small>かだい</small>	新たな3年間 <small>あら ねんかん</small> の方向性 <small>ほうこうせい</small>
ペアレン トトレー ニング 実施者の 養成 (新)	子ども本人への支援と 合わせて重要である 保護者への支援とし て、主に障害児通所 支援事業所等におい て、職員に対しペアレ ントトレーニング 実施者養成研修を行 います。	令和3年度 4か所 令和4年度 6か所	研修受講事業所数を増やすた め、研修内容や広報を検討する 必要があります。	より多くの事業所に参加してい ただける手法を検討し、引き続き 事業を実施します

3-2 教育

(2) 教育環境・教育活動の充実

事業名	事業内容	これまでの実績 (令和5年3月末)	課題	新たな3年間 の方向性
<p>ICTを 活用した 教育環境の 充実 新</p>	<p>個々の児童生徒の 障害の状況を十分 に踏まえ、学習上、 生活上の様々な困難 に対し、ICTを活用 した指導や支援を 充実させるとともに、 緊急時におけるオン ラインでの学習保障 や動画コンテンツ配信 などについて、検討、 実施します。</p>	<p>市立特別支援学校13校に、 ICT支援員を令和3年度は 38回、令和4年度以降は62回 派遣し、学習支援等に取り組み ました。また、訪問日以外での 対応を行う等の支援を拡充し ました。</p>	<p>個々の特性に応じた児童への 支援を継続する必要があるま す。</p>	<p>引き続き、ICTに関する専門 スタッフ支援を進め、オンライ ンでの学習等を進めます。</p>
<p>重度訪問介護 利用者の大学 修学支援 事業 新</p>	<p>重度訪問介護を利用す る重度障害者が大学 で修学するための 支援を実施します。</p>	<p><利用者数> 令和2年度：3人 令和3年度：3人 令和4年度：4人 令和5年度：4人</p>	<p>大学等における支援体制の構築 を促していくことが必要です。</p>	<p>大学等において重度障害者が 修学するために必要な支援 体制が構築されるまで、進学を 希望する人が本制度を利用し 安心して修学ができるよう、引 き続き円滑に事業を運営をして いきます。</p>

4-1 就労

(1) 一般就労の促進と雇用後の定着支援の充実

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	これまでの実績 <small>じっせき</small> (令和5年3月末) <small>れいわ ねん がつまつ</small>	課題 <small>かだい</small>	新たな3年間の方向性 <small>あら ねんかん</small> <small>ほうこうせい</small>
雇用施策 と福祉 施策の 連携によ る重度 障害者等 への就労 支援 (重度 障害者等 就労支援 特別 事業) 新	法定サービスでの 対象外となっている 重度障害者の経済 活動時間中の支援を 雇用施策と福祉施策が 連携して行う制度を 検討し、実施します。	制度構築に向けた検討を重ね、 令和5年度から「横浜市重度 障害者等就労支援特別事業」を 新規実施します。	雇用先やサービス提供事業所等 の関係機関との調整が必要です。	通勤又は就労時間中の支援を 必要とする重度障害者が本制度 を利用できるよう、円滑な事業 運営をしていきます。

(2) 幅広い仕事や工賃の向上による生活の充実

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	これまでの実績 <small>じっせき</small> (令和5年3月末) <small>れいわ ねん がつまつ</small>	課題 <small>かだい</small>	新たな3年間 <small>あら ねんかん</small> の方向性 <small>ほうこうせい</small>
事業所の 受注スキルの 向上 <small>新</small> <small>じぎょうしょ</small> <small>じゅちゅう</small> <small>こうじょう</small>	発注者側のニーズに 応えられる商品の 開発や作業の 受注ができるよう、 研修会やモデルケース となる事例検討など を実施し、事業所の 受注スキルの向上を 図り、多くの受注に つなげます。 <small>はっちゅうしゃがわ</small> <small>こた</small> <small>しょうひん</small> <small>かいはつ</small> <small>さぎょう</small> <small>じゅちゅう</small> <small>けんしゅうかい</small> <small>じれい</small> <small>けんとう</small> <small>じっし</small> <small>じぎょうしょ</small> <small>じゅちゅう</small> <small>こうじょう</small> <small>はか</small> <small>おお</small> <small>じゅちゅう</small>	各事業所で取り組み やすい、また今後も 需要が見込まれる 内容モデルケースと して検討し、研修を 実施しました。 【研修会の実施】 令和3年度：清掃作 業研修、電子決済導 入説明会 令和4年度：プール 清掃見学会 <small>かくじぎょうしょ</small> <small>と</small> <small>く</small> <small>こんご</small> <small>じゅよう</small> <small>み</small> <small>こ</small> <small>ない</small> <small>よう</small> <small>けんとう</small> <small>けんしゅう</small> <small>じっし</small> <small>けんしゅうかい</small> <small>じっし</small> <small>れいわ</small> <small>ねんど</small> <small>せいそうさぎょうけんしゅう</small> <small>でんしけっさいどうにゅうせつめいかい</small> <small>れいわ</small> <small>ねんど</small> <small>せいそうけんがくかい</small>	多様化する発注者 側のニーズに対して、 対応できる事業所 の数が少ないです。 <small>たようか</small> <small>はっちゅうしゃがわ</small> <small>たい</small> <small>たいおう</small> <small>じぎょうしょ</small> <small>かず</small> <small>すく</small>	毎年度研修会等を実 施し、引き続き事業 所の受注スキルの 向上を図ります。 <small>まいねんどけんしゅうかいどう</small> <small>じっし</small> <small>ひ</small> <small>つづ</small> <small>じぎょうしょ</small> <small>じゅちゅう</small> <small>こうじょう</small> <small>はか</small>

(3) 多様な働き方や障害者就労に対する理解促進

事業名 じぎょうめい じぎょうめい	事業内容 じぎょうないよう じぎょうないよう	これまでの実績 じっせき (令和5年3月末) れいわ ねん がつまつ	課題 かだい 課題	新たな3年間 あら ねんかん の方向性 ほうこうせい
障害者 就労に関する 市民啓発	シンポジウムの開催等を通 じ、様々な分野で働く 障害者や障害者雇用を進め ている企業の「生の声」を伝 え、障害者就労に対する 理解・関心を高めます。	令和3年度 : シンポジウム開催見送り パネル展開催 令和4年度 : シンポジウム開催 (会場参加: 77名、YouTube 再生回数: 336回) パネル展開催 (2回) 令和5年度 : シンポジウム・パネル展とも に開催予定	より効果的に障害者就労 啓発を進めるために、対象者 別にテーマや開催方法を検討 する必要があります。	会場開催だけでなく、様々な 実施方法での市民啓発に取り 組みます。
ふれあいシ ョップ等を 活用した 障害者 就労に関する 理解促進 (新)	新たに開業するJR関内駅 北口高架下の就労啓発施設 及び市庁舎内のふれあいショ ョップをはじめ、既存のふれあ いショップ等の運営を通じ て、就労に関する理解の 促進を図ります。	【令和3年】 ・コロナによりヒアリング 見送り 【令和4年】 ・各店舗へのヒアリング 【令和5年】 ・就労啓発に関する発信強化	ふれあいショップ及び、 障害者就労啓発施設の認知 を高めるための周知活動が 必要です。	ふれあいショップ等の運営を 通じて、就労に関する理解の 促進を図ります。

4-3 スポーツ・文化芸術

(2) 文化芸術活動の推進

事業名	事業内容	これまでの実績 (令和5年3月末)	課題	新たな3年間 の方向性
<p>障害者の文化芸術鑑賞の支援 新</p>	<p>様々な団体等と連携し、障害の特性に応じた鑑賞の機会の充実、円滑な施設利用のための環境整備、活動を支える人材の育成等に取り組めます。</p>	<p>横浜能楽堂では、「バリアフリー」及び関連企画を実施するに当たり、関連団体等へ事前にヒアリングや合理的配慮について等の施設内研修を行いました。公演日は、施設職員全員で連携して実施することができました。</p>	<p>横浜能楽堂は大改修工事へ向け、移転準備をしており、仮拠点の活動では、場所や企画をどのように行うかが課題です。</p>	<p>再開後は、横浜能楽堂での「バリアフリー能」及び関連企画の実施を推進します。</p>
<p>文化芸術による地域共生社会実現に向けた取組の推進 新</p>	<p>関係機関との連携を深め、文化芸術体験や公演・展示等鑑賞の文化芸術活動を通して、障害のあるなしにかかわらず誰もが互いに対等な立場で関わり合うことを進める活動を促進します。</p>	<p>・市民ギャラリーあざみ野で「フェローアートギャラリー」を実施したことに加え、本事業について他施設と連携しました。 ・「ヨコハマ・パラトリエンナーレ」のレガシーを継承するため、企業や学校向けのプログラムの開発や学校ワークショップの実践、福祉施設等を対象としたモニター調査等を実施、協力しました。</p>	<p>・他館や他スペースでも展開すべく「フェローアートギャラリーエクステンション」に取り組んでいますが、展示条件(広さ、環境、費用負担も含めた展示趣旨への理解等)を充たした連携先の開拓が課題です。 ・当初目標通り「ヨコハマ・パラトリエンナーレ」の開催期間が終了しました。</p>	<p>・市民ギャラリーあざみ野での「フェローアートギャラリー」を推進します。 ・「ヨコハマ・パラトリエンナーレ」のレガシーを継承する取組に協力します。</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	かだい 課題	<small>あら ねんかん</small> 新たな3年間 <small>ほうこうせい</small> の方向性
かしょう (仮称) どくしょ 読書バリ アフリー ほう もと 法に基づ よこはまし く横浜市 けいかく 計画の さくてい 策定、 すいしん 推進 新	どくしょ ほう 読書バリアフリー法に もと ちほうこうきょう 基づく、地方公共 だんたい けいかく さくてい 団体の計画として策定 けいかく もと とりくみ し、計画に基づく取組 すいしん を推進します。	しゃかいきょういくいいんかいぎ しかく 社会教育委員会議 で、 視覚 しょうがいしゃなど どくしょかんきょう せいび 障害者等の読書環境の整備の すいしん かん ほうりつ どくしょ 推進に関する法律（読書バリアフ ほう もと とりくみ ほうこうせい リー法）に基づく取組の方向性に きょうぎ ていげん と ついて、協議いただき、提言が取 りまとめられました。	ていげん もと とりくみ すいしん 提言に基づき、取組を推進してい くとともに、令和6年度策定予定 れいわ ねんどさくていよてい の「第三次横浜市読書活動推進 だいさんじよこはましみんどくしょかつどうすいしん 計画」に提言の内容を盛り込む けいかく ていげん ないよう も こ 必要があります。	れいわ ねんど さくていよてい だいさんじ 令和6年度に策定予定の「第三次 よこはましみんどくしょかつどうすいしんけいかく 横浜市民読書活動推進計画」に しゃかいきょういくいいんかいぎていげん ないよう 社会教育委員会議提言の内容を も こ とりくみ すいしん 盛り込み、取組を推進します。

だい き よこはまししょうがいしゃ ちゅうかん ふ かえ
第4期横浜市障害者プランの中間振り返りについて

【凡例】

- ㊦：将来にわたるあんしん施策
㊦：障害福祉計画として定めるサービス等の「見込み」の量
㊦：障害児福祉計画として定めるサービス等の「見込み」の量
㊦：第4期障害者プランから初めて障害者プランに記載する事業

さまざまな せいかつ ばめん ささ
 様々な生活の場面を支えるもの

I 普及啓発

(1) 互いの存在に気づき、身近に感じる仕組みづくり

事業名	事業内容	これまでの実績 (令和5年3月末)	課題	新たな3年間の方向性
「地域共生社会」の実現に向けた取組等の推進	地域のあらゆる方が、「支え手」と「受け手」に分かれるのではなく、地域、暮らし、生きがいとともに創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現に向けた「障害者週間」などの取組を実施・推進していきます。	障害者週間における市庁舎アトリウムでのイベント実施などを通じて、共生社会の実現に向けた取組を行いました。	地域共生社会の実現のための取組を継続・推進していく必要があります。	引き続き共生社会の実現に向けた取組を行っていきます。
各区の普及・啓発活動の促進	各区の住民に対して、疾病や障害等に対する理解を深めるための研修や啓発活動の支援を行います。	障害者週間を中心に、各区で障害理解を目的とした広報物の作成やフォーラム等を実施し、障害理解の普及・啓発を行いました。	普及啓発の効果を高めるため、取組を継続していく必要があります。	引き続き各区における普及・啓発活動を支援します。

(2) 障害に対する理解促進

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	これまでの実績 <small>じっせき</small> (令和5年3月末) <small>れいわねんがつまつ</small>	課題 <small>かだい</small>	新たな3年間 <small>あらねんかん</small> の方向性 <small>ほうこうせい</small>
当事者や <small>どうじしゃ</small> 障害福祉 <small>しょうがいふくし</small> 関連施 <small>かんれんし</small> 設、市民 <small>せつしみん</small> 団体等に <small>だんたいどう</small> よる 普及・ <small>ふきゅう</small> 啓発活動 <small>けいはつかつどう</small> への支援 <small>しえん</small>	セイフティーネットプ <small>よこはま えすねっと</small> ロジネット横浜 (S-net <small>よこはま</small> 横浜) や障害福祉関連 <small>しょうがいふくしかんれん</small> 施設、市民団体等によ <small>しせつ しみんだんたいどう</small> る障害理解のための <small>しょうがいりかい</small> 研修や講演、地域活動 <small>けんしゅう こうえん ちいきかつどう</small> を支援・協働するな <small>しえん きょうどう</small> ど、様々な普及・啓発 <small>さまざま ふきゅう けいはつ</small> を推進します。 <small>すいしん</small>	セイフティーネットプロジェク <small>よこはま えすねっとよこはま どう しょうがい</small> ト横浜 (S-net横浜) 等の障害 <small>りかい かかわ ふきゅう けいはつかつどう</small> 理解に係る普及・啓発活動 (コ ミュニケーションボード等の <small>ふきゅうけいはつ けんしゅうかい ちいきぼうさい</small> 普及啓発、研修会、地域防災 <small>きょてん どうじしゃ こうえんなど</small> 拠点での当事者による講演等) を通じ、障害理解の推進に取り <small>つう しょうがいりかい すいしん と</small> 組みました。 <small>く</small>	普及啓発の効果を高めるため、 <small>ふきゅうけいはつ こうか たか</small> 取組を継続していく必要があります。 <small>とりくみ けいぞく ひつよう</small>	セーフティネットプロジェクト <small>よこはま えすねっとよこはま れんけい</small> 横浜 (S-net横浜) と連携し、コミ <small>つか かた</small> ュニケーションボードの使い方 <small>しゅうち つう</small> を周知することを通じ、障害 <small>りかい そくしん けいぞく</small> 理解の促進を継続します。
障害者本 <small>しょうがいしゃほん</small> 人及び家 <small>にんおよか</small> 族による <small>ぞく</small> 普及・ <small>ふきゅう</small> 啓発活動 <small>けいはつかつどう</small> の推進 <small>すいしん</small>	社会参加推進センター <small>しゃかいさんかすいしん</small> が中心となり、 <small>ちゅうしん</small> 障害者本人、家族及び <small>しょうがいしゃほんにん かぞくおよ</small> 各団体と連携・協働 <small>かくだんたい れんけい きょうどう</small> し、障害理解の促進に <small>しょうがいりかい そくしん</small> 向けた普及・啓発活動 <small>む ふきゅう けいはつかつどう</small> を推進します。 <small>すいしん</small>	社会参加推進センター等と協働 <small>しゃかいさんかすいしん どう きょうどう</small> して、啓発動画の作成や講座の <small>けいはつどうが さくせい こうざ</small> 実施など、普及・啓発の取組を <small>じっし ふきゅう けいはつ とりくみ</small> 継続して実施しました。 <small>けいぞく じっし</small>	障害理解の促進に向けた普及・ <small>しょうがいりかい そくしん む ふきゅう</small> 啓発活動の強化及びニーズに即 <small>けいはつかつどう きょうかおよ そく</small> した講座の実施が必要です。 <small>こうざ じっし ひつよう</small>	社会参加推進センターが中心と <small>しゃかいさんかすいしん ちゅうしん</small> なり、障害者本人、家族及び <small>しょうがいしゃほんにん かぞくおよ</small> 各団体と連携・協働し、障害 <small>かくだんたい れんけい きょうどう しょうがい</small> 理解の促進に向けた普及・啓発 <small>りかい そくしん む ふきゅう けいはつ</small> 活動を引き続き推進します。 <small>かつどう ひ つづ すいしん</small>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	かだい 課題	あら ねんかん 新たな3年間 <small>ほうこうせい</small> の方向性
<small>しっぺい</small> 疾病や <small>しょうがい かん</small> 障害に関 <small>じょうほう</small> する情報 <small>はっしん</small> の発信	ホームページなどの <small>ばいたい かつよう しっぺい</small> 媒体を活用して、疾病や <small>しょうがい かん じょうほう</small> 障害に関する情報や <small>しえん かが かつどう しょう</small> 支援に関わる活動を紹 <small>かい しみん どうじしゃ</small> 介し、市民や当事者・ <small>かんけいしゃ りかいそくしん つと</small> 関係者の理解促進に努 めます。	<small>しょうがいふくし さっし</small> ・ 障害福祉のあんないの冊子 <small>さくせいすう あーる ぶ あーる</small> 作成数 (R 3:42,000部、 R <small>ぶ</small> 4:38,000部) <small>あーる さくせい</small> ・ R 4: アプリ作成・アプリダ <small>すう しみん けん あーる</small> ウンロード数: 6,917件 (R 5.5 <small>げんざい</small> 現在)	<small>りようしゃすう ぞうか ほか</small> アプリ利用者数の増加を図る <small>ひつよう</small> 必要があります。	<small>ざっしばん ほーむぺーじ どう</small> 冊子版と H P、アプリ等の <small>じょうほうていきょうばいたい こうか</small> 情報提供媒体について効果を <small>けんしょう</small> 検証します。

(3) 学齢期への重点的な普及・啓発

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>これまでの実績 (令和5年3月末)</p>	<p>かだい 課題</p>	<p>あらねんかん 新たな3年間 の方向性</p>
<p>がくれいき 学齢期 じどうおよ 児童及び ほごしゃ 保護者へ の障害 りかいはつ 理解啓発</p>	<p>がくれいきじどう ほごしゃ 学齢期児童と保護者 が、しょうがいじしゃ こう りゆう 流したり、障害に ついて理解を深めた りする機会の確保に 努めます。</p>	<p>がくれいきじどう ほごしゃ しょうがいじしゃ 学齢期児童と保護者が、障害児・者 と交流したり、障害について 理解を深めたりする機会（講座の 実施等）の確保に努めてきました。</p>	<p>はったつだんかい じどうせいと たい 発達段階にある児童生徒に対し て、社会モデルや多様性の観点か ら障害について理解できるよう、 わかりやすく伝えていく必要があ ります。</p>	<p>しゃかい たようせい かんてん ぜんてい 社会モデルや多様性の観点を前提 に、学齢期児童と保護者が、 障害児・者と交流したり、障害に ついて理解を深めたりする機会 （講座の実施等）の確保に取り組み ます。</p>
<p>ふくがくせき 副学籍に よる交流 教育及び 共同 学習</p>	<p>とくべつしえんがっこう ざいせき 特別支援学校に在籍 する児童生徒が、 居住地の小・ 中学校の児童生徒 と一緒に学ぶ機会の 拡大を図るなど、 共同学習を進めま す。</p>	<p>まいとし めい こ じどうせいと 毎年、100名を超える児童生徒が 副学籍交流を利用し、居住地の 小・中学校での授業や校外 活動において一緒に学ぶ機会を設 けることができました。</p>	<p>ふくがくせき こうりゅうおよ きょうどう 副学籍による交流及び共同 学習の更なる推進のために、 受け入れ先となる小・中学校でよ り一層理解を進める必要がありま す。</p>	<p>きょうせいしゃかい じつげん お とくべつしえん 共生社会の実現に向け、特別支援 学校に通う児童生徒と、地域の 学校に通う子どもたちとの交流 をより一層推進していきます。</p>

2 人材確保・育成

(1) 障害福祉従事者の確保と育成

事業名	事業内容	これまでの実績 (令和5年3月末)	課題	新たな3年間 の方向性
<p>障害福祉 人材の 確保 ①</p>	<p>障害福祉の仕事の 魅力を発信し、 求人や雇用の支援 を行うことで社会 福祉人材の確保につ なげていきます。</p>	<p>障害福祉の仕事紹介動画を 公共交通機関や障害者週間の イベントで放映しました。また 専門学校との連携により障害 福祉の紹介アニメーションを 作成し、イベント等で放映しまし た。さらに人材確保セミナーやお 仕事フェアを実施し、求人・ 採用に係る支援を行いました。</p>	<p>より多くの若者等に対して障害 福祉の魅力を発信するため、 紹介動画の視聴数の増加や、お 仕事フェアでの相談会参加者数を 増やす必要があります。</p>	<p>市内大学や専門学校との連携や、 人材確保セミナー、お仕事フェア 等のイベントを実施し、求人・ 採用に係る支援を継続的に行い ます。また、関係団体との検討会を 引き続き開催し、現場の意見を聞 きながら障害福祉の魅力発信に 取り組みます。</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	これまでの実績 (令和5年3月末)	かだい 課題	あらねんかん 新たな3年間 の方向性
しょうがいとくせい 障害特性 おう に応じた しえん 支援のた め の研修	はったつしょうがい こうどう 発達障害や行動 しょうがい ゆう かた 障害を有する方、 いりょうてき ひつよう 医療的ケアが必要な かたどう たい せんもんてき 方等に対し、専門的 しえん おこな な支援を行うこと の じんざい いくせい できる人材を育成 する の けんしゅう ための研修を じっし 実施します。	こうどうしょうがい かか しえんりよくこうじょう 【行動障害に係る支援力向上を はか けんしゅう 図るための研修】 じゅこうしゃすう <受講者数> れいわ ねんど じん ・令和3年度150人 れいわ ねんど きそ かい けい ・令和4年度 基礎3回 計152 じん 人 おうよう かい じん ・応用1回 32人 よこはまがたいりょうてき じ しゃとう 【「横浜型医療的ケア児・者等 しえんしゃようせいけんしゅう およ よこはまがた 支援者養成研修」及び「横浜型 いりょうてき じ しゃとうしえんしゃ 医療的ケア児・者等支援者フオー ーアップ研修】 しえんしゃようせいすう <支援者養成数> れいわ ねんど じん ・令和3年度：42人 れいわ ねんど じん ・令和4年度：48人 れいわ ねんど じん みこ ・令和5年度：62人（見込み）	こうどうしょうがい かか しえんりよくこうじょう ・「行動障害に係る支援力向上 はか けんしゅう れいわ を 図るための研修」を令和3 ねんど 年度よりオンラインで実施してい ます。はったつしょうがいしゃちいきしえん 発達障害者地域支援マネ ジャーが中心となり、市内複数 ちゅうしん しなひふくすう 法人が企画・実施に携わるオー ほうじん きかく じっし たずさ ル横浜市での取組をどう維持する よこはまし とりくみ いじ かが課題です。 いりょうてき ひつよう かたどう たい ・医療的ケアが必要な方等に対 せんもんてき しえん おこな し、専門的な支援を行うことの じんざい ふ ひつよう できる人材を増やしていく必要が あります。	こうしれんらくかい かいさい れんけい ほか ・講師連絡会を開催し、連携を けんしゅう ひ つづ じっし りながら研修を引き続き実施し ます。 ひ つづ いりょうてき じ しゃとう ・引き続き、医療的ケア児・者等の しえん おこな うえ ひつよう ないよう まな 支援を行う上で必要な内容を学 けんしゅう じっし しえんしゃ ようせい ぶ研修を実施し、支援者を養成し ます。

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	これまでの実績 <small>これまでのじっせき</small> <small>(令和5年3月末)</small> <small>れいわねんがつまつ</small>	課題 <small>かだい</small>	新たな3年間 <small>あらねんかん</small> の方向性 <small>ほうこうせい</small>
相談支援 従事者の 人材育成 <small>そうだんしえん</small> <small>じゅうじしゃ</small> <small>じんざいくせい</small>	市域と区域での人材 育成に関する取組を 整理し、相互に連動 させた効果的・ 効率的な人材育成 体系を整備します。 <small>しいきくいきじんざい</small> <small>いくせいかんとりくみ</small> <small>せいりそうごれんどう</small> <small>こうかてき</small> <small>こうりつてきじんざいくせい</small> <small>たいけいせいび</small>	令和4年度より障害者相談支援 従事者初任者研修インターバル 実習を18区の基幹相談支援セン ターもしくは自立支援協議会での 受入を開始し、市・区域間での 連動した相談支援従事者の育成 機会を確保しました。(初任者 研修修了者数114名) <small>れいわねんどしょうがいしゃそうだんしえん</small> <small>じゅうじしゃしょにんしゃけんしゅう</small> <small>じっしゅうくきかんそうだんしえん</small> <small>じりつしえんきょうぎかい</small> <small>うけいれかいししくいきかん</small> <small>れんどうそうだんしえんじゅうじしゃいくせい</small> <small>きかいかくほ</small> <small>けんしゅうしゅうりょうしやすうめい</small>	区域での人材育成における担い手 の育成が課題になっています。 <small>くいきじんざいくせい</small> <small>いぐせい</small> <small>かだい</small> <small>になて</small>	主任相談支援専門員を中心に、 各区から市域の研修協力者を 確保し、各区での人材育成におけ る担い手の育成に取り組めます。 <small>しゅにんそうだんしえんせんもんいんちゅうしん</small> <small>かくくしいきけんしゅうきょうりよくしや</small> <small>かくほかくくじんざいくせい</small> <small>になていくせいとく</small>
障害福祉 施設職員 等への 支援 ② <small>しょうがいふくし</small> <small>しせつしよくいん</small> <small>とう</small> <small>しえん</small> <small>あ</small>	障害者のQOLの 向上を目指して、 障害特性やライフ ステージに応じた 障害の重度化の 緩和、生活習慣病 の予防等の普及啓発 を図るため、障害 福祉施設における 衛生管理、栄養管理 に関する研修、 連絡会等を実施しま す。 <small>しょうがいしゃきゅーおーえる</small> <small>こうじょうめざ</small> <small>しょうがいとくせい</small> <small>おう</small> <small>しょうがいじゅうどか</small> <small>かんわせいかつしゅうかんびょう</small> <small>よぼうとうふきゅうけいはつ</small> <small>はかしょうがい</small> <small>ふくししせつ</small> <small>えいせいかんりえいようかんり</small> <small>かんけんしゅう</small> <small>れんらくかいとうじっし</small>	障害福祉施設の職員を対象と した食品衛生講習会や摂食 嚥下研修(動画配信)を実施し ました。 <small>しょうがいふくししせつしよくいんたいしょう</small> <small>しよくひんえいせいこうしゅうかいせつしよく</small> <small>えんげけんしゅうどうがはいしんじっし</small>	eラーニングや動画配信など 効果的な実施手法の確立が課題で す。 <small>いー</small> <small>こうかてきじっししほほうかくりつかだい</small> <small>いー</small>	障害福祉施設の職員を対象と した衛生管理、栄養管理に関連す る研修、連絡会等を実施します。 <small>しょうがいふくししせつしよくいんたいしょう</small> <small>えいせいかんりえいようかんりかんれん</small> <small>けんしゅうれんらくかいとうじっし</small>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	これまでの実績 (令和5年3月末)	かだい 課題	あらねんかん 新たな3年間 の方向性
しょうがいふくし 障害福祉 施設等で はたらかんご 働く看護師 の支援 (新)	しょうがいふくしせつどう 障害福祉施設等で はたらかんごし ていちゃく 働く看護師の定着 におしえん おこな に向けた支援を行 うとともに、人材 かくほ ほうさく 確保の方策について けんとう 検討します。	しょうがいふくしせつ ほんたら かんごしむ 障害福祉施設で働く看護師向け いし こうこうきのうかんり に、医師による口腔機能管理につ いての講義の動画配信や、各施設 への訪問による技術的な指導を おこな 行いました。	しょうがいしゃせつ いりょうてき 障害者施設での医療的ケアのニ ーズが高まる一方、看護師が医師 からの指示等を十分受けられな い状況に加え、少人数体制で 業務に従事している環境は変わ っておらず、人材の確保と定着 が課題です。	ひ つづ いしどう せんもんしよく 引き続き医師等の専門職による 巡回相談を継続しながら、アンケ ートやヒアリングを通じて看護師 等が安心して働き続けるために 必要とされる支援を把握します。 また、合同研修を通じて施設間の 連携を強化し、就労定着と人材 育成に取り組みます。
しゅうろうしえん 就労支援 センター 職員の 人材育成	たよう たいおう 多様なニーズに対応 できるよう、就労 支援スキルを向上 させるため、研修 の実施など、人材 育成を進めます。	れいわ ねんど 【令和3年度】 人材育成シートの作成 ※人事交流はコロナにより見送 り れいわ ねんど 【令和4年度】 個人情報保護研修、労働法 研修、人事交流 れいわ ねんど 【令和5年度】 研修・人事交流ともに開催予定	しゃかいじょうきょう へんかどう ふ 社会状況の変化等も踏まえ、セ ンターの今後の求められる役割を 整理するとともに、各センターで のサービス標準化を進める必要 があります。	こんご もと じんざい 今後のセンターに求められる人材 に関する検討及び検討内容を踏ま えた研修等を実施します。

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>これまでの実績 (令和5年3月末)</p>	<p>かだい 課題</p>	<p>あらねんかん 新たな3年間 ほうこうせい の方向性</p>
<p>しゅうろうそくしん 就労促進 もくてき を目的と した じぎょうしよ 事業所 しよくいんむ 職員向け けんしゅう 研修</p>	<p>しょうがいしゃこよう おこな 障害者雇用を行っ ている企業での 「就業体験」の けんしゅう つう 研修を通じて、 じぎょうしよしよくいん しゅうろう 事業所職員の就労 しえん 支援スキルの こうじょう しゅうろう む 向上、就労に向け いたしきづ た意識付けにつなげ ます。</p>	<p>れいわ ねんど 【令和3年度】 はたら しょくば けんがくかい 働く職場の見学会 じぎょうしよしよくいんむ (事業所職員向け) れいわ ねんど 【令和4年度】 かんけいきかん じぎょう 関係機関へのヒアリング、事業 けんどう 検討</p>	<p>じぎょうしよ きぎょう かんけいせいこうちくきかい 事業所と企業との関係性構築機会 ふそく ともな しゅうろう き の不足、それに伴う就労への気 づきやきっかけ作りが不足してい ます。</p>	<p>ひ つづ けんしゅう けんがくかいどう じぎょう 引き続き研修や見学会等の事業 つう じぎょうしよしよくいん しゅうろう を通じて、事業所職員の就労 しえん こうじょう しゅうろう む 支援スキルの向上、就労に向け いたしきづ とく た意識付けに取り組みます。</p>
<p>いりょうじゅうじ 医療従事 しゃけんしゅう 者研修 じぎょう 事業 ㊦</p>	<p>びょうき しょうがい 病気や障害のある しょうにおよ じゅうしょうしんしん 小児及び重症心身 しょうがいじ しゃ しえん 障害児・者の支援に ひつよう ちしき きじゆつ 必要な知識・技術の こうじょう ほか しょうがい 向上を図り、障害 とくせい りかい いりょう 特性を理解した医療 じゅうじしゃ いくせい 従事者を育成するた めけんしゅう じっし めの研修を実施し ます。</p>	<p>いりょうきかん ふくししせつどう きんむ 医療機関や福祉施設等に勤務する かんごし たいしょう しょうにほうもん 看護師を対象に「小児訪問 かんご じゅうしょうしんしんしょうがいじしゃ 看護・重症心身障害児者 けんしゅう じっし 研修」を実施しました。 しな いけんしゅうしゅうりょうしやすう <市内研修修了者数> れいわ ねんど にな 令和3年度：29人 れいわ ねんど にな 令和4年度：29人</p>	<p>しょうがいとくせいどう りかい いりょう 障害特性等を理解した医療 じゅうじしゃ ふ ひつよう 従事者をさらに増やす必要があり ます。</p>	<p>しょうがいとくせいどう りかい いりょう 障害特性等を理解した医療 じゅうじしゃ いくせい ひ つづ 従事者を育成するため、引き続き しょうにほうもんかんご じゅうしょうしんしん 「小児訪問看護・重症心身 しょうがいじしゃけんしゅう じっし 障害児者研修」を実施します。</p>

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	これまでの実績 <small>これまでの実績</small> <small>(令和5年3月末)</small>	課題 <small>かだい</small>	新たな3年間 <small>あらねんかん</small> の方向性 <small>ほうこうせい</small>
ガイドヘルパー等 <small>ガイドヘルパー等</small> 研修 <small>けんしゅう</small> 受講料 <small>じゅこうりょう</small> 助成 <small>(あ)</small> <small>じょせい</small>	ガイドヘルパー等の <small>ガイドヘルパー等の</small> 資格取得のための <small>資格取得のための</small> 研修受講料の一部 <small>研修受講料の一部</small> を助成し、人材確保 <small>を助成し、人材確保</small> を図ります。 <small>を図ります。</small>	【令和3・4年度累計】 <small>【令和3・4年度累計】</small> 総助成人数：229人 <small>総助成人数：229人</small> 総助成額：4,516,000円 <small>総助成額：4,516,000円</small> 【内訳：全身性ガイドヘルパー26 <small>【内訳：全身性ガイドヘルパー26</small> 件、知的ガイドヘルパー67件、 <small>件、知的ガイドヘルパー67件、</small> 同行援護（一般課程）89件、行動 <small>同行援護（一般課程）89件、行動</small> 援護53件】 <small>援護53件】</small>	受講料助成事業があることを知 <small>受講料助成事業があることを知</small> らず、研修の受講や受講後の <small>らず、研修の受講や受講後の</small> 助成申請につながっていない課題 <small>助成申請につながっていない課題</small> があります。 <small>があります。</small>	受講料助成事業の効果的な周知 <small>受講料助成事業の効果的な周知</small> に今後もより一層取り組むとともに <small>に今後もより一層取り組むとともに</small> 申請方法の工夫を図ることで、 <small>申請方法の工夫を図ることで、</small> 助成人数の増加と人材確保を推進 <small>助成人数の増加と人材確保を推進</small> します。 <small>します。</small>
ガイドヘルパー <small>ガイドヘルパー</small> スキルアップ <small>スキルアップ</small> 研修 <small>(あ)</small> <small>けんしゅう</small>	より質の高いサービス <small>より質の高いサービス</small> が提供できるよ <small>が提供できるよ</small> う、移動支援事業の <small>う、移動支援事業の</small> 従業者を対象に <small>従業者を対象に</small> 研修を実施しま <small>研修を実施しま</small> す。 <small>す。</small>	【受講者数】 <small>【受講者数】</small> 令和3年度：中止 <small>令和3年度：中止</small> 令和4年度：従業者向け…62 <small>令和4年度：従業者向け…62</small> 人 <small>人</small> サービス提供責任者向け…51 <small>サービス提供責任者向け…51</small> 人 <small>人</small> 令和5年度：9月、1月に実施 <small>令和5年度：9月、1月に実施</small> 予定 <small>予定</small>	受講者の関心の高い研修テ <small>受講者の関心の高い研修テ</small> マ・講師の選定が必要です。 <small>マ・講師の選定が必要です。</small>	引き続きサービス提供責任者及 <small>引き続きサービス提供責任者及</small> び従業者向けの研修を実施し、 <small>び従業者向けの研修を実施し、</small> ヘルパーのスキルアップを図りま <small>ヘルパーのスキルアップを図りま</small> す。 <small>す。</small>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	これまでの実績 (令和5年3月末)	かだい 課題	あらねんかん 新たな3年間 ほうこうせい の方向性
しゃかいさんか 社会参加 すいしん 推進セン ターによ だんたい る団体 かつどうしえん 活動支援 きのう 機能の じゅうじつ 充実	しょうがいしゃほんにん かつどう 障害者本人の活動 さき じんざい いくせい を支える人材の育成 すす を進めるとともに、 おな しょうがい ひと 同じ障害がある人 こうりゅう たちの交流やコミ ユニケーションの きかい かくじゅう 機会を拡充し、 かくだんたいかつどう そくしん 各団体活動を促進す とりくみ すいしん る取組を推進しま す。	しょうがいしゃ じりつ しゃかいさんかどう 障害者の自立や社会参加等を そくしん とうじしゃ じぎょう 促進するための当事者による事業 じっし を実施しました。	こうれいかどう にな てぶそく 高齢化等による担い手不足のた め、若い世代への周知や参加が わか せだい しゅうち さんか 課題だと考えています。 かだい かんが	しょうがいしゃほんにん かつどう さき じんざい 障害者本人の活動を支える人材 いくせい すず の育成を進めるとともに、同じ しょうがい ひと こうりゅう 障害がある人たちの交流やコミ ユニケーションの機会を拡充し、 かくだんたいかつどう そくしん とりくみ すいしん 各団体活動を促進する取組を推進 します。

(2) 業務効率化に向けたロボット・AI・ICT等の導入の検討

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	これまでの実績 <small>じっせき</small> (令和5年3月末) <small>れいわ ねん がつまつ</small>	課題 <small>かだい</small>	新たな3年間の方向性 <small>あら ねんかん</small> <small>ほうこうせい</small>
業務効率化に向けたロボット・AI・ICT等の導入の検討 新 <small>ぎょうむ こうりつ か む げんどう</small>	煩雑な事務作業などの業務効率化や介護業務の負担軽減などを進めるため、ロボット・AI・ICTなどの導入の検討を進めます。 <small>はんざつ じ む さぎょう ぎょうむ こうりつ か い ご ぎょうむ ふたん けいげん すす るため、ロボット・ AI・ICTなどの 導入の検討を進めま す。</small>	関係機関と意見交換を行い、現状の課題について整理や今後の施策の方向性の検討を行いました。 また、ロボット・AI・ICTに関する研修の情報を関係団体へ紹介しました。 <small>かんけいきかん いけんこうかん おこな げんじょう かだい せいり こんご しさく ほうこうせい けんどう おこな また、ロボット・AI・ICT に関する研修の情報を関係 団体へ紹介しました。</small>	現状の煩雑な事務作業や介護業務の負担に関する課題把握が必要です。 <small>げんじょう はんざつ じ む さぎょう かいご ぎょうむ ふたん かん かだいはあく ひつよう</small>	関係団体や企業等との意見交換を行い、現状把握や課題整理等を行ったうえで今後の支援策を検討します。 <small>かんけいだんたい きぎょうどう いけんこうかん おこな げんじょうはあく かだいせいりとう おこな こんご しえんさく けんどう</small>

3 けんりようご
権利擁護

(1) ぎゃくたいぼうし とりくみ しんどう
虐待防止の取組の浸透

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>これまでの実績 （令和5年3月末）</p>	<p>かだい 課題</p>	<p>あらねんかん 新たな3年間 ほうこうせい の方向性</p>
<p>しょうがいしゃ 障害者 ぎゃくたいぼうし 虐待防止 じぎょう 事業 ふきゅう （普及・ けいはつ 啓発）</p>	<p>しみんむ 市民向けのリーフレッ ト作成等により広報を 行います。また、 虐待や不適切支援をな くしていくため、障害 福祉サービスの事業者 等を対象とした研修 を実施します。</p>	<p>ホームページ等での虐待防止に 係る広報を行いました。また、 障害福祉施設サービスの管理者 及びサービス管理責任者を対象 とした研修を実施しました。 令和4年度 研修受講者151名</p>	<p>障害者虐待に対する意識を更 に高めるため、虐待防止に係る 普及啓発に継続的に取り組んで いく必要があります。</p>	<p>ぜんし くいき かくたんい しょうがいしゃ 全市・区域の各単位で障害者 虐待防止研修実施を継続して いきます。</p>

(2) 成年後見制度の利用促進

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>これまでの実績 (令和5年3月末)</p>	<p>かだい 課題</p>	<p>あらねんかん 新たな3年間 の方向性</p>
<p>よこはまし 横浜市 しみん 市民 こうけんじん 後見人 ようせい 養成・ かつどうしえん 活動支援 じぎょう 事業</p>	<p>ちいき 地域における権利擁護 を市民参画で進めるた め、よこはま成年後見 推進センターが全区で 市民後見人の養成を 実施し、区役所、市・ 区社会福祉協議会、 専門職団体等が連携し た活動支援の体制を 構築します。</p>	<p>れいわねんど 令和3年度から4年度にかけて 第5期、第6期市民後見人養成 講座を実施しました。バンク 登録者は新たに計55名増となり ました。</p>	<p>しみんこうけんじん 「市民後見人」について認知度 が低く、受任件数が伸び悩んで います。また、養成講座の 申込者数も減少傾向にありま す。</p>	<p>そうだんしえんきかんとく 相談支援機関等へ「市民後見人」 の活動を周知し活躍の機会を 広げます。また、養成講座の広報を 充実します。</p>
<p>ほうじんこうけん 法人後見 しえんじぎょう 支援事業</p>	<p>よこはま成年後見推進 センターが、これまで の法人後見受任実績を 踏まえて、市内の社会 福祉法人等への法人 後見実施に向けた支援 を行います。</p>	<p>ていきてき 定期的に法人後見連絡会を行い 情報共有や連携強化を行いま した。また、各法人後見団体 職員の初任者向けに研修動画 を配信しました。</p>	<p>かくほうじんこうけんだんたい 各法人後見団体の支援員が不足 していることにより、新規受任 が難しい傾向にあります。</p>	<p>ひつづつ 引き続き連絡会で各団体の 状況を確認し、団体支援として 初任者向けに研修用動画配信を 行います。</p>

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	課題 <small>かだい</small>	新たな3年間 <small>あら ねんかん</small> <small>ほうこうせい</small> の方向性
成年後見 制度の 普及啓発 <small>せいねんこうけん</small> <small>せいど</small> <small>ふきゅうけいはつ</small>	成年後見制度がより 利用しやすいものとな るよう、関係機関と 調整して当事者及び 家族、支援団体等への 説明会などを実施しま す。 <small>せいねんこうけんせいど</small> <small>りよう</small> <small>かんけいきかん</small> <small>ちようせい</small> <small>とうじやおよ</small> <small>かぞく</small> <small>しえんだんたいどう</small> <small>せつめいかい</small> <small>じっし</small>	・各区域における成年後見制度 の学習会及び親あるうちの準備 を考える連続講座の開催をしま した。 <small>かくくいき</small> <small>せいねんこうけんせいど</small> <small>がくしゅうかいおよ</small> <small>おや</small> <small>じゅんび</small> <small>かんが</small> <small>れんぞくこうざ</small> <small>かいさい</small> <small>しいきおよ</small> <small>かくくいき</small> <small>かいさい</small> <small>さんかく</small>	障害のある子どもを自身で支え たいと思われている親御さんが 一定数存在しているため、成年 後見制度に関する相談が継続せ ず、制度利用につながりにくい ことが課題です。 <small>しょうがい</small> <small>こ</small> <small>じしん</small> <small>ささ</small> <small>おも</small> <small>おやご</small> <small>いっていすんざい</small> <small>せいねん</small> <small>こうけんせいど</small> <small>かん</small> <small>そうだん</small> <small>けいぞく</small> <small>せいどりよう</small> <small>かだい</small>	引き続き、成年後見制度に関する 学習会や連続講座などを開催 し、地域における権利擁護の普及 啓発に努めます。 <small>ひ</small> <small>つづ</small> <small>せいねんこうけんせいど</small> <small>かん</small> <small>がくしゅうかい</small> <small>れんぞくこうざ</small> <small>かいさい</small> <small>ちいき</small> <small>けんりようご</small> <small>ふきゅう</small> <small>けいはつ</small> <small>つと</small>
権利擁護 事業 <small>けんりようご</small> <small>じぎょう</small>	権利を守るための相談 や契約に基づく金銭 管理サービスなどの 日常生活の支援を、区 あんしんセンターが、 契約に基づいて実施し ます。 <small>けんり</small> <small>まも</small> <small>そうだん</small> <small>けいやく</small> <small>もと</small> <small>きんせん</small> <small>かんり</small> <small>にちじようせいかつ</small> <small>しえん</small> <small>く</small> <small>けいやく</small> <small>もと</small> <small>じっし</small>	市民や支援者への制度の周知及 び啓発により、相談件数は年々 増加しています。(令和3年度→ 令和4年度 4,547件増) <small>しみん</small> <small>しえんしゃ</small> <small>せいど</small> <small>しゅうちおよ</small> <small>けいはつ</small> <small>そうだんけんすう</small> <small>ねんねん</small> <small>れいわ</small> <small>ねんど</small> <small>けんぞう</small>	相談件数が増加しています。 待機者は減少傾向にありますが 解消には至っていません。 <small>そうだんけんすう</small> <small>ぞうか</small> <small>たいきしゃ</small> <small>げんしょうけいこう</small> <small>かいしょう</small> <small>いた</small>	市民や支援者向けに、成年後見 制度を含めた周知・啓発を行い、 必要な制度を利用できるよう 支援します。 <small>しみん</small> <small>しえんしゃむ</small> <small>せいねんこうけん</small> <small>せいど</small> <small>ふく</small> <small>しゅうち</small> <small>けいはつ</small> <small>おこな</small> <small>ひつよう</small> <small>せいど</small> <small>りよう</small> <small>しえん</small>

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
せいねんこうけんせいとくちょうもうした けんすう 成年後見制度区長申立て件数 ^(福)	けん 30件 じっせき けん 実績29件	けん 30件 じっせき けん 実績18件	けん 30件	けん 30件	けん 30件	けん 30件
せいねんこうけんにんとうほうしゅうじょせいけんすう 成年後見人等報酬助成件数 ^(福)	けん 210件 じっせき けん 実績237件	けん 240件 じっせき けん 実績284件	けん 270件	けん 300件	けん 330件	けん 360件

(3) 障害者差別解消法に基づく取組

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>これまでの実績 (令和5年3月末)</p>	<p>かだい 課題</p>	<p>あらねんかん 新たな3年間 の方向性</p>
<p>しみんとう 市民等へ の普及・ 啓発</p>	<p>しょうがい りゆう さべつ 障害を理由とする差別 の解消に当たっては、 しみんとう かたがた かんしん 市民等の方々に関心と りかい ふか 理解を深めていただく ことが何よりも大切で あることから、市民等 む こうほうおよ けいはつ に向けた広報及び啓発 かつどう こうかてき じっし 活動を効果的に実施し ます。</p>	<p>へいせい ねんど ぼしゅう しょうがいしゃ 平成28年度に募集した障害者 さべつ かん じれい だれ かんたん 差別に関する事例を誰でも簡単 に調べることができる検索サイ トをホームページで運用してい ます。 また、差別解消のための啓発 どうが しえい ちかてつしゃない 動画を市営バス・地下鉄車内や えき 駅のデジタルサイネージに掲出 し、市のホームページへの掲載 けいぞく を継続しています。</p>	<p>しょうがいりかい しょうがいしゃ 障害理解とともに、障害者 さべつかいしょうほう しゅうち けいぞくてき 差別解消法の周知を継続的に おこな ひつよう 行っていく必要があります。</p>	<p>しょうがいしゃさべつかいしょうかいせいほうおよ くに 障害者差別解消改正法及び国 とりくみほうしん もと ふきゅうけいはつ の取組方針に基づき、普及啓発の とりくみ けいぞく 取組を継続していきます。</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	かいだい 課題	あらねんかん 新たな3年間 <small>ほうこうせい</small> の方向性
そうだんたいせい 相談体制 とうしゅうち 等の周知	しょうがいしゃさべつ かん 障害者差別に関する そうだん ふんそう ぼうしとう 相談、紛争の防止等の たいせい しゅうち ための体制を周知しま す。また、相談及び ふんそう ぼうしとう ちいき 紛争の防止等を地域に おいて推進するための ちいききょうぎかい かいさい 地域協議会を開催しま す。	ピア相談 <small>そうだん</small> において差別 <small>さべつ</small> の相談 <small>そうだん</small> が あった場合に当事者 <small>ばあい どうじしゃ</small> の気持ちに 寄り添い、対応窓口 <small>よそ たいおうまどぐち</small> や調整委員 <small>ちようせい いん</small> 会等紹介、周知・啓発等 <small>かいとうしょうかい しゅうち けいはつとう</small> を 行う当事者サポート事業 <small>おこなどうじしゃ じぎょう</small> を 横浜市身体障害者団体連合会 <small>よこはましんたいしょうがいしゃだんたいれんごうかい</small> に 委託して実施しました。また、 横浜市障害者差別解消支援 地域協議会 <small>ちいききょうぎかい かいさい</small> を開催し、当事者、 家族を含めた各分野の委員と 相談事案等 <small>そうだんじあんとう きょうゆう</small> を共有し、障害者 差別の相談対応 <small>さべつ そうだんたいおう</small> に係る検討 <small>か けんとう</small> を行 いました。	当事者 <small>とうじしゃ</small> が、より相談 <small>そうだん</small> しやすくな るよう、ピア相談 <small>そうだん</small> の周知 <small>しゅうち</small> をして いく必要があります。	ピア相談 <small>そうだん</small> がさらに活用 <small>かつよう</small> されるよ う、周知 <small>しゅうち</small> を図 <small>は</small> っていきます。 障害者差別解消支援地域協 議会 <small>しょうがいしゃ さべつ かいしょう しえん ちいききょう</small> で、相談事例 <small>ぎかい そうだんじれい</small> の共有 <small>きょうゆう</small> と意見 交換 <small>こうかん かんけいしゃ れんけい</small> 、関係者の連携 <small>すず</small> をさらに進め ていきます。
ししよくいん 市職員 たいおう 対応 ようりょう 要領の しゅうち 周知	ほんししよくいん てきせつ たいおう 本市職員が適切な対応 を行っていくための ししん さくてい し 指針として策定した市 職員対応要領 <small>しよくいんたいおうようりょう</small> を周知 し、差別的取扱い <small>さべつてきとりあつか</small> とな り得る事例 <small>う じれい</small> や、合理的な 配慮 <small>ごうりてき</small> の好事例等 <small>はいりょ こうじれいとう しんとう</small> の浸透 を図ります。	ぜんしよくいん たいしやう いー 全職員を対象としたeラーニ ングによる研修を継続して行 っています。	しょうがいしゃさべつかいしょうかいせいほうしこう 障害者差別解消改正法施行に よって事業者 <small>じぎょうしゃ</small> による合理的配慮 <small>ごうりてきはりょ</small> の提供 <small>ていきょう ぎむか</small> が義務化されることで、 相談 <small>そうだん</small> の増加 <small>ぞうか</small> が見込まれます。法 施行 <small>しこう</small> に向け、よりわかりやすい 内容 <small>ないよう</small> の研修 <small>けんしゅう</small> を実施 <small>じっし</small> する必要 <small>ひつよう</small> があ ります。	ぜんちやう とりくみ きょうゆう けいぞく 全庁での取組の共有を継続し ます。 ぜんしよくいんむ けんしゅう ないよう みなお 全職員向け研修の内容を見直 し、実施 <small>じっし</small> を継続 <small>けいぞく</small> します。

(4) 情報保障の取組

<p>事業名</p>	<p>事業内容</p>	<p>これまでの実績 (令和5年3月末)</p>	<p>課題</p>	<p>新たな3年間 の方向性</p>
<p>情報発信 時の 合理的 配慮の 提供</p>	<p>行政情報発信時の視覚障害者、聴覚障害者及び知的障害者等に対して、一人ひとりの障害特性に応じた合理的配慮を行います。</p>	<p>点字等と併せ、新たにICT機器を活用した情報保障に取り組みました。障害者差別解消庁内推進会議等を通じて、庁内に情報保障の取組の必要性を共有しました。</p>	<p>情報保障の取組を全ての部署に浸透させる必要があります。</p>	<p>情報保障ガイドライン作成等を通じて各部所における情報保障の取組を推進します。</p>
<p>代筆・代読サービス 新</p>	<p>視覚等に障害のある人が日常生活の中で代筆または代読が必要なときに支援者によるサービス提供を行います。</p>	<p>居宅内での代読・代筆支援について、令和3年10月から家事援助において代筆・代読のみでのサービス提供を可能としました。</p>	<p>将来的な代筆・代読サービスの提供方法を検討する必要があります。</p>	<p>サービス運用を適切に行うとともに、将来的な代筆・代読サービスの提供方法等を引き続き検討していきます。</p>

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
しゅわつうやくしゃ はけん 手話通訳者の派遣 はけん にんずう (派遣人数) 福	11,000人 じっせき にん 実績9,630人	11,000人 じっせき にん 実績10,376人	11,000人	11,000人	11,000人	11,000人
ようやくひっきしゃ はけん 要約筆記者の派遣 はけん にんずう (派遣人数) 福	1,900人 じっせき にん 実績934人	1,900人 じっせき にん 実績1,024人	1,900人	1,900人	1,900人	1,900人
しゅわほうしんようせいけんしゅうじぎょう 手話奉仕員養成研修事業 ようせいにんずう (養成人数) 福	172人 じっせき にん 実績102人	172人 じっせき にん 実績138人	172人	172人	172人	172人
しゅわつうやくしゃ ひっきしゃようせいけんしゅうじぎょう 手話通訳者・筆記者養成研修事業 ようせいにんずう (養成人数) 福	90人 じっせき にん 実績46人	90人 じっせき にん 実績60人	90人	90人	90人	90人
もう しゃむ つうやく かいじょいんようせいけんしゅう 盲ろう者向け通訳・介助員養成研修 じぎょう ようせいにんずう 事業 (養成人数) 福	30人 じっせき にん 実績17人	30人 じっせき にん 実績20人	30人	37人	37人	37人

4 4 そうだんしえん
相談支援

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>これまでの実績 (令和5年3月末)</p>	<p>かだい 課題</p>	<p>あらねんかん 新たな3年間 の方向性</p>
<p>しょうがいしゃ 障害者 そうだんしえん 相談支援 じぎょう 事業の しゅうちおよび 周知及び ふきゅうけいはつ 普及啓発</p>	<p>くふくしほけん 区福祉保健センター、 きかんそうだんしえん 基幹相談支援センター、 せいしんしょうがいしゃせいかつしえん 精神障害者生活支援セ ンターの3機関を中心 に地域生活支援拠点の 機能に充足させなが ら、相談支援事業の 周知、啓発を図ります。</p>	<p>そうだんしえんじぎょうかいせつせつめいかい ・相談支援事業開設説明会 かくねんど かい (各年度1回) じぎょうべつしゅうだんしどう かくねんど ・事業別集団指導(各年度2 回) しょうがいふくしにゅうもんけんしゅうかい ・障害福祉入門研修会 かくねんど かい (各年度1回)</p>	<p>そうだんしえんじぎょう しゅうちおよび けいはつ 相談支援事業の周知及び啓発を けいぞくてき じっし ひつよう 継続的に実施していく必要があ ります。また、障害福祉分野の しょうがいふくしぶんや みにとらわれず、広く周知を行 っていくことが課題です。</p>	<p>しょうがいふくしぶんや 障害福祉分野のみにとらわれ ず、特に地域ケアプラザへの周知 せきよくてき おこな そうだんしえんたいせい を積極的にを行い、相談支援体制 こうちく すず の構築を進めます。</p>
<p>そうだんしえん 相談支援 じゅうじしゃ 従事者の じんざいいくせい 人材育成 さいけい 【再掲】</p>	<p>しいき くいき じんざい 市域と区域での人材 いくせい かん とりくみ 育成に関する取組を せいり そうご れんどう 整理し、相互に連動させ こうかてき こうりつてき じんざい た効果的・効率的な人材 いくせいたいけい せいび 育成体系を整備します。</p>	<p>れいわ ねんど しょうがいしゃそうだんしえん 令和4年度より障害者相談支援 じゅうじしゃしょにんしゃけんしゅう 従事者初任者研修インターバル じっしゅう く きかんそうだんしえん 実習を18区の基幹相談支援セ ンターもしくは自立支援協議会 うけいれ かいし し くいきかん での受入を開始し、市・区域間 れんどう そうだんしえんじゅうじしゃ での連動した相談支援従事者の いくせいきかい かくほ 育成機会を確保しました。 しょにんしゃけんしゅうしゅうりょうしやすう (初任者研修修了者数115 名)</p>	<p>くいき じんざいいくせい にな 区域での人材育成における担 て いくせい かだい 手の育成が課題になっていま す。</p>	<p>しゅにんそうだんしえんせんもんいん ちゅうしん 主任相談支援専門員を中心に、 かくく しいき けんしゅうきょうりよくしや 各区から市域の研修協力者を かくほ かくく じんざいいくせい 確保し、各区での人材育成におけ にな て いくせい とく る担手の育成に取り組めます。</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	じっせき これまでの実績 れいわ ねん がつまつ (令和5年3月末)	かだい 課題	あら ねんかん 新たな3年間 ほうこうせい の方向性
しじりつ 市自立 しえんきょうぎ 支援協議 かい 区 自立支援 協議会の れんけい 連携・ れんどう 連動	しじりつしえんきょうぎかい 市自立支援協議会、ブロ ック連絡会、区自立 しえんきょうぎかい 区 支援協議会を連携・連動 させ、地域づくりに こうかてき と く 効果的に取り組める たいせい せいび 体制を整備します。	れいわ ねんどう えすえぬえす かつよう 令和3年度からSNSを活用し じょうほうきょうゆう と く た情報共有に取り組みまし た。また、令和4年度は市 れいわ ねんどう し 協議会において研修動画を作成 きょうぎかい けんしゅうどうが さくせい し、各区協議会への配信を実施 かかくきょうぎかい はいしん じっし しました。	しきょうぎかい かだいけんどう じょうきょう 市協議会での課題検討の状況 つた くいき しいき が伝わりにくく、区域と市域の れんどうせい み こえ 連動性が見えづらいという声 あります。	しきょうぎかい こうせい 市協議会の構成メンバーを ていきてき みなお しきょうぎかい 定期的に見直すほか、市協議会の いいん くきょうぎかい けんしゅうこうし 委員を区協議会に研修講師とし はけん どう しいき くいき れんけい て派遣する等、市域と区域の連携 とりくみ すす した取組を進めます。
どうじしゃ 当事者に よる相談 の充実	しゃかいさんかすいしん 社会参加推進センター せっち に設置するピア相談セ ンターでの当事者相談 しゅうち はか どうじしゃ の周知を図り、当事者に そうだんしえん すいしん よる相談支援を推進し ます。	そうだん とりくみ ピア相談センターでの取組の しゅうち きょうか どうじしゃそうだん 周知を強化し、当事者相談の かつよう 活用につなげました。また、ピ ア相談員研修を実施し、ピア そうだんいんけんしゅう じっし 相談員のスキルアップを図りま した。	けんしゅうどう じっし げんそうだんいん 研修等の実施による現相談員の スキルアップ及び若い世代の そうだんいん いくせい すす ひつよう 相談員の育成を進める必要があ ると考えています。	しゃかいさんかすいしん せっち 社会参加推進センターに設置す るピア相談センターでの当事者 そうだん しゅうち はか どうじしゃ 相談の周知を図り、当事者による そうだんしえん すいしん 相談支援を推進します。

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	課題 <small>かだい</small>	新たな3年間 <small>あら ねんかん</small> <small>ほうこうせい</small> の方向性
既存の <small>きそん</small> <small>そうだんまどぐち</small> 相談窓口 <small>ちいき</small> (地域ケア <small>とう</small> プラザ等) による <small>れんけい</small> 連携	日頃の関わりの中で、 <small>ひごろ にかか</small> <small>なか</small> 何気ない会話に含まれ <small>なにげ かいわ ふく</small> ている相談を身近な <small>そうだん みぢか</small> 相談者としてとらえ、 <small>そうだんしゃ</small> 必要に応じて、一次及び <small>ひつよう おう いちじおよ</small> 二次相談支援機関につ <small>に じ そうだんしえんきかん</small> なげます。	地域ケアプラザ等における相談 <small>ちいき とう そうだん</small> 対応をきっかけとして、必要に <small>たいおう ひつよう</small> 応じて相談支援機関につなぎま <small>おう そうだんしえんきかん</small> した。 <small>ちいき</small> ■地域ケアプラザにおける <small>しょうがいじ しゃかんけい そうだんけんすう</small> 障害児・者関係の相談件数 <small>れいわ ねんど けん</small> 令和3年度：2,887件 <small>れいわ ねんど しゅうけいちゅう</small> 令和4年度：集計中	顔の見える関係づくりなど、 <small>かお み かんけい</small> 相談支援機関との一層の連携が <small>そうだんしえんきかん いっそう れんけい</small> 必要です。 <small>ひつよう</small>	相談支援機関との関係づくりを <small>そうだんしえんきかん かんけい</small> 行いながら、地域ケアプラザに <small>おこな ちいき</small> おける相談を必要に応じて適切 <small>そうだん ひつよう おう てきせつ</small> な相談支援機関につないでいき <small>そうだんしえんきかん</small> ます。
難病患者 <small>なんびょうかんじゃ</small> 等への必 <small>とう ひつ</small> 要な情報 <small>よう じょうほう</small> 提供 <small>ていきょう</small>	難病患者等に対して <small>なんびょうかんじゃとう たい</small> 必要な情報提供を行 <small>ひつよう じょうほうていきょう おこな</small> うこと等により、難病 <small>とう なんびょう</small> 患者等の障害福祉サー <small>かんじゃなど しょうがいふくし</small> ビス等の活用が促され <small>とう かつよう うなが</small> るよう検討します。 <small>けんとう</small>	感染症の影響により開催回数 <small>かんせんしょう えいきょう かいさいかいすう</small> は減っていましたが、オンライ <small>へ</small> ン開催の導入等により回復しつ <small>かいさい どうにゅうとう かいふく</small> つあります。ただ、感染症前の <small>かんせんしょうまえ</small> 実績にはまだ戻っていません。 <small>じっせき もど</small> ●開催回数：令和3年度(96 <small>かいさいかいすう れいわ ねんど</small> 回) 令和4年度(144回) <small>かい れいわ ねんど かい</small>	講演会・交流会に係る最新 <small>こうえんかい こうりゅうかい かが さいしん</small> 情報を患者に届けるため、 <small>じょうほう かんじゃ とど</small> Q R コードの添付によるホー <small>きゅーあーる てんぷ</small> ムページの周知や、メールマガ <small>しゅうち</small> ジンの登録の周知など、改善に <small>どうろく しゅうち かいぜん</small> 向けた取り組みを引き続き行っ <small>む とく く ひ つづ おこな</small> ていく必要があります。 <small>ひつよう</small>	引き続き、区での講演会・交流会 <small>ひ つづ く こうえんかい こうりゅうかい</small> を実施するとともに、患者に対し <small>じっし かんじゃ たい</small> て最新情報を提供できるよう <small>さいしんじょうほう ていきょう</small> とく 取り組んでいきます。

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>これまでの実績 （令和5年3月末）</p>	<p>かだい 課題</p>	<p>あら 新たな3年間 の方向性</p>
<p>はったつしょうがい 発達障害 者支援セ ンター運 営事業</p>	<p>はったつしょうがいしゃしえん 発達障害者支援センタ ーと、地域の支援機関と の連携の仕組みを整理 し、相談支援体制の強化 を図ります。</p>	<p>はったつしょうがいちいきれんけい 【発達障害地域連携 プログラ ム】 令和3年度・令和4年度 18区で 実施 【発達障害者相談研修】 基礎55人 応用13人</p>	<p>はったつしょうがいしゃしえん 発達障害者支援センターの役割 や活用方法がわからないという 声があります。</p>	<p>はったつしょうがいしゃしえん 発達障害者支援センターの役割 や活用方法が伝わるよう発達 障害地域連携 プログラムを 充実します。 発達障害者相談研修の受講者 を、指定特定相談に拡大し、地域 での相談支援体制を強化します。</p>
<p>こうじのう 高次脳 機能障害 に関わる 関係機関 の連携促 進</p>	<p>こうじのうきのうしょうがいしえん 高次脳機能障害支援セ ンターと地域の関係 機関との連携を促進し、 身近な地域における 高次脳機能障害に対す る支援体制を強化しま す。</p>	<p>ちゅうとしょうがいしゃちいきかつどう 中途障害者地域活動センターで の専門相談や支援者向け勉強会 の実施に加え、新たに市内の高次 脳機能障害者が多く利用する 地域作業所との連絡会の開催等 により、市内の高次脳機能 障害者支援における連携強化を 図りました。</p>	<p>サービス活用等における共通 認識を深めることがより円滑な 連携につながるため、各区・中途 障害者地域活動センターと個々 のケースの背景や課題を共有す ることが必要です。</p>	<p>このケースの共有を図る等に よりサービス活用等における 認識の共有等を図り、区と中途 障害者地域活動センターとのよ り円滑な連携を図ります。</p>

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
ちいき そろだんしえんたいせい きょうか 地域の相談支援体制の強化 せんもんてき しどう じよげん 福新 ・専門的な指導・助言	けん 400件 じっせき けん 実績401件	けん 440件 じっせき けん 実績373件	けん 480件	けん 500件	けん 520件	けん 540件
ちいき そろだんしえん じぎょうしゃ じんざいいくせい 地域の相談支援事業者の人材育成の じっし 福新 実施	かい 72回 じっせき かい 実績73回	かい 72回 じっせき かい 実績75回	かい 72回	かい 72回	かい 72回	かい 72回
ちいき そろだんきかん れんけいきょうか とりくみ 地域の相談機関との連携強化の取組 福新	かい 36回 じっせき かい 実績103回	かい 36回 じっせき かい 実績158回	かい 36回	かい 36回	かい 36回	かい 36回
しょうがい しゅべつ かくしゅ たいおう 障害の種別や各種のニーズに対応で そごうてき せんもんてき そろだんしえん 福新 きる総合的・専門的な相談支援	けん 48,000件 じっせき けん 実績59,109件	けん 49,000件 じっせき けん 実績55,022件	けん 50,000件	けん 55,000件	けん 55,000件	けん 55,000件
けいかく そろだんしえん りようしゃすう ねんかん 福 計画相談支援利用者数（年間）	にん 16,322人 じっせき にん 実績14,235人	にん 18,805人 じっせき にん 実績15,086人	にん 21,453人	にん 19,000人	にん 21,000人	にん 23,000人
はったつしょうがいしゃしえん ちいききょうぎかい 発達障害者支援地域協議会の かいさいけんすう 福 開催件数	けん 3件 じっせき けん 実績1件	けん 3件 じっせき けん 実績2件	けん 3件	けん 3件	けん 3件	けん 3件
はったつしょうがいしゃしえん そろだん 発達障害者支援センターによる相談 けんすう がくれいこうきしょうがいじしえんじぎょうぶんのぞ 件数（学齢後期障害児支援事業分を除 く） 福	けん 3,500件 じっせき けん 実績1,528件	けん 3,500件 じっせき けん 実績1,688件	けん 3,500件	けん 2,500件	けん 2,500件	けん 2,500件
はったつしょうがいしゃしえん およ 是ったつ 発達障害者支援センター及び発達 しょうがいしゃちいきしえん がいぶ 障害者地域支援マネジャーの外部 きかん ちいきじゅうみん けんしゅう けいはつ がくれい 機関や地域住民への研修、啓発（学 後期障害児支援事業分を除く） 福	けん 55件 じっせき けん 実績41件	けん 55件 じっせき けん 実績43件	けん 55件	けん 55件	けん 55件	けん 55件
いりょうてき じ しゃどう たい かんれんぶんや 医療的ケア児・者等に対する関連分野 しえん ちようせい の支援を調整するコーディネーター はいち 福 の配置	にん 6人 じっせき にん 実績6人	にん 6人 じっせき にん 実績6人	にん 6人	にん 10人	にん 12人	にん 12人

1-1 住まい

(1) 障害状況に合わせた住まいの選択肢の充実

事業名	事業内容	これまでの実績 (令和5年3月末)	課題	新たな3年間の方向性
<p>民間住宅 入居の 促進</p>	<p>障害者が民間賃貸住宅への入居をやすくする仕組みとして「住宅セーフティネット制度」を活用していきます。 また、障害者等の住宅確保要配慮者の居住支援を充実させるため、横浜市居住支援協議会と不動産事業者や福祉支援団体、区局の連携を強化する制度の検討を進めます。</p>	<p>横浜市居住支援協議会に参画し、不動産事業者との情報共有を行いました。 また、令和4年度以降、障害理解と福祉関係者との連携を進めるための勉強会を実施しました。</p>	<p>障害者が住宅を借りる際に、不動産事業者の障害理解が不足していることで、賃貸契約に至らないことが多いです。 不動産会社の担当者に対して、更に障害理解を深める啓発が必要です。</p>	<p>引き続き、居住支援協議会を活用し、不動産事業者への障害理解の推進と福祉支援者との関係づくりに努めます。</p>

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	課題 <small>かだい</small>	新たな3年間 <small>あら ねんかん</small> <small>ほうこうせい</small> の方向性
サポート ホーム ㊦	発達障害のある入居者 <small>はったつしょうがい にゆうきよしゃ</small> に対し、地域生活に向け <small>たい ちいきせいかつ お</small> た準備のため、生活面の <small>じゅんび せいかつめん</small> アセスメントと支援を <small>しえん</small> 実施する「サポートホー <small>じっし</small> ム」の効果を検証する <small>こうか けんしょう</small> とともに、支援方法を <small>しえん ほうほう</small> 地域の事業所等へ拡大さ <small>ちいき じぎょうしょとう かくだい</small> せていきます。	これまでの検証と支援方法を、 <small>けんしょう しえんほうほう</small> <small>しいき じぎょうしょとう かくだい</small> 市域の事業所等へ拡大させる <small>けんとうとりくみ いかん れいわ</small> 検討取組の一環として、令和4 <small>ねんど じぎょうしょむ けんしゅう じっし</small> 年度に事業所向けの研修を実施 しました。 <small>じゅこうしゃ にん</small> (受講者57人)	令和4年度に実施した研修につ <small>れいわ ねんど じっし けんしゅう</small> いても継続的に実施し、発達 <small>けいぞくてき じっし はったつ</small> 障害特有の支援手法等の拡大に <small>しょうがいとくゆう しえんしゅほうとう かくだい</small> ついて市域で構築していくこと <small>しいき こうちく</small> が課題です。 <small>かだい</small>	引き続き、サポートホーム事業の <small>ひ つづ けんしゅう</small> 推進し、発達障害のある人の <small>すいしん はったつしょうがい ひと</small> 生活を支援するとともに、その <small>せいかつ しえん</small> 効果を検証します。また、支援 <small>こうか けんしょう</small> 方法を地域の事業所等へ拡大さ <small>ほうほう ちいき じぎょうしょとう かくだい</small> せるための研修等の機会創出 <small>けんしゅうとう きかいそうしゅつ</small> を検討します。 <small>けんとう</small>
障害児 施設の 再整備 ㊦	老朽化が進んでいる <small>ろうきゅうか すす</small> 障害児入所施設の <small>しょうがいにゆうしよしせつ</small> 再整備を進めます。 <small>さいせいび すす</small>	運営法人との調整を行いました。 <small>うんえいほうじん ちょうせい おこな</small> た。	施設の運営法人とともに再整備 <small>しせつ うんえいほうじん さいせいび</small> に向けた調整が必要です。 <small>む ちょうせい ひつよう</small>	施設の運営法人と調整を進めま <small>しせつ うんえいほうじん ちょうせい すす</small> す。

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	課題 <small>かだい</small>	新たな3年間 <small>あら ねんかん</small> <small>ほうこうせい</small> の方向性
松風学園 <small>しょうふうがくえん</small> 再整備 <small>さいせいび</small> 事業 <small>じぎょう</small>	<p> <small>にゆうきよしゃ きょじゅうかんきょう</small> 入居者の居住環境 <small>かいぜん こしつかとう</small> 改善のため、個室化等を <small>すす どうえん</small> 進めます。また、同園 <small>しきち いちぶ かつよう</small> 敷地の一部を活用して <small>みんせつしんにゆうしよせつ せいび</small> 民設新入所施設を整備 します。 <small>ちゅうかんき こしつかとう</small> ・ 中間期：個室化等の <small>きょじゅうかんきょう せつび</small> 居住環境や設備の <small>かいぜんおよ みんせつしんにゆうしよ</small> 改善及び民設新入所 <small>しせつ こうじじっし</small> 施設の工事実施 <small>けいかく きかんちゅう こしつか</small> ・ 計画期間中：個室化 <small>とう きょじゅうかんきょう せつび</small> 等の居住環境や設備 <small>かいぜんおよ みんせつ</small> の改善及び民設 <small>しんにゆうしよせつ こうじ</small> 新入所施設の工事 <small>じっしかんりよう</small> 実施完了 </p>	<p> <small>しんきよじゅうどうしんせつこうじ かんりよう</small> 新居住棟新設工事を完了し、 <small>びーどうかいたいこうじ ちやくしゅ</small> B棟解体工事に着手しました。 <small>れいわ ねんど につちゅうかつどうとう</small> 令和5年度から、日中活動棟 <small>しんせつ ちやくしゅ よてい</small> 新設に着手する予定です。 </p>	<p> <small>じぎょうひ よくせい きかんない</small> 事業費を抑制しながら、期間内に <small>せいび かんりよう りようしや きょじゅう</small> 整備を完了し、利用者の居住 <small>かんきょう かいぜん かだい</small> 環境を改善することが課題とな っています。 </p>	<p> <small>につちゅうかつどうとうしんせつこうじ かんりよう</small> 日中活動棟新設工事を完了し ます。 <small>えーとう かんりとうおよ たいいくとう かいしゅう</small> A棟、管理棟及び体育棟の改修 <small>こうじ かんりよう ふくし</small> 工事を完了します。福祉ホーム <small>どうかいたいこうじ かんりよう</small> 棟解体工事を完了します。 </p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	かだい 課題	あら ねんかん 新たな3年間 <small>ほうこうせい</small> の方向性
さいけい 【再掲】 しょうがい ふくし 障害福祉 しせつとう 施設等で はたら かんご 働く看護 し しえん 師の支援 ㊦	しょうがいふくししせつとう はたら 障害福祉施設等で働く かんごし ていちゃく お 看護師の定着に向けた しえん おこな 支援を行うとともに、 じんざいかくほ ほうさく 人材確保の方策について けんとう 検討します。	しょうがいふくししせつ はたら かんごしむ 障害福祉施設で働く看護師向 いし こうこうきのうかんり けに、医師による口腔機能管理に こうぎ どうがはいしん ついで講義の動画配信や、 かくしせつ ほうもん ぎじゆつてき 各施設への訪問による技術的な しどう おこな 指導を行ってきました。	しょうがいしゃしせつ いりようてき 障害者施設での医療的ケアのニ たか いっぽう かんごし いし ーズが高まる一方、看護師が医師 し じどう じゅうぶんう からの指示等を十分受けられな じょうきょう くわ しょうにんずうたいせい い状況に加え、少人数体制で ぎょうむ じゅうじ かんきょう か 業務に従事している環境は変わ じんざい かくほ ていちゃく っており、人材の確保と定着 かだい が課題です。	ひ つづ い しどう せんもんしよく 引き続き医師等の専門職による じゆんかいそうだん けいぞく 巡回相談を継続しながら、アン ケートやヒアリングを通じて かんごしどう あんしん はたら つづ 看護師等が安心して働き続ける ひつよう しえん はあく ために必要とされる支援を把握 ごうどうけんしゅう つう します。また、合同研修を通じて しせつかん れんけい きょうか しゅうろう 施設間の連携を強化し、就労 ていちゃく じんざいいくせい と く 定着と人材育成に取り組みま す。

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
きょうどうせいかつえんじよ 共同生活援助（グループホーム） りようしゃすう しんせつていんすう ねん 利用者数（新設定員数/年） 福	にん 200人 じっせき 実績221人	にん 200人 じっせき 実績263人	にん 200人	にん 200人	にん 200人	にん 200人
きょうどうせいかつえんじよ 共同生活援助（グループホーム） りようしゃすう りようにんずう ねん 利用者数（利用人数/年） 福	にん 5,000人 じっせき 実績5,164人	にん 5,200人 じっせき 実績5,452人	にん 5,400人	にん 5,600人	にん 5,800人	にん 6,000人
しせつにゆうしよしえん 施設入所支援 りようにんずう つき （利用人数/月） 福	にん 1,426人 じっせき 実績1,385人	にん 1,420人 じっせき 実績1,364人	にん 1,414人	にん 1,330人	にん 1,313人	にん 1,295人
ふくしがたしょうがい じにゆうしよしえん 福祉型障害児入所支援 りよう じどうすう つき （利用児童数/月） 児	にん 190人 じっせき 実績160人	にん 190人 じっせき 実績158人	にん 190人	にん 190人	にん 190人	にん 190人
いりょうがたしょうがい じにゆうしよしえん 医療型障害児入所支援 りよう じどうすう つき （利用児童数/月） 児	にん 90人 じっせき 実績77人	にん 90人 じっせき 実績83人	にん 90人	にん 98人	にん 98人	にん 98人
しょうがい じにゆうしよしせつ 障害児入所施設における18歳以上 にゆうしよしゃすう の入所者数 児	にん 0人 じっせき 実績13人	にん 0人 じっせき 実績7人	にん 0人	にん 0人	にん 0人	にん 0人
しゆくはくがたじりつくんれん りようにんずう つき 宿泊型自立訓練（利用人数/月） 福	にんぶん 87人分 じっせき 実績65人分	にんぶん 87人分 じっせき 実績62人分	にんぶん 87人分	にんぶん 87人分	にんぶん 87人分	にんぶん 87人分
	にんにち 2,364人日 じっせき 実績1,709人	にんにち 2,364人日 じっせき 実績1,647人	にんにち 2,364人日	にんにち 2,364人日	にんにち 2,364人日	にんにち 2,364人日
りようようかいご りようにんずう つき 療養介護（利用人数/月） 福	にん 279人 じっせき 実績283人	にん 279人 じっせき 実績308人	にん 284人	にん 284人	にん 284人	にん 284人

(2) 高齢化・重度化を踏まえた住まいの構築

<p>事業名</p>	<p>事業内容</p>	<p>これまでの実績 (令和5年3月末)</p>	<p>課題</p>	<p>新たな3年間の方向性</p>
<p>身体障害者・高齢者の住宅改造及び模様替え</p>	<p>市営住宅に入居している障害者等の要望に対し、トイレや浴室への手すりの取付けなどの住宅改造を実施します。</p>	<p>令和3～5年度実績 住宅改造34件（障害者対応15件・高齢者対応19件） 模様替承認173件</p>	<p>介護保険を活用した模様替承認制度の更なる認知度の向上が必要です。</p>	<p>現在の仕組みでの対応を維持していきます。</p>
<p>高齢化・重度化対応のグループホームの検討・拡充</p>	<p>現在、実施している高齢化・重度化対応グループホーム事業を踏まえ、持続的に実現可能な制度の検討を行っていきます。今後も進んでいくことが見込まれる障害者の高齢化・重度化に対応していくため、高齢化・重度化対応グループホームを拡充していきます。</p>	<p>関係団体等とのヒアリングを重ね、グループホーム設備の充実策と当事者の状態に応じた対策の両面を検討してきました。また、障害特性によって高齢化・重度化の心身のあらわれ方が異なることを明らかにしてきました。</p>	<p>効果的かつ持続可能な施策とするため、関係団体と緊密に連携し、施策の対象を設備、当事者、支援者など多角的に検討する必要があります。</p>	<p>関係団体と緊密に連携し、効果的かつ持続可能な高齢化・重度化対策をまとめ、必要に応じて予算化に着手していきます。</p>

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	課題 <small>かだい</small>	新たな3年間 <small>あら ねんかん</small> <small>ほうこうせい</small> の方向性
<small>こうれいか</small> <small>じゅうどか</small> <small>たいおう</small> <small>かいしゅうじぎょう</small> 高齢化・ 重度化 対応バリ アフリー 改修事業	<small>りよう</small> <small>しょうがいしゃ こうれい</small> <small>ともな しんたいきのう</small> <small>ていかとう じゅうらい</small> <small>せつび せいかつ</small> <small>こんなん ばあい</small> <small>きょじゅう</small> <small>あんしん せいかつ つづ</small> <small>とうかいしゅう かかわ</small> <small>けいひ ほじよ</small> グループホームを利用す る障害者が高齢になり、 それに伴う身体機能の 低下等により、従来のホ ームの設備で生活するこ とが困難となる場合で も、居住しているホーム で安心して生活し続ける ことができるよう、バリ アフリー等改修に係る 経費を補助します。	<small>れいわ ねんど ねんど</small> <small>しんせい</small> <small>よくしつ かいしゅう</small> <small>てすり せっち おこな</small> 令和3年度、4年度で3ホーム から申請があり、浴室の改修、 手摺やスロープの設置を行 いました。	<small>しんせいすう すく せいど りよう</small> <small>しゅうち すず ひつよう</small> 申請数が少なく、制度の利用 周知を進める必要があります。	<small>ひ つづ とうかいしゅう</small> <small>かか ひよう ほじよ</small> 引き続き、バリアフリー等改修 に係る費用を補助します。

1-2 暮らし

(1) 地域での生活を支える仕組みの充実

<p>事業名</p>	<p>事業内容</p>	<p>これまでの実績 (令和5年3月末)</p>	<p>課題</p>	<p>新たな3年間の方向性</p>
<p>障害者 地域活動 ホーム 事業</p>	<p>在宅の障害児・者とその家族の地域生活を支援する拠点施設として、横浜市が独自に設置しているものです。主なサービスとして、生活介護や地域活動支援センター事業デイサービス型等の日中活動のほか、ショートステイや一時ケア等の生活支援事業を実施しています。施設規模等により、社会福祉法人型地活ホームと機能強化型地活ホームの2種類に分類されています。</p>	<p>活動ホーム連絡会等の場において、現場の課題を共有し、役割や位置付けの明確化・機能の充実化に向けて、施設としての運営のあり方について意見交換を行ってきました。併せて、コロナ禍における緊急対応等についても、情報共有・検討を行いました。令和5年度には、現場課題の抽出・解決を図るため、主任級の意見交換会を予定しています。</p>	<p>緊急時の受入等、地域生活支援拠点の中での役割について、全施設で共通で検討すべき事項と、地域の課題や地域ニーズを踏まえながら、各施設で検討すべき課題を抽出、整理し、相互に連携して課題解決を図って行く必要があります。</p>	<p>地域での役割分担や緊急対応時における連携強化のため、社会福祉法人型と機能強化型の間で、更なる意見交換を行います。また、現場課題の抽出・解決を図るため、主任級の意見交換会や研修会などを、活動ホーム連絡会と協力して行います。</p>

<p>とうごうしつちようしやう 統合失調症をはじめと せいしんしょうがいしゃ しゃかい した精神障害者の社会 ふつき じりつおよ しゃかいさんか 復帰、自立及び社会参加 しえん かくく を支援するため各区に1 しよせっち せいしん か所設置している精神 しょうがいしゃ ちいせいかつしえん 障害者の地域生活支援に ほんし きよてんしせつ おける本市の拠点施設で す。 せいしんほけんふくしし はいち 精神保健福祉士を配置 し、日常生活に関する にちじようせいかつ かん しやせいかつ 者生活 しえん 支援セン ター事業</p>	<p>かだい たみせつかた これまで課題であった民設型セ ンターの運営モニタリングの しく どうにゆう ぐわ 仕組みを導入しました。加え しょうがいしゃ ちいき いちいん て、障害者が地域の一員として あんしん じぶん く 安心して自分らしい暮らしがで きるよう区と協力し、事業化 をおこな を行いました。ピアサポート すいしん む べんきようかい がいぶ 推進に向けて、勉強会や外部 こうし しょう けんどうかい 講師を招へいした検討会を じっし いしきじようせい ほか 実施し、意識醸成を図りまし た。 そうだんきのう じゅうじつ もくてき また相談機能の充実を目的と した実務者会議を令和3年度か かいさい かくせいかつしえん ら開催し、各生活支援センター しよくいん がか げんば かだい 職員が抱える現場の課題を きょうゆう かいけつ む と く 共有し、解決に向けて取り組む グループワークを令和4年度は ねん かいじっし 年4回実施しました。</p>	<p>れいわ ねんど せいかつしえん 令和2年度に生活支援センター きのうひようじゆんか じっし かいかん の機能標準化を実施し、開館 じかん じんいんたいせいどう めん 時間や人員体制等ハード面の ひようじゆんか おこな 標準化を行いました。提供 サービスの質等のソフト面の ひようじゆんか じゅうぶん 標準化は十分にできていない ことが課題です。</p>	<p>ひようじゆんか こうかけんしやう おこな 標準化の効果検証を行うこ とで、ひようじゆんかご あら しょう 標準化後に新たに生じた かだい かくにん せいかつしえん 課題を確認し生活支援センター やくわり さいぎろん の役割を再議論していくととも に、じつむしゃかいぎどう つう そうだん 実務者会議等を通じて、相談 きのう じゅうじつ じんざいいくせい 機能の充実のために人材育成 あとお の後押しをしていきます。また ちいき たいおう 地域ニーズに対応するべく区と ひ つづ れんけい じぎょう も引き続き連携しながら事業の けんどう おこな 検討を行います。</p>
---	--	---	--

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	課題 <small>かだい</small>	新たな3年間 <small>あら ねんかん</small> <small>ほうこうせい</small> の方向性
多機能型 <small>たきのうがた</small> 拠点の <small>きよてん</small> 整備・ <small>せいび</small> 運営 <small>うんえい</small> ⑥	常に医療的ケアを必要とする重症心身障害児・者等とその家族の地域生活を支援するため、相談支援、短期入所、生活介護、診療、訪問看護や居宅介護などを一体的に提供する多機能型拠点の整備を市内6方面に進めます。	市内4館目である北東部方面多機能型拠点(仮称)の基本設計から実施設計までを完了し、工事を着工しました。	市内5、6館目の候補地を早期に選定する必要があります。	市内5、6館目の候補地を引き続き検討し、令和8年度までに市内6館の整備を完了します。
行動障害のある方の地域移行や地域生活を支える仕組みづくり	行動障害のある方に必要とされる支援体制について、特に地域移行や地域生活を支える機能の検討を進めます。	行動障害のある人に必要とされる支援体制について、特に地域移行や地域生活を支える機能に関し、市内プロジェクトでの検討を進めました。	市内プロジェクトの検討体制をどのように確保していくかが課題となっています。	行動障害のある人に必要とされる支援体制について、特に地域移行や地域生活を支える機能に関し、市内プロジェクトでの検討を進めます。

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	課題 <small>かだい</small>	新たな3年間 <small>あら ねんかん</small> <small>ほうこうせい</small> の方向性
地域支援 <small>ちいきしえん</small> マネジャ <small>マネジャ</small> ーによる <small>による</small> 障害福祉 <small>しょうがいふくし</small> サービス <small>サービス</small> 事業所等 <small>じぎょうしょとう</small> への支援 <small>しえん</small> ⑧	発達障害者支援センター <small>はったつしょうがいしやしえん</small> に「地域支援マネジャ <small>ちいきしえん</small> ー」を配置し、障害福祉 <small>しょうがいふくし</small> サービス事業所等に対 <small>じぎょうしょとう たい</small> し、行動障害・発達 <small>こうどうしょうがい はったつ</small> 障害に係るコンサルテ <small>しょうがい かかわ</small> ーションを実施します。 <small>じっし</small>	「地域支援マネジャー」による、 <small>ちいきしえん</small> 障害福祉サービス事業所等に <small>しょうがいふくし じぎょうしょとう</small> 対する、行動障害・発達障害に <small>たい こうどうしょうがい はったつしょうがい</small> 係るコンサルテーションを <small>かかわ</small> 実施しました。 <small>じっし</small>	事業所等からの相談ニーズは <small>じぎょうしょとう そうだん</small> 非常に多く、コンサルテーショ <small>ひじょう おお</small> ンを通じて獲得した支援手法が <small>つう かくとく しえんしゅほう</small> 事業所内で般化できていない <small>じぎょうしょない はんか</small> 状況があります。 <small>じょうきよう</small>	引き続き、「地域支援マネジャ <small>ひ つづ ちいきしえん</small> ー」による、障害福祉サービ <small>しょうがいふくし</small> 事業所等に対する、行動障害・ <small>じぎょうしょとう たい こうどうしょうがい</small> 発達障害に係るコンサルテー <small>はったつしょうがい かかわ</small> ションを実施するとともに、 <small>じっし</small> 事業所の支援力が向上するよ <small>じぎょうしょ しえんりょく こうじょう</small> う、働きかけを行います。 <small>はたら おこな</small>
地域生活 <small>ちいきせいかつ</small> 支援拠点 <small>しえんきよてん</small> 機能の充 <small>きのう じゅう</small> 実 <small>じつ</small>	障害のある方の高齢化・ <small>しょうがい ほう こうれいか</small> 重度化、親なき後に備え <small>じゅうどか おや あと そな</small> るとともに、地域移行を <small>ちいきいこう</small> 進めるため、基幹相談 <small>すす きかん そうだん</small> 支援センター・生活支援 <small>しえん せいかつしえん</small> センター・区役所の3 <small>くやくしょ</small> 機関一体の運営により、 <small>きかんいつたい うんえい</small> 地域のあらゆる社会資源 <small>ちいき しゃかいしげん</small> を有機的につなぐネット <small>ゆうきてき</small> ワーク型の拠点機能を <small>がた きよてんきのう</small> 整備し、地域での居住 <small>せいび ちいき きょじゅう</small> 支援機能の充実を図りま <small>しえんきのう じゅうじつ ほか</small> す。 <small>はか</small>	市協議会地域生活支援拠点検討 <small>しきょうぎかい ちいきせいかつしえん きよてんけんどう</small> 部会において、区域の取組及び <small>ぶかい くいき とりくみおよ</small> 課題、市域の取組状況を検討 <small>かだい しいき とりくみじょうきよう けんどう</small> しました。(令和3年度1回、 <small>れいわ ねんど かい</small> 令和4年度2回開催) <small>れいわ ねんど かいかいさい</small>	障害分野以外への地域生活 <small>しょうがいぶんやいがい ちいきせいかつ</small> 支援拠点機能の周知、啓発が <small>しえんきよてんきのう しゅうち けいはつ</small> 十分にできていないため、地域 <small>じゅうぶん ちいき</small> 全体での支援機能を充実させ <small>ぜんたい しえんきのう じゅうじつ</small> ていく必要があります。 <small>ひつよう</small>	障害分野以外(特に地域ケアプ <small>しょうがいぶんやいがい とく ちいき</small> ラザ)への周知、啓発を積極的 <small>しゅうち けいはつ せっきよくてき</small> に行い、支援者の拡大等を通じ <small>おこな しえんしゃ かくだいとう つう</small> た地域生活支援機能の充実を <small>ちいきせいかつしえんきのう じゅうじつ</small> 図ります。 <small>はか</small>

<p>精神障害のある方の生活のしづらさを地域で支えていくため、医療・保健・福祉の連携の下、各区福祉保健センター、生活支援センター、基幹相談支援センターを核とした「協議の場」において関係者・関係機関が共通の認識の中で課題解決に向けた取組の検討と実施をしていきます。また、地域ごとの課題に対して特性を踏まえた対応ができるよう、これまでの社会資源を十分に活用しながら、ネットワーク機能の見直しや新たなつながりを構築していきます。</p> <p>※この取組のため、精神障害者の障害福祉サービスの利用状況を把握し、基盤整備の過不足等について把握するため、以下</p>	<p>地域の関係機関と共通の認識を持ち、課題解決に向けた取組を検討、推進を目的として、区福祉保健センター、生活支援センター、基幹相談支援センターを核とした「協議の場」を開催しました。また、取組の推進を目的とした研修会を開催しました。市域において、地域移行・地域定着部会を開催し、お互いに支え合える仕組みについて検討しました。</p>	<p>区域において、研修会を開催し、各区の取組状況について共有を図るものの、「協議の場」における課題解決に向けた取組の検討や推進状況に差があります。市域において、お互いに支え合う仕組みを構築するために、モデル実施をし、新たな課題について検討する必要があります。</p>	<p>区福祉保健センター、生活支援センター、基幹相談支援センターを核とした「協議の場」において、地域の関係機関と共通の認識を持ち、課題解決に向けた取組を検討、推進します。また、取組の推進のための研修会を引き続き開催します。さらに、お互いに支え合える仕組みを構築するためのモデル事業の実施・検証を通して、より良い仕組みについて検討します。</p>
--	--	--	--

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	これまでの実績 （令和5年3月末）	かだい 課題	あらねんかん 新たな3年間 の方向性
	じこう の事項について、活動指標 として設定します。			

活動指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
共同生活援助の利用者数（精神障害） 福	959人 実績1,018人	997人 実績1,061人	1,035人	1,073人	1,111人	1,149人
地域移行支援の利用者数（精神障害） 福	108人/年 実績63人/年	120人/年 実績89人/年	132人/年	132人/年	132人/年	132人/年
地域定着支援利用者数（精神障害） 福	480人/年 実績405人/年	576人/年 実績394人/年	672人/年	672人/年	672人/年	672人/年
自立生活援助利用者数（精神障害） 福	60人/年 実績51人/年	75人/年 実績46人/年	90人/年	90人/年	90人/年	90人/年
自立生活アシスタント利用者数 （精神障害）	323人/年 実績376人/年	323人/年 実績355人/年	323人/年	370人/年	385人/年	400人/年
精神障害者退院サポート事業利用者	180人/年 実績180人/年	180人/年 実績189人/年	180人/年	180人/年	180人/年	180人/年

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>これまでの実績 (令和5年3月末)</p>	<p>かだい 課題</p>	<p>あらねんかん 新たな3年間 の方向性</p>
<p>せいしんしょうがい 精神障害 者の家族 支援事業 ㊦</p>	<p>せいしんしょうがいしゃ かぞく 精神障害者とその家族 が適切な関係を保つた め、緊急滞在場所を 準備するとともに、家族 が精神疾患について 理解を深める機会を提 供します。</p>	<p>せいしんしょうがいしゃ かぞく てきせつ 精神障害者とその家族が適切な 関係を保てるよう緊急滞在場所 を準備しました。また学習会を 実施し、家族が精神疾患について 理解を深める機会を提供しまし た。</p>	<p>きんきゅうたいざいばしょ たいざい きかん 緊急滞在場所は滞在できる期間 が決まっており、継続して避難が 必要な場合には次の場所を探す のに時間が掛かっているため、ス ムーズに移行できる制度作りが 必要だと考えています。</p>	<p>せいしんしょうがいしゃ かぞく てきせつ 精神障害者とその家族が適切な 関係を保つため、緊急滞在場所 を準備するとともに、家族が精神 疾患について理解を深める機会 を提供します。</p>
<p>いりょうてき 医療的ケ ア児・者 等の支援 のための 関係機関 の協議の 場の開催 ㊦</p>	<p>いりょうてき じ しゃとう 医療的ケア児・者等へ の地域における更なる 支援の充実に向けて、 保健・医療・障害 福祉・保育・教育等の 関係機関が連携を図る ため、横浜市医療的ケ ア児・者等支援検討 委員会において、課題 共有、意見交換、対応 策等の検討を行います。</p>	<p>よこはましりょうてき じ しゃとうしえん 横浜市医療的ケア児・者等支援 検討委員会 令和3年度 2回 令和4年度 2回 令和5年度 2回開催予定</p>	<p>たきかん たしよくしゆ あつ きかい い 多機関・多職種が集まる機会を生 かしたテーマ設定を検討する 必要があります。</p>	<p>いりょうてき じ しゃとう かんけいきかん 医療的ケア児・者等の関係機関に よる協議を重ね、支援の充実を 図ります。</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	じっせき これまでの実績 れいわ ねん がつまつ (令和5年3月末)	かだい 課題	あら ねんかん 新たな3年間 ほうこうせい の方向性
いりょうてき 医療的ケ ア児・者 どうしえんしゃ 等支援者 ようせい 養成 (あ) (新)	うけいれたいせい じゅうじつ はか 受入体制の充実を図る ため、しよぞく しせつ 所属する施設・ じぎょうしよどう 事業所等において、 いりょうてき じ しゃどう 医療的ケア児・者等の うけい せっきよくてき おこな 受入を積極的に進 めるよう、しえん ひつよう 支援に必要な ちしき ぎじゆつ ふきゆうけいはつ 知識・技術の普及啓発を おこな しえんしゃ ようせい 行う支援者を養成しま す。	よこはましりょうてき じ しゃどうしえん 横浜市医療的ケア児・者等支援 けんどういんかい 検討委員会 れいわ ねんど じん 令和3年度 42人 れいわ ねんど じん 令和4年度 48人 れいわ ねんど 令和5年度 やく じんようせいよてい 約50人養成予定	しえんしゃようせいけんしゅうしゅうりようじぎょうしゃ 支援者養成研修修了事業者の いりょうてき じ しゃどう うけい 医療的ケア児・者等の受入れ じようきよう はあく およ うけいれそくしん はか 状況の把握、及び受入促進を図 っていくひつよう 必要があります。	ひ つづ しえんしゃ ようせい いりょうてき 引き続き支援者を養成し、医療的 ケア児・者の受入体制を強化しま す。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	じっせき これまでの実績 れいわ ねん がつまつ (令和5年3月末)	かだい 課題	あら ねんかん 新たな3年間 ほうこうせい の方向性
メディカル ショート ステイ 事業 (あ)	いりょうてき ひつよう 医療的ケアが必要な じゅうしょうしんしんしょうがいじ しゃどう 重症心身障害児・者等 を、在宅で介護する家族 の負担軽減と在宅生活 の安定を目的として、 いちじてき ざいたくせいかつ 一時的に在宅生活が こんなん ばあい 困難となった場合など に、びょういん う けいれい 病院での受け入れ を実施します。	きょうりよくいりょうきかん いりょう 協力医療機関の医療スタッフ との合同会議を実施したほか、 しんがた かんせんしょう 新型コロナウイルス感染症の のうこうせつしやくしゃ うけいれ じんそく 濃厚接触者の受入にも迅速に たいおう 対応しました。 りようにつすう けんすう 利用日数(件数) れいわ ねんど 令和3年度 749日(117件) れいわ ねんど 令和4年度 502日(86件) れいわ ねんど 令和5年度 1,234日 (176件)見込み	いりょうてき じ しゃどう さいいじょう 医療的ケア児・者等が18歳以上に いこう せいじん 移行しており、成人になった いりょうてき じ しゃどう う い 医療的ケア児・者等を受け入れる きょうりよくいりょうきかん すく ふ 協力医療機関が少ないため、増 やしていく必要があります。	ひ つづ じぎょう じっし 引き続き事業を実施するととも に、きょうりよくいりょうきかん えんかつ 協力医療機関との円滑な じぎょううんえいおよ う けいれい びょういん 事業運営及び、受け入れ病院の かくだい つと 拡大に努めます。

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
ちいきせいかつしえんきよてん 地域生活支援拠点 の せいび 整備 (福)	ぜんくじっし 全区実施 じっせき ぜんくじっし 実績 全区実施	ぜんくじっし 全区実施 じっせき ぜんくじっし 実績 全区実施	ぜんくじっし 全区実施	ぜんくじっし 全区実施	ぜんくじっし 全区実施	ぜんくじっし 全区実施
ちいきせいかつしえんきよてん ・地域生活支援拠点が ゆうきゆうの 有する機能の充実 におよ に向けた検証及び けんとう 検討 の じっしかいすう 実施回数 (福)(新)	かい 1回 じっせき かい 実績 2回	かい 1回 じっせき かい 実績 2回	かい 1回	かい 1回	かい 1回	かい 1回
せいしんしょうがい 精神障害にも対応し ちいきほうかつ た地域包括ケアシステ ム ほけん いりょうおよ ふくし ・保健、医療及び福祉 かんけいしゃ 関係者による ぎょうぎ 協議の ば かいさいかいすう 場の開催回数 (福) (新)	かい しいき 3回(市域) ていき くいき 定期(区域) じっせき 実績 かい しいき 2回(市域) ていき くいき 定期(区域)	かい しいき 3回(市域) ていき くいき 定期(区域) じっせき 実績 かい しいき 3回(市域) ていき くいき 定期(区域)	かい しいき 3回(市域) ていき くいき 定期(区域)	かい しいき 2回(市域) ていき くいき 定期(区域)	かい しいき 2回(市域) ていき くいき 定期(区域)	かい しいき 2回(市域) ていき くいき 定期(区域)
ほけん いりょうおよ ふくし ・保健、医療及び福祉 かんけいしゃ 関係者による 目標 せっていおよ 設定及び びょうか 評価の じっし 実施 かいすう 回数 (福)(新)	かい 1回 じっせき かい 実績 1回	かい 1回 じっせき かい 実績 1回	かい 1回	かい 1回	かい 1回	かい 1回

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
はったつしょうがいしゃしえん 発達障害者支援センター および発達 しょうがいしゃちいきしえん 障害者地域支援マネ ジャーの関係 きかん への 助言件数 (<small>がくれいこうきしょうがいじ</small> 学齢後期障害児 しえんじきょうぶんのぞ 支援事業分を除く) 福	1,000件 実績745件	1,000件 実績1,149件	1,000件	1,000件	1,000件	1,000件
きょたくかいご 居宅介護 (／年) 福	127,601時間分 実績135,648時間分	129,642時間分 実績136,113時間分	131,716時間分	141,612時間分	144,444時間分	147,333時間分
	8,070人 実績7,781人	8,417人 実績8,048人	8,778人	8,521人	8,768人	9,023人
じゅうどうほうもんかいご 重度訪問介護 (／年) 福	89,044時間分 実績110,593時間分	99,640時間分 実績121,680時間分	111,497時間分	160,642時間分	184,577時間分	212,079時間分
	544人 実績578人	613人 実績665人	691人	858人	974人	1,107人
どうこうえんご 同行援護 (／年) 福	16,360時間分 実績14,030時間分	17,112時間分 実績15,020時間分	17,899時間分	15,626時間分	15,939時間分	16,258時間分
	856人 実績745人	894人 実績793人	934人	851人	881人	913人

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
こうどうえんご 行動援護 (／年) 福	じかんぶん 13,544時間分 じっせき じかんぶん 実績10,932時間分	じかんぶん 15,792時間分 じっせき じかんぶん 実績13,249時間分	じかんぶん 18,413時間分	じかんぶん 18,447時間分	じかんぶん 21,767時間分	じかんぶん 25,686時間分
	にん 855人 じっせき にん 実績586人	にん 1,072人 じっせき にん 実績681人	にん 1,344人	にん 976人	にん 1,170人	にん 1,401人
たんきにゆうしょ 短期入所 (福祉型) (／月) 福	にんぶん 1,100人分 じっせき にんぶん 実績705人分	にんぶん 1,120人分 じっせき にんぶん 実績764人分	にんぶん 1,140人分	にんぶん 1,160人分	にんぶん 1,180人分	にんぶん 1,200人分
	にんにち 5,500人日 じっせき にんにち 実績4,404人日	にんにち 5,600人日 じっせき にんにち 実績4,788人日	にんにち 5,700人日	にんにち 5,800人日	にんにち 5,900人日	にんにち 6,000人日
たんきにゆうしょ 短期入所 (医療型) (／月) 福	にんぶん 400人分 じっせき にんぶん 実績341人分	にんぶん 410人分 じっせき にんぶん 実績358人分	にんぶん 420人分	にんぶん 430人分	にんぶん 440人分	にんぶん 450人分
	にんにち 2,000人日 じっせき にんにち 実績1,658人日	にんにち 2,050人日 じっせき にんにち 実績1,570人日	にんにち 2,100人日	にんにち 2,150人日	にんにち 2,200人日	にんにち 2,250人日
にちちゅういちじしえん 日中一時支援 (／月) 福	にんぶん 240人分 じっせき にんぶん 実績292人分	にんぶん 240人分 じっせき にんぶん 実績316人分	にんぶん 240人分	にんぶん 470人分	にんぶん 470人分	にんぶん 470人分
	かい 800回 じっせき かい 実績600回	かい 800回 じっせき かい 実績567回	かい 800回	かい 800回	かい 800回	かい 800回
にちじょうせいかつようぐきゅうふ 日常生活用具給付・ 貸与 (／年) 福	けん 86,000件 じっせき けん 実績93,905件	けん 86,000件 じっせき けん 実績90,520件	けん 86,000件	けん 89,000件	けん 89,000件	けん 89,000件
ちいきいこうしえん 地域移行支援 (／年) 福	にんぶん 120人分 じっせき にんぶん 実績69人分	にんぶん 132人分 じっせき にんぶん 実績89人分	にんぶん 144人分	にんぶん 144人分	にんぶん 144人分	にんぶん 144人分
ちいきていちやくしえん 地域定着支援 (／ 年) 福	にんぶん 600人分 じっせき にんぶん 実績459人分	にんぶん 720人分 じっせき にんぶん 実績461人分	にんぶん 840人分	にんぶん 840人分	にんぶん 840人分	にんぶん 840人分

<small>しひょうめい</small> 指標名	<small>れいわ ねんど</small> 令和3年度	<small>れいわ ねんど</small> 令和4年度	<small>れいわ ねんど</small> 令和5年度	<small>れいわ ねんど</small> 令和6年度	<small>れいわ ねんど</small> 令和7年度	<small>れいわ ねんど</small> 令和8年度
<small>せいしんしょうがいしゃたいいん</small> 精神障害者退院サポ <small>じぎょう</small> ート事業 <small>ねん</small> (／年)	<small>にん</small> 180人 <small>じっせき にん</small> 実績180人	<small>にん</small> 180人 <small>じっせき にん</small> 実績189人	<small>にん</small> 180人	<small>にん</small> 180人	<small>にん</small> 180人	<small>にん</small> 180人

(2) 本人の力を引き出す支援の充実

<p>事業名</p>	<p>事業内容</p>	<p>これまでの実績 (令和5年3月末)</p>	<p>課題</p>	<p>新たな3年間 の方向性</p>
<p>障害者 自立生活 アシスタ ント ㊦</p>	<p>地域で単身等で生活する障害者に対して、自立生活アシスタントが、その障害特性を踏まえて、具体的な生活場面での社会適応力を高める助言を中心とした支援を行います。国の実施事業との関係を整理しながら推進していきます。</p>	<p>アシスタントの支援力向上を目的とした研修を毎年実施しています。 令和3年度は、ガイドラインの改訂、令和4年度は、個別支援計画についてのプロジェクトでワーキングを実施しました。 令和5年度は、他機関との交流事業を実施予定です。</p>	<p>知的障害を対象とした事業所が1区不在となっています。 また、1事業所あたりの支援者数の不均衡があります。 事業所に対する働きかけ、制度利用の周知が必要です。</p>	<p>引き続き、自立生活アシスタント事業の普及啓発に取り組み、アシスタントの支援力の向上を図るための研修の実施等を行います。</p>
<p>後見的 支援制度 ㊦</p>	<p>障害者本人や家族に寄り添い、漠然とした将来の不安や悩みを一緒に考え、親なきあとも安心して暮らすことができる地域での見守り体制を構築します。</p>	<p>令和4年度は、各区における制度趣旨の周知を目的に18区で、広報誌を年1回以上発行しました。また、あんしんキーパーの開拓を目的に、制度に登録した本人や地域住民らが集まる場である「つどう会」を14区で開催しました。</p>	<p>各区支援室で、地域ケアプラザ等と連携し、あんしんキーパーの開拓・確保に向けた機会の設定が必要が必要です。</p>	<p>制度周知と地域づくりの推進のために、各区支援室で制度説明会やあんしんキーパー等を対象とした「つどう会」等を地域ケアプラザ等と連携して取り組みます。</p>

事業名 じぎょうめい	事業内容 じぎょうないよう	これまでの実績 じっせき (令和5年3月末) れいわ ねん がつまつ	課題 かだい	新たな3年間 あら ねんかん の方向性 ほうこうせい
消費者 しょうひしゃ 教育事業 きょういくじぎょう あ	障害者、家族及び しょうがいしゃ かぞくおよ 支援者が、商品・サ しえんしゃ しょうひん ービスの利用及び契約 りようおよ けいやく に関わるトラブル等を かか とう 学ぶことにより、安心 まな あんしん した日常生活を送れ にちじょうせいかつ おく るよう、意識啓発を いしきけいはつ はか 図ります。	事業の継続性や学校側の負担も踏 じぎょう けいぞくせい がっこうがわ ふたん ふ まえ、継続できる形での意識啓発 けいはつ けいぞく かたち いしきけいはつ の方法を庁内で検討しました。 ほうほう ちょうない けんとう	障害のある幼児児童生徒の意識 しょうがい ようじじどうせいと いしき 啓発のため、分かりやすい啓発物 けいはつ わ けいはつぶつ の作成や配布なども含めた方法の さくせい はいふ ふく ほうほう 検討が必要です。 けんとう ひつよう	障害者、家族及び支援者への意識 しょうがいしゃ かぞくおよ しえんしゃ いしき 啓発が着実に図れるよう、事業の けいはつ ちやくじつ はか じぎょう 実施手法を含めた見直し・検討を じっししゆほう ふく みなお けんとう 行い、継続的かつ安定的な事業 おこな けいぞくてき あんていてき じぎょう 展開を目指します。 てんかい めざ

指標名 しひょうめい	令和3年度 れいわ ねんど	令和4年度 れいわ ねんど	令和5年度 れいわ ねんど	令和6年度 れいわ ねんど	令和7年度 れいわ ねんど	令和8年度 れいわ ねんど
自立生活援助 福 じりつせいかつえんじょ	80人分 にんぶん 実績70人分 じっせき にんぶん	100人分 にんぶん 実績82人分 じっせき にんぶん	120人分 にんぶん	120人 にん	120人 にん	120人 にん
自立生活アシスタント あ	690人分 にんぶん 実績766人分 じっせき にんぶん	690人分 にんぶん 実績774人分 じっせき にんぶん	690人分 にんぶん	800人 にん	800人 にん	800人 にん

1-3 いどうしえん 移動支援

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>これまでの実績 （令和5年3月末）</p>	<p>かだい 課題</p>	<p>あらねんかん 新たな3年間 の方向性</p>
<p>いどうじょうほう 移動情報 センター 運営等 事業の 推進 ㉞</p>	<p>いどうしえん かん じょうほう 移動支援に関する情報 しゅうやく ひとり を集約し、一人ひとり にあつた適切な情報を ていきょう 提供することや、移動 しえん ささ じんざい 支援を支える人材の はくつ いくせい おこな いどう 発掘・育成を行う移動 じょうほう 情報センターを全区に せっち しな いちいき 設置し、市内のどの地域 でもいどうしえん しく 移動支援の仕組み こうかてき りよう を効果的に利用できる ようにします。</p>	<p>へいせい ねんどうそうだんけんすう けん H 29年度相談件数：2,686件 へいせい ねんどうそうだんけんすう けん H 30年度相談件数：2,966件 れいわがねんどうそうだんけんすう けん R 元年度相談件数：3,058件 れいわ ねんどうそうだんけんすう けん R 2年度相談件数：2,168件 れいわ ねんどうそうだんけんすう けん R 3年度相談件数：2,223件 れいわ ねんどうそうだんけんすう けん R 4年度相談件数：2,172件</p>	<p>そうだん きぼう しみん 相談を希望する市民がもれなく いどう かん そうだん てき 移動に関する相談ができるよう さら いどうじょうほう しゅうち 更なる移動情報センターの周知 をばか ひつよう を図っていく必要があります。</p>	<p>そうだん きぼう しみん 相談を希望する市民が、もれなく いどう かんれん そうだん てき 移動に関連する相談ができるよ うしゅうち じぎょう すいしん う周知し、事業を推進します。</p>
<p>ガイドヘルパー等 研修 受講料助 成 【再掲】 ㉞</p>	<p>ガイドヘルパー等の 資格取得のための研修 受講料の一部を助成 し、人材確保を図りま す。</p>	<p>【令和3・4年度累計】 総助成人数：229人 総助成額：4,516,000円 【内訳：全身性ガイドヘルパー26 件、知的ガイドヘルパー67件、 同行援護（一般課程）89件、行動 援護53件】</p>	<p>受講料助成事業があることを知 らず、研修の受講や受講後の 助成申請につながっていない 課題があります。</p>	<p>受講料助成事業の効果的な周知 に今後もより一層取り組むと もに、申請方法の工夫を図ること で、助成人数の増加と人材確保を 推進します。</p>

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	課題 <small>かだい</small>	新たな3年間 <small>あら ねんかん</small> <small>ほうこうせい</small> の方向性
ガイドヘルパー スキルアップ研修 【再掲】 (あ)	より質の高いサービス <small>しつ たか</small> が提供できるよう、 <small>ていきよう</small> 移動支援事業の従 <small>いどうしえんじぎょう じゆう</small> 業者を対象に研修を <small>ぎようしゃ たいしやう けんしゆう</small> 実施します。 <small>じっし</small>	【受講者数】 <small>れいわ ねんど ちゆうし</small> 令和3年度：中止 <small>れいわ ねんど るいけい</small> 令和4年度：(累計) <small>じゆうじしゃむ にん</small> 従事者向け…62人 <small>ていきようせきにんしゃむ</small> サービス提供責任者向け…51人 <small>にん</small> 令和5年度：9月、1月に実施 <small>よてい</small> 予定	<small>じゆうこうしゃ かんしん たか けんしゆう</small> 受講者の関心の高い研修テーマ・講師の選定が必要です。 <small>こうし せんてい ひつよう</small>	<small>ひ つづ じゆうじしゃおよ</small> 引き続き従事者及びサービス提供責任者向けの研修を実施し、ヘルパーのスキルアップを図ります。 <small>ていきようせきにんしゃむ けんしゆう じっし</small> <small>はか</small>
難病患者 外出支援 サービス 事業 <small>なんびやう かんじゃ</small> <small>がいしゆつ しえん</small> <small>じぎよう</small>	<small>いっばん こうつうきかん りやう</small> 一般の交通機関を利用した外出に困難を伴う、車いす等を利用する難病患者に福祉車両による送迎サービスを提供します。 <small>がいしゆつ こんなん ともな くるま とう りやう</small> <small>なんびやうかんじゃ ふくし</small> <small>しゃりやう そうげい</small> <small>ていきよう</small>	<small>しんがた かんせんしやう えいきやう</small> 新型コロナウイルスの影響による外出自粛や、高齢者施策や障害者施策等の外出支援サービスの活用により、本事業の利用登録者数は減少しています。 <small>りやうとうろくしゃすう げんしやう</small> ●利用登録者数：令和3年度(50人) 令和4年度(37人) <small>にん れいわ ねんど にん</small>	<small>うんでん こうれいか</small> 運転ボランティアの高齢化や人材不足等によりボランティアによる事業実施継続が困難になっています。 <small>じんざいぶそくとう がいしゆつしえん ていきよう すいしん</small> <small>じぎようじっしけいぞく こんなん</small>	<small>なんびやうかんじゃ じやうきやう おう</small> 難病患者の状況に応じた外出支援の提供を推進します。 <small>がいしゆつしえん ていきよう すいしん</small>

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	課題 <small>かだい</small>	新たな3年間 <small>あら ねんかん</small> <small>ほうこうせい</small> の方向性
在宅 <small>ざいたく</small> 重症 <small>じゅうしゅう</small> 患者 外出 <small>かんじゃ がいしゅつ</small> 支援事業 <small>しえんじぎょう</small>	車 <small>くるま</small> による移動 <small>いどう</small> が 困難 <small>こんなん</small> でストレッチャー 対応車 <small>たいおうしゃ</small> を使用せざるを 得 <small>え</small> ない難病患者 <small>なんびょうかんじゃ</small> が、 通院等 <small>つういんとう</small> の際 <small>さい</small> 、所定 <small>しよてい</small> の 患者等搬送用自動車 <small>かんじゃどうはんそうようじどうしゃ</small> を 利用 <small>りよう</small> した場合 <small>ばあい</small> に、その 移送費 <small>いそうひ</small> の一部 <small>いちぶ</small> を助成 <small>じょせい</small> し ます。	新型コロナウイルス感染症 <small>しんがた かんせんしやうまん</small> 蔓延 <small>まん</small> 延時 <small>えんじ</small> でも需要 <small>じゅうよう</small> があり、延利用 <small>のべりよう</small> 回数 <small>かいすう</small> ・利用者延人数 <small>りようしゃのべにんずう</small> とも増加 <small>ぞうか</small> し ました。 ●延利用回数 <small>のべりようかいすう</small> ：令和3年度 <small>れいわ ねんど</small> （443 回）令和4年度 <small>れいわ ねんど</small> （491回） ●利用者延人数 <small>りようしゃのべにんずう</small> ：令和3年度 <small>れいわ ねんど</small> （174 人）令和4年度 <small>れいわ ねんど</small> （206人） 民間救急事業者 <small>みんかんきゅうききゅうじぎょうしゃ</small> は、令和5年3 月時点 <small>がつじてん</small> で73事業者 <small>じぎょうしゃ</small> が認定 <small>にんてい</small> されて います。	適正利用 <small>てきせいりよう</small> ができるよう、難病 <small>なんびょう</small> 患者 <small>かんじゃ</small> や民間救急事業者 <small>みんかんきゅうききゅうじぎょうしゃ</small> に事業 説明 <small>せつめい</small> ・周知 <small>しゅうち</small> を実施 <small>じっし</small> していく必要 <small>ひつよう</small> が あります。	重症 <small>じゅうしゅう</small> な難病患者 <small>なんびょうかんじゃ</small> が、必要な時 <small>ひつよう とき</small> に適正 <small>てきせい</small> に利用 <small>りよう</small> できるような事業 <small>じぎょう</small> を 推進 <small>すいしん</small> します。
福祉有償 <small>ふくしゆうしやう</small> 移動サー <small>いどう</small> ビス事業 <small>じぎょう</small>	移動 <small>いどう</small> に介助 <small>かいじょ</small> が必要 <small>ひつよう</small> な 身体障害者等 <small>しんたいしやうがいしやとう</small> を対象 <small>たいしやう</small> に、登録 <small>とうろく</small> されたNPO <small>えぬびーおー</small> 法人等 <small>ほうじんとう</small> による、自家用 <small>じかよう</small> 自動車 <small>じどうしゃ</small> を利用 <small>りよう</small> した移動 <small>いどう</small> サービスを促進 <small>そくしん</small> します。	福祉有償運送 <small>ふくしゆうしやうらんそう</small> （有償 <small>ゆうしやう</small> のボランテ <small>ゆそう</small> ィア輸送サービス）について、 登録 <small>とうろく</small> に先立ち必要 <small>さきだ</small> とされる事前 <small>ひつよう</small> <small>じぜん</small> 協議 <small>きぎょうぎ</small> を行う運営協議会 <small>おこな うんえいきぎょうかい</small> を年3 <small>ねん</small> 回 <small>かいうんえい</small> 運営 <small>えい</small> しました。	事業団体 <small>じぎょうだんたい</small> における輸送サービス <small>ゆそう</small> の担い手 <small>にな て</small> が高齢化 <small>こうれいか</small> していること や、ボランティア意識 <small>いしき</small> が高 <small>たか</small> い一方 <small>いっぽう</small> で、安全輸送 <small>あんぜんゆそう</small> の観点 <small>かんてん</small> からタクシー 事業者 <small>じぎょうしゃ</small> と同等 <small>どうとう</small> の運行管理体制 <small>うんこうかんりたいせい</small> が 求められていたため、道路運送法 <small>どうろうんそうほう</small> 等法令 <small>とうほうれい</small> に対する意識 <small>いしき</small> の醸成 <small>じょうせい</small> が 必要 <small>ひつよう</small> です。	事業団体 <small>じぎょうだんたい</small> への訪問等 <small>ほうもんとう</small> にあわせて、 制度説明等 <small>せいどせつめいとう</small> を行うこと <small>おこな</small> で、制度 <small>せいど</small> に対する理解 <small>たい りかい</small> が深まるようサポ <small>ふか</small> ートしていきます。

事業名	事業内容	これまでの実績 (令和5年3月末)	課題	新たな3年間の方向性
重度障害者等への移動支援事業の拡充 (新)	公共交通機関での外出が困難な重度障害者等に対して、移動支援事業の拡充を図ります。	令和3年10月から重度障害者福祉タクシー利用券の対象者を拡大するとともに、障害者自動車燃料券制度を新設しました。 【燃料券】 令和3年度：10,236冊 令和4年：10,724冊	市民の利便性を高めるために、給油所を表示したデジタルマップを作成するなどの取組を進めます。	引き続き、利用しやすい移動支援施策となるよう事業を推進します。

指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
移動支援事業 (移動介護・通学通所支援) (福)	781,554時間分 実績580,689時間分	797,185時間分 実績620,937時間分	813,128時間分	663,719時間分	685,622時間分	708,248時間分
	6,479人分 実績5,187人分	6,673人分 実績5,583人分	6,873人分	5,963人分	6,213人分	6,474人分

1-4 まちづくり

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>これまでの実績 (令和5年3月末)</p>	<p>かだい 課題</p>	<p>あらねんかん 新たな3年間 ほうこうせい の方向性</p>
<p>ふくし 福祉のまち づくり推進 じぎょう 事業</p>	<p>よこはま かか すべ ひと 「横浜に関わる全ての人 たが そんちよう たす あ お互いを尊重し、助け合 ひと やさ う、人の優しさにあふれた まちづくり」を実現するた め、ハードとソフト (かんきょうせいび ふくしきょういく 環境整備や福祉教育な ど)を一体的に取り組み、 ふくし 福祉のまちづくりを推進し ます。</p>	<p>こむ かいていばん 子ども向けリーフレット改訂版 けんとう すす の検討を進めました。 しよくいんとう たいしやう けんしゅう 職員等を対象とした研修の かいさい 開催などにより、福祉のまちづ くりを推進しました。 ふくし じょうれい もと 福祉のまちづくり条例に基づ く事前協議や設計相談等に適切 たいおう に対応しました。</p>	<p>かいてい よてい こどもむ 改訂する予定の子供向けリーフ レットを授業などで活用して もらえるよう、はいふ じ き けんとう 配布時期を検討 する必要があります。 ふくし すいしんししん 福祉のまちづくり推進指針を しみん いっそうはばひろ びーあーる 市民に一層幅広く、P R する ひつよう 必要があります。</p>	<p>かいてい こむ 改訂された子ども向けリーフレ ットを、そうごうがくしゅうとうとお けいはつ 総合学習等通して啓発 を図ります。 だい き よこはましちいきふくしほけん 第5期 横浜市地域福祉保健 けいかく とお しみん しゅうち 計画を通した市民への周知を おこな 行います。</p>
<p>こうきょうこうつう 公共交通 きかん 機関のバリ アフリー化</p>	<p>だれ いどう かんきょう 誰もが移動しやすい環境 せいび いっかん てつどう 整備の一環として、鉄道 えきしや とう 駅舎へのエレベーター等の せっちおよ 設置及びノンステップバス どうにゆうそくしん はか の導入促進を図ります。</p>	<p>じぎょうしや ぐたいてき こうじ じ き 事業者から具体的な工事時期 じょうほう てきじ しゅうしゅう などの情報を適時、収集して います。 くに もくひょうち したまわ どうにゆうりつ 国の目標値を下回る導入率と なっているバス事業者に補助 じっし を実施しました。</p>	<p>せっちほじよじぎょう エレベーター設置補助事業は ぐたいてき しんせい じ き てつどうじ 具体的な申請時期などに鉄道事 ぎょうしや ちやうせい おこな ひつよう 業者と調整を行う必要があ ります。 どうにゆうほじよ ノンステップバス導入補助 じぎょう もくひょうどうにゆうりつ したまわ 事業は、目標導入率を下回っ ているバス事業者への働きか けが必要です。</p>	<p>せっちじぎょう エレベーター設置事業について は、じぎょうしや けんせい 事業者からの申請があり しだい ほじよ おこな 次第、補助を行います。 どうにゆう ノンステップバスの導入につ いては、じぎょうしや バス事業者がコロナ かまえ すいじゆん ほじよしんせい いこう 禍前の水準で補助申請の意向 しめ を示しているため、引き続き、 ひつよう よさん かくほ 必要な予算を確保していきま す。</p>

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	課題 <small>かだい</small>	新たな3年間 <small>あら ねんかん</small> <small>ほうこうせい</small> の方向性
バリアフリーの推進 ・バリアフリー基本構想の検討・作成	バリアフリー法に基づき、駅周辺の重点的かつ一体的なバリアフリー整備を推進するため、区ごとにバリアフリー基本構想を作成します。 ・策定済み地区の見直しや、未策定地区の新規作成等	磯子区、中区、羽沢横浜国大駅周辺地区、踊場駅周辺地区でバリアフリー基本構想を策定しました。	未だ未策定の駅が多く残っており、策定まで時間を要します。 市内駅数 162駅 (策定済駅 55駅)	引き続き未策定の鉄道駅周辺でのバリアフリー基本構想の作成を進めます。
・バリアフリー歩行空間の整備	駅周辺のバリアフリー化を推進するため、バリアフリー基本構想に基づき、道路のバリアフリー化を、引き続き、進めます。	十日市場駅周辺地区等にてE V の設置や歩道整備、歩道勾配改修等の実施(令和3年度～令和4年度)	他事業と事業区間が重複する経路においては、事業者間との調整が必要である。	引き続き、バリアフリー基本構想が策定された各地区において、道路特定事業計画の策定を進め、バリアフリー整備を推進していきます。

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	課題 <small>かだい</small>	新たな3年間 <small>あら ねんかん</small> <small>ほうこうせい</small> の方向性
横浜市 公共サイン ンガイドラ インの運用 推進 <small>よこはまし こうきょう うんよう すいしん</small>	公的機関により設置される 歩行者用案内・誘導サイン の規格や表示内容等の統一 を図るためのガイドライン の運用を推進します。 また、公共サインの掲載 基準等について必要に応じて 見直しを検討し、より歩 行者に分かりやすいサイン 整備を進めていきます。 <small>こうてきかん せっち ほ こうしゃようあんない ゆうどう きかく ひょうじないようとう どういつ ほか うんよう すいしん こうきょう けいさい きじゅんとう ひつよう おう みなお けんどう ほ こうしゃ わ せいび すず</small>	ガイドラインの運用を適切に 行いました。 <small>うんよう てきせつ おこな</small>	公共サインの掲載基準等につ いて必要に応じて見直しを検討 する必要があります。 <small>こうきょう けいさいきじゅんとう ひつよう おう みなお けんどう ひつよう</small>	ガイドラインの運用を推進する とともに、公共サインの掲載 基準等について必要に応じて 見直しを検討し、より歩行者に わかりやすいサイン整備を誘導 していきます。 <small>うんよう すいしん こうきょう けいさい きじゅんとう ひつよう おう みなお けんどう ほ こうしゃ せいび ゆうどう</small>
エレベータ 一設置事業 <small>エレベータ せっちじぎょう</small>	エレベーターの整備など、 学校施設のバリアフリー化 を進め、障害児が学びやす い環境を整備します。 <small>せいび がっこうせつ か すす しょうがいじ まな かんきょう せいび</small>	令和3年度：11校 令和4年度：9校 令和5年度：24校 <small>れいわ ねんど こう れいわ ねんど こう れいわ ねんど こう</small>	入札不調等による履行期限の 厳守が課題となります。 <small>にゅうさつふちょうとう りこうきげん げんしゅ かだい</small>	全校整備を早期に実現させま す。 <small>ぜんこうせいび そうき じつげん</small>

2-1 健康・医療

(1) 障害者の健康づくりの推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	これまでの実績 (令和5年3月末)	かだい 課題	あらねんかん 新たな3年間 の方向性
しょうがいしゃ 障害者へ のスポー ツを通じ た健康・ 体力作り 支援	しょうがいとくせい りかい 障害特性を理解した しょうがいしゃ ぶんか 障害者スポーツ文化セ ンターのスタッフ等 が、しょうがいしゃ たいりよく が、障害者が体力づ くりや余暇活動を身近 な場所で行えるよう、 ちいき じんざいいくせい ふく 地域の人材育成も含め た環境整備を進めま す。	ちいき さまざま だんたいどう しょうがいりかい 地域の様々な団体等へ障害理解 やしょうがいしゃ ふきゅうけいはつ 障害者スポーツの普及啓発の ため、よこはまし きょうかい 横浜市スポーツ協会との れんけい ふか しょうがい ひと 連携を深め、障害のある人が みじか ばしょ とく 身近な場所でスポーツに取り組 める環境作りを行いました。	たいめん しどう しせつ らいほうどう 対面での指導や施設への来訪等 の調整が難しい状況にあり ます。	しょうがいとくせい りかい しょうがいしゃ 障害特性を理解した障害者ス ーツ文化センターのスタッフ 等が、しょうがいしゃ たいりよくづくり が、障害者が体力づくりや よ かつどう みぢか ばしょ おこな 余暇活動を身近な場所で行える よう、ちいき じんざいいくせい ふく 地域の人材育成も含めた かんきょうせいび すず 環境整備を進めます。

<p>さいけい 【再掲】 しょうがいふくし 障害福祉 しせつしよくいん 施設職員 どう 等への しえん 支援 新</p>	<p>しょうがいしゃ きゅーおーえる 障害者のQOLの こうじょう めざ 向上を目指して、 しょうがいとくせい 障害特性やライフステ ージに応じた障害の じゅうどか かんわ せいかつ 重度化の緩和、生活 しゅうかんびょう よぼうどう 習慣病の予防等の ふきゅうけいはつ ほか 普及啓発を図るため、 しょうがいふくしせつ 障害福祉施設における えいせいかんり えいようかんり 衛生管理、栄養管理に かん けんしゅう れんらくかいどう 関する研修、連絡会等 じっし を実施します。</p>	<p>しょうがいふくしせつ しよくいん たいしょう 障害福祉施設の職員を対象と した しょくひんえいせいこうしゅうかい せつしよく 食品衛生講習会や摂食 えんげけんしゅう どうがはいしん じっし 嚥下研修(動画配信)を実施しま した。</p>	<p>いー どうがはいしん eラーニングや動画配信など こうかてき じっししゅほう かくりつ かだい 効果的な実施手法の確立が課題 です。</p>	<p>しょうがいふくしせつ しよくいん たいしょう 障害福祉施設の職員を対象と した えいせいかんり えいようかんり かんれん 衛生管理、栄養管理に関連す る けんしゅう れんらくかいどう じっし 研修、連絡会等を実施します。</p>
---	--	---	---	---

(2) 医療環境の充実

<p>事業名</p>	<p>事業内容</p>	<p>これまでの実績 (令和5年3月末)</p>	<p>課題</p>	<p>新たな3年間 の方向性</p>
<p>難病患者 一時入院 事業</p>	<p>医療依存度の高い難病患者が介助者の事情により、在宅で介助を受けることが困難になった場合、一時的に入院できるようにします。</p>	<p>令和3年度は、感染症の影響により一時受け入れを停止したため延利用日数、延利用者人数ともに減少しました。令和4年度も感染症の影響はありましたが、前年度と比較し延利用日数、延利用者人数ともに増加しました。また、市全域での当該事業の利用を推進するため、令和4年度から聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院、令和5年度から昭和大学横浜市北部病院と新たに委託契約をしました。</p> <p>●延利用日数：令和3年度(362日) 令和4年度(460日)</p> <p>●延利用者人数：令和3年度(47人) 令和4年度(61人)</p>	<p>新たに2医療機関との委託契約を行っており、市内利用者の動向を追っていく必要があります。</p>	<p>対象医療機関数の増により、利用機会を拡大し、必要な時に利用できるよう事業を推進します。</p>

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	課題 <small>かだい</small>	新たな3年間 <small>あら ねんかん</small> <small>ほうこうせい</small> の方向性
歯科保健 <small>しかほけん</small> 医療推進 <small>いりょうすいしん</small> 事業 <small>じぎょう</small> (心身 <small>しんしん</small> 障害児・ <small>しょうがいじ</small> 者歯科 <small>しゃしか</small> 診療) <small>しんりょう</small>	通常の歯科診療では <small>つうじょう しかしんりょう</small> 対応が困難な心身 <small>たいおう こんなん しんしん</small> 障害児・者に対する <small>しょうがいじ しゃ たい</small> 歯科治療の確保を引き <small>しかちりょう かくほ ひ</small> 続き図ります。 <small>つづ はか</small>	歯科保健医療センターにおける <small>しかほけんいりょう</small> 心身障害児・者歯科診療者数 <small>しんしんしょうがいじ しゃしかしんりょうしゃすう</small> (人) <small>れいわ ねんど</small> 令和3年度：9,677 <small>れいわ ねんど</small> 令和4年度：9,388 <small>しんしん しょうがいじしゃ しか しんりょう きょうりよく</small> 心身障害児者歯科診療協力 <small>いりょうきかんにんていけんしゅうじゅこうしゃすう にん</small> 医療機関認定研修受講者数(人) <small>れいわ ねんど</small> 令和3年度：74 <small>れいわ ねんど</small> 令和4年度：23	心身障害児者歯科診療協力 <small>しんしん しょうがいじしゃ しか しんりょう きょうりよく</small> 医療機関の減少 <small>いりょうきかん げんしょう</small> <small>しんしん しょうがいじしゃ しか しんりょう きょうりよく</small> 心身障害児者歯科診療協力 <small>いりょうきかんすう</small> 医療機関数 <small>れいわ ねんど</small> 令和3年度：206 <small>れいわ ねんど</small> 令和4年度：115	引き続き歯科保健医療センター <small>ひ つづ しかほけんいりょう</small> への補助、障害児・者歯科診療 <small>ほじょ しょうがいじ しゃしかしんりょう</small> 協力医療機関向けの研修の <small>きょうりよくいりょうきかんむ けんしゅう</small> 補助を行い、障害児・者歯科 <small>ほじょ おこな しょうがいじ しゃしか</small> 診療を支援していきます。 <small>しんりょう しえん</small>

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわねんがつまつ</small> (令和5年3月末)	課題 <small>かだい</small>	新たな3年間 <small>あらねんかん</small> <small>ほうこうせい</small> の方向性
【再掲】 メディカ ルショー トステイ 事業 ㊟	医療的ケアが必要な <small>いりようてき ひつよう</small> 重症心身障害児・者 <small>じゅうしょうしんしんしょうがいじ しゃ</small> 等を在宅で介護する <small>とう ざいたく かいご</small> 家族の負担軽減と在宅 <small>かぞく ふたんけいげん ざいたく</small> 生活の安定を目的とし <small>せいかつ あんてい もくてき</small> て、一時的に在宅生活 <small>いちじてき ざいたくせいかつ</small> が困難となった場合な <small>こんなん ばあい</small> どに、病院での受け入 <small>びょういん う い</small> れを実施します。 <small>れ じっし</small>	協力医療機関の医療スタッフ <small>きょうりょくいりようきかん いりよう</small> との合同会議を実施したほか、 <small>ごうどうかいぎ じっし</small> 新型コロナウイルス感染症の <small>しんがた かんせんしょう</small> の濃厚接触者の受入にも迅速に <small>のうこうせつしよくしゃ うけいれ じんそく</small> 対応しました。 <small>たいおう</small> 利用日数(件数) <small>りようにつすう けんすう</small> 令和3年度 <small>れいわねんど</small> 749日(117件) <small>けん</small> 令和4年度 <small>れいわねんど</small> 502日(86件) <small>けん</small> 令和5年度 <small>れいわねんど</small> 1,234日 <small>けん</small> (176件)見込み <small>みこみ</small>	医ケア児・者等が18歳以上に移行 <small>い しゃどう せいじん いじょう いこう</small> しており、成人になった医療的ケ <small>せいじん いりようてき</small> ア児・者等を受け入れる協力 <small>しゃどう う い きょうりょく</small> 医療機関が少ないため、増やす <small>いりようきかん すく</small> 必要があります。 <small>ふ</small> <small>ひつよう</small>	引き続き事業を実施するととも <small>ひ つづ じぎょう じっし</small> に、協力医療機関との円滑な <small>きょうりょくいりようきかん えんかつ</small> 事業運営及び、受け入れ病院の <small>じぎょううんえいおよ う い びょういん</small> 拡大に努めます。 <small>かくだい つと</small>

事業名 <small>じぎょうめい</small> 事業名	事業内容 <small>じぎょうないよう</small> 事業内容	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	課題 <small>かだい</small> 課題	新たな3年間 <small>あら ねんかん</small> <small>ほうこうせい</small> の方向性
難病患者 <small>なんびょう かんじゃ</small> 難病患者 在宅療養 <small>ざいたくりょうよう</small> 在宅療養 計画策定・ <small>けいかくさくてい</small> 計画策定・ 評価事業 <small>ひょうかじぎょう</small> 評価事業	在宅難病患者に対し、 <small>ざいたくなんびょうかんじゃ たい</small> 在宅難病患者に対し、 保健・医療・福祉の各 <small>ほけん いりょう ふくし かく</small> 保健・医療・福祉の各 サービスを適切に提供 <small>サービス てきせつ ていきょう</small> サービスを適切に提供 するために、関係者が <small>かんけいしゃ</small> するために、関係者が 合同でサービス内容を <small>ごうどう</small> 合同でサービス内容を 検討します。 <small>けんとう</small> 検討します。	令和3年度は新型コロナウイルス感染症 <small>れいわ ねんど しんがた かんせんしょう</small> 令和3年度は新型コロナウイルス感染症 の影響により、対面による計画 <small>えいきょう たいめん けいかく</small> の影響により、対面による計画 の策定・評価事業の実施が困難な <small>さくてい ひょうかじぎょう じっし こんなん</small> の策定・評価事業の実施が困難な 状況でしたが、令和4年度は <small>じょうきょう</small> 状況でしたが、令和4年度は 難病患者の在宅療養生活を支 <small>なんびょうかんじゃ ざいたくりょうようせいかつ ささ</small> 難病患者の在宅療養生活を支 えるケアマネジャーの人材育成 <small>じんざいいくせい</small> えるケアマネジャーの人材育成 を目的に、在宅療養計画の策定・ <small>もくてき ざいたくりょうようけいかく さくてい</small> を目的に、在宅療養計画の策定・ 評価の事例検討を実施しました。 <small>ひょうか じれいけんとう じっし</small> 評価の事例検討を実施しました。	退院時の多職種連携や在宅療養 <small>たいいんじ たしよくしゆれんけい ざいたくりょうよう</small> 退院時の多職種連携や在宅療養 への移行支援が行われてきてい <small>いこうしえん おこな</small> への移行支援が行われてきてい ますが、中でも、支援者側への <small>なか</small> ますが、中でも、支援者側への 難病に関する知識がより求めら <small>なんびょう かん ちしき もと</small> 難病に関する知識がより求めら れています。	在宅難病患者が安定した療養 <small>ざいたくなんびょうかんじゃ あんてい りょうよう</small> 在宅難病患者が安定した療養 生活を送れるよう、引き続き在宅 <small>せいかつ おく ひ つづ ざいたく</small> 生活を送れるよう、引き続き在宅 生活を支える専門職の育成に取 <small>せいかつ ささ せんもんしよく いくせい と</small> 生活を支える専門職の育成に取 り組んでいきます。
医療機関 <small>いりょうきかん</small> 医療機関 連携事業 <small>れんけいじぎょう</small> 連携事業 (あ)	障害児・者が身近な <small>しょうがいじ しゃ みぢか</small> 障害児・者が身近な 地域で適切な医療が受 <small>ちいき てきせつ いりょう う</small> 地域で適切な医療が受 けられる環境づくりを <small>かんきょう</small> けられる環境づくりを 推進するため、障害 <small>すいしん しょうがい</small> 推進するため、障害 特性等を理解し適切な <small>とくせいとう りかい てきせつ</small> 特性等を理解し適切な 医療を提供できる医療 <small>いりょう ていきょう いりょう</small> 医療を提供できる医療 機関を増やします。 <small>きかん ふ</small> 機関を増やします。	知的障害者専門外来設置医療 <small>ちてきしょうがいしゃ せんもん がいらい せっち いりょう</small> 知的障害者専門外来設置医療 機関を5病院で実施しました。 <small>きかん びょういん じっし</small> 機関を5病院で実施しました。 <設置医療機関> <small>せっち いりょうきかん</small> <設置医療機関> ・横浜相原病院 <small>よこはまあいはらびょういん</small> ・横浜相原病院 ・紫雲会横浜病院 <small>しうんかいよこはまびょういん</small> ・紫雲会横浜病院 ・港北病院 <small>こうほくびょういん</small> ・港北病院 ・横浜カメラアホスピタル <small>よこはま</small> ・横浜カメラアホスピタル ・鶴見西井病院 <small>つるみにしいびょういん</small> ・鶴見西井病院 <病院数/受診患者数> <small>びょういんすう・じゆしんかんじゃすう</small> <病院数/受診患者数> 令和3年度：5病院/221人 <small>れいわ ねんど びょういん にん</small> 令和3年度：5病院/221人 令和4年度：5病院/214人 <small>れいわ ねんど びょういん にん</small> 令和4年度：5病院/214人	障害児・者が身近な地域で適切な <small>しょうがいじ しゃ みぢか ちいき てきせつ</small> 障害児・者が身近な地域で適切な 医療が受けられる環境づくりを <small>いりょう う かんきょう</small> 医療が受けられる環境づくりを 推進するため、知的障害者専門 <small>すいしん</small> 推進するため、知的障害者専門 外来設置医療機関を増やすこと <small>がいらいせっち いりょうきかん ふ</small> 外来設置医療機関を増やすこと が必要です。 <small>ひつよう</small> が必要です。	引き続き、知的障害者専門外来 <small>ひ つづ ちてきしょうがいしゃせんもんがいらい</small> 引き続き、知的障害者専門外来 設置医療機関を5病院で実施し <small>せっち いりょうきかん びょういん じっし</small> 設置医療機関を5病院で実施し ます。 <small>また、6病院目の設置を目指して</small> また、6病院目の設置を目指して 病院への働きかけを実施しま <small>びょういん はたら じっし</small> 病院への働きかけを実施しま す。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	かいだい 課題	あら ねんかん 新たな3年間 <small>ほうこうせい</small> の方向性
じゅうどしんけい 重度神経 なんびょうかんじゃ 難病患者 ざいたくしえん 在宅支援 システム <small>こうちく</small> の構築	はつびょう すうねん きゅうそく 発病から数年で急速 <small>しんこう しんけいなんびょう</small> に進行する神経難病 <small>かんじゃ たい ざいたくしえん</small> 患者に対する在宅支援 <small>せんもんいりよう</small> システムを、専門医療 <small>きかん ざいたく</small> 機関・在宅リハビリテ <small>とう ほけん</small> ーション等の保健・ <small>いりようかんけいしゃ しょうがいふくし</small> 医療関係者と障害福祉 <small>じぎょうとう</small> サービス事業等との <small>れんけい こうちく</small> 連携により、構築しま す。 <small>えーえるえすかんじゃ くわ</small> ・ALS患者に加え、 <small>きん しょう</small> 筋ジストロフィー症 <small>かんじゃ</small> 患者のライフステー <small>あ せいかつしょうがい</small> じに合わせた生活障 <small>しえん もくてき ざいたく</small> 害を目的に、在宅リ ハビリテーションを <small>かつよう なが こうちく</small> 活用する流れを構築し ます。	<small>れいわ ねんど ねんど えーえるえす</small> 令和3年度、4年度で、ALS <small>かんじゃの めい きん</small> 患者延べ301名、筋ジストロフ <small>しょうかんじゃの めい たい</small> ー症患者延べ116名に対し <small>ざいたく じぎょう</small> て、在宅リハビリテーション事業 <small>じっし しっかん しんこう</small> を実施し、疾患の進行やライフ <small>あ せいかつしょうがい</small> ステージに合わせた生活障 <small>かいぜん たい しえん おこな</small> 害に対する支援を行いまし た。	<small>じゅうどしんけいなんびょうしゃ</small> 重度神経難病者のライフステー <small>あ しえん いりよう</small> じに合わせた支援には、医療 <small>ほけん ふくし きょういくぶんや れんけい</small> 保健、福祉、教育分野の連携が <small>じゅうよう ざいたくしえん</small> 重要です。在宅支援システムの <small>こうちく いっそう ざいたく</small> 構築のために、より一層の在宅リ <small>じぎょう しゅうち</small> ハビリテーション事業の周知を <small>はか ひつよう</small> 図っていく必要があります。	<small>ざいたく じぎょう</small> 在宅リハビリテーション事業の <small>かつようすいしん しんない いりようきかん</small> 活用推進のため、市内の医療機関 <small>しんだんきかん い</small> (診断機関、かかりつけ医)や区 <small>ふくしほけん しえんしゃ れんらく</small> 福祉保健センター、支援者の連絡 <small>かいぎ たい ざいたく</small> 会議に対して在宅リハビリテ <small>じぎょう しゅうち</small> ーション事業を周知します。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	かいだい 課題	あら ねんかん 新たな3年間 <small>ほうこうせい</small> の方向性
ざいたく 在宅 りょうようじ 療養児の ちいきせいかつ 地域生活 を支える ネットワ ーク れんらくかい 連絡会	しょうがいじ しゃ いりよう 障害児・者の医療 (にゅういん ざいたく) にかか る医療関係者を中心 に、ふくし きょういくかんけいしゃ に、福祉・教育関係者 を対象として、ざいたく 支援に必要な情報交換 や人的交流を通じて、 しょうがいりかい そくしん 障害理解を促進しま す。	まいねんど かいれんらくかい かいさい 毎年度1回連絡会を開催してい ます。令和4年度は1回開催しま した。	たきかん たしよくしゆ あつ きかい い 多機関・多職種が集まる機会を生 かせたテーマ設定を検討する 必要があります。	しょうがいじ しゃ ざいたくしえん かんけいきかん 障害児・者の在宅支援の関係機関 と協議を重ね、支援の充実を図 ります。
じゅうしょう 重症 しんしん 心身 しょうがいじ 障害児・ しゃ ざいたく 者の在宅 せいかつ ささ 生活を支 えるため の支援 たいせい 体制の じゅうじつ 充実	じゅうしょうしんしんしょうがいじ しゃ 重症心身障害児・者 の在宅生活を支えるた めの医療体制をはじめ とする検討を行い、 しょうがいりかい そくしん 支援体制の充実を図り ます。	しょうほうもんかんご じゅうしょうしんしんしょう 小児訪問看護・重症心身障が い児者看護研修会の実施 ぜん にち じっしゅうふつかかん 全11日(うち実習2日間) ていじん めいちゅうよこはましざいじゅうしゃはんすう 定員 60名中横浜市在住者半数 ていど 程度	じっしゅう たか かか 実習のニーズが高いにも関わら ず、医ケア児を受入れている施設 が限られているため、希望数を絞 っているのが現状です。	ひ つづ じぎょう じっし 引き続き事業を実施するととも に、とくべつしえんがっこうちょうかい じっしゅう に、特別支援学校長会に実習の せつめい いらい おこな い じ 説明・依頼を行うなど医ケア児 の受入れ施設拡大に取り組み、研 修の充実を図ります。

事業名 <small>じぎょうめい</small> 事業名	事業内容 <small>じぎょうないよう</small> 事業内容	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	課題 <small>かだい</small> 課題	新たな3年間 <small>あら ねんかん</small> <small>ほうこうせい</small> の方向性
重度 <small>じゅうど</small> 障害者等 <small>しょうがいしゃどう</small> 入院時コ <small>にゅういんじ</small> ミュニケ <small>しえん</small> ーション <small>しえん</small> 支援 <small>じぎょう</small> 事業 (あ)	入院先医療機関の <small>にゅういんさきりょうきかん</small> 医師・看護師等との <small>いし かんごしどう</small> 意思疎通が十分に図れ <small>いしそつう じゅうぶん</small> ない障害児・者を対象 <small>しょうがいじ しゃ たいしょう</small> に、入院先にコミュニ <small>にゅういんさき</small> ケーション支援員を <small>しえんいん</small> 派遣します。 <small>はけん</small>	派遣件数 <small>はけんけんすう</small> R 3年度：2件 <small>れいわ ねんど けん</small> R 4年度：2件 <small>れいわ ねんど けん</small>	感染症対策により、外部支援者 <small>かんせんしょうたいさく</small> <small>がいぶしえんしゃ</small> の受入困難となっている医療 <small>うけいれこんなん</small> <small>いりょう</small> 機関が多く、件数が減少してい <small>きかん おお けんすう げんしょう</small> ます。	入院先医療機関の医師・看護師 <small>にゅういんさきりょうきかん いし かんごし</small> 等との意思疎通が図れるよう、引 <small>どう いしそつう ほか</small> き続きコミュニケーション <small>つづ</small> 支援員を派遣します。 <small>しえんいん はけん</small>
健康ノ <small>けんこう</small> ート <small>と</small>	障害児・者が自分の住 <small>しょうがいじ しゃ じぶん す</small> む地域の医療機関で受 <small>ちいき いりょうきかん じゅ</small> 診する際に活用できる <small>しん さい かつよう</small> 「健康ノート」につい <small>けんこう</small> て、入手しやすくなる <small>にゅうしゅ</small> よう検討し、より活用 <small>けんとう</small> できるようにします。 <small>かつよう</small>	窓口での配架や本市ウェブサイ <small>まどぐち はいか ほんし</small> トへの掲載を行い、誰でも活用 <small>けいさい おこな だれ かつよう</small> できるようにしました。また、 <small>でき</small> 関係団体等への周知を行いまし <small>かんけいだんたいどう しゅうち おこな</small> た。	活用状況の実態把握が必要で <small>かつようじょうきょう じったいはあく ひつよう</small> す。	窓口での配架や本市ウェブサイ <small>まどぐち はいか ほんし</small> トへの掲載をし、周知します。ま <small>けいさい しゅうち</small> た、活用状況を確認しながら、 <small>かつようじょうきょう かくにん</small> 普及につながる方法を引き続き <small>ふきゅう ほうほう ひ つづ</small> 検討します。 <small>けんとう</small>

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	課題 <small>かだい</small>	新たな3年間 <small>あら ねんかん</small> <small>ほうこうせい</small> の方向性
【再掲】 <small>さいけい</small> 医療 <small>いりよう</small> 従事者 <small>じゅうじしゃ</small> 研修事業 <small>けんしゅう</small> (あ)	疾病や障害のある小児 <small>しつぺい しょうがい しょうに</small> 及び重症心身 <small>およ じゅうしょうしんしん</small> 障害児・者の支援に <small>しょうがいじ しゃ しえん</small> 必要な知識・技術の <small>ひつよう ちしき ぎじゆつ</small> 向上を図り、障害 <small>こうじょう はか しょうがい</small> 特性を理解した医療 <small>とくせい りかい いりよう</small> 従事者を育成するため <small>じゅうじしゃ いくせい</small> の研修を実施します。 <small>けんしゅう じっし</small>	医療機関や福祉施設等に勤務す <small>いりようきかん ふくししせつとう きんむ</small> る看護師を対象に「小児訪問 <small>かんごし たいしょう しょうにほうもん</small> 看護・重症心身障害児者研修」 <small>かんご じゅうしょうしんしんしょうがいじしゃけんしゅう</small> を実施しました。 <small>じっし</small> <市内研修修了者数> <small>しな いけんしゅうしゅうりょうしやすう</small> 令和3年度：29人 <small>れいわ ねんど にん</small> 令和4年度：29人 <small>れいわ ねんど にん</small>	障害特性等を理解した医療 <small>しょうがいとくせいとう りかい いりよう</small> 従事者をさらに増やす必要があ <small>じゅうじしゃ いくせい ひつよう</small> ります。 <small>ふ</small>	障害特性等を理解した医療 <small>しょうがいとくせいとう りかい いりよう</small> 従事者を育成するため、引き続き <small>じゅうじしゃ いくせい ひ つづ</small> 「小児訪問看護・重症心身 <small>しょうにほうもんかんご じゅうしょうしんしん</small> 障害児者研修」を実施します。 <small>しょうがいじしゃけんしゅう じっし</small>
【再掲】 <small>さいけい</small> 障害福祉 <small>しょうがいふくし</small> 施設等で <small>しせつとう</small> 働く <small>はたら</small> 看護師の <small>かんごし</small> 支援 (あ)	障害福祉施設等で働 <small>しょうがいふくししせつとう はたら</small> く看護師の定着に向け <small>かんごし ていちゃく む</small> た支援を行うとともに <small>しえん おこな</small> に、確保の方策につい <small>かくほ ほうさく</small> て検討します。 <small>けんとう</small>	障害福祉施設で働く看護師向 <small>しょうがいふくししせつ はたら かんごしむ</small> けに、医師による口腔機能管理に <small>いし こうくうきのうかんり</small> ついての講義の動画配信や、 <small>こうぎ どうがはいしん</small> 各施設への訪問による技術的な <small>かくしせつ ほうもん ぎじゆつてき</small> 指導を行ってきました。 <small>しどう おこな</small>	障害者施設での医療的ケアのニ <small>しょうがいしゃしせつ いりようてき</small> ーズが高まる一方、看護師が医師 <small>たか いっぽう かんごし いし</small> からの指示等を十分受けられな <small>しじとう じゅうぶん</small> い状況に加え、少人数体制で <small>じょうきょう くわ しょうにんずうたいせい</small> 業務に従事している環境は変わ <small>ぎょうむ じゅうじ かんきょう か</small> っておらず、人材の確保と定着 <small>じんざい かくほ ていちゃく</small> が課題です。 <small>かだい</small>	引き続き医師等の専門職による <small>ひ つづ いしとう せんもんしよく</small> 巡回相談を継続しながら、アン <small>じゅんかいそうだん けいぞく</small> ケートやヒアリングを通じて <small>つう</small> 看護師等が安心して働き続ける <small>かんごしとう あんしん はたら つづ</small> ために必要とされる支援を把握 <small>ひつよう しえん はあく</small> します。また、合同研修を通じて <small>ごうどうけんしゅう つう</small> 施設間の連携を強化し、就労 <small>しせつかん れんけい きょうか しゅうろう</small> 定着と人材育成に取り組みま <small>ていちゃく じんざいいくせい と く</small> す。 <small>す。</small>

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	課題 <small>かだい</small>	新たな3年間 <small>あら ねんかん</small> <small>ほうこうせい</small> の方向性
精神科 <small>せいしんか</small> 救急 <small>きゅうきゅう</small> 医療対策 <small>いりょうたいさく</small> 事業 <small>じぎょう</small>	精神疾患の急激発症 <small>せいしんしっかん ききゅうげきはっしょう</small> や精神症状の悪化な <small>せいしんしょうじょう あっか</small> どで、早急に適切な <small>さっきゅう てきせつ</small> 精神科医療を必要とす <small>せいしんかいいりょう ひつよう</small> る場合に、精神保健 <small>ばあい せいしんほけん</small> 福祉法に基づく診察や <small>ふくしほう もと しんさつ</small> 病院の紹介を行うと <small>びょういん しょうかい おこな</small> ともに、必要な医療 <small>ひつよう いりょう</small> 施設を確保すること等 <small>しせつ かくほ どう</small> により、引き続き救 <small>ひ つづ きゅう</small> 急患者の円滑な医療及 <small>きゅうかんじゃ えんかつ いりょうおよ</small> び保護を図ります。 <small>ほ ご はか</small>	新型コロナウイルスの感染拡大 <small>しんがた かんせんかくだい</small> による精神科救急のベッドが <small>せいしんかきゅうきゅう</small> ひっ迫する中、病院から医療 <small>ばく なか びょういん いりょう</small> 現場の現状、必要な支援や不安 <small>げんば げんじょう ひつよう しえん ふあん</small> 等の聞き取りに努めました。ま <small>とう き と つと</small> た、令和3年度及び4年度は、新型 <small>れいわ ねんど ねんど しんがた</small> コロナウイルスの感染が疑われ <small>かんせん うたが</small> る救急患者の受入れをした <small>かんじゃ うけい</small> 精神科病院に対しての補助を <small>せいしんかびょういん たい ほじょ</small> 継続し、体制の維持に努めまし <small>けいぞく たいせい い じ つと</small> た。 <small>じ きゅうきゅうつうほうとうけんすう</small> 【3次救急通報等件数】 <small>れいわ ねんど けん</small> 令和3年度：888件 <small>れいわ ねんど けん</small> 令和4年度：759件 <small>じ きゅうきゅういそうさきびょういん しない</small> 【3次救急移送先病院の市内 <small>びょういん わりあい</small> 病院の割合】 <small>れいわ ねんど</small> 令和3年度：84.7% <small>れいわ ねんど</small> 令和4年度：87.1%	迅速な医療の提供に向け、3次 <small>じんそく いりょう ていきょう む じ</small> 救急と併せて2次救急での <small>きゅうきゅう あわ じきゅうきゅう</small> スムーズな受入れ体制の構築が <small>うけい たいせい こうちく</small> 課題です。特に平日の2次救急 <small>かだい とく へいじつ じきゅうきゅう</small> の受入れ体制が課題であり、区 <small>うけい たいせい かだい く</small> 福祉保健センター、医療機関との <small>ふくしほけん いりょうきかん</small> 連携を更に強化していく必要が <small>うけい さいら きょうか ひつよう</small> あります。	緊急な医療を必要とする患者 <small>きんきゅう いりょう ひつよう かんじゃ</small> が、迅速かつ適切な医療を受けら <small>じんそく てきせつ いりょう う</small> れるよう、地域における病院及 <small>ちいき びょういんおよ</small> び精神保健指定医との協力を <small>せいしんほけん してい い きょうりよく</small> 促進し、受入れ体制の充実を図 <small>そくしん うけい たいせい じゅうじつ はか</small> ることで、救急患者に対して <small>きゅうきゅうかんじゃ たい</small> 迅速に医療を提供します。3次 <small>じんそく いりょう ていきょう じ</small> 救急と併せて2次救急での <small>きゅうきゅう あわ じきゅうきゅう</small> スムーズな受入れ体制の構築に <small>うけい たいせい こうちく</small> 取り組めます。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	じっせき これまでの実績 れいわ ねん がつまつ (令和5年3月末)	かだい 課題	あら ねんかん 新たな3年間 ほうこうせい の方向性
せいしんしっかん 精神疾患 がっぺい を合併す る身体 きゅうきゅう 救急 かんじゃ きゅう 患者の救 急医療 たいせいせいび 体制整備 じぎょう 事業	せいしんしっかん がっぺい 精神疾患を合併する しんたいきゅうきゅうかんじゃ てきせつ 身体救急患者を適切 いりょうきかん えんかつ な医療機関へ円滑に はんそう 搬送できるよう、 きゅうきゅういりょうたいせい こうちく 救急医療体制を構築 します。	せいしんしっかん とくていしょうじょう ゆう 精神疾患のうち、特定症状を有 する身体救急患者の受入及び しよちそうだん いりょうきかん しない 処置相談ができる医療機関（市内 びょういん りんぱんたいせい へいじつ に3病院）による輪番体制を平日 ひるま やかんきゅうじつ 昼間だけでなく、夜間休日も うけい せいしんしっかん がっぺい 受入れることで、精神疾患を合併 からだきゅうきゅうかんじゃ うけいれたいせい する身体救急患者の受入体制 かくほ を確保しています。	ひょうたいこうか けんしょう ひつよう おう 費用対効果の検証と、必要に応 じた体制見直しの検討が必要で す。	とくていしょうじょうたいおうびょういん りんぱん 特定症状対応病院による輪番 たいせい かくほ ひつよう おう 体制の確保のほか、必要に応じて とくていしょうじょうたいおうびょういん たいせい 特定症状対応病院の体制につ いて見直しを行うことで、精神 しっかん がっぺい しんたいきゅうきゅういりょう 疾患を合併する身体救急医療 たい じゅうよう たいおう たいせい に対する、需要に対応できる体制 かくほ を確保します。

2-2 防災・減災

<p>事業名</p>	<p>事業内容</p>	<p>これまでの実績 (令和5年3月末)</p>	<p>課題</p>	<p>新たな3年間 の方向性</p>
<p>災害時 要援護者 支援事業</p>	<p>災害時に自力避難が 困難な要援護者の安否 確認や避難支援等の 活動が円滑に行われる よう、災害時要援護者 名簿や避難支援に必要 な情報を地域に提供 し、日頃からの地域に おける自主的な支え合 いの取組を支援しま す。</p>	<p>災害時要援護者支援の取組を 実施している自治会・町内会の 割合 令和3年度：95.6%</p>	<p>地域において顔の見える関係づ くりをより一層推進し、要援護者 の地域への防災訓練への参加を 促す等の具体的な取組実施につ いて支援していく必要があります。</p>	<p>地域の実状に応じた様々な災害 時要援護者支援の取組を支援し ます。</p>
<p>障害者・ 支援者による災害 時等の 障害理解 促進</p>	<p>セイフティーネットプロ ジェクト横浜（S-net 横浜）や関係機関等と 連携し、各区で実施さ れる地域防災拠点訓練 等で障害者理解を促進 します。</p>	<p>セイフティーネットプロジェク ト横浜（S-net横浜）等の障害 理解に係る普及・啓発活動（コミ ュニケーションボード等の普及 啓発、研修会、地域防災拠点での 当事者による講演等）を通じ、 障害理解の推進に取り組みまし た。</p>	<p>市内全ての地域防災拠点にコミ ュニケーションボードを配布し てから年月が経過しており、改 めて全体に周知を図っていく 必要があります。</p>	<p>コミュニケーションボードを、 地域防災拠点にの備蓄品リスト に掲載します。全拠点にコミュニ ケーションボードを再配布する とともに、各区地域防災拠点 連絡会で、出前講座の周知を行 い、災害時の障害理解普及啓発 の取組を継続します。</p>

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	課題 <small>かだい</small>	新たな3年間 <small>あら ねんかん</small> <small>ほうこうせい</small> の方向性
災害時等 <small>さいがい じ どう</small> の自助力 <small>じじりよく</small> 向上に向 <small>こうじょう む</small> けたツ <small>こうじょう</small> ールの作成 <small>さくせい</small> およ <small>およ</small> 及び <small>およ</small> 普及・ <small>ふきゅう</small> 啓発 <small>けいはつ</small> 新	風水害を含めた災害時 <small>ふうすいがい ふく さいがい じ</small> に備え、自助力の向上 <small>そな じじりよく こうじょう</small> のためのツールの <small>の</small> 検討・作成と、本市ウ <small>けんとう さくせい ほんし</small> ェブサイト等を活用し <small>どう かつよう</small> た普及・啓発を行って <small>ふきゅう けいはつ おこな</small> いきます。	令和4年度:避難行動計画「マイ・ <small>れいわ ねんど ひなんこうどうけいかく</small> タイムライン」を「障害福祉のあ <small>しょうがいふくし</small> んない」に掲載できるように <small>けいさい</small> 関係課と調整しました。 <small>かんけいか ちょうせい</small> ●5年度版に掲載予定です。 <small>ねんどばん けいさいよてい</small>	マイ・タイムライン以外の自助力 <small>いがい じじりよく</small> 向上ツールの検討が必要です。 <small>こうじょう けんとう ひつよう</small>	ひきつづき、市民に幅広く普及・ <small>ひ つづ しみん はばひろ ふきゅう</small> 啓発ができるよう自助力向上ツ <small>けいはつ じじりよくこうじょう</small> ールを本市ウェブサイト等にお <small>ほんし どう</small> いて活用していきます。 <small>かつよう</small>
災害時に <small>さいがい じ</small> おける <small>おける</small> 自助・ <small>じじょ</small> 共助の <small>きょうじょ</small> 情報 <small>じょうほう</small> 共有の <small>きょうゆう</small> 推進 <small>すいしん</small> 新	横浜市障害者施策 <small>よこはまししょうがいしゃしやく</small> 推進協議会や各団体の <small>すいしんきょうぎかい かくだんたい</small> 会議体にて、災害時に <small>かいぎたい さいがい じ</small> おける自助・共助につ <small>じじょ きょうじょ</small> いて情報共有を行いま <small>じょうほうきょうゆう おこな</small> ます。	令和4年度から、本市における <small>れいわ ねんど ほんし</small> 減災・防災の取組状況を報告 <small>げんさい ぼうさい とりくみじょうきょう ほうこく</small> し、いただいたご意見を集約し <small>い けん しゅうやく</small> 各所管課と共有しました。 <small>かくしよかんか きょうゆう</small>	推進協議会以外の各団体の <small>すいしんきょうぎかいがい かくだんたい</small> 会議体での情報共有を検討す <small>かいぎたい じょうほうきょうゆう けんとう</small> る必要があります。 <small>ひつよう</small>	横浜市障害者施策推進協議会 <small>よこはまししょうがいしゃしやく すいしんきょうぎかい</small> 等にて随時情報共有を行いま <small>とう すいしんきょうほうきょうゆう おこな</small> す。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	かだい 課題	あら ねんかん 新たな3年間 <small>ほうこうせい</small> の方向性
しょうがいしゅべつ 障害種別 おうきゅうびちく 応急備蓄 ぶっしれんけい 物資連携 じぎょう 事業	しょうがいとくせい おう おう 障害特性に応じた応 きゅうびちくぶっし 急備蓄物資について、 ひ つづ ほかん 引き続き保管できるよ う、普及・啓発を实施 します。	りようしゃすう ロッカー利用者数 れいわ ねんど 令和3年度：151名 れいわ ねんど 令和4年度：177名	ほちょうき でんち いがい ・補聴器の電池などストマ以外の ぶっぴんびちく ようび けんとう ひつよう 物品備蓄の要否を検討する必要 があります。	ようそうぐ ほかんじょうきょうとう ストーマ用器具の保管状況等 けんしょう せいび ふきゅう けいはつ ふく を検証し、整備や普及・啓発を含 め事業を継続します。
しょうがいふくし 障害福祉 サービス じぎょうしょうとう 事業所等 における サービス ていきょうとう 提供等 けいぞくしえん 継続支援 ⑧	しょうがいふくし 障害福祉サービス じぎょうしょうとう たい 事業所等に対して、 へいじょうじ かんせんしょう 平常時から、感染症 りゅうこう そな えいせいぶつ の流行に備え、衛生物 品等の備蓄、事業継続 けいかく さくてい ひつよう 計画の策定など必要な じゅんび ふきゅう 準備について、普及 けいはつ おこな 啓発を行います。ま た、緊急時にはサービ ていきょうとう けいぞく む ス提供等の継続に向け しえん おこな た支援を行います。	ぎょうおけいぞくけいかくさくてい む ・業務継続計画策定に向けた けんしゅう かいさい 研修を開催しました。 れいわ ねんどるいけいじっせき 【令和3・4年度累計実績】 ・サービス継続のためのかかり増 けいひ じよせい しょ し経費の助成：480か所 こうげんけんさ はいふ しな ・抗原検査キットの配付：市内 ぜんじぎょうしょ 全事業所	かくじぎょうたんとう じぎょうないよう 各事業担当において、事業内容に おう こま けいはつおよ 応じたきめ細やかな啓発及び しえん と く ひつよう 支援に取り組んでいく必要があ ります。	かくじぎょうたんとう けいはつ しどう 各事業担当による啓発や指導を すず 進めます。

3-1 療育

(1) 地域療育センターを中心とした支援の充実

事業名	事業内容	これまでの実績 (令和5年3月末)	課題	新たな3年間の方向性
<p>地域療育センター運営事業</p>	<p>障害がある、またはその疑いのある児童に、専門性の高い評価や支援計画に基づき、集団療育や保育所、幼稚園及び学校への巡回訪問、保護者支援等を行います。 また、区福祉保健センターの療育相談へのスタッフ派遣等を行います。</p>	<p>保育所等への巡回訪問実施回数 R 3:1,576回 R 4:集計中</p>	<p>障害児の受入を行う保育所等が年々増加し、それに伴い「巡回訪問」の希望も増加傾向にあります。しかし、現状では対応が十分に行えていない状況があります。</p>	<p>障害のある児童が通う保育所、幼稚園、小学校等に児童の特性に合わせた適切な支援方法の助言を行う「巡回訪問」をさらに拡充します。また、区福祉保健センターの療育相談への専門職スタッフ派遣等を行います。</p>

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
ほいくしょうほうもんしえん 保育所等訪問支援	600人 実績988人	650人 実績1,132人	700人	1,200人	1,300人	1,400人
じゅきゅうしゃすう つき の りょうにっすう (受給者数/月、延べ利用日数 /年) ㊦	4,800人日 実績6,887人日	5,200人日 実績9,869人日	5,600人日	12,500人日	15,800人日	20,000人日
じどうはったつしえん 児童発達支援 (地域療育センター実施分を 含む)	190か所 実績209か所	200か所 実績232か所	210か所	250か所	270か所	290か所
ちいきりょういく じっしぶん (事業所数/年、受給者数/月、 延べ利用日数/年) ㊦	3,800人 実績4,270人	4,000人 実績4,639人	4,000人	4,800人	5,000人	5,200人
じぎょうしやう ねん じゅきゅうしゃすう つき の りょうにっすう ねん 延べ利用日数/年) ㊦	297,000人日 実績350,856人日	314,900人日 実績319,684人日	327,500 人日	382,400人日	391,100人日	400,000人日
じどうはったつしえん おも 児童発達支援のうち、主に じゅうしょうしんしん 重症心身 しょうがいじ しえん じぎょうしや 障害児を支援する事業所 (地域療育センター実施分を 含む)	5か所 実績7か所	6か所 実績9か所	7か所	10か所	10か所	11か所
ちいきりょういく じっしぶん (事業所数/年、受給者数/月、 延べ利用日数/年) ㊦	25人 実績30人	30人 実績33人	35人	35人	37人	39人
じぎょうしやう ねん じゅきゅうしゃすう つき の りょうにっすう ねん 延べ利用日数/年) ㊦	1,500人日 実績3,079人日	1,800人日 実績4,507人日	2,100人日	6,000人日	8,000人日	10,000人日
いりょうがたじどうはったつしえん 医療型児童発達支援 (地域療育センター実施分を 含む)	9か所 実績9か所	9か所 実績9か所	9か所	9か所	9か所	9か所
ちいきりょういく じっしぶん (事業所数/年、受給者数/月、 延べ利用日数/年) ㊦	185人 実績168人	185人 実績162人	185人	185人	185人	185人
じぎょうしやう ねん じゅきゅうしゃすう つき の りょうにっすう ねん 延べ利用日数/年) ㊦	18,000人日 実績13,749人日	18,000人日 実績11,489人日	18,000人日	18,000人日	18,000人日	18,000人日

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
きょたくほうもんがたじどうはったつしえん 居宅訪問型児童発達支援 (じぎょうしよすう ねん じゅきゆうしやすう つき 事業所数/年、受給者数/月、 の りようにつすう ねん 延べ利用日数/年) ㊦	1か所 実績1か所	1か所 実績2か所	1か所	2か所	3か所	3か所
	30人 実績 16人	30人 実績 21人	30人	30人	30人	30人
	60人日 実績737人日	60人日 実績1,149人日	60人日	1,700人日	2,500人日	3,500人日

(2) 切れ目のない支援体制の充実

<p>事業名</p>	<p>事業内容</p>	<p>これまでの実績 (令和5年3月末)</p>	<p>課題</p>	<p>新たな3年間の方向性</p>
<p>地域 訓練会 運営費 助成事業</p>	<p>障害児の保護者等が 自主的に組織し、地域 で機能回復訓練や保育 を行う、地域訓練会の 運営費を助成します。</p>	<p>助成対象団体数 R 3:46団体 R 4:45団体</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の 影響等で活動を縮小している 団体をはじめとして、各活動への 参加促進が図られるような取組 を検討する必要があります。</p>	<p>横浜市社会福祉協議会を通じて 活動費の助成を行うとともに、 障害児地域訓練会への参加意義 を分かりやすく周知すること等 により、参加促進を図れるよう、 横浜市社会福祉協議会や区役所 等と協力しながら取組を進め ていきます。</p>
<p>ペアレン トトレー ニング 実施者の 養成 ⑧</p>	<p>子ども本人への支援と 合わせて重要である 保護者への支援とし て、主に障害児通所 支援事業所等におい て、職員に対しペアレ ントトレーニング 実施者養成研修を行 います。</p>	<p>令和3年度 4か所 令和4年度 6か所</p>	<p>研修受講事業所数を増やすた め、研修内容や広報を検討する 必要があります。</p>	<p>より多くの事業所に参加してい ただける手法を検討し、引き続き 事業を実施します</p>

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
しょうがいじそудん 障害児相談 じぎょうしよすう ねん じゆきゆうしやすう (事業所数 / 年、 受給者数 がくれい がつ (学齡) / 月、 じゆきゆうしやすう みしゅうがく ねん 受給者数 (未就学) / 年) ㊦	しよ 135か所 じっせき じよ 実績108か所	しよ 147か所 じっせき じよ 実績115か所	しよ 160か所	しよ 170か所	しよ 180か所	しよ 190か所
	がくれい にん 学齡 6,600人 じっせき にん 実績2,690人	がくれい にん 学齡 7,275人 じっせき にん 実績980人	がくれい にん 学齡 8,025人	がくれい にん 学齡 8,675人	がくれい にん 学齡 9,365人	がくれい にん 学齡 10,110人
	みしゅうがく にん 未就学 2,850人 じっせき にん 実績836人	みしゅうがく にん 未就学 3,000人 じっせき にん 実績2,599人	みしゅうがく にん 未就学 3,150人	みしゅうがく にん 未就学 3,275人	みしゅうがく にん 未就学 3,400人	みしゅうがく にん 未就学 3,535人
ペアレントトレーニング じっししやうせい 実施者養成 けんしゅう 研修 ㊦ ㊧ (事業所数/年)	しよ 15か所 じっせき じよ 実績4か所	しよ 30か所 じっせき じよ 実績6か所	しよ 30か所	しよ 30か所	しよ 30か所	しよ 30か所

(3) 学齢障害児に対する支援の充実

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>これまでの実績 (令和5年3月末)</p>	<p>かだい 課題</p>	<p>あらねんかん 新たな3年間 の方向性</p>
<p>がくれいこうき 学齢後期 しょうがいじ 障害児 しえんじぎょう 支援事業</p>	<p>がくれいこうき ちゅうがくせい 学齢後期（中学生・ こうこうせいねんだい 高校生年代）の発達 しょうがいじとう あんてい 障害児等が安定した せいじんき むか 成人期を迎えられるよ う、じどう かぞくとう 児童や家族等からの そうだん せんもんてき しどう 相談に専門的な指導、 じよげん おこな 助言を行います。 また、かんけいきかん れんけい また、関係機関と連携 し、はったつしょうがい きいん 発達障害に起因す るもんだい かいけつ む 問題の解決に向けた しえん おこな 支援を行います。</p>	<p>しよめ じぎょうしよかいせつ 4か所目の事業所開設をはじめ たいせいきょうか む がくしき とする体制強化に向けて、学識 けいけんしゃとう まじ かいぎとう 経験者等を交えた検討会議等を かいさい 開催しました。</p>	<p>がっこうとう かんけいきかん そうだん 学校等の関係機関からの相談 しえん ぞうか 支援ニーズが増加しつつありま す。</p>	<p>がっこうとう かんけいきかん しえんたいせい 学校等の関係機関への支援体制 きょうか を強化します。</p>

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
こ こそだ しえんとう ほういくしょ 子ども・子育て支援等(保育所、 ほうか ごじどうけんぜんいくせいじぎょうしよとう 放課後児童健全育成事業所等) における障害児の受入れ体制 の整備 ㊦	すいしん 推進	すいしん 推進	すいしん 推進	すいしん 推進	すいしん 推進	すいしん 推進
ほうかごとう 放課後等デイサービス事業 (事業所数/年、受給者数/月、 のりようにつうねん 延べ利用日数/年) ㊦	410か所 実績418か所	460か所 実績470か所	510か所	570か所	630か所	700か所
	8,800人 実績8,833人	9,700人 実績8,961人	10,700人	11,400人	12,600人	14,000人
	1,128,000人日 実績1,128,471人日	1,274,700人日 実績1,258,671人日	1,440,500人日	1,568,700人日	1,740,200人日	1,931,600人日
ほうかごとう 放課後等デイサービス事業の うち、主に重症心身障害児を 支援する事業所 (事業所数/年、受給者数/月、 のりようにつうねん 延べ利用日数/年) ㊦	22か所 実績20か所	23か所 実績24か所	24か所	25か所	26か所	27か所
	396人 実績341人	414人 実績371人	432人	460人	490人	520人
	31,680人日 実績25,049人日	33,120人日 実績27,756人日	34,560人日	37,630人日	40,970人日	44,610人日
ほうかごとう 放課後等デイサービス事業の うち、主に重症心身障害児を 支援する事業所の ある区の割合 ㊦(新) (/年)	100% 実績72%	100% 実績78%	100%	100%	100%	100%

<p>はったつしょうがいしゃしえん 発達障害者支援センターによ る相談 けんすう がくれいこうきしょうがいじしえん 件数 (学齢後期障害児支援 じぎょうぶん 事業分) の そうだんけんすう ねん (延べ相談件数/年) 福</p>	<p>6,000^{けん}件 じっせき けん 実績7,190件</p>	<p>6,000^{けん}件 じっせき けん 実績6,102件</p>	<p>7,200^{けん}件</p>	<p>8,000^{けん}件</p>	<p>8,500^{けん}件</p>	<p>9,000^{けん}件</p>
<p>はったつしょうがいしゃしえん およ 発達障害者支援センター及び はったつしょうがいしゃちいきしえん 発達障害者地域支援マネジャ がいぶきかん ちいきじゅうみん ーの外部機関や地域住民への けんしゅう けいはつ がくれいこうきしょうがいじ 研修、啓発 (学齢後期障害児 しえんじぎょうぶん けんすう ねん 支援事業分) (件数/年) 福</p>	<p>25^{けん}件 じっせき けん 実績13件</p>	<p>25^{けん}件 じっせき けん 実績9件</p>	<p>30^{けん}件</p>	<p>30^{けん}件</p>	<p>35^{けん}件</p>	<p>35^{けん}件</p>

3-2 教育

(1) 療育と教育の連携による切れ目のない支援

事業名	事業内容	これまでの実績 (令和5年3月末)	課題	新たな3年間 の方向性
よこはまがた 横浜型セ ンターの 機能の 充実	ちいきりょういく 地域療育センターや とくべつしえんがっこう つうきゅう 特別支援学校、通級 しどうきょうしつどう たんどうしや 指導教室等の担当者 が、しょう ちゅうがっこう 小・中学校や じどうせいと ほごしや 児童生徒、保護者から の相談に対応するな ど、とくべつ しえん ひつよう 特別な支援が必要 な児童生徒を支援しま す。	まいとし てききのう 毎年、センター的機能のパンフレ ットをまとめ、しりつがっこう しゅうち 市立学校に周知・ けいはつ はか 啓発を図りました。	とくべつしえんがっこう つうきゅうしどうきょうしつどう 特別支援学校、通級指導教室等 の担当者の専門性の向上に加 え、しょう ちゅうがっこう 小・中学校からの相談をは じめ、じどうせいと ほごしや 児童生徒・保護者からの 相談に対応するための連携の 充実が必要です。	しょう ちゅうがっこう 小・中学校のコーディネーター を組織化の中で、その専門性の 向上を図っていきます。また、 とくべつしえんがっこう がっこうしえんたんどうしや 特別支援学校の学校支援担当者 の連絡会を定期的に実施し、幅広 い相談や支援に対応します。
しゅうがく 就学 説明会	とくべつしえんきょういく きぼう 特別支援教育を希望す る幼児の就学に関する せつめいかい かいさい 説明会を開催します。	しゅうがくせつめい どうがおよ しりょう 就学説明の動画及び資料をホー ムページに掲載したうえで、 しゅうごうがた せつめいかい れいわ 集合型による説明会を令和3 ねんど かい しんがた 年度は0回(新型コロナウイルス かんせんしょう かんせんぼうし れいわ 感染症の感染防止のため)、令和 ねんど かいじっし れいわ ねんど 4年度は2回実施し、令和5年度 はいじっしやてい は1回実施予定です。	ほごしや じょうほう しゅうち ひつよう 保護者への情報の周知が必要で す。	ひ つづ どうがおよ しりょう 引き続き、動画及び資料のホーム ページへの掲載とあわせて しゅうごうがた せつめいかい じっし 集合型の説明会を実施するこ とで、さまざま ニーズに対応していき ます。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	かだい 課題	あら ねんかん 新たな3年間 <small>ほうこうせい</small> の方向性
しゅうがく 就学・ きょういくそつだん 教育相談 の体制 の強化	ひとり 一人ひとりの教育ニ ズを的確に把握し、 迅速で適正な就学・ 教育相談を行うため 関係機関が相互に 連携しながら、就学前 から卒業後までを見通 した相談体制の強化を 図ります。	しゅうがく きょういくそつだんけんすう れいわ 就学・教育相談件数は、令和3 年度は5,026件、令和4年度は 5,004件実施し、令和5年度は 5,000件程度の実施見込みです。	あんていでき そつだんたいせい こうちく そつだん 安定的な相談体制の構築と相談 の質の保持・向上が必要です。	ひ つづ ていねい こうりつてき そつだん 引き続き、丁寧かつ効率的に相談 を行うとともに、待期間の 短縮及び円滑な事業の推進を図 っていきます。
ほごしゃ 保護者 教室開催 事業	よこはましりつしょう 横浜市立小・ ちゅうがっこう とくべつしえんがっこう 中学校、特別支援学校 の保護者を対象とした 障害に対する正しい 知識の啓発を進めま す。	ほごしゃ きょうしつ れいわ ねんど 保護者教室は、令和3年度は1 回(約280人参加)、令和4年度は 6回(約1,200人参加)開催し、 令和5年度は7回(約1,400人 参加)開催予定です。	ほごしゃ 保護者ニーズをふまえたテーマ 設定が必要です。	ひ つづ じっし 引き続き、オンラインで実施する とともに、回数 <small>かいすう</small> の拡充 <small>かくじゅう</small> を図って いきます。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	これまでの実績 (令和5年3月末) <small>じっせき れいわ ねん がつまつ</small>	かだい 課題	あら ねんかん 新たな3年間 ほうこうせい の方向性
しりつ 私立 ようちえんとう 幼稚園等 とくべつしえん 特別支援 きょういくひ 教育費 ほじょじぎょう 補助事業	しりつようちえんとう ざいえん 私立幼稚園等に在園し ていしょうがいじ たい ている障害児に対する きょういく しょうがい 教育が、障害の しゅるい ていど おう 種類・程度などに応じ てきせつ おこな て適切に行われるよ う、その経費の一部を せっちしゃ ほじょ 設置者に補助し、 しょうがいじ きょういく やくだ 障害児の教育に役立て ます。	れいわ ねんど じん ・令和3年度：578人 115,600 せんえん 千円 れいわ ねんど じん ・令和4年度：574人 114,800 せんえん 千円 れいわ ねんど じん ・令和5年度（見込み）：432人 せんえん 86,400千円 ほじょたいしょう ようちえん しがく 補助対象は幼稚園のうち私学 じよせいえん 助成園のみとなっています。 しがくじよせいえんいがい しんせいどいこう （私学助成園以外の新制度移行 えん べつとかさんせいど しがくじよせい 園は別途加算制度あり）私学助成 えん げんしょう れいわ えん れいわ 園は減少（R3：120園、R4： えん れいわ えん 116園、R5：106園）しているた ほじょたいしょうにんずう げんしょう め補助対象人数も減少してい ますが、1園あたりの対象 えん あ たいしょう えんじすう ぞうか 園児数は増加しています。	ひ つづ ほじょ じっし ひつよう 引き続き補助の実施が必要です。	ひ つづ ほじょ じっし 引き続き補助を実施します。

(2) 教育環境・教育活動の充実

事業名 じぎょうめい	事業内容 じぎょうないよう	これまでの実績 (令和5年3月末) じっせき れいわ ねん がつまつ	課題 かだい	新たな3年間 の方向性 あら ねんかん ほうこうせい
ICTを 活用した 教育環境の 充実 (新)	個々の児童生徒の 障害の状況を十分 に踏まえ、学習上、 生活上の様々な困難 に対し、ICTを活用 した指導や支援を 充実させるとともに、 緊急時におけるオン ラインでの学習保障 や動画コンテンツ配信 などについて、検討、 実施します。	市立特別支援学校13校に、 ICT支援員を令和3年度は 38回、令和4年度以降は62回 派遣し、学習支援等に組み ました。また、訪問日以外での 対応を行う等の支援を拡充し ました。	個々の特性に応じた児童への 支援を継続する必要があるま す。	引き続き、ICTに関する専門 スタッフ支援を進め、オンライ ンでの学習等を進めます。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	かだい 課題	あら ねんかん 新たな3年間 <small>ほうこうせい</small> の方向性
しょうがいとくせい 障害特性に おう きょういく 応じた教育 の充実 <small>じゅうじつ</small>	こべつしえんがっきゅう くわ 個別支援学級に加え て、一般学級において <small>いっばんがっきゅう</small> も、特別な支援を要す <small>とくべつ しえん よう</small> る児童生徒が増加し、 <small>じどうせいと ぞうか</small> 支援のニーズが多様化 <small>しえん たようか</small> している状況を踏ま <small>じょうきょう ふ</small> え、ケーススタディを <small>じゅうし けんしゅう じゅうじつ</small> 重視した研修を充実 <small>すべ きょういん</small> させます。全ての教員 <small>しょうがい じょうたい とくせい</small> が障害の状態や特性 <small>おう しどう しえん</small> に応じた指導・支援が <small>おこな せんもんせい</small> 行えるよう専門性の <small>こうじょう はか</small> 向上を図ります。 <small>しょう ちゅうがっこう</small> また、小・中学校の <small>きょういん とくべつしえんがっこう</small> 教員が特別支援学校 <small>きょうゆめんきょじょう しゅとく</small> 教諭免許状を取得す <small>じゅこうりょうじよせい</small> るための受講料助成 <small>じぎょう あら じっし</small> 事業を新たに実施しま す。	けいけんねんすう べつ おう 経験年数やテーマ別に <small>けんしゅう おこな</small> 研修を行いました。 <small>とくべつ しえん がっこう きょうゆめんきょじょう しゅとく</small> 特別支援学校教諭免許状取得 <small>じゅこうりょうじよせい しんせいしゃ</small> のための受講料助成は、申請者 <small>すべ こうふ</small> 全てに交付しました。	<small>とくべつしえんきょういく かか きょういん</small> 特別支援教育に関わる教員の <small>せんもんせい かくほ すべ きょういん</small> 専門性の確保、全ての教員に <small>しょうがいりかいどう すいしん はか ひつよう</small> 障害理解等の推進を図る必要 があります。	<small>ひ つづ すべ きょういん しょうがい</small> 引き続き、全ての教員が障害 <small>じょうたい とくせい おう しどう</small> の状態や特性に応じた指導・ <small>しえん おこな けんしゅう</small> 支援が行えるよう、研修を <small>じゅうじつ</small> 充実させます。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	これまでの実績 <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	かだい 課題	あら ねんかん 新たな3年間 <small>ほうこうせい</small> の方向性
とくべつしえんきょういく 特別支援教育 コーディネーターの機能 強化とスキル アップ	とくべつしえんきょういく 特別支援教育 コーディネーター（教員） を対象に、更なるスキル アップを目指して、 事例研究などを中心 とした研修を進める とともに、関係機関と の連携を強化し、 専門的な資質を高めま す。	とくべつしえんきょういく 特別支援教育 コーディネーター 一養成研修と並行して、さらな る専門性の向上を目的とした スキルアップ研修、ブラッシュ アップ研修、令和4年度から 開始した学び直しのためのリラ ーニング研修を実施し、特別 支援教育コーディネーターの スキルアップを図りました。ま た、チーフコーディネーター 会議等において研修・情報 共有・事例検討を行いました。	とくべつしえんきょういく 特別支援教育 コーディネーター の専門性の向上や特別支援 教育にかかる校内の組織的 対応の強化が必要です。	ひ つづ けんしゅうたいけい ないよう 引き続き、研修体系や内容の 改善を図りながら、参加者の 増加に向けて周知を図るととも に、各会議等での情報共有・ 事例検討等を行います。
とくべつしえん 特別支援 教育支援員 事業	しょう ちゅう きむきょういく 小・中・義務教育 学校で障害により 学習面、生活面や 安全面への配慮等が 必要な児童生徒に特別 支援教育支援員を 配置し、校内支援体制 の充実を図ります。	しょう ちゅうがっこう しょうがい 小・中学校において、障害な どにより学習面、生活面や 安全面への支援が必要な児童 生徒に対し、特別支援教育 支援員を配置しました。	とくべつ しえん ひつよう じどう 特別な支援を必要とする児童 生徒の増加に伴い、学校からの ニーズが年々増加しており、 学校の要望に応えきれない 状況があります。一方で、本当 に支援が必要な学校に対して 適正に支援員を配置する必要が あります。	しんせいてつづ しんさぎょうむどう ふく 申請手続きや審査業務等を含 め、制度の見直しに向けた検討 を進めていきます。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん</small> がつまつ (令和5年3月末)	かだい 課題	<small>あら</small> <small>ねんかん</small> 新たな3年間 <small>ほうこうせい</small> の方向性
ちょうかくしょうがいじ 聴覚障害児 しえんじぎょう 支援事業	しょう ちゅう き おきょういく 小・中・義務教育 <small>がっこう ざいせき ちょうかく</small> 学校に在籍する聴覚 <small>しょうがい じどうせいと</small> 障害のある児童生徒 にノートテイクによる <small>じょうほう ほしょう じっし</small> 情報の保障を実施し ます。	しょう ちゅうがっこう ちょうかくしょうがい 小・中学校で聴覚障害があ <small>じゅぎょうどう ばめん しえん</small> り、授業等の場面での支援が <small>ひつよう じどうせいと たい はけん</small> 必要な児童生徒に対し、派遣し ました。	<small>しえん ひつよう じどうせいと</small> 支援を必要とする児童生徒にノ ートテイクボランティアを派遣 <small>はけん</small> できるよう、担い手の確保等が <small>ひつよう</small> 必要です。	<small>しえん ひつよう じどうせいと</small> 支援を必要とする児童生徒に <small>はけん かつどうしゃ かんけい</small> 派遣できるよう、活動者や関係 <small>きかん けんとう すず</small> 機関と検討を進めます。
<small>じゅんかいがたしどう</small> 巡回型指導 <small>じっし</small> の実施による <small>つうきゅうしどう</small> 通級指導の <small>じゅうじつ</small> 充実	<small>じどうせいと ざいせきこう</small> 児童生徒の在籍校を <small>じゅんかい しどう おこな</small> 巡回して指導を行う <small>きょうどうがたじゅんかいがた</small> 「協働型巡回型 <small>しどう じっし</small> 指導」を実施します。 <small>つうきゅうしどう たんとうきょういん</small> 通級指導の担当教員 <small>ざいせきこう ほうもん</small> が在籍校を訪問し、 <small>じどうせいと しどう</small> 児童生徒の指導や <small>じゅぎょうさんかん おこな</small> 授業参観を行うとと <small>がっきゅうたんにと</small> もに、学級担任等と <small>にちじょうてき じょうほう</small> 日常的に情報を <small>きょうゆう</small> 共有するなど、協働 <small>がっこうせいかつ しえん</small> して学校生活を支援し ます。	<small>じょうちしょうがい えーでいーえいちでいつきゅう</small> 情緒障害・A D H D 通級 <small>しどうきょうしつ せっち しょうがっこう</small> 指導教室を設置する小学校 <small>ぜんこう こう きょうどうがたじゅんかい</small> 全校（12校）で、協働型巡回 <small>しどう かいし</small> 指導を開始しました。	<small>つうきゅうしどうきょうしつ りよう じどう</small> 通級指導教室を利用する児童 <small>せいと おお じゅんかいはしどう じゅうじつ</small> 生徒は多く、巡回指導を充実 <small>ぜんたい しどうたいせい</small> するために、全体の指導体制を <small>くふう ひつよう</small> 工夫していく必要があります。	<small>たいしょうじどう ざいせき がっこう</small> 対象児童が在籍する学校の <small>こうないしえんたいせい じゅうじつ</small> 校内支援体制の充実につな <small>しどう てんかい</small> がる指導を展開していきます。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	これまでの実績 (令和5年3月末)	かだい 課題	あらねんかん 新たな3年間 の方向性
いりょうてき 医療的ケア たいせい じゅうじつ 体制の充実	しょう ちゅう ぎ む きょうい く 小・中・義務教育 がっこう とくべつしえんがっこう 学校や特別支援学校に おける いりょうてき 医療的ケアの じっしたいせい じゅうじつ 実施体制を充実させ ます。 とくべつしえんがっこう 特別支援学校において じんこうこきゅうきとうこうど は、人工呼吸器等高度 いりょうてき たいおう な医療的ケアにも対応 できるよう、体制の きょうか はか 強化を図ります。	しょうちゅうがっこうとう かんごし 小中学校等では、看護師によ る ケア を必要とする 児童生徒 すべて たい じっし 全てに対して実施しました。 とくべつしえんがっこう したいふじゆう 特別支援学校では、肢体不自由 とくべつしえんがっこう こう かんごし 特別支援学校6校に看護師を はいち いりょうてき ともな じどう 配置し、医療的ケアを伴う児童 せいと あんしん あんぜん きょうい く 生徒が安心・安全に教育を受け られる かんきょうせいび おこな 環境整備を行っています。	じどう しえん こ こ 児童への支援については、個々 の特性に応じた支援を継続する 必要があります。	しょうちゅうがっこうとう ほうもんかんごし 小中学校等では、訪問看護師 によるケアの提供とともに、 じどうせいとししん おこな 児童生徒自身がケアを行うこ とができるよう、けんこうかんり 健康管理や しゅぎしどう しえん おこな 手技指導の支援を行っていき ます。 とくべつしえんがっこう 特別支援学校においては、 いりょうてき ひつよう じどうせいと 医療的ケアの必要な児童生徒の あんしん あんぜん きょうい かんきょうせいび 安心・安全な教育環境整備の ために かんごしたいせい かくじゅう 看護師体制を拡充して いきます。
とくべつしえんがっこう 特別支援学校 の充実	ざいせい じどうせいと しょうがい 在籍児童生徒の障害 の多様化・重度化・ ちようふくか ふ 重複化を踏まえ、 きょうい かくてい じゅうじつ 教育課程の充実、 しせつせつび かいしゅう 施設設備の改修や、 ふくししゃりょう かつよう 福祉車両の活用など つうがくしえん あら ほうさく 通学支援の新たな方策 けんとう しこう の検討・試行など きょうい かんきょう じゅうじつ 教育環境の充実に と ぐ 取り組めます。	したいふじゆうとくべつしえんがっこう こう 肢体不自由特別支援学校6校に はいち かんごし 配置する看護師について、5 ねんど ふくししゃりょう じようしゃ 年度から福祉車両への乗車も ぎょうむ こようわく しんせつ 業務とする雇用枠を新設し、 きそんわく あ めいたいせい 既存枠と合わせて40名体制に かくじゅう 拡充することにしました。 つうがくしえん まいねんど ていど 通学支援も毎年度6コース程度 ぞうしゃ 増車しました。	たようか こうどか いりょうてき 多様化、高度化する医療的ケア たいおう てきせつ かず へ対応するため、適切な数の かんごしはいち しつ こうじよう 教職員 看護師配置や質の向上、教職員 いっそう れんけいきょうか はか ひつよう との一層の連携強化を図る必要 があります。	たよう じどうせいとひとり 多様な児童生徒一人ひとりのニ ーズを踏まえ、きょうい かんきょう 教育環境の じゅうじつ ひ つづ と く 充実に引き続き取り組みます。 また、いりょうてき ひつよう じどう 医療的ケアが必要な児童 せいと つうがくしえん ふくし 生徒の通学支援として、福祉 しゃりょう ぞう と く 車両のコース増に取り組みま す。

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	かだい 課題	あら ねんかん 新たな3年間 <small>ほうこうせい</small> の方向性
じゅうどほうもんかいご 重度訪問介護 利用者の大学 修学支援 事業 ⑧	じゅうどほうもんかいご りよう 重度訪問介護を利用す る重度障害者が大学 で修学するための 支援を実施します。	りようしゃすう <利用者数> 令和2年度：3人 令和3年度：3人 令和4年度：4人 令和5年度：4人	だいがくどう しえんたいせい こうちく 大学等における支援体制の構築 を促していくことが必要です。	だいがくどう じゅうどしょうがいしゃ 大学等において重度障害者が 修学するために必要な支援 体制が構築されるまで、進学を 希望する人が本制度を利用し 安心して修学ができるよう、引 き続き円滑に事業を運営をして いきます。

(3) 教育から就労への支援

事業名 じぎょうめい じぎょうめい	事業内容 じぎょうないよう じぎょうないよう	これまでの実績 じっせき (令和5年3月末) れいわ ねん がつまつ	課題 かだい かだい	新たな3年間 ねんかん の方向性 ほうこうせい
特別支援 とくべつしえん 学校就労 がっこうしゅうろう 支援事業 しえんじぎょう 支援事業	障害者就労支援センター等関係機関と連携しながら、生徒の就労を支援します。 また、実習先開拓や職場定着支援のため、高等特別支援学校（若葉台特別支援学校）知的障害教育部門を含む）に就労支援指導員を配置します。	高等特別支援学校（日野中央、二つ橋、若葉台知的障害教育部門）の3校に1人ずつ就労支援指導員を配置し、各校における実習先開拓や職場定着支援に寄与しています。	生徒一人ひとりに応じた就労先のマッチングや定着支援を行うためにも、各校の進路担当の教員と就労支援指導員の連携がより一層必要です。	今後の障害者雇用率の引き上げを後押しに、更なる企業就労の促進に向けて取り組んでいきます。
特別支援 とくべつしえん 学校進路 がっこうしんろ 担当間の たんどうか 連携強化 れんけいきょうか 連携強化	市立特別支援学校の進路担当者が障害種別を超えて定期的に情報交換や事例研究を行い、幅広い進路選択に対応できるよう連携を強化します。	市立特別支援学校の進路担当者の情報交換や事例研究を年間3回程度実施し、幅広い進路選択に対応できるようにしました。	進路担当者が変わっていく中、継続して実施し、そのスキルを担保する必要があります。	引き続き、各特別支援学校間での活発な情報交換や事例研究を行うために、内容の充実を図っていきます。

4-1 就労

(1) 一般就労の促進と雇用後の定着支援の充実

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	これまでの実績 (令和5年3月末)	かだい 課題	あら ねんかん 新たな3年間 ほうこうせい の方向性
しゅうろうしえん 就労支援 センター を中心と した、 ちいき 地域にお ける就労 支援ネッ トワーク の構築	しょうがいしゃ しゅうろう ささ 障害者の就労を支援 かんけいきかん とくべつしえん る関係機関（特別支援 がっこう しゅうろういこうしえん 学校、就労移行支援 じぎょうしょ 事業所、ハローワーク とう れんけい きょうりよく 等）との連携・協力 たいせい こうちく 体制を構築します。 しゅうろう けいぞく か 就労の継続に欠かせ せいかつめん ない生活面でのサポー じゅうじつ トを充実させるた ちいき かんけいきかん め、地域の関係機関と れんけい ほんにん しえん 連携し、本人への支援 えんかつ すず を円滑に進めます。	れいわ ねんど 【令和3年度】 いこうしえん じぎょうしょ けんしゅうかい ： 移行支援事業所 と 研修会 を じっし 実施 れいわ ねんど 【令和4年度】 いこうしえん じぎょうしょ れんらくかい じっし ： 移行支援事業所と連絡会を実施 れいわ ねんど 【令和5年度】 かいさいよてい ： 開催予定	しゅうろうしえん いこうしえん 就労支援センターと移行支援 じぎょうしょ れんけい しいき 事業所との連携など、市域レベル れんけいかいぎ じっし の連携会議は実施できています ちいき れんけい ちいき が、地域レベルの連携には地域に さ しょう よって差が生じています。	しゅうろうしえん ちゅうしん 就労支援センターを中心とし ちいき しゅうろうしえん た、地域における就労支援ネット こうちく しえん ワークの構築を支援します。

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	課題 <small>かだい</small>	新たな3年間 <small>あら ねんかん</small> <small>ほうこうせい</small> の方向性
【再掲】 <small>さいけい</small> 就労支援 <small>しゅうろうしえん</small> センター <small>せんたー</small> 職員の <small>しょくいん</small> 人材育成 <small>じんざいいくせい</small>	多様な就労ニーズに <small>たよう しゅうろう</small> 対応できるよう、 <small>たいおう</small> 就労支援スキルを <small>しゅうろうしえん</small> 向上させるため、 <small>こうじょう</small> 研修の実施など、 <small>けんしゅう じっし</small> 人材育成を進めます。 <small>じんざいいくせい すす</small>	【令和3年度】 <small>れいわ ねんど</small> <small>じんざいいくせい さくせい</small> 人材育成シートの作成 ※人事交流はコロナにより見送 <small>じんじこうりゅう みおく</small> り 【令和4年度】 <small>れいわ ねんど</small> <small>こじんじょうほうほ ごけんしゅう ろうどうほう</small> 個人情報保護研修、労働法 <small>けんしゅう じんじこうりゅう</small> 研修、人事交流	社会状況の変化等も踏まえ、セ <small>しゃかいじょうきょう へんかとう ふ</small> ンターの今後の求められる役割を <small>こんご もと やくわり</small> 整理するとともに、各センターで <small>せいり かく</small> のサービス標準化を進める必要 <small>ひょうじゆんか すす ひつよう</small> があります。	今後のセンターに求められる人材 <small>こんご もと じんざい</small> に関する検討及び検討内容を踏ま <small>かん けんとうおよ けんとうないよう ふ</small> えた研修等を実施します。 <small>けんしゅうとう じっし</small>
【再掲】 <small>さいけい</small> 就労促進 <small>しゅうろうそくしん</small> を目的と <small>もくてき</small> した <small>した</small> 事業所 <small>じぎょうしょ</small> 職員向け <small>しょくいんむ</small> 研修 <small>けんしゅう</small>	障害者雇用を行って <small>しょうがいしゃこよう おこな</small> いる企業での「就業 <small>きぎょう しゅうぎょう</small> 体験」の研修を通じ <small>たいけん けんしゅう つう</small> て、事業所職員の <small>じぎょうしょしょくいん</small> 就労支援スキルの <small>しゅうろうしえん</small> 向上、就労に向けた <small>こうじょう しゅうろう む</small> 意識付けにつなげま <small>いしきづ</small> す。	【令和3年度】 <small>れいわ ねんど</small> <small>はたら しょくば けんがくかい</small> 働く職場の見学会 <small>じぎょうしょしょくいんむ</small> (事業所職員向け) 【令和4年度】 <small>れいわ ねんど</small> <small>かんけいきかん じぎょう</small> 関係機関へのヒアリング、事業 <small>けんとう</small> 検討 【令和5年度】 <small>れいわ ねんど</small> <small>はたら わたし しょくぎょうたいけん けん</small> 働きたい！私の職業体験・見 <small>がくかい</small> 学会 <small>じぎょうしょしょくいん りようしゃむ</small> (事業所職員・利用者向け)	事業所と企業との関係性構築機会 <small>じぎょうしょ きぎょう かんけいせいこうちくきかい</small> の不足、それに伴う就労への気 <small>ふそく ともな しゅうろう き</small> づきやきっかけ作りが不足してい <small>づく ふそく</small> ます。	引き続き研修や見学会等の事業 <small>ひ つづ けんしゅう けんがくかいどう じぎょう</small> を通じて、事業所職員の就労 <small>つう じぎょうしょしょくいん しゅうろう</small> 支援スキルの向上、就労に <small>しえん こうじょう しゅうろう</small> 向けた意識付けに取り組みます。 <small>む いしきづ とく</small>

事業名 <small>じぎょうめい</small>	事業内容 <small>じぎょうないよう</small>	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	課題 <small>かだい</small>	新たな3年間 <small>あら ねんかん</small> <small>ほうこうせい</small> の方向性
<p> <small>こようしざく</small> 雇用施策 <small>ふくし</small> と福祉 <small>しざく</small> 施策の <small>れんけい</small> 連携によ <small>じゅうど</small> る重度 <small>しょうがいしゃどう</small> 障害者等 <small>しゅうろう</small> への就労 <small>しえん</small> 支援 <small>じゅうど</small> (重度 <small>しょうがいしゃどう</small> 障害者等 <small>しゅうろうしえん</small> 就労支援 <small>とくべつ</small> 特別 <small>じぎょう</small> 事業)  </p>	<p> <small>ほうてい</small> 法定サービスでの <small>たいしょうがい</small> 対象外となっている <small>じゅうどしょうがいしゃ けいざい</small> 重度障害者の経済 <small>かつどうじかんちゅう しえん</small> 活動時間中の支援を <small>こようしざく ふくししざく</small> 雇用施策と福祉施策が <small>れんけい おこな せいど</small> 連携して行う制度を <small>けんとう じっし</small> 検討し、実施します。 </p>	<p> <small>せいどこうちく む けんとう かせ</small> 制度構築に向けた検討を重ね、 <small>れいわ ねんど よこはましじゅうど</small> 令和5年度から「横浜市重度 <small>しょうがいしゃなどしゅうろうしえん とくべつじぎょう</small> 障害者等就労支援特別事業」を <small>しんきじっし</small> 新規実施します。 </p>	<p> <small>こようさき ていきょうじぎょうしよどう</small> 雇用先やサービス提供事業所等 <small>かんけいきかん ちょうせい ひつよう</small> の関係機関との調整が必要です。 </p>	<p> <small>つうきんまた しゅうろうじかんちゅう しえん</small> 通勤又は就労時間中の支援を <small>ひつよう じゅうどしょうがいしゃ ほんせいど</small> 必要とする重度障害者が本制度 <small>りよう えんかつ じぎょう</small> を利用できるように、円滑な事業 <small>うんえい</small> 運営をしていきます。 </p>

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
ふくしせつ 福祉施設 から いっぱんしゅうろう 一般就労 への いこうしやすう 移行者数 (福) (たとし 他都市 と あわせて けん 県が しゅうけいちゅう 集計中です)	460人 じっせき 実績498人	498人 じっせき 実績 集計中	536人	801人	843人	885人
しゅうろういこうしえんじぎょう 就労移行支援事業 の 利用者数 (福)	1,476人分 じっせき 実績1,508人分	1,547人分 じっせき 実績1,561人分	1,617人分	1,688人分	1,759人分	1,830人分
しゅうろういこうしえん 就労移行支援の利用者のうち しゅうろういこうりつ 就労移行率が3割以上の事業所 の割合 (福) (たとし 他都市 と あわせて けん 県が しゅうけいちゅう 集計中です)	34.2 % じっせき 実績42.10 %	42.1 % じっせき 実績 集計中	50.0 %	54 %	58 %	62 %
しゅうろうていちゃくしえんりようしやすう 就労定着支援利用者数 (福)	1,070人 じっせき 実績672人	1,190人 じっせき 実績939人	1,397人	1,728人	2,028人	2,272人

(2) 幅広い仕事や工賃の向上による生活の充実

事業名 じぎょうめい	事業内容 じぎょうないよう	これまでの実績 (令和5年3月末) じっせき れいわ ねん がつまつ	課題 かだい	新たな3年間 の方向性 あら ねんかん ほうこうせい
共同受注センター等による受注促進 きょうどうじゅちゅう とう せくしん	企業・行政機関から、事業所の特性を生かした幅広い仕事の受注ができるよう、コーディネートを行います。 きぎょう ぎょうせいきかん じぎょうしょ とくせい い はばひろ しごと じゅちゅう おこな しない とう しゅってん じしゅせいひん しょうかいとう つう はんろ かくだい しょうがいしゃしゅうろう りかいそくしん はか	【共同受注センターによる受注成立件数・金額】 きょうどうじゅちゅう じゅちゅうせいりつけんすう きんがく れいわ ねんど 令和3年度： 341件、59,408,368円 けん えん れいわ ねんど 令和4年度： 353件、47,906,203円 けん えん	・コロナ禍での販売機会が減少しています。 か はんばいきかい げんしょう じぎょうしょ じゅちゅう ・事業所における受注スキル・営業スキルの底上げが必要です。 えいぎょう そこあ ひつよう	事業所の特性を生かした幅広い仕事の受注ができるよう、コーディネートを行うとともに、発注者となりうる企業・行政機関等に対して、障害者就労への理解促進を図ります。 じぎょうしょ とくせい い はばひろ しごと じゅちゅう おこな はちゅうしゃ きぎょう ぎょうせいきかんとう たい しょうがいしゃ しゅうろう りかいそくしん はか
事業所の受注スキルの向上(新) じぎょうしょ じゅちゅう こうじょう	発注者側のニーズに応えられる商品の開発や作業の受注ができるよう、研修会やモデルケースとなる事例検討などを実施し、事業所の受注スキルの向上を図り、多くの受注につなげます。 はちゅうしゃがわ こた しょうひん かいはつ さぎょう じゅちゅう けんしゅうかい じれい けんとう じっし じぎょうしょ じゅちゅう こうじょう はか おお じゅちゅう	各事業所で取り組みやすい、また今後も需要が見込まれる内容をモデルケースとして検討し、研修を実施しました。 かくじぎょうしょ と く こんご じゅよう み こ ない けんしゅうかい じっし 【研修会の実施】 れいわ ねんど せいそうさぎょうけんしゅう 令和3年度：清掃作業研修、 でんしけっさいどうにゅうせつめいかい 電子決済導入説明会 れいわ ねんど せいそうけんがくかい 令和4年度：プール清掃見学会	多様化する発注者側のニーズに対して、対応できる事業所の数が少ないです。 たようか はちゅうしゃがわ たい たいおう じぎょうしょ かず すく	毎年度研修会等を実施し、引き続き事業所の受注スキルの向上を図ります。 まいねんどけんしゅうかいとう じっし ひ つづ じぎょうしょ じゅちゅう こうじょう はか

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん</small> がつまつ (令和5年3月末)	かだい 課題	<small>あら ねんかん</small> 新たな3年間 <small>ほうこうせい</small> の方向性
ゆうせんちやうたつ 優先調達の すいしん 推進	よこはましやくしよ じぎょうしよ 横浜市役所からの事業所への ゆうせんてき はっちゆう さら すいしん 優先的な発注を更に推進し ます。 また、ちやうないらん かつよう また、庁内LANなどを活用 し、くきよくとう はっちゆうじれい ひろ し、区局等の発注事例を広 くしゆうち あら はっちゆう く周知し、新たな発注につ なげます。	ゆうせんちやうたつじっせき 【優先調達実績】 <small>れいわ ねんど</small> 令和3年度 : 4億1,199万5,598円 <small>れいわ ねんど</small> 令和4年度 : 集計中 <small>れいわ ねんど</small> 令和5年度 : 令和4年度の実績を上回る ことを目標	<small>ちやうたつじっせきがく すく くきよく たい</small> 調達実績額の少ない区局に対 しての啓発が必要です。	<small>ひ つづ ぜんねんど ちやうたつじっせき</small> 引き続き前年度の調達実績を <small>うわまわ もくひよう かくくきよく</small> 上回ることを目標に、各区局 <small>ちやうないけいはつ すす</small> への庁内啓発を進めていきま す。

(3) 多様な働き方や障害者就労に対する理解促進

事業名 じぎょうめい	事業内容 じぎょうないよう	これまでの実績 (令和5年3月末) じっせき れいわ ねん がつまつ	課題 かだい	新たな3年間 の方向性 あら ねんかん ほうこうせい
障害者 就労に関する 市民啓発 しょうがいしゃ しゅうろう かん しみんけいはつ	シンポジウムの開催等を通 じ、様々な分野で働く 障害者や障害者雇用を進め ている企業の「生の声」を伝 え、障害者就労に対する 理解・関心を高めます。 かいさいどう つう さまざま ぶんや はたら しょうがいしゃ しょうがいしゃこよう すす きぎょう なま こえ つた しょうがいしゃしゅうろう たい りかい かんしん たか	令和3年度 : シンポジウム開催見送り パネル展開催 令和4年度 : シンポジウム開催 (会場参加: 77名、YouTube 再生回数: 336回) パネル展開催 (2回) 令和5年度 : シンポジウム・パネル展とも に開催予定 れいわ ねんど かいさい かいじょうさんか めい さいせいかいすう かい てんかいさい かい れいわ ねんど かいさいよてい	より効果的に障害者就労 啓発を進めるために、対象者 別にテーマや開催方法を検討 する必要があります。 こうかてき しょうがいしゃしゅうろう けいはつ すす たいしょうしゃ べつ かいさいほうほう けんどう ひつよう	会場開催だけでなく、様々な 実施方法での市民啓発に取り 組みます。 かいじょうかいさい さまざま じっしほうほう しみんけいはつ と
障害者雇用 に関する 企業啓発 しょうがいしゃこよう かん きぎょうけいはつ	障害者雇用を検討している 企業に向けて、雇用に関する セミナー等を実施し、合理的 配慮の必要性など企業内での 障害理解の促進を図りま す。 しょうがいしゃこよう けんどう きぎょう お こよう かん どう じっし ごうりてき はいりよ ひつようせい きぎょうない しょうがいりかい そくしん はか	出前講座回数 令和3年度 : 3回(9社) 令和4年度 : 9回(30社) 令和5年度 : 複数回実施見込 だまえこうざかいすう れいわ ねんど かい しゃ れいわ ねんど かい しゃ れいわ ねんど ふくすうかいじっしみこみ	より効果的な啓発手法の検討 が必要です。 こうかてき けいはつしゅほう けんどう ひつよう	引き続き、障害者雇用を検討 している企業に向けて、雇用に 関するセミナー等を実施し、 合理的配慮の必要性など 企業内での障害理解の促進を 図ります。 ひ つづ しょうがいしゃこよう けんどう きぎょう お こよう かん どう じっし ごうりてきはりよ ひつようせい きぎょうない しょうがいりかい そくしん はか

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん</small> がつまつ (令和5年3月末)	かだい 課題	<small>あら ねんかん</small> 新たな3年間 <small>ほうこうせい</small> の方向性
ふれあいシ <small>とう</small> ョップ等を <small>かつよう</small> 活用した <small>しょうがいしゃ</small> 障害者 <small>しゅうろう かん</small> 就労に關す <small>りかいそくしん</small> る理解促進 (新)	<small>あら かいぎょう かんないえき</small> 新たに開業するJR関内駅 <small>きたぐちこうかした しゅうろうけいはつしせつ</small> 北口高架下の就労啓発施設 <small>およ しちょうしゃない</small> 及び市庁舎内のふれあいショ <small>きそん</small> ョップをはじめ、既存のふれあ <small>とう うんえい つう</small> いショップ等の運営を通じ <small>しゅうろう かん りかい</small> て、就労に關する理解の <small>そくしん はか</small> 促進を図ります。	<small>れいわ ねん</small> 【令和3年】 ・コロナによりヒアリング <small>みおく</small> 見送り <small>れいわ ねん</small> 【令和4年】 <small>かくてんぼ</small> ・各店舗へのヒアリング <small>れいわ ねん</small> 【令和5年】 <small>しゅうろうけいはつ かん する はっしんきょうか</small> ・就労啓発に關する発信強化	ふれあいショップ及び、 <small>しょうがいしゃしゅうろうけいはつしせつ にんち</small> 障害者就労啓発施設の認知 <small>たか</small> を高めるための周知活動が <small>ひつよう</small> 必要です。	<small>とう うんえい</small> ふれあいショップ等の運営を <small>つう しゅうろう かん りかい</small> 通じて、就労に關する理解の <small>そくしん はか</small> 促進を図ります。

4-2 日中活動

(1) 日中活動場所の選択肢の充実

指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
生活介護（／月） 福	7,732人分 実績8,362人分	7,982人分 実績8,526人分	8,232人分	8,482人分	8,732人分	8,982人分
	128,853人日 実績139,854人日	133,022人日 実績140,753人日	137,192人日	141,361人日	145,531人日	149,700人日
自立訓練（機能訓練）（／月） 福	42人分 実績30人分	42人分 実績30人分	42人分	42人分	42人分	42人分
	826人日 実績428人日	826人日 実績456人日	826人日	826人日	826人日	826人日
自立訓練（生活訓練）（／月） 福	359人分 実績405人分	376人分 実績488人分	393人分	410人分	427人分	444人分
	5,812人日 実績6,666人日	6,088人日 実績8,011人日	6,363人日	6,638人日	6,913人日	7,189人日
就労移行支援事業【再掲】 （／月） 福	1,476人分 実績1,508人分	1,547人分 実績1,561人分	1,617人分	1,688人分	1,759人分	1,830人分
	25,099人日 実績26,726人日	26,303人日 実績27,339人日	27,507人日	28,711人日	29,915人日	31,119人日
就労継続支援事業（A型） （／月） 福	880人分 実績719人分	919人分 実績654人分	958人分	997人分	1,035人分	1,074人分
	17,203人日 実績13,674人日	17,962人日 実績12,156人日	18,721人日	19,480人日	20,239人日	20,999人日

しひょうめい 指標名	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
しゅうろうけいぞくしえんじぎょう がた 就労継続支援事業 (B型) つき (／月) 福	にんぶん 4,605人分 じっせき 実績4,691人分	にんぶん 4,857人分 じっせき 実績5,145人分	にんぶん 5,109人分	にんぶん 5,361人分	にんぶん 5,613人分	にんぶん 5,866人分
	にんにち 79,012人日 じっせき 実績77,897人日	にんにち 83,339人日 じっせき 実績83,354人日	にんにち 87,666人日	にんにち 91,993人日	にんにち 96,320人日	にんにち 100,647人日
ちいきかつどうしえん 地域活動支援センター さぎょうしよがた 福 作業所型	しよ 130か所 じっせき 実績 138か所	しよ 130か所 じっせき 実績 137か所	しよ 130か所	しよ 145か所	しよ 146か所	しよ 147か所
	にん ねん 2,600人 (／年) じっせき 実績2,894人 (／ ねん 年)	にん ねん 2,600人 (／年) じっせき 実績2,868人 (／ ねん 年)	にん ねん 2,600人 (／年)	にん ねん 2,600人 (／ ねん 年)	にん ねん 2,600人 (／ ねん 年)	にん ねん 2,600人 (／ ねん 年)
ちゅうとしょうがいしゃちいきかつどう 中途障害者地域活動センター 福	しよ 18か所 じっせき 実績18か所	しよ 18か所 じっせき 実績18か所	しよ 18か所	しよ 18か所	しよ 18か所	しよ 18か所
	にん ねん 517人 (／年) じっせき 実績479人 (／ ねん 年)	にん ねん 517人 (／年) じっせき 実績455人 (／ ねん 年)	にん ねん 517人 (／年)	にん ねん 517人 (／年)	にん ねん 517人 (／年)	にん ねん 517人 (／年)

4-3 スポーツ・文化芸術

(1) スポーツ活動の推進

<p>じぎょうめい 事業名</p>	<p>じぎょうないよう 事業内容</p>	<p>これまでの実績 (令和5年3月末)</p>	<p>かだい 課題</p>	<p>あらねんかん 新たな3年間 ほうこうせい の方向性</p>
<p>しょうがいしゃ 障害者ス ポーツの けいはつ 啓発と りかい 理解の そくしん 促進</p>	<p>とうきょう 東京2020パラリンピッ クにより高まる関心を しょうがいしゃ 障害者スポーツの普及 けいはつ 啓発につなげるため、 しょうがいしゃ 障害者スポーツ文化セ ンターや横浜市スポーツ きょうかい 協会、地域の様々な だんたいとう 団体等と連携し、 しょうがいしゃ 障害者スポーツの裾野 ひろ を広げる取組を行うと ともに、しょうがいしゃ 障害者スポー ツを通じた障害への りかいそくしん 理解促進を図ります。</p>	<p>しょうがいしゃ 障害者スポーツ文化センター (横浜ラポール・ラポール上 よこはま 大岡)で、しょうがいしゃ 障害者スポーツの たいけんかい 体験会や教室等を実施しまし た。</p>	<p>じっし 実施している体験会や教室の いっそう 一層の周知とニーズに即した しんきたいけんかい 新規体験会や教室の実施が必要 です。</p>	<p>とうきょう 東京2020パラリンピックにより たか 高まった関心を障害者スポーツ の普及啓発につなげるため、 しょうがいしゃ 障害者スポーツ文化センターや よこはまし 横浜市スポーツ協会、地域の さまざま 様々な団体等と連携し、障害者 スポーツの裾野を広げる取組を おこな 行うとともに、しょうがいしゃ 障害者スポーツ をつう を通じた障害への理解促進を図 ります。</p>

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	これまでの実績 <small>じっせき</small> <small>れいわ ねん がつまつ</small> (令和5年3月末)	かだい 課題	あらねんかん 新たな3年間 <small>ほうこうせい</small> の方向性
みぢか 身近な ちいき 地域にお ける しょうがいしゃ 障害者ス ポーツの すいしん 推進	ひ つづ しょうがいしゃ 引き続き、障害者が みぢか ちいき 身近な地域でスポーツに と く かくく 取り組めるよう、各区の スポーツセンターや中途 しょうがいしゃ ちいきかつどう 障害者地域活動センタ ー等と れんけい ちいき 連携し、地域の じんざいいくせい すす 人材育成を進めながら、 しょうがいしゃ すいしん 障害者スポーツの推進 をはか を図ります。	ちゅうとしょうがいしゃ ちいき かつどう 中途障害者地域活動センター、 よこはまし きょうかいとう れんけい 横浜市スポーツ協会等と連携 し、障害のある人の身近な地域 での しょうがいしゃ とりくみ 障害者スポーツの取組を おこな しょうがいしゃ 行いました。また、障害者スポ ーツの しょうちかつどう 周知活動、スポーツボラ ンティア ようせいこうざ しょきゅう 養成講座や初級 しょうがいしゃ しょういんけんしゅうかい 障害者スポーツ指導員研修会 とう じっし とお しえんしゃ 等の実施を通して、支援者・ しどうしゃ じんざいいくせい と 指導者の人材育成に取り組みま した。	いま たいめん しどう しせつ 未だに 対面での指導や施設への らいほうどう ちょうせい むずか じょうきょう 来訪等の調整が難しい状況 にあります。 また、ボランティアや指導者の担 てぶそく こうれいか かだい い手不足や高齢化が課題です。	ひ つづ しょうがいしゃ みぢか ちいき 引き続き、障害者が身近な地域 でスポーツに取り組めるよう、 かくく ちゅうと 各区のスポーツセンターや中途 しょうがいしゃ ちいき かつどう 障害者地域活動センター等と れんけい ちいき じんざいいくせい すす 連携し、地域の 人材育成を進めな がら、 しょうがいしゃ すいしん 障害者スポーツの推進を をはか 図ります。

ぶん かげいじゅつかつどう すいしん
 (2) 文化芸術活動の推進

じぎょうめい 事業名	じぎょうないよう 事業内容	これまでの実績 (令和5年3月末)	かだい 課題	あらねんかん 新たな3年間 ほうこうせい の方向性
しょうがいしゃ 障害者の ぶん かげいじゅつ 文化芸術 かつどう 活動の しえん 支援	かいさい アートイベントの開催 かつどう ささ じんざい や、活動を支える人材 いくせい さまざま だんたいとう の育成、様々な団体等 れんけい ぶん かげいじゅつ と連携した文化芸術 かつどう ば そうしゅつ と 活動の場の創出に取 り組みます。	げいじゅつさい てんらんかいとう かいさい つう 芸術祭や展覧会等の開催を通じ かつどう ささ じんざい いくせい て、活動を支える人材の育成や ぶん かげいじゅつかつどう ば そうしゅつ と 文化芸術活動の場の創出に取り 組みました。 「ヨコハマ・パラトリエンナーレ」 のレガシーを地域に定着させる ため、学校等でのプログラムの じっせん ふくししせつ たいしょう 実践や福祉施設を対象としたモ ニター調査などの支援を行いま した。	だれ ぶん かげいじゅつ と く 誰もが文化芸術に取り組みめるよ う「障害のある人となない人が しょうがい ひと ひと 協力し合うクリエイティブな きょうりょく あ 活動の場」の創出の継続的な支援 かつどう ば そうしゅつ けいぞくてき しえん 方法の検討が必要です。	かいさい かつどう アートイベントの開催や、活動を ささ じんざい いくせい さまざま だんたいとう 支える人材の育成、様々な団体等 れんけい ぶん かげいじゅつかつどう ば と連携した文化芸術活動の場の そうしゅつ と く 創出に取り組みます。
しょうがいしゃ 障害者の ぶん かげいじゅつ 文化芸術 かんしょう 鑑賞の しえん 支援 新	さまざま だんたいとう れんけい 様々な団体等と連携 しょうがい とくせい おう し、障害の特性に応 かんしょう きかい じた鑑賞の機会の じゅうじつ えんかつ しせつ 充実、円滑な施設 りよう かんきょう 利用のための環境 せいび かつどう ささ 整備、活動を支える じんざい いくせいとう と く 人材の育成等に取り組 みます。	よこはまのうがくどう 横浜能楽堂では、「バリアフリー のう およ かんれんきかく じっし 能」及び関連企画を実施するにあ かんれんだんたいとう じぜん たり、関連団体等へ事前にヒアリ ごうりてきはりよ とう ングや合理的配慮について等の しせつないけんしゅう おこな こうえん 施設内研修を行いました。公演 びは しせつしょくいんぜんいん れんけい 日は、施設職員全員で連携して じっし 実施することができました。	よこはまのうがくどう だいかいしゅうこうじ む 横浜能楽堂は大改修工事へ向け いてんじゅんび かりきょてん て、移転準備をしており、仮拠点 かつどう ばしょ きかく の活動では、場所や企画をどのよ おこな かだい うに行うかが課題です。	さいかいかんご よこはまのうがくどう 再開館後は、横浜能楽堂での「バ のう およ かんれんきかく リアフリー能」及び関連企画の じっし すいしん 実施を推進します。

(1) 障害者手帳所持者数

横浜市発行の各障害者手帳（身体障害者手帳・愛の手帳（療育手帳）・精神障害者保健福祉手帳）令和4年度3月末時点での所持者数の合計は、約18万1千人（横浜市全体人口比で4.81パーセント）となっています。

平成29年度は、約16万3千人でしたので、現在までに、約1万8千人増加したということになります（増加率約10.9パーセント）。表1からも年々取得者数が伸びていることがわかります。

また、表2から見られるように、障害者手帳所持者数の増加率については、ここ数年は約2パーセント程度で推移しており、人口増加率よりも大きいことから、障害者手帳を所持する方の割合が増えてきているといえます。今後も高齢化の進展等ともあいまって、障害者手帳所持者数の割合は増えていくことが推測されます。

表1 横浜市人口と障害者手帳所持者数の比較

（各年度の3月末時点、ただし、横浜市人口のみ翌4月1日時点。以下同様）（人）

	29年度	30年度	31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
横浜市人口	3,731,706	3,741,317	3,753,771	3,775,319	3,768,363	3,768,664
身体障害者	99,361	99,515	99,732	99,455	98,829	97,869
知的障害者	29,409	30,822	32,281	33,553	34,859	36,283
精神障害者	34,578	36,901	39,232	40,854	43,767	46,975
手帳所持者全体	163,348	167,238	171,245	173,862	177,455	181,127
横浜市人口における 障害者手帳所持者数 割合	4.38 %	4.47 %	4.56 %	4.61 %	4.71 %	4.81 %

表2 横浜市人口と障害者手帳所持者の増加数の比較

（人）

	29～30年度	30～31年度	31～令和2年度	2～3年度	3～4年度
横浜市人口増加数	9,611	12,454	21,548	-6,956	301
（増加率）	0.26 %	0.33 %	0.57 %	-0.18 %	0.01 %
手帳所持者の増加数	3,890	4,007	2,617	3,593	3,672
（増加率）	2.38 %	2.4 %	1.53 %	2.07 %	2.07 %

(2) 身体障害

身体障害者手帳の所持者数は、肢体不自由が最も多く、次いで、内部障害となっています。肢体不自由は徐々に減少していますが、それ以外は横ばいあるいは少しずつ増加しています。

年齢ごとに見ると、「18歳未満」は微減、「18歳から65歳未満」は横ばいです。65歳以上の人数は令和2年度以降減少しているものの、手帳所持者の約70パーセントを占めています。

表3 身体障害者手帳 障害種別推移 各年度3月末時点（人）

	29年度	30年度	31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
視覚障害	6,349	6,397	6,438	6,443	6,483	6,543
聴覚・平衡機能障害	8,706	8,842	8,919	9,032	9,131	9,190
音声・言語・ そしゃく機能障害	995	1,021	1,031	1,054	1,056	1,053
肢体不自由	49,700	48,893	48,233	47,193	46,064	44,742
内部障害	33,611	34,362	35,111	35,733	36,095	36,341
計	99,361	99,515	99,732	99,455	98,829	97,869

表4 身体障害者手帳 年齢別推移 各年度3月末時点（人）

	29年度	30年度	31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
18歳未満	2,377	2,360	2,353	2,305	2,262	2,218
18歳～65歳未満	27,638	27,542	27,555	27,656	27,701	27,689
65歳以上	69,346	69,613	69,824	69,494	68,866	67,962
計	99,361	99,515	99,732	99,455	98,829	97,869
全体における 65歳以上の割合	69.8 %	70.0 %	70.0 %	69.9 %	69.7 %	69.4 %

(3) 知的障害

愛の手帳（療育手帳）の所持者数は、5年間で25パーセント以上、7千人近く増えています。中でも、B2の手帳を所持している人の増加数が、4千6百人以上となっており、全体の増加数の約68パーセントと多くを占めています。

全体の所持者数における各年齢の所持者数の割合は、この6年間を通して、ほぼ横ばいとなっています。

表5 愛の手帳 障害程度別推移 各年度3月末時点（人）

	29年度	30年度	31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
A1	5,209	5,340	5,498	5,609	5,773	5,864
A2	5,140	5,222	5,300	5,395	5,490	5,614
B1	6,296	6,556	6,724	6,915	7,162	7,342
B2	12,764	13,704	14,759	15,634	16,434	17,463
計	29,409	30,822	32,281	33,553	34,859	36,283

表6 愛の手帳所持者数 年齢別推移 各年度3月末時点（人）

	29年度	30年度	31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
18歳未満	11,237 38.2 %	11,809 38.3 %	12,348 38.3 %	12,739 38.0 %	13,210 37.9 %	13,805 38.0 %
18歳～65歳未満	17,261 58.7 %	18,033 58.5 %	18,915 58.6 %	19,778 58.9 %	20,587 59.1 %	21,366 58.9 %
65歳以上	911 3.1 %	980 3.2 %	1,018 3.2 %	1,036 3.1 %	1,062 3.0 %	1,112 3.1 %
計	29,409	30,822	32,281	33,553	34,859	36,283

(4) 精神障害

精神障害者保健福祉手帳の所持者数は、5年間で1万人以上増えていて、その増加率は約39パーセントです。特に増加しているのは2級で、全体の増加数の約62パーセントとなっています。

年齢ごとに見ると、手帳所持者数は全ての年齢層で増えていますが、増加率としては、特に20歳未満は2倍近くに増えていきます。

なお、精神障害者保健福祉手帳は、長期にわたり日常生活または社会生活への制約がある人を対象とするものです。一方で、医療の観点で捉えた場合、自立支援医療（精神通院医療）の受給者数は、令和元年度で約6万3千人となっています。通院を継続しながら生活を保っている人がいることを踏まえつつ、手帳所持者数だけでは全体像を捉えきれないことを認識しておく必要があります。

表7 精神障害者保健福祉手帳 等級別推移 各年度3月末時点（人）

	29年度	30年度	31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1級	3,457	3,673	3,809	4,033	4,278	4,424
2級	19,313	20,731	22,264	23,177	25,113	26,963
3級	11,808	12,497	13,159	13,644	14,376	15,588
計	34,578	36,901	39,232	40,854	43,767	46,975

表8 精神障害者保健福祉手帳 年齢別推移 各年度3月末時点（人）

	29年度	30年度	31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
20歳未満	1,021 3.0%	1,150 3.1%	1,341 3.4%	1,511 3.7%	1,705 3.9%	1,998 4.3%
20歳～65歳未満	28,523 82.5%	30,428 82.5%	32,246 82.2%	33,494 82%	35,908 82%	38,505 82%
65歳以上	5,034 14.6%	5,323 14.4%	5,645 14.4%	5,849 14.3%	6,154 14.1%	6,472 13.8%
計	34,578	36,901	39,232	40,854	43,767	46,975

(5) 発達障害

発達障害独自の障害者手帳は無く、知的障害を伴う場合は愛の手帳、知的障害を伴わない場合は精神保健福祉手帳の交付又はその両方の交付を受けていることがあります。一方で、医師の診断のみを受け、障害者手帳を取得していない人もいることから、障害者手帳所持者数のみで、発達障害児・者の人数を把握することは困難です。

とはいえ、発達障害に関する相談件数や診断件数の推移から推測すると、明らかに増加傾向にあると考えられます。また、発達障害の診断を受けた人だけでなく、本人や家族も発達障害に気付かないまま過ごしている人も少なからずいます。特に、知的障害が軽度である場合や、あるいは知的障害を伴わない場合には、生活に関する困りごとを抱えていても障害福祉分野の相談窓口などにつながっていないことも多いのが現状です。こうした人たちをどう把握し、適切な支援につなげていくかが課題のひとつです。

(6) 強度行動障害

対象者数を正確に把握できる統計はありません。行動上著しい困難があるとされる、障害支援区分認定調査の行動関連項目が10点以上の方は、令和元年8月時点で約3千4百人いますが、そのほかに障害福祉サービスを利用していない人もいるため、実際には更に多いと考えられます。

強度行動障害の多くは、障害特性を理解し適切な支援を行うことで、減少し、安定した生活を送ることができるとされています。そのためには、専門的な人材育成や支援体制が必要ですが、施策を検討するために必要な対象者の全体像を把握すること自体が難しいことも課題となっています。

(7) 医療的ケア

医療的ケア児・者（日常的に医療的ケアを必要とする人）は、障害者手帳を持っていない人もいるため、統計上、人数が把握できていないのが現状です。

国の調査によれば、平成30年度には日本全国で約1万9千人と推計されています。これは、平成17年度と比較すると、10年程度で約2倍に増えているという計算になります。横浜市では、約1千2百人程度が対象児・者だと推計しています。正確な人数は把握できていませんが、医療技術の進歩などにより、増加傾向にあるのは間違いないと考えています。

(8) 難病患者

障害者総合支援法では、障害者の範囲に、難病等を加えました。対象となる難病は、366疾病です（令和3年11月時点）。

このことにより、症状がわかりやすいなどの理由で身体障害者手帳を取得することができず制度の谷間にあった人が、障害福祉サービスを利用できるようになっています。

特定医療費（指定難病）受給者証所持者数は徐々に増えており、障害福祉サービスの推進に当たっては、今後も、難病等患者数も考慮しながら進めていく必要があります。

表9 横浜市特定医療費（指定難病）受給者証所持者数推移 各年度3月末時点（人）

	ねんど 29年度	ねんど 30年度	ねんど 31年度	れいわ ねんど 令和2年度	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度
よこはましとくていりようひ してい 横浜市特定医療費（指定 難病）受給者証所持者 数	22,573	23,748	24,145	26,579	26,905	27,984

しょうがいふくし どうおよ しょうがいじつうしよしえんどう えんかつ じっし かくほ
「障害福祉サービス等及び障害児通所支援等の円滑な実施を確保
きほんてき ししん かいせい がいよう
するための基本的な指針」改正の概要について

さんこう だい かい しゃかいほしょうしんぎかいしょうがいしゃぶかい
参考：第 135 回 社会保障審議会障害者部会

きほんししん
1. 基本指針について

- 「基本指針」(大臣告示)は、市町村及び都道府県が障害福祉計画及び障害児福祉計画を定めるに当たっての基本的な方針です。
- 都道府県及び市町村は、基本指針に則して原則3か年の「障害福祉計画」及び「障害児福祉計画」を策定します。
- 第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画に係る基本指針は、令和5年に告示されました。(計画期間は令和6年4月～令和9年3月。)

きほんししんみなお おも じこう
2. 基本指針見直しの主な事項

にゅうしょどう ちいきせいかつ いこう ちいきせいかつ けいぞく しえん
① 入所等から地域生活への移行、地域生活の継続の支援

- ・ 重度障害者等への支援に係る記載の拡充
- ・ 障害者総合支援法の改正による地域生活支援拠点等の整備の努力義務化

どう ふ みなお
等を踏まえた見直し

せいしんしょうがい たいおう ちいきほうかつ こうちく
② 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

- ・ 精神保健福祉法の改正等を踏まえた更なる体制整備
- ・ 医療計画との連動性を踏まえた目標値の設定

ふくししせつ いっぱんしゅうろう いこうどう
③ 福祉施設から一般就労への移行等

- ・ 一般就労への移行及び定着に係る目標値の設定

- ・一般就労中の就労系障害福祉サービスの一時利用に係る記載の追記

④障害児のサービス提供体制の計画的な構築

- ・児童発達支援センターの機能強化と地域の体制整備
- ・障害児入所施設からの移行調整の取組の推進
- ・医療的ケア児等支援法の施行による医療的ケア児等に対する支援体制の

充実

- ・聴覚障害児への早期支援の推進の拡充

⑤発達障害者等支援の一層の充実

- ・ペアレントトレーニング等プログラム実施者養成推進
- ・発達障害者地域支援マネージャーによる困難事例に対する助言等の推進

⑥地域における相談支援体制の充実強化

- ・基幹相談支援センターの設置等の推進
- ・協議会の活性化に向けた成果目標の新設

⑦障害者等に対する虐待の防止

- ・自治体による障害者虐待への組織的な対応の徹底
- ・精神障害者に対する虐待の防止に係る記載の新設

⑧「地域共生社会」の実現に向けた取組

- ・社会福祉法に基づく地域福祉計画等との連携や、市町村による包括的な支援体制の構築の推進に係る記載の新設

⑨障害福祉サービスの質の確保

- ・都道府県による相談支援専門員等への意思決定支援ガイドライン等を活用した研修等の実施を活動指標に追加

⑩障害福祉人材の確保・定着

- ・ ICTの導入等による事務負担の軽減等に係る記載の新設
- ・ 相談支援専門員及びサービス管理責任者等の研修修了者数等を活動指標に追加

⑪よりきめ細かい地域ニーズを踏まえた障害（児）福祉計画の策定

- ・ 障害福祉DBの活用等による計画策定の推進
- ・ 市町村内のより細かな地域単位や重度障害者等のニーズ把握の推進

⑫障害者による情報の取得利用・意思疎通の推進

- ・ 障害特性に配慮した意思疎通支援や支援者の養成等の促進に係る記載の新設

⑬障害者総合支援法に基づく難病患者への支援の明確化

- ・ 障害福祉計画等の策定時における難病患者、難病相談支援センター等からの意見の尊重
- ・ 支援ニーズの把握及び特性に配慮した支援体制の整備

⑭その他：地方分権提案に対する対応

- ・ 計画期間の柔軟化
- ・ サービスの見込量以外の活動指標の策定を任意化

3. 成果目標（計画期間が終了する令和8年度末の目標）

①施設入所者の地域生活への移行

- ・ 地域移行者数：令和4年度末施設入所者数の6%以上
- ・ 施設入所者数：令和4年度末の5%以上削減

②精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

- ・ 精神障害者の精神病床から退院後1年以内の地域における平均生活日数：

325.3日以上

・精神床における1年以上入院患者数

・精神床における早期退院率: 3か月後68.9%以上、6か月後84.5%

以上、1年後91.0%以上

③地域生活支援の充実

・各市町村において地域生活支援拠点等を整備するとともに、コーディネーターの配置などによる効果的な支援体制及び緊急時の連絡体制の構築を進め、また、年1回以上、支援の実績等を踏まえ運用状況の検証・検討を行うこと

・強度行動障害を有する者に関し、各市町村又は圏域において支援ニーズを把握し、支援体制の整備を進めること【新規】

④福祉施設から一般就労への移行等

・一般就労への移行者数: 令和3年度実績の1.28倍以上

・就労移行支援事業利用終了者に占める一般就労へ移行した者の割合が5割以上の事業所: 就労移行支援事業所の5割以上【新規】

・各都道府県は地域の就労支援ネットワークの強化、関係機関の連携した支援体制を構築するため、協議会を活用して推進【新規】

・就労定着支援事業の利用者数: 令和3年度末実績の1.41倍以上

・就労定着支援事業利用終了後一定期間の就労定着率が7割以上となる

就労定着支援事業所の割合: 2割5分以上

⑤障害児支援の提供体制の整備等

・児童発達支援センターの設置: 各市町村又は各圏域に1か所以上

・全市町村において、障害児の地域社会への参加・包容の(インクルージョン)

すいしんたいせい こうちく 推進体制の構築

- かくとどうふけん なんちようじしえん そうごうてき すいしん けいかく さくてい
各都道府県は難聴児支援を総合的に推進するための計画を策定するとともに、
かくとどうふけんおよ ひつよう おう せいれいし なんちようじしえん ちゅうかくてききのう は
各都道府県及び必要に応じて政令市は、難聴児支援の中核的機能を果たす

たいせい こうちく 体制を構築

- じゅうしょうしんしんしょうがいじ しえん じどうはつたつしえんじぎょうしょうどう かくしちょうそんまた けんいき
重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所等：各市町村又は圏域に
1 か所以上

- かくとどうふけん いりょうてき じしえん せっち しんき
各都道府県は医療的ケア児支援センターを設置【新規】

- かくとどうふけんおよ かくせいれいし しょうがいじにゆうしょせつ いこうちようせい かか
各都道府県及び各政令市において、障害児入所施設からの移行調整に係る

きょうぎ ば せっち しんき 協議の場を設置【新規】

⑥ そうだんしえんたいせい じゅうじつ きょうかどう 相談支援体制の充実・強化等

- かくしちょうそん きかんそうだんしえん せっちどう
各市町村において、基幹相談支援センターを設置等

- きょうぎかい こべつじれい けんどう つう ちいき きばん かいはつ かいげんどう
協議会における個別事例の検討を通じた地域サービス基盤の開発・改善等
【新規】

⑦ しょうがいふくし どう しつ こうじょう とりくみ かか たいせい こうちく 障害福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制の構築

- かくとどうふけんおよびかくしちょうそん しつこうじょう たいせい こうちく
各都道府県及び各市町村において、サービスの質向上のための体制を構築

4. かつどうしひょう 活動指標

① しせつにゆうしょしゃ ちいきせいかつ いこうどう 施設入所者の地域生活への移行等

とどうふけん しちょうそん (都道府県・市町村)

- きょたくかいご りようしゃすう りようじかんすう ※
居宅介護の利用者数、利用時間数
- じゅうどほうもんかいご りようしゃすう りようじかんすう ※
重度訪問介護の利用者数、利用時間数
- どうこうえんご りようしゃすう りようじかんすう ※
同行援護の利用者数、利用時間数
- こうどうえんご りようしゃすう りようじかんすう ※
行動援護の利用者数、利用時間数

- 重度障害者等包括支援の利用者数、利用単位数 ※

※個々のサービスとしての指標は初めて

- 生活介護の利用者数、利用日数
- 自立訓練（機能訓練・生活訓練）の利用者数、利用日数
- 就労選択支援の利用者数、利用日数 【新設】
- 就労移行支援の利用者数、利用日数
- 就労継続支援（A型・B型）の利用者数、利用日数
- 就労定着支援の利用者数
- 短期入所（福祉型、医療型）の利用者数、利用日数
- 自立生活援助の利用者数
- 共同生活援助の利用者数 ※重度障害者の利用者数を追加
- 計画相談支援の利用者数
- 地域移行支援の利用者数
- 地域定着支援の利用者数
- 施設入所支援の利用者数 ※新たな入所希望者のニーズ・環境の確認

②精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

（都道府県・市町村）

- 保健、医療・福祉関係者による協議の場の開催回数
- 保健、医療（精神科、精神科以外の医療機関別）、福祉、介護、当事者、家族等の関係者ごとの参加者数
- 保健、医療、福祉関係者による協議の場における目標設定及び評価の実施回数
- 精神障害者の地域移行支援の利用者数

- 精神障害者の地域定着支援の利用者数
- 精神障害者の共同生活援助の利用者数
- 精神障害者の自立生活援助の利用者数
- 精神障害者の自立訓練（生活訓練）【新設】

(都道府県)

- 精神病床からの退院後の行き先別の退院患者数

③地域生活支援の充実

(都道府県・市町村)

- 地域生活支援拠点等の設置箇所数とコーディネーターの配置人数、地域生活支援拠点等における機能の充実に向けた支援の実績等を踏まえた検証及び検討の実施回数

④福祉施設から一般就労への移行等

(都道府県)

- 福祉施設から公共職業安定所に誘導した福祉施設利用者数
- 福祉施設から障害者就業・生活支援センターに誘導した福祉施設利用者数
- 福祉施設利用者のうち公共職業安定所の支援を受けて就職した者の数

- 障害者に対する職業訓練の受講者数

⑤発達障害者等に対する支援

(都道府県・市町村)

- 発達障害者地域支援協議会の開催回数
- 発達障害者支援センターによる相談支援の件数

○ 発達障害者支援センター及び発達障害者地域支援マネジャーの関係機関
への助言件数

○ 発達障害者支援センター及び発達障害者地域支援マネジャーの外部機関
や地域住民への研修、啓発の件数

○ パアレントトレーニングやパアレントプログラム等の支援プログラム等の
実施者数

○ パアレントメンターの人数

○ ピアサポートの活動への参加人数

⑥ 障害児支援の提供体制の整備等

(都道府県・市町村)

○ 児童発達支援の利用児童数、利用日数

○ 放課後等デイサービスの利用児童数、利用日数

○ 保育所等訪問支援の利用児童数、利用日数

○ 訪問型児童発達支援の利用児童数、利用日数

○ 障害児相談支援の利用児童数

○ 医療的ケア児等に対する関連分野の支援を調整するコーディネーターの
配置人数

(都道府県)

○ 福祉型障害児入所施設の利用児童数

○ 医療型障害児入所施設の利用児童数

○ 医療的ケア児等の支援を総合調整するコーディネーターの配置人数 **【新設】**

⑦ 相談支援体制の充実・強化等

(市町村)

○ 基幹相談支援センターの設置 **【新設】**

○ 基幹相談支援センターによる地域の相談支援事業者に対する訪問等による専門的な指導・助言件数

○ 基幹相談支援センターによる地域の相談支援事業者の人材育成の支援件数

○ 基幹相談支援センターによる地域の相談機関との連携強化の取組の実施回数

○ 協議会における個別事例の検討を通じた地域のサービスの開発・改善 **【新設】**

⑧ 障害福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制の構築 (市町村)

○ 都道府県が実施する障害福祉サービス等に係る研修の参加や都道府県が市町村職員に対して実施する研修の参加人数

○ 障害者自立支援審査支払等システム等での審査結果を分析してその結果を活用し、事業所や関係自治体等と共有する体制の有無及びそれに基づく実施回数

(都道府県・市町村)

○ 都道府県等が実施する指定障害福祉サービス事業者及び指定障害児通所支援事業者等に対する指導監査の適正な実施とその結果の関係自治体との共有する体制の有無及びそれに基づく共有回数

(都道府県)

○ 相談支援専門員研修及びサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修の修了者数の見込み **【新設】**

○ ^{そうだん し えんせんもんいんおよ}相談支援専門員及びサービス ^{かんりせきにんしゃ}管理責任者・ ^{じどうはったつし えん かんりせきにんしゃ}児童発達支援管理責任者への
^{い し けっていし えん}意思決定支援ガイドライン等 ^{とう かつよう}を活用した ^{けんしゅう}研修の ^{じっしかいすうおよ}実施回数及び ^{しゅうりょうしやすう}修了者数の
^{み こ}見込み **【^{しんせつ}新設**】

さん こう
【参 考】

しょうがいしゃ ちゅうかんふり かえ む
障害者プラン中間振り返りに向けた

しょうがいしゃ かんけいだんたい どう おも ごいけん
障害者関係団体等へのグループインタビューでいただいた主な御意見

ぜんご ていしゆつ いけん げんぶん けいさい
※インタビュー前後に提出されたご意見も原文のまま掲載しています。

とくみ こうもく
◇プラン取組項目

さまざま せいかつ ばめん ささ ふきゅう けいはつ
◇様々な生活の場面を支えるもの 普及・啓発

ばんごう
No. 御 意 見

1	あか しょうがいしゃ ひと み おも 赤い障害者マークをカバンにつけている人をたまに見かけるようになったと思う。それによって、マークの存在を知っている人も自然に増えるとは おも しんぶん はなし で 思う。新聞にそれについての話が出ていた。
2	ふきゅう せいしん てちょう わりびき ぼしょ ふ ヘルプマークの普及。精神の手帳の割引の場所が増えた。
3	ごうりてき はいりよ ことば ひろ びょう たい しょくぼ りかい ひろ 合理的な配慮の言葉が広まっている。うつ病などのメンタルヘルスに対する職場の理解が広まった。
4	しゅうい かぞく しょうがいとくせいりかい ただ でき 周囲どころかそもそも家族の障害特性の理解（正しく）が出来ていない。
5	そと わたし じぶん と おおごえ さけ けいさつ かた ほどろ とき けいさつかん かた ひじょう ていねい わたし う こた せつ 外で私が自分で止められなく大声で叫んでしまって、警察の方に補導されてしまった時、その警察官の方が非常に丁寧に私の受け答えに接してくれました。
6	りかい なかま かぞく なかまうち つうしょさき かぞく りかい ふか おな き まえ やさ ちいみしゃかい 理解してくれる仲間・家族がいることで仲間内（通所先・デイケア・家族）での理解が深まり、同じことを聞いても前より優しくされた。地域社会 なか りかい ひろ かん の中での理解の広まりを感じる。
7	しゅうい りかい た いま おも おお 「周囲の理解が足りない」と今も思うことが多いです。
8	しゅうち すす き つか ひと ふ せいど ふくぎつ しえんしゃ せいどりかいぶそく そうだん じかん すく ヘルプマークの周知が進み、気を遣ってくれる人が増えた。制度が複雑なので支援者が制度理解不足だし、相談する時間も少ない。
9	じぶん いし つた え しゃしんどう つた 「自分の意思が伝わらない」。絵カード、写真等で伝わることもある。
10	しゅうい りかい すす おも 周囲の理解が進んだとは思えません。
11	しゅうち よ おも ヘルプマークが周知されるようになり、良かったと思います。
12	どう せっち はなし おも み 「コミュニケーションボード」をコンビニ等に設置するというお話があったように思うのですが、見たことはありません。

<small>さまざま</small> <small>せいかつ</small> <small>ばめん</small> <small>ささ</small> <small>ふきゅう</small> <small>けいはつ</small> ◇ 様々な生活の場面を支えるもの 普及・啓発	
<small>ばんごう</small> No.	<small>ご</small> <small>い</small> <small>けん</small> 御 意 見
13	<small>せいしんしょうがいしゃたい</small> <small>しゅうい</small> <small>りかい</small> <small>いま</small> <small>すす</small> <small>おも</small> <small>たい</small> <small>ちいきじゅうみん</small> <small>はんたいうんどう</small> <small>てんけいてき</small> <small>れい</small> <small>おも</small> <small>ほ</small> 精神障害者に対する周囲の理解は今でも進んでいないと思います。グループホームに対する地域住民の反対運動がその典型的な例だと思っています。本 <small>んにん</small> <small>きい</small> <small>め</small> <small>み</small> <small>じゅうみん</small> <small>しせん</small> <small>かん</small> 人を奇異な目で見る住民の視線を感じるようです。
14	<small>だいたい</small> <small>かんが</small> <small>かた</small> <small>い</small> <small>わた</small> <small>がいしゅつ</small> <small>いぜん</small> <small>せっちすう</small> <small>すく</small> <small>ちいき</small> <small>が</small> 大体「バリアフリー」の考え方も行き渡ってきているので、外出は以前よりしやすくなった。ただバリアフリートイレの設置数が少ない地域への外 <small>いしゅつ</small> <small>に</small> <small>あし</small> <small>ふ</small> <small>しょうがいしゃちゅうしゃじょう</small> <small>せっち</small> <small>まち</small> <small>か</small> <small>かん</small> <small>ただ</small> 出は二の足を踏む。障害者駐車場、バリアフリートイレ、エレベーターの設置などで街のユニバーサルデザイン化はすすんでいると感じている。但 <small>しせつ</small> <small>りょう</small> <small>こま</small> <small>かか</small> <small>ひと</small> <small>にんぶ</small> <small>ないぶしょうがいしゃとうとう</small> <small>ふ</small> <small>ぜったいすう</small> <small>た</small> <small>おも</small> しその施設を利用したい困りごとを抱える人たち（妊婦さん、ベビーカー、内部障害者等々）も増えているので絶対数はまだ足りないと思う。また <small>けんじょうしゃ</small> <small>ふてきせつ</small> <small>りょう</small> <small>けいはつ</small> <small>ひつよう</small> <small>ばめん</small> <small>た</small> <small>おも</small> <small>よこはまし</small> <small>どうにゅう</small> <small>けんとう</small> 健全者の不適切な利用など啓発が必要な場面が多々あると思う。横浜市もパーキングパーミットの導入を検討してほしい。
15	<small>しゅうち</small> バンダナをもっと周知してほしい。
16	<small>はい</small> <small>でんじは</small> <small>き</small> <small>ほ</small> <small>けいつい</small> <small>よわ</small> <small>ころ</small> <small>しょうげき</small> <small>くわ</small> <small>し</small> <small>かのうせい</small> <small>き</small> <small>ほ</small> <small>たどう</small> ペースメーカーが入っているので電磁波など気をつけて欲しい。頸椎が弱く、転んだり衝撃が加わると死ぬ可能性があるため気をつけて欲しい(多動 <small>はげ</small> <small>いっしょ</small> が激しいかたと一緒にしないでほしい)。
17	<small>さいがい</small> <small>はっせい</small> <small>まえ</small> <small>しゅうい</small> <small>はいりよ</small> <small>ぎょうせい</small> <small>しめ</small> 災害発生前に周囲が配慮すべきことを、行政から示しておいてほしい。
18	<small>いっばん</small> <small>かた</small> <small>しゅうい</small> <small>す</small> <small>かた</small> <small>しょうがいたい</small> <small>りかい</small> <small>よう</small> <small>また</small> <small>きょういく</small> <small>ひつよう</small> 一般の方、周囲に住む方の障害に対する理解をしてもらえる様なくみ又は教育が必要なのでは？
19	<small>きんりん</small> <small>こども</small> <small>しせん</small> <small>げんどう</small> <small>はいじよてき</small> <small>き</small> <small>ほんにん</small> <small>せいかつ</small> <small>じゅうじつ</small> <small>しゅうい</small> <small>ひと</small> <small>へんよう</small> <small>しょうがいりかい</small> <small>ふか</small> <small>ひつよう</small> 近隣の子供たちの視線や言動が（排他的な）気になったことがある。本人の生活の充実には周囲の人たちの変容（障害理解の深まり）が必要。その <small>ようねんき</small> <small>しょうちゅうがっこう</small> <small>じだい</small> <small>いっばん</small> <small>じどう</small> <small>せいと</small> <small>きょうせい</small> <small>いしき</small> <small>たか</small> <small>ひつよう</small> <small>ふくしかんけい</small> <small>しゃ</small> <small>きょういく</small> <small>かんけい</small> <small>しゃ</small> <small>れんけい</small> <small>ちいき</small> <small>ふくしいしき</small> <small>こうじょう</small> <small>め</small> ために、幼年期、小中学校時代の一般児童・生徒への共生の意識の高まりが必要。福祉関係者と教育関係者が連携して地域の福祉意識の向上を目ざ すべき。
20	<small>つうきんじ</small> <small>の</small> <small>ものいどう</small> <small>とき</small> <small>にんしき</small> <small>しみにん</small> <small>ぜんたい</small> <small>りかい</small> 通勤時の乗り物移動の時、ヘルプマークの認識があまりないこと。市民全体が理解あるようにしてほしい。

<small>さまざま</small> <small>せいかつ</small> <small>ばめん</small> <small>ささ</small> <small>ふきゅう</small> <small>けいはつ</small> ◇ 様々な生活の場面を支えるもの 普及・啓発	
<small>ばんごう</small> No.	<small>ご</small> <small>い</small> <small>けん</small> 御 意 見
21	<small>えき</small> <small>ちてきしょうがいしゃ</small> <small>こうどう</small> <small>けんじょうしゃ</small> <small>わ</small> <small>おも</small> <small>うれ</small> <small>ちゅう</small> 駅などに「知的障害者はこういう行動となることがあります」というようなポスターがあり、健常者にも分かってもらえると思ひ嬉しかった（注：アンケート用紙に“あたたかく見守ってください”という表記のポスターが縮小して添付）。
22	<small>しょくいん</small> <small>なか</small> <small>せいど</small> <small>わ</small> <small>ひと</small> <small>ちかつ</small> <small>さまざま</small> <small>かいぎ</small> <small>おこな</small> <small>し</small> <small>あ</small> <small>しょうがい</small> <small>ごかぞく</small> <small>ぎつだん</small> <small>せいど</small> 職員の中にも制度を分かっていない人がいる。地活だから様々な会議を行うが、そこで知り合った障害のある御家族と雑談していると、制度をまったく知らないということがある。「障害福祉のあんない」も「何それ？」となる場合がある。
23	<small>しょうがいふくし</small> <small>わた</small> <small>かた</small> <small>か</small> <small>おも</small> <small>さっし</small> <small>たいせつ</small> <small>いんさつ</small> 「障害福祉のあんない」の渡し方が変わったと思う。冊子も大切なので、印刷はケチるべきではない。
24	<small>しょうがいふくし</small> <small>よ</small> <small>なに</small> <small>りよう</small> <small>わ</small> <small>ほんにん</small> <small>てちょう</small> <small>きゅう</small> <small>う</small> <small>おも</small> <small>こ</small> <small>かた</small> 「障害福祉のあんない」を読んでも、何を利用できるのか分からない。ご本人は手帳3級では受けるサービスがないと思ひ込んでいる方もおられた。
25	<small>くやくしょ</small> <small>そうだん</small> <small>まどぐち</small> <small>し</small> <small>ひと</small> <small>じっさい</small> <small>くやくしょ</small> <small>そうだん</small> <small>たいおう</small> <small>き</small> <small>くやくしょ</small> <small>そうだん</small> 区役所に相談窓口があることを知らないという人もいる。実際に区役所に「相談があったからそちらで対応してもらえるか」と聞くと区役所は相談にのってくれる。でも本人たちは初回の相談で突っぱねられたと思ひてしまった。初回相談の時に丁寧に対応してもらえるといいのではないか。
26	<small>われわれ</small> <small>じ</small> <small>けいかく</small> <small>そうだん</small> <small>まどぐち</small> <small>せんでん</small> <small>いがい</small> <small>びょういん</small> <small>いし</small> <small>し</small> <small>おや</small> <small>かか</small> <small>こ</small> <small>いりようき</small> 我々は自アシだの計画相談だの窓口いっぱいあると宣伝しているが、意外と病院のワーカーや医師が知らない。親が抱え込んでしまうので、医療機関で社会資源を知ってもらったり知る姿勢をもってほしい。どうやって暮らしたらその人が地域で暮らせるのかまで思ひを馳せてくれるといいのに、意外と社会資源を知らない。
27	<small>どろが</small> <small>と</small> <small>じぎょうしょ</small> <small>しょうかい</small> <small>うご</small> <small>お</small> <small>じぎょうしょ</small> <small>よこはまし</small> <small>ちゅうしん</small> <small>どろが</small> <small>つく</small> <small>ほ</small> 動画を撮って事業所を紹介しましょうという動きが起きている。事業所バラバラにやっているので横浜市が中心になってそういう動画を作って欲しい。病院医療機関に地域の医療機関を紹介するときに使えたらサービスの説明もしやすい。「障害福祉のあんない」がアプリになって本を持ち歩かなくて済むようになった。同じような感じで一括して動画を作れないのか。
28	<small>せいど</small> <small>せつめい</small> <small>う</small> <small>りよう</small> <small>ほうほう</small> <small>てつづ</small> <small>わ</small> <small>じぎょうしょ</small> <small>さが</small> <small>むずか</small> <small>りよう</small> <small>かた</small> <small>おお</small> <small>かん</small> 制度やサービスの説明を受けても利用方法や手続きが分からず、また事業所を探すことが難しいため、利用できずにいる方が多いと感じます。

<small>さまざま</small> <small>せいかつ</small> <small>ばめん</small> <small>ささ</small> <small>ふきゅう</small> <small>けいはつ</small> ◇ 様々な生活の場面を支えるもの 普及・啓発	
<small>ばんごう</small> No.	<small>ご</small> <small>い</small> <small>けん</small> 御 意 見
29	<p> <small>とうしょ</small> <small>しゅう</small> <small>りょう</small> <small>たしせつ</small> <small>へいよう</small> <small>かた</small> <small>だれ</small> <small>そうだん</small> <small>わ</small> <small>うった</small> <small>わり</small> <small>おお</small> <small>き</small> <small>うった</small> <small>き</small> 当所を週5で利用または他施設を併用していない方からは、「誰に相談していいのかわからない」という訴えを割と多く聞く。そういった訴えを聞いて <small>とうしょ</small> <small>しよくいん</small> <small>しか</small> <small>そうだん</small> <small>まどぐち</small> <small>つな</small> <small>そうだん</small> <small>しえんいん</small> <small>がわ</small> <small>せいど</small> <small>せつめい</small> <small>すす</small> <small>かん</small> <small>げんざい</small> <small>かぞく</small> た当所の職員が然るべき相談窓口へ繋ぐか、相談支援員側から制度やサービスの説明を進んでしていくべきでは、と感じている。現在は、ご家族が <small>とうしょ</small> <small>しよくいん</small> <small>ただい</small> <small>いぞん</small> <small>かん</small> <small>けつ</small> <small>かん</small> 当所の職員に多大に依存している（それで完結してしまっている）と感じている。 </p>
30	<p> <small>けいかく</small> <small>そうだん</small> <small>きのう</small> <small>りかい</small> <small>にゅうきよしゃ</small> <small>ほう</small> <small>たすう</small> <small>みう</small> 計画相談の機能を理解していない入居者の方が多数見受けられる。 </p>
31	<p> <small>いどう</small> <small>じょうほう</small> <small>かつどう</small> <small>し</small> 移動情報センターの活動を知らない。 </p>
32	<p> <small>かぞく</small> <small>くるま</small> <small>りょう</small> <small>さい</small> <small>つうしょ</small> <small>つういん</small> <small>いどう</small> <small>しゆだん</small> <small>いどう</small> <small>こま</small> <small>ばめん</small> <small>みう</small> <small>いどう</small> <small>じょうほう</small> <small>じょうほう</small> <small>はあく</small> ご家族が車も利用できない際に、通所や通院などにより、移動手段がなく移動で困る場面が見受けられます。移動情報センターの情報を把握できて <small>かた</small> <small>りょう</small> <small>さき</small> <small>み</small> <small>げんじょう</small> いない方、利用をしているが、サービス先が見つからない現状です。 </p>
33	<p> <small>いどう</small> <small>じょうほう</small> <small>し</small> <small>かか</small> <small>りょうしゃ</small> <small>なか</small> <small>りょう</small> <small>ひと</small> <small>こうれい</small> <small>けが</small> <small>ほごう</small> <small>こんなん</small> 移動情報センターについては知りませんでした。関わっている利用者の中で利用した人はいません。しかし、高齢や怪我により歩行が困難になって <small>かた</small> <small>ひつよう</small> <small>おう</small> <small>すす</small> <small>おも</small> <small>しょうがい</small> <small>こうきょう</small> <small>こうつう</small> <small>きかん</small> <small>りょう</small> <small>でき</small> <small>ひとり</small> <small>きたく</small> <small>でんしゃない</small> しまった方もいるので、必要に応じてサービスを進めたいと思います。またパニック障害で公共交通機関を利用出来ない、一人で帰宅すると電車内 <small>げんちよう</small> <small>で</small> <small>こま</small> <small>かた</small> <small>ひつよう</small> <small>かた</small> <small>てきせつ</small> <small>じょうほう</small> <small>ていきよう</small> <small>でき</small> <small>りかい</small> <small>ふか</small> <small>おも</small> で幻聴が出てしまい困っているという方もいました。必要な方に適切な情報提供が出来るようサービスについて理解を深めたいと思います。 </p>
34	<p> <small>いどう</small> <small>じょうほう</small> <small>そんざい</small> <small>りょう</small> <small>ほうほう</small> <small>しゅうち</small> <small>すす</small> <small>じょうきよう</small> <small>そうだん</small> <small>しえん</small> <small>しよくいん</small> <small>そんざい</small> <small>りかい</small> <small>いどう</small> <small>じょうほう</small> <small>もと</small> 移動情報センターの存在や利用方法の周知が進んでいない状況といえる。また、相談支援の職員は存在を理解しているが、移動情報センターに求め <small>じょうほう</small> <small>いぜん</small> <small>へんか</small> <small>なか</small> <small>じょうほう</small> <small>きゅうたいいぜん</small> <small>し</small> <small>じょうほう</small> <small>え</small> <small>りょう</small> <small>ひつようせい</small> <small>じょうきよう</small> <small>いどう</small> <small>しえん</small> <small>にな</small> たい情報が以前と変化している中で、情報が旧態依然としているため、知りたい情報は得られず、利用する必要性がない状況。また、移動支援の担 <small>て</small> <small>ふそく</small> <small>じんざい</small> <small>いくせい</small> <small>すいしん</small> <small>かん</small> <small>と</small> <small>けいかく</small> <small>そうだん</small> <small>すす</small> <small>き</small> <small>なか</small> <small>いどう</small> <small>じょうほう</small> <small>じぎょう</small> <small>ひつようせい</small> <small>やくわり</small> い手が不足しているが、人材育成を推進しているようにも感じ取れない。計画相談が進んで来ている中、移動情報センターの事業の必要性や役割を <small>さいけんとう</small> <small>じき</small> <small>はい</small> <small>き</small> <small>おも</small> 再検討する時期に入って来ていると思われる。 </p>
35	<p> <small>ちいき</small> <small>かた</small> <small>しょうがい</small> <small>かた</small> <small>く</small> <small>ようす</small> <small>けいはつ</small> <small>ひつよう</small> <small>おも</small> <small>でまえ</small> <small>こうざ</small> <small>けんしゅうかい</small> <small>けいはつ</small> <small>どうが</small> <small>しょう</small> <small>じっし</small> <small>け</small> 地域の方に、障害のある方の暮らしの様子についての啓発は必要と思われる。出前講座や研修会、啓発ツール（チラシや動画）を使用して実施を継 <small>いぞく</small> 続していく。 </p>

<small>さまざま</small> <small>せいかつ</small> <small>ばめん</small> <small>ささ</small> <small>ふきゅう</small> <small>けいはつ</small> ◇ 様々な生活の場面を支えるもの 普及・啓発	
<small>ばんごう</small> No.	<small>ご</small> <small>い</small> <small>けん</small> 御 意 見
36	<small>こうれいか</small> <small>じゅうどか</small> <small>たいおう</small> <small>かいしゅうじぎょう</small> <small>し</small> 高齢化・重度化対応バリアフリー改修事業については、知らなかった。
37	<small>みち</small> <small>きんじよ</small> <small>おやこ</small> <small>ある</small> <small>しょうがくせい</small> <small>ふしんしゃ</small> <small>おも</small> <small>けいさつ</small> <small>つうほう</small> <small>いえ</small> <small>けいかん</small> <small>き</small> <small>おどろ</small> <small>かな</small> 道（近所）を親子で歩いていて小学生に不審者に思われ、警察に通報され、家に警官が来たのには驚き、悲しかったです。
38	<small>がいしゅつさき</small> <small>ほっさ</small> <small>きょうちよくせい</small> <small>お</small> <small>とき</small> <small>ゆか</small> <small>すわ</small> <small>こ</small> <small>ほっさ</small> <small>と</small> <small>ま</small> <small>しゅうい</small> <small>おおぜい</small> <small>ひと</small> <small>だれひとり</small> <small>こえ</small> 外出先でてんかん発作（強直性）を起こした時、床に座り込んで発作が止まるのを待ちましたが、周囲に大勢の人がいたのに誰一人声をかけること <small>ひ</small> <small>しゅじん</small> <small>しかた</small> <small>はな</small> <small>だいじょうぶ</small> <small>なに</small> <small>てつだ</small> <small>ことば</small> <small>で</small> <small>よ</small> なく、みんな引いていました。主人とは「仕方ないよ」と話しましたが、「大丈夫ですか？」「何かお手伝いしますか？」くらいの言葉が出る世の <small>なか</small> <small>おも</small> 中になってほしいと思います。
39	<small>なんど</small> <small>と</small> <small>ひと</small> <small>おお</small> <small>の</small> <small>だれ</small> <small>ゆず</small> <small>こま</small> <small>かな</small> <small>おお</small> エレベーターで、何度止まっても人が多くて乗ることができない、誰も譲ってくれない、というのは、困るというより悲しいというのが大きい。
40	<small>せいしん</small> <small>ないぶ</small> <small>しょうがい</small> <small>そと</small> <small>み</small> <small>じぶん</small> <small>はっしん</small> <small>ひつよう</small> 精神や内部障害は外から見えないので自分から発信していくことが必要。
41	<small>こ</small> <small>しょうがい</small> <small>ひと</small> <small>み</small> <small>おや</small> <small>み</small> <small>ことば</small> <small>かな</small> <small>こ</small> <small>たい</small> <small>ことば</small> <small>かんが</small> 子どもが障害のある人をずっと見ていて、親の「見ないの」という言葉がとっても悲しい。子どもに対しての言葉がけをもっと考えてほしい。
42	<small>れいわがねん</small> <small>しゅうい</small> <small>りかい</small> <small>た</small> <small>せいしん</small> <small>こえ</small> <small>たい</small> <small>ねんご</small> <small>かいぜん</small> <small>かん</small> <small>じぶん</small> <small>えら</small> <small>けつてい</small> <small>こと</small> <small>ぶ</small> <small>し</small> 令和元年で「周囲の理解が足りない」（精神）との声に対して3年後の改善されたと感じることは、「自分で選び、決定する」という事を踏まえた支 <small>えん</small> <small>しゅうい</small> <small>ちいき</small> <small>りかい</small> <small>ひろ</small> <small>かんそう</small> <small>なか</small> <small>かぞく</small> <small>しょくばとう</small> <small>ほんにん</small> <small>みじか</small> <small>かた</small> <small>りかい</small> <small>た</small> 援になってきている。周囲（地域）の理解が広まってきている。という感想がある中、まだまだ家族や職場等ご本人に身近な方の理解が足りない。 <small>いけん</small> <small>たすう</small> というご意見も多数あった。
43	<small>ちいき</small> <small>せいそぎょうむ</small> <small>う</small> <small>お</small> <small>ちいき</small> <small>かた</small> <small>くろうさま</small> <small>こえ</small> <small>りようしゃ</small> <small>かた</small> <small>はげ</small> 地域の清掃業務を請け負っていますが、地域の方から「ありがとうございます」「ご苦労様です」という声をかけていただき、利用者の方の励みと なっているようです。
44	<small>ちいき</small> <small>ぎょうじ</small> <small>さんか</small> 地域の行事に参加している。
45	<small>ちく</small> <small>かいさい</small> <small>まーじゃん</small> <small>かた</small> <small>ほか</small> <small>ちく</small> <small>であ</small> <small>ちいき</small> <small>かた</small> <small>しょうぎ</small> <small>つう</small> <small>こうりゅう</small> <small>ふか</small> <small>かた</small> 地区センターで開催されていた麻雀サークルにつながった方がいる。他にも地区センターで出会う地域の方と将棋などを通じて交流を深めている方 もいる。
46	<small>こうれいしゃ</small> <small>しゅうしゅう</small> <small>か</small> <small>ものしえん</small> <small>りようしゃ</small> <small>ながねん</small> <small>おこな</small> 高齢者のごみ収集、買い物支援を利用者が長年行っている。

<small>さまざま</small> <small>せいかつ</small> <small>ばめん</small> <small>ささ</small> <small>ふきゅう</small> <small>けいはつ</small> ◇ 様々な生活の場面を支えるもの 普及・啓発	
<small>ばんごう</small> No.	<small>ご</small> <small>い</small> <small>けん</small> 御 意 見
47	<small>まつ</small> <small>こうりゅう</small> <small>きかい</small> <small>つく</small> 祭りなどで交流の機会を作っている。
48	<small>じぶんたち</small> <small>ちいき</small> <small>こと</small> <small>し</small> <small>おし</small> <small>たいせつ</small> <small>よか</small> <small>しえん</small> <small>とう</small> <small>ちゅうしんてき</small> <small>やくわり</small> <small>にな</small> <small>ちいき</small> 自分達がまず地域の事を知ること、教えてもらうことが大切。余暇支援（パラフェスタ等）で中心的な役割を担っていただいている。地域として <small>こま</small> <small>きょうゆう</small> <small>いっしょ</small> <small>うご</small> <small>かんけい</small> 困っていることの共有ができ一緒に動いていただける関係づくり。
49	<small>しょうがいふくし</small> <small>ざいたく</small> <small>じかん</small> <small>かいじょ</small> <small>う</small> <small>りゆう</small> <small>わ</small> 障害福祉サービスだと、在宅でないと24時間介助を受けられない理由が分かりません。

とりにみ こうもく
◆プラン取組項目

さまざま せいかつ ばめん ささ じんざい かくほ いくせい
◆様々な生活の場面を支えるもの 人材確保・育成

ばんごう
No. 御 意 見

1 グループホームをつくるにしてもスタッフが集まらなくて出来ないとか、ガイドヘルパーも今まで対応してくれていたのにヘルパーがいないとか、支援する人が足りるようにしますとのことですが、どの程度達成出来ているのですか。

2 24時間重度訪問介護を利用しているけど、ヘルパーの絶対数が少ないのは一番の問題。障害者プランの中に盛り込んでください。

3 ガイドヘルパーを使っていますが、最近どこの事業所も人不足で移動支援数はあるがヘルパーが居ないため、思うように使えない事が多い。

4 グループホームに在籍しているが、ずうっと職員不足で3つのホームでローテーションを組んで、皆さんがぎりぎりの労働時間で接して下さってるのには頭が下がります。もう少し賃金（職員の）をアップして下さらないと、職員不足は解決しないのではないかと？

5 グループホームのスタッフは皆とてもよくして下さいますが、もう少し人手が多かったらと思います。

6 職員の待遇改善はもちろん、多くのボランティアに日常を支えていただいています。女性が働くことも多くなり、定年延長となるとボランティアをして下さる方が少なくなるので、学生・仕事をしている方でもボランティアをすることが当たり前になって欲しいです。

7 研修で本人中心と話しているが区の職員の意識が低かったかも。残念。親の思いと本人の思いが違うことはよくあると聞く。現場レベルで徹底しないといけない。

8 窓口相談に行っても職員の配置が少ないとおもう。だから窓口も混んでいる。産休に入った職員がいるのに人が配置されていなかったり、そもそも人口割合に対して足りないというところに補充してほしい。アルバイトの人が代わりに窓口に出るというのは違うのではないかと。

9 移動の際に必要なガイドヘルパー等の資源がまだまだ足りないと感じる。まずは福祉に関係する人材の確保や世間の理解を普及させることも必要である。

<small>さまざま</small> <small>せいかつ</small> <small>ぼめん</small> <small>ささ</small> <small>じんざい</small> <small>かくほ</small> <small>いくせい</small> ◇ 様々な生活の場面を支えるもの 人材確保・育成	
<small>ばんごう</small> No.	<small>ご</small> <small>い</small> <small>けん</small> 御 意 見
10	<small>せいど</small> <small>お</small> <small>たずさ</small> <small>しょくいん</small> <small>いみ</small> <small>むかし</small> <small>しょくいん</small> <small>すこ</small> <small>たずさ</small> <small>ひと</small> <small>けいかく</small> <small>そうだん</small> <small>かた</small> <small>いそが</small> <small>りようしゃ</small> <small>いそが</small> <small>かん</small> 制度に追われて携わる職員さんでは意味がない。昔は職員がもう少し携わってくれる人がいた。計画相談の方も忙しいから、利用者も忙しく感じ <small>かんさ</small> <small>しよるい</small> <small>ひつよう</small> <small>だいじ</small> <small>こんご</small> <small>のこ</small> る。監査などのためにちゃんとした書類も必要だが、大事なところは今後も残していかなくてははいけない。
11	<small>れんけい</small> <small>ひつよう</small> <small>れんけい</small> <small>いじょうじんいんはいち</small> <small>ととの</small> <small>ぎょうむぶんたん</small> <small>めいかく</small> <small>みな</small> <small>ぜんぶ</small> 連携が必要だが、連携する以上人員配置を整えるとか業務分担を明確にしないと皆が全部やるということになる。
12	<small>きぼう</small> <small>じかん</small> <small>よう</small> <small>じんざいぶそく</small> <small>かん</small> 希望ヘルパーさんを見つけてもらうのに時間をととても要するため、ヘルパーさんの人材不足を感じます。
13	<small>ふくし</small> <small>ひなんじよ</small> <small>かいせつ</small> <small>ぼあい</small> <small>しょくいんかくほ</small> 福祉避難所が開設した場合の職員確保。
14	<small>しょうがっこう</small> <small>ふくし</small> <small>きょういく</small> <small>おお</small> <small>しょうがいしゃ</small> <small>く</small> <small>がっこう</small> <small>せんせい</small> <small>しょうがくせいわ</small> 小学校からの福祉教育のオーダーは多い。障害者がどこで暮らしているかは学校の先生も小学生も分かっていない。
15	<small>きよじゅう</small> <small>あんしん</small> <small>せいかつ</small> <small>つづ</small> <small>しんたいかいご</small> <small>やかん</small> <small>しょくいん</small> <small>ひつよう</small> <small>かいご</small> <small>でき</small> <small>しょくいん</small> 「居住しているホームで、安心して生活し続ける」ためには、身体介護や夜間に職員がいることが必要になってくる。介護出来る職員がいない。グ <small>かたち</small> <small>か</small> <small>じんいん</small> <small>ひつよう</small> <small>むずか</small> ループホームの形を変えないといけないし、人員もそれなりに必要になってくると難しい。
16	<small>かたち</small> <small>た</small> <small>と</small> <small>く</small> <small>じんざいぶそく</small> <small>じんざいいくせい</small> <small>くろう</small> <small>にゅうしょ</small> <small>も</small> <small>にゅうしょ</small> <small>しえん</small> こういう形でプランを立てているが、取り組むためにも人材不足。人材育成は苦労している。入所を持っているが、入所やグループホームの支援を <small>じんざい</small> <small>すく</small> <small>ねんばい</small> <small>ひと</small> <small>と</small> <small>くふう</small> <small>くる</small> <small>いちほうじん</small> <small>いちじぎょうしょ</small> <small>じんざいかくほ</small> <small>かなが</small> <small>げんかい</small> <small>ほんとう</small> する人材がかなり少ない。年配の人でもなんとか泊まれるようにと工夫するが苦しい。一法人とか一事業所とかで人材確保を考えるのは限界。本当 <small>ひと</small> <small>ぎゃくたい</small> <small>お</small> <small>ちかつ</small> <small>やきん</small> <small>しせつ</small> <small>しょくいん</small> <small>ひへい</small> に人がいなくなると虐待も起こりやすくなる。地活もショートや夜勤もあるが、施設やグループホームの職員はかなり疲弊している。こうしたいと <small>じんざい</small> <small>きび</small> <small>いっぽうちいき</small> <small>なか</small> <small>く</small> <small>ちかつ</small> <small>いろ</small> <small>じぎょう</small> <small>ひと</small> いうものはあるが人材がいないと厳しい。一方地域の中で暮らせるようにというのもある。地活には色々な事業があって人はそれなりにいるが、そ <small>しょくいん</small> <small>じぎょう</small> <small>でき</small> <small>へん</small> <small>りんきおうへん</small> <small>たいおうでき</small> <small>い</small> <small>やきん</small> <small>しょくいん</small> <small>そうだんいん</small> <small>やきん</small> <small>でき</small> の職員はその事業しか出来ない。その辺が臨機応変に対応出来ると良い。夜勤をやっていた職員がステップアップして相談員になると、夜勤が出来 <small>やきん</small> <small>でき</small> <small>へ</small> <small>ひと</small> <small>しごと</small> <small>きび</small> <small>じゅうなん</small> <small>でき</small> <small>うけい</small> <small>でき</small> なくなる。夜勤が出来るスタッフが減るので、この人はこの仕事しかできない、というのがあったと厳しい。柔軟に出来ると受入れが出来たりとかし <small>おも</small> ていいと思った。

さまざまな生活の場面を支えるもの 人材確保・育成

No. 御 意 見

17 ちいき しょうがっこう ふくしきょういく ひつよう。げんじょうがっこう ふくしきょういく はい むずか こうちょう か はい せんせい いどう はい
 地域の小学校に福祉教育が必要。現状学校に福祉教育が入るのは難しい。校長が代わると入れなくなったりとか先生が異動すると入れなくなったり
 する。福祉教育の提案を何回かしているけど、いいねと言っていた人が異動などでいなくなると関係が終わる。インクルーシブ教育とかも同じと思
 うが小さい時から身近に障害者があるという経験があると、小さい頃にこういう体験したからこういう学校に進んだ、とかいう子が多い。実習生と
 かに話を聞くとそう。地域の学校とどう繋がっていくか。単発ではなく継続出来るものがあるといい。学校は子どもの主体性を尊重すると言う。だ
 から子供が興味持たなかったら繋がらないみたいな話をしてくる。ただ福祉を知らないのに福祉に興味持つ子はいるのか。障害のある子は小中高大と
 進む中でどんどん周りからいなくなるし、小さい時に知ることが大事。

18 グループホームをつくるにしてもスタッフが集まらなくて出来ないとか、ガイドヘルパーも今まで対応してくれていたのにヘルパーがいなくて、
 支援する人が足りるようにしますとのことですが、どの程度達成出来ているのですか。解決につながらない相談窓口をいくら設けても、むなしいだ
 けです。何よりもスタッフやヘルパーの待遇をよくして、支援する人を増やして下さい。

とくみ こうもく
◇プラン取組項目

さまざま せいかつ ばめん ささ けんり ようご
◇様々な生活の場面を支えるもの 権利擁護

ばんごう
No. 御 意 見

1 1 合理的配慮や、メンタルヘルスの理解が広がっていて良くなった部分もあるが、家族の理解が得られないことがある。また、制度が複雑なので支援者が制度理解不足だし、相談する時間も少ない。

2 2 周りの理解について大きく変化したという事は感じていない様子。意思決定支援が言われるようになり、変わってきた感はある。親が子供のことを一番知っているから、逆に子供を差別しているかもしれない。きつこうだ、と決めつけてしまっている部分もある。

3 3 奇異な目でみられるのは、もう諦めている。ヘルパー、福祉のひとでも、配慮の無いことをいう人がいる。でもその方たちに頼らないと生活がまわらないので、我慢するしかない！！

4 4 近隣の子供たちの視線や言動が（排除的な）気になったことがある。本人の生活の充実には周囲の人たちの変容（障害理解の深まり）が必要。そのために、幼年期、小中学校時代の一般児童・生徒への共生の意識の高まりが必要。福祉関係者と教育関係者が連携して地域の福祉意識の向上を目指す。

5 5 中期事業計画として「利用者が抱える現在、未来の生活上の不安や課題に身近な相談者として寄り添う等計画を立て、虐待防止や身体拘束など人権擁護に関するマニュアル等を作成している。また意思決定支援についての研修を受講した職員もいる

<small>さまざま</small> <small>せいかつ</small> <small>ばめん</small> <small>ささ</small> <small>けんり</small> <small>ようご</small> ◇ 様々な生活の場面を支えるもの 権利擁護	
<small>ばんごう</small> No.	<small>ご</small> <small>い</small> <small>けん</small> 御 意 見
6	<p> <small>いぞんしょう</small> <small>だぶりゅーえいちおー</small> <small>せかいほけんきこう</small> <small>せいしんいがく</small> <small>しんだんきじゆん</small> <small>にんてい</small> <small>びょうき</small> <small>いっばん</small> <small>ひと</small> <small>にんしき</small> <small>いしはくじゃくしゃ</small> <small>は</small> 依存症はWHO (世界保健機構) やアメリカの精神医学診断基準でも認定されている病気です。まだまだ一般の人たちの認識は意志薄弱者、犯 </p> <p> <small>んざい</small> <small>みかた</small> <small>ひと</small> <small>おお</small> <small>げんじょう</small> <small>げん</small> <small>せつりつ</small> <small>けいかく</small> <small>ちいきじゅうみん</small> <small>みなさま</small> <small>せつめいかい</small> 罪という見方をされる人が多いのが現状としてあります。現にグループホームの設立を計画し、地域住民の皆様には説明会をしたところ、「あなたた </p> <p> <small>おこな</small> <small>じぎょう</small> <small>すば</small> <small>ちいき</small> <small>はんたい</small> <small>ねんつづ</small> <small>ちいきじゅうみん</small> <small>はんたい</small> ちが行おうとしている事業は素晴らしいことだけど、この地域でやることには反対です」ということが2年続けて、それぞれの地域住民から反対にあ </p> <p> <small>げんざい</small> <small>ぼしよ</small> <small>おおや</small> <small>はか</small> <small>か</small> <small>でき</small> <small>ちいきじゅうみん</small> <small>みなさま</small> <small>たい</small> <small>ほうてき</small> <small>せつめいぎむ</small> いました。現在のデイケアのある場所は大家さんの計らいもあり、お借りすることが出来ました。地域住民の皆様に対しては法的な説明義務がな </p> <p> <small>せつめいかい</small> <small>ひら</small> <small>こんご</small> <small>かつどう</small> <small>とお</small> <small>りかい</small> <small>え</small> <small>おも</small> <small>かたち</small> <small>のぞ</small> <small>し</small> いたため説明会は開いておりません。しかし、今後ボランティア活動などを通して理解が得られればとは思いますが、どのような形が望ましいのか思 </p> <p> <small>あんちゅう</small> 案中です。 </p>
7	<p> <small>でんわ</small> <small>そうだん</small> <small>うえ</small> <small>めせん</small> <small>ひと</small> <small>いや</small> <small>い</small> <small>ごえ</small> <small>かね</small> <small>かんり</small> <small>ひと</small> <small>えら</small> 電話相談にかけると上から目線の人が出て嫌だったと言う声もある。またあんしんセンターでお金の管理をしてもらっている人がいるが、偉そうに </p> <p> <small>いや</small> <small>おも</small> <small>ひと</small> されてすごく嫌な思いをしたという人もいた。 </p>
8	<p> <small>きんねん</small> <small>しょうがい</small> <small>たい</small> <small>りかい</small> <small>いぜん</small> <small>すす</small> <small>かん</small> <small>きい</small> <small>め</small> <small>む</small> <small>こと</small> <small>な</small> <small>ひこうき</small> <small>とうじょうじ</small> <small>ざせき</small> 近年は障害に対する理解が以前より進んだように感じています。奇異の目を向けられる事もほとんど無くなりました。飛行機の搭乗時すぐに座席に </p> <p> <small>つ</small> <small>こと</small> <small>せつめい</small> <small>さいしよ</small> <small>の</small> <small>でんしゃ</small> <small>の</small> <small>おや</small> <small>となり</small> <small>すわ</small> <small>いどう</small> <small>かた</small> <small>て</small> 着かないとパニックをおこす事を説明したら、最初にらせていただきました。電車に乗ると親の隣に座れるよう、移動して下さる方もいます。手 </p> <p> <small>とき</small> <small>ほんにん</small> <small>りかい</small> <small>せつめい</small> <small>ちりょう</small> <small>う</small> <small>にゅういんじ</small> <small>こしつ</small> <small>てはい</small> をケガした時、本人に理解できるよう説明していただいたのでスムーズに治療を受けることができました。入院時、個室を手配していただいたのも </p> <p> <small>たす</small> <small>ひと</small> <small>じゅうど</small> <small>ことば</small> <small>はな</small> <small>なに</small> <small>あつか</small> <small>う</small> <small>とく</small> <small>ふくしかんけいしゃ</small> <small>いりょうかんけいしゃ</small> <small>ば</small> 助かりました。「この人は重度で言葉も話せないから何もわからない」という扱いを受けることもあります。特に福祉関係者や医療関係者による場 </p> <p> <small>あい</small> <small>こま</small> 合は困ってしまいます。 </p>
9	<p> <small>いっばん</small> <small>ひと</small> <small>つか</small> <small>よう</small> <small>ちず</small> <small>びょういんめい</small> <small>で</small> <small>おお</small> <small>きゅうじ</small> 一般の人が使いやすい様にしているのが地図。ただ病院名とかは出てないことが多い。トイレとかも急事である。 </p>

とくみ こうもく
◇プラン取組項目

さまざま せいかつ ばめん ささ そうだん しえん
◇様々な生活の場面を支えるもの 相談支援

ばんごう
No. 御 意 見

1 グループホーム職員に相談している。聞けばわかるから大丈夫。いろんなことを相談している。前は職員が忙しくて話できなかったけど今はできる。前は時間がなかったけど今は時間がとれる。夜部屋に来て職員とお話する。相談できる人がいると安心する。困ったとき相談するのはグループホームの職員（生活に関すること）。会社の中では会社の上司とかに相談する（仕事に関すること）。

2 だれ くだ だれ き おし じょうほう ぜんぶ しんよう すこ こわ
 誰が、どこが詳しいか、誰に聞いたら教えてもらえるのか？それがわからない。ネットの情報は全部は信用できず、少し怖いこともある。

3 く いそが そうだん しー せいかつしえん おな
 区ワーカー 忙しくて相談にのってもらえない 支C（生活支援センター）のワーカーも同じ

4 ほんとう こま だれ そうだんでき しきい たか き
 本当に困っているときは誰にも相談出来ないかもしれません。どこも敷居が高い気がします。

5 く いそが せいかつしえん きかんそうだんしえん そうだん いりようきかん りかい
 区のケースワーカーさんが忙しいので、生活支援センターや基幹相談支援センターで相談している。医療機関がもっとサービスについて理解してほしいと思っており、生活支援センターの職員が病院で研修をしてくれたことがあるので、そういった機会が増えると良い。

6 ほんにん しょうがい おち しゅうい ひつよう おち けんどう けつてい しえんせいど しょうがいふくし たす な
 本人は障害が重いため、周囲が必要と思われるサービスについて検討・決定しています。支援制度・障害福祉サービスには助けられていますが、内容や手続方法等わからない事ばかりで福祉担当の方や通所先の手助けが無かったらできなかったと思います。先天性で重度の知的障害がある場合、
 まいとし こうしんてつづき しんだんしょ ていしゅつとう いみ ぎもん おち すこ かんりやくか
 毎年の更新手続、診断書の提出等は意味があるのか？とつねづね疑問に思っています。もう少し簡略化はできないもののでしょうか？

7 く ふくしか けんこう いりよう せいかつしえん と あ おお かんけいしゃ はなし もんだい かいけつ おお
 区福祉課健康センターの医療ソーシャルワーカーや生活支援センターに問い合わせることが多い。関係者と話ができると、問題が解決することが多い。

8 どうじしゃ い きかん そうだんしえん なに いけん そうだん い き いけん
 当事者が言うには基幹相談支援センターとは何かわからないという意見をもらうことがあった。相談に行ったことも、聞いたこともないという意見があった。

<small>さまざま</small> <small>せいかつ</small> <small>ばめん</small> <small>ささ</small> <small>そうたん</small> <small>しえん</small> ◇ 様々な生活の場面を支えるもの 相談支援	
No.	<small>ご</small> <small>い</small> <small>けん</small> 御 意 見
9	<small>のうせい</small> <small>ばあい</small> <small>しょうがい</small> <small>ひじょう</small> <small>おも</small> <small>そうたん</small> <small>ひつぜんてき</small> <small>なかま</small> <small>どうし</small> <small>そうたん</small> <small>はいりよ</small> 脳性まひの場合はコミュニケーション障害が非常に重いので相談しようがありません。必然的に仲間同士の相談になる。配慮してほしい。
10	<small>しかく</small> <small>しょうがい</small> <small>いしゃ</small> <small>ばあい</small> <small>さっし</small> <small>そうたん</small> <small>きさい</small> <small>い</small> <small>またん</small> <small>ひと</small> <small>つた</small> 視覚障害者の場合は、冊子にはピア相談と記載があっても言ってくれないとわからないということがある。末端の人には伝わっていないのではない <small>か</small> <small>よ</small> <small>つた</small> <small>だいじ</small> か。書いてあるから良いではなく、どこまで伝えられるかが大事。
11	<small>ほんにん</small> <small>じゅうど</small> <small>ちてき</small> <small>しょう</small> <small>みづか</small> <small>ようきゅう</small> <small>にっちゅうかつどう</small> <small>しょくいん</small> <small>ことば</small> <small>つた</small> <small>まれ</small> <small>おも</small> <small>ほん</small> <small>まんぞく</small> 本人は重度の知的障がいなので、身近な要求はグループホーム、日中活動の職員に言葉で伝えることが稀にあるのではないかと思う。殆どは満足し <small>おも</small> <small>かてい</small> <small>はは</small> <small>しょくじ</small> <small>にゅうよく</small> <small>がいしゆつ</small> <small>きぼう</small> <small>つた</small> <small>せいど</small> <small>ふくし</small> <small>こま</small> <small>おし</small> <small>わ</small> <small>つた</small> <small>ひつよう</small> <small>おも</small> ていると思う。家庭では母に食事・入浴・外出の希望を伝えている。制度・福祉は細かく教えても分からないので、伝える必要はないと思う。
12	<small>なに</small> <small>そうたん</small> <small>げんじょう</small> 何を相談すればいいのかわからない現状。
13	<small>けいかく</small> <small>そうたん</small> <small>き</small> <small>い</small> <small>おも</small> <small>けいかく</small> <small>そうたん</small> <small>じっしりつ</small> <small>ひく</small> <small>ほうしゅう</small> <small>ひく</small> <small>ひきうけさき</small> <small>おも</small> <small>よこはま</small> <small>じっしりつ</small> <small>しょうじき</small> <small>すうじ</small> <small>かん</small> 計画相談に聞けば良いと思っている。計画相談の実施率が低いのは報酬が低くて引受先がないからだと思う。横浜の実施率は正直な数字だと感じて <small>わ</small> <small>こうけんてき</small> <small>しえん</small> <small>しつ</small> <small>き</small> <small>きかん</small> <small>りよう</small> <small>おも</small> <small>しゅうち</small> <small>すす</small> <small>き</small> いる。分からないことは後見的支援室が聞いてくれる。基幹を利用すればいいと思うが、あまり周知が進んでいない気がする。
14	<small>おや</small> <small>しんぱい</small> <small>そうたん</small> <small>しえん</small> <small>みんかん</small> <small>きゅうきゅう</small> <small>びょういん</small> <small>にゅういん</small> <small>かぞく</small> <small>はんだん</small> <small>い</small> <small>こま</small> <small>そうたん</small> <small>かた</small> 親なきあとが心配と相談し、なかなか支援につながらず、民間救急で病院に入院させるか家族が判断するよう言われ困って相談してきた方がいる。
15	<small>けいかく</small> <small>そうたん</small> <small>いん</small> <small>しんらい</small> <small>かんけい</small> <small>つく</small> <small>むずか</small> <small>かん</small> <small>なん</small> <small>やくわり</small> <small>ぎもん</small> <small>かん</small> <small>かんが</small> 計画相談員との信頼関係を作ることは、なかなか難しいと感じました。何のための役割なのかと疑問に感じています。ケースワーカーによって考え <small>かた</small> <small>はんだん</small> <small>こと</small> <small>うん</small> <small>ふうん</small> <small>さきゆ</small> <small>ふあん</small> 方や判断が異なるのは運・不運なのかと先行きが不安です。
16	<small>ふくすう</small> <small>しせつ</small> <small>かよ</small> <small>ばあい</small> <small>しせつかん</small> <small>じょうほう</small> <small>こうかん</small> <small>りようしゃ</small> <small>たい</small> <small>りかい</small> <small>ふか</small> <small>おも</small> 複数の施設に通っている場合、施設間で情報交換してもらえたら、より利用者に対する理解が深まるのではないかと思います。
17	<small>おや</small> <small>あと</small> <small>もんだい</small> <small>ひじょう</small> <small>おお</small> <small>つい</small> <small>ていねんご</small> <small>いばしょとう</small> <small>こうけん</small> <small>にん</small> <small>せんてい</small> <small>ふく</small> <small>しょうがい</small> <small>せいどづく</small> <small>けんとう</small> 「親なき後」の問題は非常に大きいです。終のすみか、定年後の居場所等、後見人の選定も含めて障害をサポートしていただける制度作りをご検討 <small>ねが</small> くださいますようお願いいたします。
18	<small>けいかく</small> <small>そうたん</small> <small>なか</small> <small>たんとく</small> <small>しゃかいぎ</small> <small>とお</small> <small>ほんにん</small> <small>じょうほう</small> <small>きょうゆう</small> <small>たす</small> <small>いりようてき</small> <small>かんれん</small> <small>しよるい</small> <small>せいり</small> <small>しせい</small> <small>くふう</small> <small>か</small> 計画相談の中で、モニタリングや担当者会議を通して本人の情報が共有されており、助かっています。医療的ケア関連書類の整理、姿勢の工夫や介 <small>いじよ</small> <small>ほうほう</small> <small>きょうゆう</small> <small>どう</small> <small>すうねん</small> <small>まえ</small> <small>ひと</small> <small>ひと</small> <small>じぶん</small> <small>ちゅうかい</small> <small>いしゃ</small> <small>ちようせい</small> 助方法の共有等、数年前までは一つ一つ自分が仲介者になり調整してきたことです。

<small>さまざま</small> <small>せいかつ</small> <small>ぼめん</small> <small>ささ</small> <small>そうだん</small> <small>しえん</small> ◇ 様々な生活の場面を支えるもの 相談支援	
<small>ばんごう</small> No.	<small>ご</small> <small>い</small> <small>けん</small> 御 意 見
19	<p> <small>がっこうそつぎようご</small> <small>きよじゅうく</small> <small>べつ</small> <small>く</small> <small>じぎょうしょ</small> <small>つうしょ</small> <small>けいかくそうだん</small> <small>べつ</small> <small>く</small> <small>りよう</small> <small>さいきん</small> <small>きよじゅうく</small> <small>つうしょせつ</small> <small>い</small> <small>きかい</small> <small>でき</small> 学校卒業後は、居住区とは別の区の事業所に通所し、計画相談も別の区で利用していました。つい最近、居住区での通所施設に行ける機会が出来たので、現在は併用しています。以前より居住区のケースワーカーさん、基幹相談支援員の方々に、各事業所さんとの情報共有や計画相談員とのやりとりなど、区をこえてのやり取りをしていただいたりしました。また、新しく通所を始めた事業所にも機会があれば様子を見に行っていたり、心あたたまるサポートを頂いています。 </p>
20	<p> <small>ようじ</small> <small>りょういく</small> <small>がくれいき</small> <small>くんれんかい</small> <small>ほうかご</small> <small>とう</small> <small>しゅうろうご</small> <small>たんきにゅうしょう</small> <small>ねんれい</small> <small>う</small> 幼児（療育センター）、学齢期（訓練会・放課後デイサービス等）、就労後（ガイドヘルパー、ショートステイ、短期入所等）、年齢で受けられるサービスが終了してしまい、生活が大きく変化します。年齢等で分断されず、続けられることを希望します </p>
21	<p> <small>くやくしょ</small> <small>そうだん</small> <small>たいおう</small> <small>き</small> <small>くやくしょ</small> <small>そうだん</small> <small>ほんにん</small> <small>しょかい</small> <small>そうだん</small> <small>つ</small> 区役所に「相談があったからそちらで対応してもらえるか」と聞くと区役所は相談にのってくれる。でも本人たちは初回の相談で突っぱねられたと <small>おも</small> <small>しょかいそうだん</small> <small>とき</small> <small>ていぬい</small> <small>たいおう</small> <small>い</small> 思ってしまった。初回相談の時に丁寧に対応してもらえるとう良いのではないか。 </p>
22	<p> <small>そうだん</small> <small>じてん</small> <small>そうだん</small> <small>ひつよう</small> <small>じかく</small> <small>ひと</small> <small>あいだ</small> <small>がいと</small> <small>ひと</small> <small>たいおう</small> <small>せいど</small> <small>ひつよう</small> 相談できるという時点でもうエリート。☆相談する必要があるが自覚がない人が間におちている。→ここに該当する人に対応する制度が必要（ひつ <small>しく</small> <small>ほんにん</small> <small>ようぼう</small> <small>いっち</small> <small>さいしょ</small> <small>たんとう</small> <small>しょくいん</small> <small>ほうこうせい</small> <small>き</small> かかってくれる仕組みがほしい）本人の要望とニーズが一致しない。最初に担当した職員で方向性が決まってしまう。 </p>
23	<p> <small>そうだん</small> <small>せんもんようご</small> <small>おお</small> <small>わ</small> <small>そうだん</small> <small>そうだん</small> <small>そうだん</small> <small>そうだんしえん</small> <small>い</small> <small>はなし</small> <small>き</small> 相談したものの専門用語が多くて分からないという相談はあります。また、相談しても「ここ（相談支援センターなど）に言えば話を聞いてくれるから」と詳しく話を聞いてもらえず他の機関を紹介されて終わってしまう、というお話を聞くこともあります。 </p>
24	<p> <small>とうしょ</small> <small>しゅう</small> <small>りよう</small> <small>たしせつ</small> <small>へいよう</small> <small>かた</small> <small>だれ</small> <small>そうだん</small> <small>わ</small> <small>うった</small> <small>わり</small> <small>おお</small> <small>き</small> <small>うった</small> <small>き</small> 当所を週5で利用または他施設を併用していない方からは、「誰に相談していいのか分からない」という訴えを割と多く聞く。そういった訴えを聞いた当所の職員が然るべき相談窓口へ繋ぐか、相談支援員側から制度やサービスの説明を進んでしていくべきでは、と感じている。 </p>
25	<p> <small>わか</small> <small>かた</small> <small>いろいろ</small> <small>おも</small> <small>しょうがいしゃ</small> <small>こうれい</small> <small>かてい</small> <small>とき</small> <small>しんたいきのう</small> <small>ていか</small> <small>せいしんしょうがい</small> <small>こうれいか</small> <small>へんか</small> <small>りかい</small> <small>びょういん</small> 若い方は色々あると思うが、障害者が高齢になった（なっていく過程）時に、身体機能の低下や精神障害の高齢化による変化を理解できる病院や、 <small>そうだん</small> <small>まどぐち</small> <small>わ</small> 相談できる窓口がどこか分からない。 </p>

<small>さまざま</small> <small>せいかつ</small> <small>ばめん</small> <small>ささ</small> <small>そうだん</small> <small>しえん</small> ◇ 様々な生活の場面を支えるもの 相談支援	
<small>ばんごう</small> No.	<small>ご</small> <small>い</small> <small>けん</small> 御 意 見
26	<small>けいかく</small> <small>そうだん</small> <small>どういつ</small> <small>ほうじん</small> <small>ほう</small> <small>い</small> <small>し</small> <small>おや</small> <small>おお</small> <small>すで</small> <small>りよう</small> <small>ほうじん</small> <small>けいかく</small> <small>そうだん</small> <small>りよう</small> 計画相談につながらない。同一法人ではない方が良く知らない親も多い。既にサービス利用している法人からうちの計画相談を利用してはどうで <small>き</small> <small>ひと</small> <small>ちが</small> <small>ほうじん</small> <small>けいかく</small> <small>そうだん</small> <small>りよう</small> <small>かた</small> <small>い</small> <small>ひつよう</small> <small>かず</small> <small>しつ</small> すかと聞かれた人もいる。違う法人で計画相談を利用する方が良いのであればインフォメーションが必要。数と質もどうにかしてほしい。
27	<small>けいかく</small> <small>そうだん</small> <small>きばん</small> <small>いま</small> <small>あつ</small> <small>しゆかん</small> <small>れんけい</small> <small>かん</small> <small>けいかく</small> <small>そうだん</small> 計画相談を基盤として、今までなかなか集まることができなかったサービス種間での連携がスムーズになったと感じます。ただ、それも計画相談が <small>はい</small> <small>えんかつ</small> <small>たんじゆん</small> <small>そうだん</small> <small>いん</small> <small>りきりよう</small> <small>かくたん</small> <small>とうしゃ</small> <small>ねつい</small> <small>えいきよう</small> <small>かん</small> <small>せんもんぶんや</small> <small>わ</small> 入れば円滑という単純なものではなく、相談員の力量や各担当者の熱意というものに影響されてしまっていると感じます。専門分野がしっかり分か <small>たいせつ</small> <small>しよくしゆ</small> <small>こと</small> <small>つな</small> <small>かん</small> れていることも大切ですが、「それはこの職種がやる事ではない」ということにも繋がってしまっていると感じます。
28	<small>いどう</small> <small>じょうほう</small> <small>たど</small> <small>そうだん</small> <small>たど</small> <small>つ</small> <small>ひと</small> <small>いろ</small> <small>でんわ</small> <small>ひと</small> 移動情報センターに辿りつくためにどこに相談すればいいのかわからない。ここに辿り着く人は色んなところに電話することができる人。あらゆる <small>から</small> <small>あ</small> <small>いどう</small> <small>もんだい</small> <small>おもてだ</small> <small>いどう</small> <small>もんだい</small> <small>かいけつ</small> <small>こんぼん</small> <small>かいけつ</small> <small>いどう</small> <small>かいけつ</small> ことが絡み合っ移動で問題が表出している。移動をどうにかすれば問題が解決するわけではない。根本が解決しないと移動は解決しない。

とりにくみ こうもく
◆プラン取組項目

とりにくみ す
◆取組 1 - 1 住まい

No.	ご 意 見
1	ひとりぐ 一人暮らしをしたい。
2	りぐ ぶっけん か ほしようにん 1人暮らしをしたいが物件が借りられない（保証人がいない）。
3	やかん す かた ぶぶん やかん いぼしよ きぼう きょうどうせいかつえんじよ きび 夜間の過ごし方であきらめている部分がある。夜間の居場所があればもっと希望どおりになる。共同生活援助（グループホーム）のルールが厳し く、集団生活に馴染めない。1人暮らしがしたいが、保証人等の関係で物件が見つからない。金銭的に余裕がないのでできない。
4	たいけんてき しゅくはく せんたくし おも じりき つうしよ ほんにん そうげい おお かだい 体験的な宿泊（ショートではなく）の選択肢がひろがるとよいと思います。自力通所ができない本人にとって送迎も大きな課題で、グループホーム への移行を本人が希望しても難しい現状と思います。
5	よこはまし あたら にゅうしよしせつ そうせつ こま おや さい こ せつじつ もんだい だいきほしせつ ひつよう にんしき 横浜市では新しい入所施設の増設がなく、困っております。親がすでに70才を越しており、切実な問題です。大規模施設も必要であることを認識し ていただきたいと思います。
6	く おも なかま たの ひと ひとり す ずっと暮らしたいと思っている。仲間がいて楽しい。人といると 一人でののは どちらも好き。
7	グループホーム ぐ ら したい と思 っている 場所 だけ けど 本当 は 1人 暮らし を したい （気が ねなく トラブル なく 暮らし たい 色々 な事 が 出来 る と思 っ たら）。
8	ひとりぐ ひと たいせい ととの とく い むずか 一人暮らししたい人もいるが体制が整わなそうので特に医ケアがあると難しい。
9	「親なき後」の問題は非常に大きいです。終のすみか、定年後の居場所等、後見人の選定も含めて障害をサポートしていただける制度作りをご検討 ください。

とくみ す ◇取組 1 - 1 住まい	
ばんごう No.	ご い けん 御 意 見
10	<p>きぼう せいかつ かな すべ はあく むずか ひび くふう さき 希望している生活というのがグループホームで叶えられているか全てを把握することは難しいが、日々工夫している。グループホームからさらに先</p> <p>せいかつ はなし きぼう き みな でき ちからぶそく の生活という話もあったが、希望を聞くというより皆さんそういうところにチャレンジ出来そうなのに、こちらの力不足でできてなかったところも</p> <p>ある。</p>
11	<p>いりょうてき かた うけい ふじゅうぶん きぼう つよ かなら た ほんとう 医療的ケアのある方の受入れが不十分。グループホームへの希望強いが、グループホームが必ずしも足りているわけではない。本当はグループホー</p> <p>きぼう のが しせつにゆうしょ でき しせつ はい ひと お ム希望だがグループホームがまだない。このタイミングを逃すと施設入所も出来なくなってしまうのでやむなく施設に入ったという人もいると思</p> <p>も ほうじん お い じゅうしん かだい おお おも じゅうしん かた う。法人もグループホームをつくっているが追いつかない。医ケアや重心のグループホームは課題が多くてどうしようかと思っている。重心の方の1</p> <p>りぐ せいかつ せんたくし かんが ちいきせいかつ ていあん はな 人暮らしやグループホームでの生活を選択肢として考えながら、地域生活をどうするか提案しようと話している。</p>
12	<p>ほんとう じっか ひとり ぐ い せんたくし な ひとり ぐ じぎょうしょ けいやくじかん かんが むず ぜんぶ のぞ く 本当は実家とか一人暮らしが良いけど選択肢が無かったから。一人暮らしもやっぱり事業所やサービスの契約時間を考えると難しく、全部望んだ暮</p> <p>でき せんたくし いけん しょくいん にちゅう ひとで もんだい おも きぼうどお で らしは出来ない。選択肢がこれしかないという意見だった。職員は日中は人手の問題があって、こういうことしたいと思っても希望通りのことが出</p> <p>き たいせい にちゅう しごと い くるまいす りょうしゃ う せんたくし すく く 来る体制ではない。日中もっと仕事をしたいと言っても車椅子の利用者はどこも受けてくれない。選択肢が少ない。グループホームで暮らしたいと</p> <p>ひと すく にちゅう ひとで な さぎょうじょ い ほんにん のぞ く いう人もいるがグループホームも少ない。日中グループホームでゆっくりしたいけど人手が無いから作業所に行ってくださいとなる。本人が望む暮</p> <p>でき ひと ほう すく せんたくし すく い かな らしが出来ている人の方が少ないのでは。選択肢が少ないからこうしているだけでは。言っても叶えられるのかというところはある。</p>
13	<p>げんざい じたく おやご どうきょ かた せいかつげんぼん しえん ひつよう いま おや み もんだい せいかつ ほんにん 現在は自宅で親御さんと同居されている方で、生活全般で支援が必要だけれども今は親が見ているので問題なく生活できている。ご本人こだわりが</p> <p>つよ たしや きょうどうせいかつむり おやご い りょうしんな ほんにん のぞ せいかつ しえんしゃ ふあんし 強く、他者との共同生活は無理と親御さんは言っているが、ご両親亡きあと、どこまでご本人の望む生活ができるのか支援者は不安視している。</p>

とくみ ◇取組 1 - 1	す 住まい
ばんごう No.	ご 御 い 意 けん 見
14	<p>へや さが てちょうしょじしゃ しょうがいねんきん かた たいしょう ぶっけん な せいほ えんいない へや さが なんごう おお 部屋探しについて、手帳所持者や障害年金のみの方などを対象にした物件が無い。生保で52,000円以内でも部屋探しは難航しているケースが多い。</p>
15	<p>げんざい せいしんしょうがいしゃ きよじゅう ぼしよ せいしんびょういん しゃかいてきにゅういん こうれい かぞく どうきよ ふくししせつ かんいしゆくはくしよ 現在、精神障害者が居住している場所として、①精神病院への社会的入院、②高齢の家族と同居、③福祉施設、④グループホーム、⑤簡易宿泊所、 むりょうていがくしゆくはくしせつとう なか ほんにん なつとく せいかつ きよじゅうけいたい いがい か ⑥無料低額宿泊施設等があります。この中で、本人が納得して生活している居住形態は、②、④以外にどれだけあるでしょうか。②、④にしても課 だいふく ほんにん じょうたい おう ほんにん せんたく たよう きよじゅうけいたいせいび ひつよう たと こうれいかたいおう しょうがいしゃ 題含みです。本人の状態に応じて本人が選択できる多様な居住形態の整備が必要ではないですか。例えば、高齢化対応グループホーム、障害者がア しえいじゅうたく どう せいかつ しく パート（市営住宅、ワンルームマンション等）生活できるような仕組みをととのえること。</p>
16	<p>ほんにん く せんたく たいせい せいび ひつよう かんが とき せいしんびょういん かぞく どうきよ かなら ほんにん えら せんた 本人がどこで暮らすか選択できるような体制の整備が必要。それを考えた時に精神病院だとか家族との同居だとか必ずしも本人が選べるような選択 くし せいび ねん はじ りようしゃ こうれいか もんだい 肢が整備されていない。グループホームについては1990年から始まって利用者が高齢化してきてそれをどうするのかという問題もあるし、80 ざいせいてき もんだい ふ きよじゅうしえん かながわけん 50とかもある。財政的な問題でグループホームを増やせるかということとそうでもない。居住支援コーディネーターを神奈川県がスタートする。そう なが かんが りようしゃ じぶん じょうたい おう せんたく せんたくし ひろ たいせつ ひと じょうたい おう きよじゅうけいたいせんたくし ひろ いう流れで考えると利用者が自分の状態に応じて選択できる選択肢を広げていくことが大切。その人の状態に応じた居住形態の選択肢を広げること たいせつ くに ちいきこうしえん まえむ けんとう きよじゅうしえん けんちくきよくあ やかつよう せいど し きよ が大切なのは。国の地域移行支援とか前向きに検討してほしい。居住支援としては建築局の空き家活用の制度もあるけど知られていないから、居 じゅうしやく すす たいせつ 住施策のデザインをもってこうするああすると進めることが大切なのではないか。</p>
17	<p>きょうどうこうしょうがい かにい ひと かぞく かいじよ く い ぼ はなし き きょうこう むずか し 強度行動障害が家庭にいる人で、家族の介助だけだと暮らせなくなり、行き場がなくなるという話は聞く。強行だとグループホームは難しいから施 せつにゅうしよ にゅうしよ むずか い けんがいしせつ はい たんきにゅうしよ はじ はい げんじつてき ほんにん きぼう 設入所になる。入所は難しい。かと言って県外施設に入れるとしても、短期入所から始めないと入れないと現実的ではない。本人の希望では かぞく せいかつ はなし き ないかもしれないけど家族の生活がままならなくなっているという話は聞く。</p>

とくみ す ◇取組 1 - 1 住まい	
ばんごう No.	ご い けん 御 意 見
18	<p>しんしょう つうしょさき すく くるま いきさき かぎ かん いるょう ひつよう りよう 身障のグループホームや通所先が少なく、車いすユーザーの行先が限られているように感じます。医療ケアなどが必要になるとさらに利用できる</p> <p>かぎ おも つうしょさき み つうしょ しゅだん つうがくつうしょ いどうかいごとう み こま たた み サービスは限られるように思います。通所先は見つかっても通所する手段（通学通所・移動介護等）が見つからずに困っているケースも多々見られ</p> <p>よこはましない にちちゅうつうしょさき ぜんてい おお しゅう にち つうしょ にゅうきよ ます。また、横浜市内のグループホームは日中通所先があることが前提となっているグループホームが多く、週5日の通所ができないと入居できない</p> <p>おお かん にちちゅうしえんがた さが しがい けんがい ひろ さが げんじよう ところも多いように感じます。日中支援型のグループホームを探すとすると市外・県外までエリアを拡げて探しているのが現状です。</p>
19	<p>りよう きぼう にゅうきよかのう じぎようしょ み かぞく せいかつ けいぞく かた おお こうどうしょうがい かた グループホームの利用を希望するが、入居可能な事業所が見つからず、家族との生活を継続している方が多い。また、行動障害のある方については</p> <p>ちいき せいかつ こんなん けいこう りようかのう じぎようしょ しない はな ぼしょ せいかつ え じようきよう 地域生活が困難な傾向にあり、利用可能な事業所が市内になく、離れた場所で生活せざるを得ない状況がある。</p>
20	<p>にゅうきよしゃ とし かせ なか ひつよう しえん ふ こと たい ふあん ぜんたいてき きょうつう たちば かんりしゃ かん せわにん せいかつしえんいん かいいん 入居者が年を重ねていく中で必要な支援が増えていく事に対する不安が全体的に共通してどの立場（管理者・サビ管・世話人・生活支援員）の会員</p> <p>いちげんかまえ た あ じぎようしょ た あ じぎようしょ おんどさ にもある。一元化前のケアホームとして立ち上げている事業所とグループホームとして立ち上げている事業所に温度差がある。</p>
21	<p>す もんだい さいしゅうてき ほうこうせい しめ ほ にゅうしょ つうかがた りそつ ほんとう 住まいの問題を最終的にどうするのかというの方向性を示して欲しい。入所もグループホームも通過型というのはあるが、理想はいいが本当にそれ</p> <p>のぞ じてん でき いまい ば ひと げんじつてき はなし を望むのか。いつの時点でそれは出来そうなのか。今行き場がない人たちはどうするのか。現実的な話はしていけないといけないのではないか。</p>

とりにくみ こうもく
◇プラン取組項目

とりにくみ く
◇取組 1 - 2 暮らし

ばんごう
No. 御 意 見

1	ぶんべつ むずか ゴミの分別は難しい。
2	いばしょ はん た ところ つく こども ろうじん せいしん ちてき しんたい しょうがい も しゃかいてきじゃくしゃしょくどう いばしょ そうだんじぎょう おこな しゃかいてきじゃくしゃ 居場所、ご飯を食べる所を作る。子供、ご老人、精神、知的、身体などの障害を持つ社会的弱者に食堂、居場所、相談事業などを行い社会的弱者が す ちいき めざ 住みやすい地域を目指す。
3	こんねんだいひつだいでく ぜんこくてき はや だんかい ふ き くに せいど かんけい かじえんじよ 今年度代筆代読サービスを全国的にも早い段階で踏み切っていたいただいた。それはありがたい。ただ国の制度の関係もあって、家事援助のカリキュラ だひつだいでく わくない せいかくじょう どうこうえんご えんちよう かたち はってん ムのなかに代筆代読があるためその枠内でやっているが、性格上ホームヘルプではなくて同行援護の延長でもできるような形に発展させてほしい。
4	じもと せいかつしえん まいにち ゆうしょく ようい たいへんたす 地元の生活支援センターで毎日、夕食を用意してくれることに大変助かっています
5	ひと たす うれ たくさんの人に助けていただいて嬉しいです。
6	ちゅうい しどう きび かな やさ せつ はいりよ ねが かいぜん 注意や指導が厳しいと悲しくなってしまうので、優しく接していただくような配慮をお願いして改善されたことがありました。
7	ほちようき こと ふろ こうどう つた うれ なかま もんく い ふろ せ 補聴器の事やトイレ、お風呂をゆっくりな行動を伝わったので嬉しかったです。グループホームの仲間に文句を言われたので、トイレやお風呂、洗 んたく たいへん こま 濯が大変で困ります。
8	かぞく じりつ たんしんせいかつ はじ かぞく ふく しゅうい りかい きょうりよく しゃかいしげん ふそく じつげん 家族から自立して単身生活を始めたいが、ご家族を含めた周囲の理解や協力、社会資源が不足しており実現できていない。
9	ねんまえ くら そうだん うご くだ きよじゅう りよう りようしゃ りよう そと きば じたく かえ 3年前と比べてピア相談がかなり動いて下さり、居住ヘルパーを利用するご利用者や、ガイドヘルパーを利用して外で気晴らしをしたり自宅へ帰るご りようしゃ ふ かん いっぽう いま どうしせつ りよう そとしせつ りよう おお 利用者が増えてきているように感じる。一方、未だ当施設しか利用がなく外施設やヘルパーを利用しないかたも多い。

とくみ く
 ◇取組 1 - 2 暮らし

No.	御 意 見
10	コミュニケーションボードの話が上がったが、買い物に単独で出る人のうち言葉が不明瞭な人が、何回も聞き返される。たまにメモに書いてと 言ってくれる店員もいるがそれは稀。通院の多い利用者も医師に伝えきれない。自立度が高いけど上手く伝わらない。職員としては発達障害者支援 センターに定期的に入ってもらって助言をもらい、支援に対する考えに利用者目線が入ってきた。
11	母子家庭ケース増えている。8050世帯で、母が認知症のパターンが多く、グループホームに入ると母のサービスも必要になる。その人のことだけ考 えられない。双方の問題整理が必要。
12	今後高齢分野との連携は益々必要となる（本人の高齢化による介護移行等のため）。高齢分野にとって障害分野との連携の必要性を感じられるよう な働きかけが必要と思われる。
13	粗大ごみの出し方。免除の人は今までと違うやり方になった。紙を貼って出すという方法になったが、地域の人には知らなくて指定の場所に出したの に怒られたことがあった。こちらの説明もどうすれば良かったか。免除が知られていなかった。
14	たくさんの地域の方に知ってもらいたいので、最近地域清掃を始めました。数カ月やってみて感じたことは、色々な人に挨拶されるようになり、声 をかけてもらえることが増えた。
15	幼児（療育センター）、学齢期（訓練会・放課後デイサービス等）、就労後（ガイドヘルパー、ショートステイ、短期入所等）、年齢で受けられる サービスが終了してしまい、生活が大きく変化します。年齢等で分断されず、続けられることを希望します

とりにくみ こうもく
◇プラン取組項目

とりにくみ いどう しえん
◇取組 1 - 3 移動支援

No.	御 意 見
1	ほんとう しゅうびーつうしょ こうきょう こうつうきかん つか また そうげいしゃ 本当は就Bに通所したいが、公共の交通機関が使えない。ガイヘル又は、送迎車があるといいな。
2	こうとうぶ そつぎょうじ きよじゅうく さかえく つうしょせつ じたい あ しせつ また ほんにん しょうがい とくせい あ しせつ かずすく まんぱいじょうたい 高等部卒業時には、居住区（栄区）には通所施設自体空きのある施設がなく、又、本人の障害や特性に合った施設も数少なく満杯状態であった。そのため、はなれた地域（泉区）まで通所することになった。送迎等も自主送迎か移送サービスを利用するも、距離もあり時間もかかることから、サービス事業所をさがすにもなかなか見つからず苦労した。また、制度やサービスを利用しても多額の料金がかかることで、負担は大きかったです。
3	かいすう ふ ガイドヘルパーの回数を増やしてほしい。
4	つか さいきん じぎょうしょ ひとぶそく いどう しえん すう い おも つか こと おお おや とし ガイドヘルパーを使っていますが、最近どこの事業所も人不足で移動支援数はあるがヘルパーが居ないため、思うように使えない事が多い。親も年を取ったので作業所がお休みの時等、親が対応するのに限界に来ている。
5	ねんはん まえ にんてい ねんまえ くら がいしゅつ こんなん どうさぜんばん おそ ふあんてい こんぎつじ でんしゃ 1年半ほど前にパーキンソンと認定されたこともあり3年前と比べて外出は困難になった。動作全般が遅く、また不安定なので混雑時のバス、電車の乗り降りが怖い。これによりタクシーなどを利用することになり出費が多くなる。
6	いどう しえん いりょうてき かのう がいしゅつ はば ひろ かぞく たいちょう よてい ふ まわ つうしょ で たの こと でき 移動支援でも医療的ケアが可能になり、外出の幅が広がりました。家族の体調や予定に振り回されることなく、通所やお出かけを楽しむ事が出来るようになり、本人が楽しそうなのはもちろんのこと、家族（特に母親である自分）としての負担感は軽減されています。
7	ちゅうしゃじょう もんだい いま か いちぶ かいげん いま ちいき かつどう どう くるま いどう でき ゆうせん と 駐車場の問題は今も変わらない。一部では改善、未だにスポーツセンターで、地域活動センター等では車の移動は出来ない。スタッフ優先を取っている所が多いため。
8	いどう じょうほう りょう ほか がいしゅつしえんしえん りょう いどう じょうほう 移動情報センターは利用していないが他の外出支援（とまと、ガイヘル）は利用している。移動情報センターのことを知らない。
9	つうがく こべつ いどうしえん ふ とく とうこうじ たか 通学にもっと個別の移動支援サービスを増やしてほしい。特に登校時のニーズは高いです。

◇取組 1 - 3 移動支援	
No.	御 意 見
10	特別支援学校ではスクールバス内での生徒・児童の間のトラブルが絶えません。大型1台よりは、中型2台、小型3台の方がトラブルを軽減させやすい。夜行バスのような座席の個室化が出来るるとよりよい。
11	J R の費用 障害者手帳が使えるようにしてほしい。
12	移動情報センターを知らない人が多く、利用しても解決につながらなかった。
13	移動支援に関して：ガイドヘルパーを利用したいと思っているが合う人がいない。東京の新宿や秋葉原など文化的なところに行きたいと思うが行ってくれない。コミケなど行きたいが無理だと断られた。できればアニメやゲームの話しながら行動したいが話が合う人がいない。
14	ガイドボランティアの育成、移動支援を希望する方と担い手をコーディネートできる人材とそのノウハウと育成、研修時間と費用の確保。
15	移動支援（通学・通所など）サービスを利用して送迎をお願いしたくとも、対応できる事業所（業者）が少ない。また、車いす使用となると、福祉車両を持っている事業者が限られてしまうので、送迎をお願いしたくても出来ないという状態にもある。
16	ガイヘルを使いたいのに使えない。計画相談に相談しても使えないと言われる。ヘルパーが足りていない。行動援護は使ってる人がいる。国からの単価の違いによるものなのか、何とかしてほしい。移動情報センターは知らない。移動に関しては全体的に足りていない。望んでも重心の移動に関しては資源が足りていない。医ケアでの移動支援はまれにあるが、ほとんどあきらめている。支えてくれるものがない。
17	医ケアの子どもの移動は、どこもいっばいで移動支援が使えないことが多い。行動援護は使えるところもあるようだが。単価の違いもあり、移動支援は困難。社会資源が乏しく結局親が対応するしか方法がない。社協の移動支援事業（難病患者外出支援サービス事業）も縮小されてきていると聞いている。
18	日中の居場所に送迎が必要な層は、それとの兼ね合いでホームの受け入れが判断されてしまう。
19	通所利用について、高齢化障害の重度化により歩行が難しくなり送迎を必要とする状況になったが、今まで利用してきた事業所が送迎対応できないことで通所先を変更せざるを得なくなった方がいる。

◇取組 1 - 3 移動支援	
No.	御 意 見
20	<p>外出が困難という話だと、移動介護の話になると思うが、コロナで外出出来なくなったというのはそのとおり。それよりも、その現実を受けて、基本的に30時間という上限を特例で48時間という原則がある中で時間設定していると思うが、その引き締めが強くなったと思う。もちろん30時間取っている理由はあるが、コロナで移動が少なくなったというのが実績として捉えられると困る。実績ではなくてコロナの結果として減ってしまった。移動介護の時間数の捉え方はもう少し利用者に分かりやすく伝えるべき。コロナで生活が変わったことは受け入れつつ時間は再考してほしい。</p>
21	<p>利用者からは外出については改善出来ていないと言われた。ガイヘルが辞めたりとか、コロナで行動制限がかかっているというのもあるがなかなか行きづらい。大きなターミナル駅や施設は車椅子用トイレが出来てきたが、そこに行くまでに段差がある。そこに辿りつけないというのがある。事前に調べるしかないだろう。車椅子の人が多からヘルパーが居ないといけないというのがあるが、3年前に比べると行きづらさが増えている。使いやすい人はガイヘルを使ってるんだろうけど区分5とかの人はそもそも断られる。</p>
22	<p>移動の際に必要なガイドヘルパー等の資源がまだまだ足りないと感じる。まずは福祉に関係する人材の確保や世間の理解を普及させることも必要である。</p>
23	<p>UDタクシーがふえていない。利用するのに別途料金がかかるようになった。</p>
24	<p>移動支援事業が少なく、利用したくてもできない現状が続いています。</p>

◇取組 1 - 3 移動支援	
No.	御 意 見
25	移動支援のサービスについて、身体障害の方は基準が厳しい（3肢以上の機能障害を有することが必要）ので、利用が望ましいと思われる方が利用できないというケースがありました。介助が伴う場合は、丁寧な引継ぎや支援者の技術が必要で、ボランティアを利用することも難しいです。もう少し、身体障害者の移動支援の利用基準を上げてほしいです。
26	移動支援の担い手が少なく、思うようにガイヘルの利用が手配出来ていない。
27	有償移送サービスの単価が高すぎる。ガイドボランティアは「制度が優先」と言われ利用出来ない。
28	知的の人の移動は、一人で移動する人について、地域の中でその人が行く店とか図書館とかに顔覚えてもらうとか地域の中で根付いた時に上手いとおもった。
29	医ケアの移動は毎回話題になる。移動したいという相談を受けたら福祉が全然入っていないというパターンがある。そうすると、その人がどこかに繋がるまで移動情報センターがケースを抱えることになる。難しいケースにボランティアを充てるが多動でとかボランティアが高齢でとか危うい部分がある。ボランティアにそこまで責任負わせるのかという危うさがある。移動情報センターも苦慮している。
30	保護者の方から「送迎はやってますか」という質問を多く受けます。学校や放デイが送迎ありで過ごされている方にとっては、送迎があるのは当たり前前になっている可能性もありますが、送迎がない事業所は多いのではないかと思います。自力通所できない方はヘルパーを利用して通所されていると見学者の方には伝えていますが、ヘルパーが実際には見つからずに困っているという人が出ているため、必要になっても支援が受けられないということが出てくるのではないかと思います。
31	買い物同行などヘルパーと一緒に働いてくださっていることもあり、支援者が増えることのメリットとご本人の負担（気持ちの面で）もあり、今後進めていく上で難しさがある（時間をかけて関係づくりから始めていくことで定着でき安心につながる方もいるのではないかと）。

◇取組 1 - 3 移動支援	
No.	御 意 見
32	移動支援だけでは採算が取れない。
33	移動支援のニーズは非常に多いので、移動に関することをワンストップで集約し相談できる所があるということは利用する側としては有難いです。一方で、色々な意味で「区によって違う」というのも率直な感想です。区によって、資源の量や、コーディネート環境の差や、ネットワーク構築の経過の長さの違いが、そもそもあるからだろうと思います。
34	移動情報センターに求めたい情報が以前と変化している中で、情報が旧態依然としているため、知りたい情報は得られず、利用する必要性がない状況。また、移動支援の担い手が不足しているが、人材育成を推進しているようにも感じ取れない。計画相談が進んで来ている中、移動情報センターの事業の必要性や役割を再検討する時期に入ってきていると思われる。
35	移動ができないことで行動が制限される。受診、買い物、余暇活動等。
36	災害の時の移動の相談あるかと聞いたが、平時の時の相談しか受けられないと聞いた。我々は変化に弱いのに災害時の相談は受けてもらえない。
37	身体：外出困難は変わらずの課題であると感じています。社会資源や日中の活動先不足などで主介助者への負担が大きい現状があります。
38	移動情報センターに相談しても断られることが多いと、段々案内しにくくなる。その先のサービスの展開をどうにかしていかないと。センターがあると意旨もない。

とりくみ こうもく
◇プラン取組項目

とりくみ
◇取組 1 - 4 まちづくり

ばんごう
No. 御 意 見

1 どうろじょうたい わる ほどう つか きゅうしゃめん でんちゅう どう ねんまえ か
 道路状態が悪い。歩道があっても使えない。せまく、急斜面、でこぼこ、電柱 等3年前と変わらない。

2 くるま せっち すう ふ おも りよこつき つ にゅうよくしせつ でき
 スロープや車イストイレの設置数は増えていると思います。旅行先のホテルでも、リフト付きの入浴施設のあるところも出ています。

3 いま か ところ まちなか だんさ り がいしゅつ たいへん がいしゅつさきしょくじ ところ こてい
 未だにバリアフリー化していない所や、街中に段差がありすぎて1人で外出することは大変です。外出先で食事をしようとした所、固定イスのため
 くるまいす りよう かんが かた い わた がいしゅつ いぜん
 車椅子で利用できずあきらめることがたくさんあります。「バリアフリー」の考え方も行き渡ってきているので、外出は以前よりしやすくなった。
 せっちすう すく ちいき がいしゅつ に あし ふ しょうがいしゃちゅうしゃじょう せっち まち
 ただバリアフリースイールの設置数が少ない地域への外出は二の足を踏む。障害者駐車場、バリアフリースイール、エレベーターの設置などで街のユニ
 か かん ただ しせつ りよう こま かか ひと にんぶ ないぶしょうがいしゃどうとう
 バーサルデザイン化はすすんでいると感じている。但しその施設を利用したい困りごとを抱える人たち（妊婦さん、ベビーカー、内部障害者等々）
 ふ ぜったいすう た おも けんじょうしゃ ふてきせつ りよう けいはつ ひつよう ぼめん たた おも よこはまし
 も増えているので絶対数はまだ足りないと思う。また健常者の不適切な利用など啓発が必要な場面が多々あると思う。横浜市もパーキングパーミッ
 どうにゅう けんとう
 トの導入を検討してほしい。

4 くるまいす じゅう でんしゃ の くに ほ おも くるまいす よう すく
 スウェーデンみたいに車椅子でも自由に電車に乗れる国になって欲しいと思っております。それと、エレベーターに車椅子用のボタンはまだまだ少
 かん まちなか だんさ おお だんさ はい みせ おお げんじょう
 ないと感じておりますし、町中でも、まだまだ段差が多いですし、段差があっても入れないお店も多いという現状です。

5 おと しんごうき くらう いっしょ わた ひと
 音の信号機がないから苦労しているが、一緒に渡ってくれた人がいた。

6 さいきんちかてつ けいろう よ と き せっち まどぐち こうれいしゃ せっしょくおお よ と き せっち くるま あんぜん つうごう
 最近地下鉄の敬老パスの読み取り機が設置されて、窓口で高齢者との接触が多くなった。読み取り機を設置するんだったら車いすが安全に通行でき
 ひじょう きけん
 るようにしてほしい。非常に危険です。

7 ぎんこう えーていーえむ じいこう い ぐち し やかんえーていーえむつか いりぐち かいだん ごうりてき はいりよ もと なつ
 銀行のATMが15時以降スロープになっているメインの入り口が閉まってしまうため、夜間ATMが使えない（入口が階段）。合理的配慮を求めたが納
 とく かいとう
 得できる回答がもらえなかった。

8 なんと と ひと おお の だれ ゆず こま かな おお
 エレベーターで、何度止まっても人が多くて乗ることができない、誰も譲ってくれない、というのは、困るというより悲しいというのが大きい

とくみ ◇取組 1 - 4 まちづくり	
ばんごう No.	ご 意 見
9	くるまいす ほご ぼう しょう くるま かい とう はいりよ こ とく ぎやく もう わけ かん 車椅子や保護帽を使用していれば、交通機関等で配慮していただけるのはありがたい。エレベーターが混んでいる時は、逆に申し訳なく感じる。
10	くるまい ばあい ごうえん ちゆうしゃじょう む てちよう み はい き おーけー わ き にんげん 車で行った場合、公園の駐車場のバーのところ。カメラに向けて手帳を見せて入るが、聞こえないのでOKなのか分からない。聞こえない人間にとつ てカメラを見せるがサインがわからないからカメラのところにおーけーかおみという顔が見れるようになるとよい。
11	えき いち いきさき わ てんじ たど い かいだん あ お とく えき の 駅でエレベーターの位置や行先が分からず、点字ブロックを辿って行ったら、階段にぶち当たり落ちそうになりました。特にターミナル駅での乗り か くるま めせん ひじょう こんなん 換えは車イスの目線では非常に困難です。
12	くるまいす ようちゆうしゃ あ じょうほう いりぐち ひょうじ ふ かん たもくてき ひょうじ 車椅子用駐車スペースの空き情報も、入口で表示してくれるところが増えればいいなあと感じています。多目的トイレと表示してあるのに、ベビー シートしかなく困ったことが何度もある。
13	せいじん しょうがいしゃ よこ そな つ すく かん しょうがいしゃ よこ ふ 成人の障害者が横になれるベッドが備え付けられているトイレが少なすぎると感じています。障害者マークの横に“ベッドあり”のマークが増えるこ ねが とを願います。
14	かいはつぎようしゃとう れんけい かくちく ちいき いっていすう かくほ はいりよ ねが 開発業者等との連携などにより、各地区、地域に一定数のバリアフリートイレが確保できるよう配慮をお願いしたい。
15	じぎょうしょ こま きそく きそく しば せいど つく かた おも ひと せいかつ きそく しば バリアフリーについて。事業所で細かい規則があるが規則で縛ってはいけない。制度の作り方がおかしいと思う。人の生活って規則に縛られるもの じゃない。
16	ふ べつと りようきん せっち き ユニバーサルデザインのタクシーが増えていない。別途料金もかかるようになった。あとコミュニケーションボードをコンビニとかに設置すると聞 いたが見たことない。
17	えき たもくてき ふきゅう すす おも 駅のエレベーターや多目的トイレの普及は進んでいるのではないかと思います。
18	か ふ ごえ よこはまし ごうじ すす あたら たてもの きじゆん でき ごうじ きゅう バリアフリー化していく、サービス増やすという声があって、横浜市も工事を進めているし新しい建物も基準で出来ている。ただ工事があると急に みち か ふだん とお しかくしょうがい ひと きゅう みち か とお こま 道が変わったりするが、普段そこを通っている視覚障害の人が急に道が変わると通れなくて困ったということがあった。

◇取組 1 - 4 まちづくり

No.	御 意 見
19	<p>トイレのマークがおしゃれすぎるとわからない。ジェンダーの問題は分かるが、男女が青と赤で分かれていないと分かりにくい。知的障害の子どもはこれまで青は男、赤は女で判別していたが難しくなった。トイレの流し方もトイレによって違う。合理的になる程難しくなる。自力通所している方がいるが、ラッピングバスはいつものバスと見た目が違うので混乱してしまった。</p>
20	<p>知的障害がある方が利用するにはかなり難しいと思います。漢字が読めない方が多いので、ひらがな表記やイラストなど言語に頼らない表記であると分かりやすいと思います。また、盲（色盲含む）の方にもわかりやすいように立体での地図・案内図などがあるとわかりやすいと思います。</p>
21	<p>横浜のサインは分かりやすい。</p>
22	<p>駅の構内とかで柱とか壁に矢印でここへというのがあるが、矢印が一体どこを向いているのか分からない。路面に引いて欲しいという声があった。</p>
23	<p>時間帯による進入禁止などは標識などを見て、一瞬で判断することは難しい</p>
24	<p>文字での案内が多いので、知的・発達障害の方々ではわかりにくい場面が多いと感じます。ピクトグラムなどの活用で障害をお持ちの方々への一助になるのではないかと感じています。茂みで標識が見えないことがある。</p>
25	<p>健常者にも身近に感じられるよう、わかりやすい説明や宣伝による導入が必要だと感じる。</p>
26	<p>同行援護を利用して感じるのはトイレの中の簡単な地図、見取り図をつけてほしい。簡単な地図で小さくてもいいから表示してほしい。異性介助が多く、女性のガイドだと男子トイレと一緒にというのは抵抗がある。地図があれば右に小便器があるとか入る前におおざっぱな形でも頭に入れて入ると全く知らないで入るとではえらい違いがある。それは載せてほしい。また夜間の弱視にとって、コントラストがはっきりするようなものがよい。薄暗いと分からないので照明のルックスの基準もはっきり決めてほしい。</p>

とりくみ

◇取組1-4 まちづくり

No.	ご 意 見
27	えき ばしょあんない あんない さが つか な えきとう さが 駅のトイレの場所案内。すぐに案内を探せず。使い慣れない駅等で探してしまうことがある。
28	こうきょう ばしょ ちょうないばん トイレ（公共）の場所がどこらへんか町内板につけてほしい。

とりにみ こうもく
◇プラン取組項目

とりにみ けんこう いりょう
◇取組 2 - 1 健康・医療

No.	ご 意 見
1	いし はなし き とき き 医師が話を聞いてくれない時どこに聞けばいいかわからない。
2	いし おーけー う 医師OKしないとサービスを受けられないことがある。
3	ちいき く じゅんび ふそく りゆう じたく たいいんでき かた い 地域（アパート）で暮らす準備が不足しているという理由で自宅アパートに退院出来ない方が居る。
4	いちばんごま こと なが あいだ いし そうだん くすり い か くふう むずか てんかんのコントロールができていないのが一番困った事です。長い間、医師と相談し薬の入れ替えなど工夫していますが難しいです。
5	びょういん つういん わす てちょう こうしんげつまつ もと くやくしよ い びょういん い こうしん い しんせしちゆう ご びょういん かい 病院へ通院し忘れてて、手帳の更新月末になってしまった。ダメ元で区役所で言ったところ病院へ行かなくても更新できると言われて申請中。その後病院へ2回行っている。
6	ほうもんかいご しゅじい れんけい しゅじい かんけい よ 訪問介護さんと主治医が連携してくれるようになって主治医との関係が良くなった。
7	てんいんさき いりょうきかん れんけい 転院先どうしの医療機関の連携がうまくいった。
8	びょういん しんだん れんけい おも 病院（診断）の連携がうまくいっていないと思います。
9	じかん ほうもんいりょう せんせい く ひ たいちょう じぶん そうだん グループホームでリハビリの時間や訪問医療の先生が来る日があり、体調のことなどすぐに自分で相談することができます。
10	ほうもんかんご ほうもんしんりょうれんけい かん 訪問看護ステーションと訪問診療の連携がうまくいっていないと感じた。
11	ほっさ ざやく しょう きゅうきゅうしゃてはいひつようせい お とき たの しんばい てんかん発作があるので座薬使用や救急車手配の必要性が起きた時、頼めるのか心配。
12	い こ いどう いどう しえん つか おお 医ケアの子どもの移動は、どこもいっばいで移動支援が使えないことが多い。
13	じびょう まいにちくすりの ゆうせんてき くすり いしゃ ゆうせんてき 持病があり毎日薬を飲まなければいけない。優先的に薬がてにはいるようにしてほしい。医者にも優先的にかけられるようにしてほしい。
14	げんいんふめい や かた びょういん てんてん うご えむあーるあい さいご うご き くだ い 原因不明で痩せた方がいます。病院を転々としました。動いてしまいMRIがとれないからです。最後に「動けなくなったら来て下さい。」と言われ病院は諦めました。本人は元気になりましたが今も病院ではそういった対応だと思っています。

<small>とりくみ</small> 取組 2 - 1		<small>けんこう</small> 健康		<small>いりょう</small> 医療	
<small>ばんごう</small> No.	<small>ご</small> 御				
		<small>い</small> 意		<small>けん</small> 見	
15	<small>しょうがいしゃ こうれい</small> 障害者が高齢になった（なっていく過程）時に、 <small>かてい</small> <small>とき</small> <small>しんたいきのう</small> <small>ていか</small> <small>せいしんしょうがい こうれいか</small> <small>へんか</small> <small>りかい</small> <small>びょういん</small> <small>そうだん</small> <small>まどぐち</small> <small>わ</small> 身体機能の低下や精神障害の高齢化による変化を理解できる病院や、相談できる窓口がどこか分 <small>ら</small> らない。				
16	<small>ほうもんしんりょう きゅう へんか</small> <small>あぶ</small> <small>じょうたい</small> <small>はや</small> <small>だんかい</small> <small>み</small> <small>でき</small> 訪問診療で急な変化とか危ない状態とか早い段階で見てもらえることが出来ている。				
17	<small>ほうかん</small> <small>ひと</small> <small>ふくし</small> <small>わ</small> <small>い</small> <small>せいかつかんきょうからだ およ</small> <small>いりょう</small> <small>ひと</small> <small>ふくし</small> <small>し</small> <small>すこ</small> <small>ふか</small> <small>れ</small> 訪看の人は福祉のことをよく分からないと言っていた。生活環境が体に及ぼすこととか医療の人にも福祉のことを知ってもらって、もう少し深く連 <small>んけい</small> <small>よ</small> <small>いぜん</small> <small>くら</small> <small>きょうりよく</small> <small>ふか</small> <small>おお</small> <small>れんけいと</small> <small>い</small> 携できると良かった。ただ依然と比べると協力してくれるので、より深く大きく連携取っていけると良い。				
18	<small>びょういん</small> <small>れんけい</small> <small>りょうこう</small> <small>かんけい</small> <small>こうかてき</small> <small>しえん</small> <small>つな</small> 病院との連携はかねてから良好な関係にあり、効果的な支援に繋がっている。				
19	<small>よび</small> <small>やく</small> <small>しょほう</small> 予備薬は処方してくれない。				

とりにみ こうもく
◇プラン取組項目

とりにみ ぼうさい げんさい
◇取組2-2 防災・減災

No.	ご 意 見
1	くすり とき ひなん ぼしよ はいりよ せいしんか 薬がなかった時に避難場所で配慮してほしい（精神科）。
2	あめ ふ とき こうずい ひなんぼしよ みち わ 雨がたくさん降ってる時の洪水していない、しにくい、避難場所までの道のりがどこにいても分かるとよい。
3	しょうがいじ かぞく ちいき とう じょうほうかくにん 障害児のいる家族には地域ケアプラザ等で情報確認したらどうか。
4	じぎょうしょ お ばあい ちいき かたがた りかい はいりよ え ふあん 事業所にいるときに起きた場合、地域の方々に理解と配慮を得られるか不安。
5	かいすい まみず まく かいはつ みなとよこはま ぎじゅつ りよう つく ちょうきひなん みず かくほ 海水をすぐに真水にする膜が開発されています。港横浜なのでそうした技術を利用したステーションを作っても、長期非難においての水の確保につ ながるのではないのでしょうか。
6	ぼうさい じゅんぴ ほ ヘルメットより防災ずきんを準備して欲しい。
7	しょうちゅうこう ひなんくんれん ちいき い ひなんじょ せいかつ おな ひと ちか 小中高の避難訓練の知識で生きのびるしかない。避難所 生活リズムが同じ人と近くにしてほしい。
8	こうつうきかん どうろ こんらん とき かんが ほ 交通機関、道路などのインフラが混乱した時にどうするか考えて欲しい。
9	くすりぎ たいさく ほ みず かくほ ぎょうせい 薬切れの対策が欲しい。インフラや水の確保は行政でしてほしい。
10	ほんにん つ してい ひなんじょ い こと でき おも いつばん ひと なか しょうがいしやな ところ おお こえ だ めいわく か わ 本人を連れて指定された避難所へ行く事は出来ないと思います。一般の人の中で障害者が慣れない所で大きな声を出したりして迷惑を掛けるのが分 かっているので無理です。諦めます。
11	さいがい とき ちいき ひなんぼしよ い い おも ひと おお ぼしよ ぼしよ にがて とう お 災害があった時に地域の避難場所には行けない、行かないと思います。人の多い場所、わさわさしている場所は苦手だし、パニック等も起こすかも しれないので無理です。特別な空間を確保してもらえたら有り難いですね。そういうことが当たり前に行われる社会であって欲しいです。
12	ひなんしょ す ふあん かぎ じたく ちんたい しゅうごうじゅうたく ちょうないかい はい もの さいがいじ 避難所で過ごせるか不安があります。できる限り自宅とどまるつもりです。賃貸の集合住宅で町内会に入っていないので、そのような者は災害時に も孤立してしまうのかなと心配です。町内会に入っていないなくても、要援護者のいる家庭を把握してもらえる仕組みが欲しい

とくみ ぼうさい げんさい ◇取組 2 - 2 防災・減災	
ばんごう No.	ご い けん 御 意 見
13	さいがいはっせいじ しょうがい ひと かぞく しえんしゃ あんしん ひなん ぼしょ ひつす おも きょじゅうく していさき えぬびーおーかつどう ほうじんかつどう 災害発生時、障害のある人と家族・支援者が安心してすごせる避難場所が必須を思います（居住区の指定先のNPO活動ホーム、法人活動ホームとも うみ ちか うめたてち じっさい ほんとう かどう ぎもん ふあん 海の近く（埋立地）で、実際に本当に稼働できるのか疑問で不安です）。
14	さいがい とき こえ だ か くるま しょうかのう くるま す 災害の時は、声を出してしまったり、オムツを換えたりしないとイケないので、車が使用可能なら、車で過す。
15	きんちょう ふあん ばめん かんじょう むずか ほうげん で りかい 緊張や不安がある場面では、感情のコントロールが難しくなり、イライラしたり暴言が出てしまうこともあることを理解してほしいことです。
16	こうどう おそ さいがいはっせいじ ひと なが あ おも ひと はいりよ 行動が遅いので、災害発生時の人の流れに合わせられないと思うので。そういう人にも配慮してほしい。
17	ないぶしょうがい いりょうきかん もんだい とりくみ じゅんび あたま いた もんだい だいきぼさいがい お 内部障害なので医療機関にかかれるかかかれなかが問題。そのための取組をあらかじめどう準備するかが頭の痛い問題。大規模災害が起こるとほ いりょうきかん つか よそう い どうせきちりょう う いどうしゅだん てはい とんどの医療機関が使えなくなることが予想される。どこまで行けば透析治療が受けられるのかということや、そこまでの移動手段を手配できるの もんだい はな あ けんどう おこな かが問題になるので、みんなで話し合いながら検討を行っている。
18	しょうがいしゃ ひがしにほん とき れい しょうがいしゃ しぼうりつ けんじょうしゃ くら ばいたか とく ようせい こじんじょうほうほごほう むずか おも 障害者の東日本の時の例でいえば障害者の死亡率が健常者に比べて2.5倍高い。特に要請したいのは個人情報保護法もあるから難しいと思うが、 めいぼ かいじ むずか おも はや あんぴかくにん しょうがいしゃ めいぼ かいじ しかい とお の 名簿の開示は難しいと思っているがいち早く安否確認しないといけないから、障害者の名簿の開示は市会でも通してほしいしプランにも載せてほし い。
19	ようえんごしゃめいぼ いっぱん しんたいしょうがいかんけい じゅうどしょうがいしゃたいしょう とくてい ふくせいど りようしゃ くわ きょじゅうく くやくしょ き 要援護者名簿は一般には身体障害の関係では重度障害者が対象となっている。特定の福祉制度の利用者と加わっている。居住区の区役所に聞いたら ようえんごしゃめいぼ ちょうないかいわた うれ い く じちかいちょうないかい とき ようえんごしゃ 要援護者名簿を町内会に渡すかは憂いがあるかと言う。区は自治会町内会をそんなにアテにしていない時がある。そのためか要援護者になったと つうち ちいき ふくしひなんじよ かんけい も だ けつてい さいしゅうてき ぎょうせい げんじょう はあく ひ いう通知をもらっていない地域もあるようだ。福祉避難所の関係を持ち出すと、決定は最終的には行政がやるから現状の把握をきちんとしていく必 つよう きょく じょうほう せいり おし 要がある。局も情報を整理して教えてほしい。

とりにき ぼうさい げんさい ◇取組 2 - 2 防災・減災	
No.	ご 意 見
20	<p>ほんにん ひなんじょ せいかつでき おも ほんにん かぞく しょくじ みず かくほ いえ せいかつでき とき ひなんじょ い か で 本人が避難所では生活出来ないと思うので、本人と家族の食事や水は確保しています。家で生活出来ない時は避難所に行きますが、オムツ替えの出 き ばしょ かくほ ねが ふく ちいき ひなんくんれん ねが ほんにん じたく り ばあい ひとり お うご 来る場所の確保をお願いします。また、それも含めた地域の避難訓練をお願いしたいです。本人と自宅で2人きりだった場合、一人置いて動けなく じょうほう ぶっし あつ ひなんじょ おもむ むずか おも じょうほう ぶっし たす なります。情報や物資が集まる避難所に赴くことが難しいと思われるので、情報や物資のやりとりを助けていただきたい。</p>
21	<p>さいがいじ ほんにん あず とき しせつ およ ばしょ れんらくさき そうだん ひと たす 災害時、本人をどこかに預けたい時の施設及び場所の連絡先と相談できる人がいてくれると助かる。</p>
22	<p>びちく こ なに はい かくにん いぜん びちく こ かくにん はなし やくしょ ひと 備蓄庫に何が入っているかを確認することができない。以前、備蓄庫にバンダナなどがあるので確認してみてくださいという話があった。役所の人 き こた み に聞いたら「あります」と答えてくれたけど見せてはくれなかった。</p>
23	<p>じちかい かにゆう ひと ひなん くんれん し はいふ ひなん くんれん し き し 自治会に加入していない人には避難訓練のお知らせも配布されない。避難訓練をやるのを知っているか？と聞いたが、知らなかった。</p>
24	<p>ふくしひなんじょ きょうてい じょうほう しゅうやく おも ちょうない えら ひと うんえいかいぎ さんか ねが むり ことわ いいん 福祉避難所の協定があるから情報は集約していると思う。町内の偉い人に運営会議に参加させてほしいとお願いしたが無理だと断られた。委員では さんか むり そんざい し ちいきぼうさいきよてん くんれん きほん さんか おも ないから参加は無理とのこと。存在は知ってもらってはいる。地域防災拠点の訓練に基本はみんな参加していると思う。</p>
25	<p>こま こと ひなんくんれんじ きょうどうこうしょうがいかた ゆうどう ていでん とき たいしよほう ひがしにほんだいしんさい とき くるま の いただ ふくし ひなんしよ かいせつ 困っている事は避難訓練時の強度行動障害の方の誘導や停電になった時の対処法（東日本大震災の時は車に乗って頂きました）。福祉避難所が開設 ばあい しょくいんかくほ した場合の職員確保。</p>
26	<p>じゅうしん かた おお じぎょうしよ さいがいじ すばや ぜんいんひなん ひとで ひつよう じりき むずか ため きんりん かた ちょうない かた し 重心の方が大きい事業所なので、災害時に素早く全員避難するには、人手が必要。自力だけでは難しい為、近隣の方や町内の方に知っていただくこ はじ おも とから始めなくてはと思っている。</p>
27	<p>さいがい おお かぞく な ばあい つぎ せいかつ ぼ かくてい にちちゅうじぎょうしよ りようしや しえん つづ け 災害の大きさにもよりますが、ご家族が亡くなった場合、次の生活の場が確定するまで日中事業所でご利用者を支援し続けなければならないのか検 んとう さいがいじ しょくいん まち かぞく ぎせい りようしや しえん じょうきよう おも しょくいんたいせい 討できていません。災害時、職員にも守るべき家族がおり、それを犠牲にしてご利用者の支援にあたる状況になるかと思われるため、どう職員体制 いじ かだい を維持するかも課題です。</p>
28	<p>しょうがいしゃかくじ じゅんび はあく むずか 障害者各自の準備がどこまでできているかの把握が難しい。</p>

とくみ ぼうさい げんさい ◇取組 2 - 2 防災・減災	
ばんごう No.	ご 御 い 意 けん 見
29	さいがいじ こま りようしゃ きほんてき せいしんしょうがいしゃ きほんてき りようしゃ いぞんしょうしゃ かたがた びょういん ていきつういん 災害時に困っていることとしては、利用者は基本的に精神障害者（基本的に利用者は依存症者になります）の方々なので、病院に定期通院しても らっています。当然、服薬されている方が多いのが現状です。そこで問題になってくるのは、有事の際のために処方薬の備蓄が出来ないことです。
30	つうしょせつ しょざい ちいきぼうさいきよてん しょうがいしゃ く こま い にちちゅう はっさい さい きょじゅうち つうしょせつ 通所施設の所在する地域防災拠点で「障害者があまりたくさん来ると困る」と言われたことがある。日中、発災した際、居住地ではなく通所施設の ある地域の防災拠点で受け入れは可能なのか。混乱している中で自宅に帰るより通所施設近隣の地域防災拠点に行った方が安全だし安心な場合、ど うなるのか。可能であれば、それは行政からも働きかけて欲しい。
31	しょうがいしゃしえんしせつ やかんたいせい ふあん たい うご にんぶん もの うご 障害者支援施設の夜間体制が不安 10対1なので動けない。200人分、物があっても動けない。
32	みよ な ひ かた あんぴ かくにん だれ まか い そと で でき てん くりよ 身寄りが無い、引きこもりであるという方の安否確認はどうなるのか、誰に任せれば良いのか、外に出ることが出来るのかという点で苦慮したこと があります。
33	しせつ びちく ちいきぼうさいきょうてい やくわり たいりょう こうにゆうぶつひよう ほじょきん とう ふめい しせつない た 施設の備蓄は地域防災協定としての役割のため大量にあるが、購入物の費用（補助金があるか等が不明）や施設内のスペースが足りない。
34	しょくりょうひんみず そな さいがいじ もら し くすり じょうよう し くすりぎ たいさく ほ 食料品や水は備えているが、災害時に貰えるところがあれば知りたい。薬を常用しているので、どこでももらえるか知りたい。薬切れの対策が欲し い。インフラや水の確保は行政でしてほしい。
35	だいきぼ さいがい お いりょうきかん つか よそう い とうせきちりょう う 大規模災害が起こるとほとんどの医療機関が使えなくなることが予想される。どこまで行けば透析治療が受けられるのかということや、そこまでの 移動手段を手配できるのかが問題になる。

とりにくみ こうもく
◇プラン取組項目

とりにくみ りょういく
◇取組3 - 1 療育

ばんごう
No. 御 意 見

1 けんじょうじ おな ようちえん しょうがっこう かよ こと とく ようちえん こども たち おな きも つ あ いま おやこ き しょうがっこう じゅ
 健常児と同じ幼稚園、小学校に通えた事。特に幼稚園は子供達も同じ気持ちで付き合っていて、今でも親子で気にしてくれています。小学校の授
 ぎょう おや かいじょ つ ひつよう たす
 業に親がずっと介助のために付いている必要があった（ボランティアさんが、助けてくれました）。

2 ようじ りょういく がくれいき くんれんかい ほうかご とう しゅうろうご たんきにゅうしょとう ねんれい う
 幼児（療育センター）、学齢期（訓練会・放課後デイサービス等）、就労後（ガイドヘルパー、ショートステイ、短期入所等）、年齢で受けられる
 しゅうりょう せいかつ おお へんか ねんれいとう ぶんだん つづ きぼう
 サービスが終了してしまい、生活が大きく変化します。年齢等で分断されず、続けられることを希望します

とりくみ こうもく
◆プラン取組項目

とりくみ きょういく
◆取組3-2 教育

ばんごう No.	ご 御 意 見
1	<p>きんりん こども しせん げんどう はいじよてき き ほんにん せいかつ じゅうじつ しゅうい ひと へんよう しょうがいりかい ぶか ひつよう 近隣の子供たちの視線や言動が（排除的な）気になったことがある。本人の生活の充実には周囲の人たちの変容（障害理解の深まり）が必要。その ようねんき しょうちゅうがっこうじだいいっばんじどう せいと きょうせい いしき たか ひつよう ために、幼年期、小中学校時代の一般児童・生徒への共生の意識の高まりが必要。</p>
2	<p>しょうがいじ しゃ げんじょう はったつ たしやう おく にちじょうせいかつおく て ちてき じゅうど けいど さい 障害児・者の現状は、発達に多少の遅れがあり、日常生活を送るのに、手をかけなければいけないのに、知的に重度だろうが軽度だろうが、18才で いちりつ せいかつかいごりよう ふく しゃかい で わたしたち おな だいがくせいかつ こうこうそつぎようご ねんくらい おとな しゃかい 一律（生活介護利用も含めて）社会に出なければならない。私達と同じように [大学生活] のような高校卒業後ゆっくり5年位かけて大人の社会を じりつ がっこう よ しゅうろういこう いみあ ちが のできながら、自立していけるような「学校」があると良い。（就労移行とは意味合いが違う）</p>
3	<p>とくべつしえんがっこうきょういん しんろたんどう く せいかつしえんか そつご さぎょうじよしよくいん れんけい しえん うま い かくかんけいきかん きょうりよく しえん 特別支援学校教員・進路担当・区ケースワーカー・生活支援課・卒後の作業所職員が連携して支援が上手く行きました。各関係機関が協力して支援 ふしめふしめ かお あ しえんほうしん けんとう ざいがくちゅう そつご しんろ か なか にあたり、節目節目で顔を合わせ支援方針について検討することができました。在学中から卒後の進路までライフステージが変わる中、スムーズに いこう でき おち しえん いと めいかく ていじ おな もくひょうせっていたいせつ かん ひと じぎょうしよ まか 移行が出来たと思います。支援の意図を明確に提示し、チームとして同じ目標設定が大切だと感じています。また、どこか一つの事業所に任せるの じく しえんしゃ てきじ れんらく と じょうきょうかくにん えんかつ つな いんしやう う ではなく、軸となる支援者が適時連絡を取り、状況確認していくことでより円滑なアプローチに繋がる印象を受けました。</p>

とりにくみ こうもく
◇プラン取組項目

とりにくみ
◇取組4-1 就労

No.	御 意 見
1	しょうがい ちが なか しゅうろう げんば かげん せいしん はったづく ひと りふじん かんきょう 障害の違いがある中での就労では、現場のさじ加減で精神（発達含む）の人が理不尽の環境になりやすい。
2	ちてき ひと がまん ぼめん おお しょくば りかい た 知的の人とのかねあいで、我慢がなくてはいけない場面が多い。職場の理解が足りない。
3	しょくば はなし き きかい ふ き はな 職場で話を聞いてもらえる機会が増えた。気にしてもらえるから話しやすい。
4	しゅうろういこうていちゃく しゅうろう きょうりょく かいめ しゅうしょく さき しゅうしょく しょくば いこう しえん れんけい 就労移行定着センターのスタッフの就労の協力がよかった（2回目の就職）。先に就職した職場と移行支援スタッフの連携がうまくいかなかった（1回目の就職）。
5	しゅうかつちゅう しょくば しょうがい あと はんめい ねんまつちようせい ぶりえき ふあん クローズで就活中なのですが、職場に障害が後から判明（年末調整などで）したときに不利益にならないか不安です。
6	しょくばりかい つた かた じぶん しょうがいじゅうようふく 職場理解の伝え方がわからない（自分の障害受容含めて）。
7	じぎょうしょ けいえいしゃ かんりしよく りかい ひつよう きぎょう じぎょうしょ しょうがいしゃこようしえん こうじょうてきそしきみつよう 事業所、経営者、管理職に理解をはかるシステム必要。企業・事業所の障害者雇用支援をする。恒常的組織必要。
8	じぶん とくれいこがいしゃ はたら さいしょ しゅうしょく とき かいしゃ いろいろそろ あいしょう あ 自分のこどもは特例子会社で働いている。最初に就職した時はモデルの会社だったため、色々揃っていて、ジョブコーチもいた。しかし、相性の合 う、合わないが大きいことや、1年ごとに人が変わっていた。また、家族から見ているとこのジョブコーチは本当に精神のことを理解しているの か、勉強しているのかと感ずることがある。何かあった時にフィードバックの仕方がコーチの感情のままになっている印象を受けることがある。そ ういう人たちにもきちんと勉強をしてほしい。正社員で勤めているこどもの会社はコロナ禍で体調不良の人が多くなり、休職者が多くなった。精神 的におかしくなって休職してしまうと1年間は休業補償が出るが、復職できない人も多い。人間関係難しい。
9	いりょうてき しゅうろうのうりよくいよく しゅうろう ちいき かつどう にっしゅうかつどう りょう 医療的ケアがあるため就労能力、意欲があるが、就労できずに地域活動ホームの日中活動をご利用されている。
10	きんろういこう しえん じぎょうしょ れんけい しゅうろう むす グループホームと勤労意向支援事業所が連携して、就労に結びついた。

◇取組 4 - 1 就労

No.	ご 意 見
11	<p>就労体験として、一般企業で実習受け入れの協力を得られる機会があった。このような企業が増えていくことや幅広く柔軟に取り組めるような仕組みがあると利用しやすい。社会経験を増やせる情報や取り組みがしやすくなることを望んでいる（職場体験、雇用前実習、研修などの受け入れ）。</p>
12	<p>重心の人が多かったから、就労は難しいという意見があったり、働くという概念をそもそも変えて欲しいというのがあった。使用者側に働ける・働けないを決められている。働きたいと思っても使用者が働けないとしたら働けない。何かしらの役割を果たすということではいけないかということ は分かって欲しい。社会の中での役割であれば何かしら重心でも果たせないか。それに対して対価が生じるということではないか。</p>

とりにくみ こうもく
◇プラン取組項目

とりにくみ にっちゅう かつどう
◇取組4-2 日中活動

ばんごう
No. 御 意 見

1 にっちゅう つうしよ りよう まえむ きも きぼう せいかつ やかん す かた ぶぶん やかん いぼしよ
 日中の通所サービスを利用して前向きな気持ちで希望どおりの生活ができているが、夜間の過ごし方であきらめている部分がある。夜間の居場所があればもっと希望どおりになる。

2 にっちゅう い ほんにん きぼうどお
 日中 デイサービスに行っています。本人の希望通りにしていただいています。

3 ほんにん じゅうどじゅうふくしょうがい かくにん にっちゅう かた つうしよさきとう おや き ほんにん
 本人は重度重複障害のため確認することができません。日中の過ごし方（通所先等）は親が決めました、本人はたのしそうです。

4 にっちゅうかつどう じぎょうしよ た しょ かよ ひと しょかよ ひと ほうじんちかつ つか ちかつ ぶ
 日中活動の事業所が足りない。2か所に通っているが、人によっては3か所通っている人もいます。法人地活もいっぱい使えない。地活を増やしてほしい。事業所が足りていない、資源不足だと思ふ。

5 にっちゅうじぎょうしよかつどうしゅうりょうご さき おく よくじつ さき むか い にっちゅうかつどうさんか おこな おや からだ やす
 日中事業所が活動終了後ショートステイ先への送り、翌日ショートステイ先にお迎えに行き、日中活動参加を行って来て、親として体を休めることが出来ます。

6 に しょ つうしよさき に しょ じょうほうきょうゆうれんけい えんかつ たす
 二か所の通所先があるが、その二か所で情報共有や連携してやってくれるし、それがより円滑になると助かる。

7 がっこうそつぎょうご きよじゅうく べつ く じぎょうしよ つうしよ けいかくそうだん べつ く りよう さいぎん きよじゅうく つうしよせつ い きかい でき
 学校卒業後は、居住区とは別の区の事業所に通所し、計画相談も別の区で利用していました。つい最近、居住区での通所施設に行ける機会が来たので、現在は併用しています。以前より居住区のケースワーカーさん、基幹相談支援員の方々に、各事業所さんとの情報共有や計画相談員とのやりとりなど、区をこえてのやり取りをしていただいたりしました。また、新しく通所を始めた事業所にも機会があれば様子を見に行っていたり、心あたたまるサポートを頂いています。

8 にっちゅう す かた どにちしゆくじつ す かた しょうがい ひと たいへん み かいたくでき ひと くるまいす お
 日中の過ごし方について、土日祝日の過ごし方がどの障害の人にも大変。わりとすぐガイヘルが見つかって開拓出来る人もいますが、車椅子を押せる事業所は全然見つからない。行動障害も対応出来る人が偏るから難しい。コロナもあり入居者はイライラした様子もあって厳しい。慣れている日中活動の場所が月に何回かでも土日祝日にやってもらえないだろうか。

とくみ につちゆう かつどう ◇取組 4 - 2 日中活動	
ばんごう No.	ご 意 見
9	<p>えら せんたくし な おも い つうしょ いみ さい そつぎょう おな ところ つうしょ たいちよう くず 選べる選択肢がまず無いと思います（行けるところに通所されている、という意味で）。18才で卒業されてずっと同じ所に通所され、体調を崩すな な かぎ こうれいしゃ ねんれい つうしょ あたら そつぎょう かた わく さい さいじょう かた おな ところ かつどう こうれい かた ど無い限り高齢者といわれる年齢になっても通所され、新しく卒業してくる方の枠がない。18才～70才以上の方が同じ所で活動されていて高齢の方 こうれい いこう たが すこ きぼう かな おも は高齢のデイサービスというルール（移行する、というルール）があると、お互いにもう少し希望に叶うものができることもあるのかなと思いま す。</p>
10	<p>ほんにん きぼう どお こうれい しょうがいしゃ さぎょうしょ つうしょ さぎょう むづか かいご ほけん うつ 本人の希望通りだが、高齢になり、障害者の作業所ではだんだん通所や作業が難しくなっている。どのタイミングで介護保険に移っていくの ほか しせつ かた し か、他の施設のやり方を知りたい。</p>
11	<p>こうどうしょうがい かた じゅうしん かたとう じゅうど かた にっちゆうかつどうせいかつ ば おお いっぽう かず じぎょうしよすう しょくいんすう ふ 行動障害のある方や、重心の方等、重度の方の日中活動や生活の場は、ニーズは多い一方で、数（事業所数、職員数ともに）が増えない、そもそも せんたくし じたい すく じょうきょうつづ けっかてき お あ つ ちょうせい あ 選択肢自体が少ないという状況は続いています。結果的に、どこかで折り合いを付けてもらうような調整（パズルのピース合わせのような）とな かなら ひとり きぼう あ かたち こうきのう はったつようがい かた けいど ちてき しょうがい かた きぼう あ り、必ずしも一人ひとりの希望に合わせた形とはなっていません。また、高機能の発達障害のある方、軽度知的障害のある方のニーズや希望に合っ にっちゆうかつどうせいかつ ば どうよう じょうきょう た日中活動や生活の場も同様の状況です。</p>
12	<p>しんしょう つうしょさき すく くるま いきさき かぎ かん いるよう ひつよう りよう 身障のグループホームや通所先が少なく、車いすユーザーの行先が限られているように感じます。医療ケアなどが必要になるとさらに利用できる かぎ おも つうしょさき み つうしょ しゅだん つうがくつうしょ いどうかいごとう み こま たた み サービスは限られるように思います。通所先は見つかっても通所する手段（通学通所・移動介護等）が見つからずに困っているケースも多々見られ よこはましない にっちゆうつうしょさき ぜんてい おお しゅう か つうしょ にゅうきよ ます。また、横浜市内のグループホームは日中通所先があることが前提となっているグループホームが多く、週5日の通所ができないと入居できない おお かん にっちゆうしえんがた さが しがい けんがい ひろ さが げんじょう ところも多いように感じます。日中支援型のグループホームを探すとすると市外・県外までエリアを拡げて探しているのが現状です。</p>
13	<p>りようしゃ けが こうれいか とう じぎょうしよ かよ こんなん ほう たい しえん むづか かん じんいん せいど めん ちかつ 利用者の怪我や高齢化等により、事業所に通うのが困難になってしまった方に対しての支援が難しいと感じています。人員、制度などの面で、地活 たいせい よ おも もアウトリーチがしやすい体制になると良いと思います。</p>

とくみ につちゆう かつどう ◇取組 4 - 2 日中活動	
ばんごう No.	ご 意 見
14	<p> <small>につちゆうかつどうばしょ</small> <small>せんたくし</small> <small>じゅうじつ</small> <small>とくみ</small> <small>しゅうろうけいしょうがいふくし</small> <small>じぎょうじょうすう</small> <small>りようしゃすうぞう</small> <small>ちいきかつどうしえん</small> <small>さぎょうしょうがた</small> 「日中活動場所の選択肢の充実」への取組として、就労系障害福祉サービスは事業所数、利用者数増であるが、地域活動支援センター作業所型につ </p> <p> <small>しよ</small> <small>にん</small> <small>ねん</small> <small>しせいれん</small> <small>ちいきかつどうしえん</small> <small>あ</small> <small>かた</small> <small>かん</small> <small>けんきゅうけつか</small> <small>もと</small> <small>ひつようせい</small> いては130か所、2,600人(/年)のままである。市精連でおこなった地域活動支援センターの在り方に関する研究結果に基づき、必要性など </p> <p> <small>よこはまししょうがいしゃ</small> <small>はんえい</small> を横浜市障害者プランへ反映させていただきたい。 </p>

とくみ こうもく
◇プラン取組項目

◇取組4-3 スポーツ・文化・芸術

No.	ご 意 見
1	<p>とつ とう かたち でき まんぞく す でき スword等のパズル形が出来たりして満足です。グループホームで好きなゲームが出来ないのがつらいです。</p>
2	<p>りようしゃ りよこう りよこう はなし きょうゆう はんせい 利用者とスタッフといっしょに旅行ができて、旅行の話が共有できて、反省もいっしょにできました。</p>
3	<p>とうきょう しんじゅく あきはばら ぶんかてき い おち い むり ことわ 東京の新宿や秋葉原など文化的なところに行きたいと思うが行ってくれない。コミケなど行きたいが無理だと断られた。できればアニメやゲームの はなし こうどう はなし あ ひと がいしゅつ い いま はっさん 話をしながら行動したいが話が合う人がいない。コロナで外出できなくなった。カラオケにも行けない。今まではそういったことでストレスを発散 いま はっさん ぼしょ な きち しようきよくてき させていたが今は発散の場所が無い。気持ちまで消極的になってしまっている。</p>
4	<p>いどう じ こま こと げんざい か さんぽ えいが い こま 移動時困る事としては、現在はコロナ禍で散歩や映画に行けないことが困っている。</p>
5	<p>ちてき しょうがい かた とく か よか おち す たか かた おお かん 知的障害のある方は特にコロナ禍で余暇が思うように過ごせずストレスが高い方も多いと感じます。</p>
6	<p>ふくし うんどづんたい とうさくひんてんじ ケアプラザ、きょうされん（福祉運動団体）等作品展示。</p>
7	<p>よか しえん とう ちゅうしんてき やくわり にな 余暇支援（パラフェスタ等）で中心的な役割を担っていただいている。</p>